

地域共生学科国際コミュニケーションコース

分類	授業科目	方法	必修	選択	年次	期	頁
基礎 教育 科目	大学教育入門	講義	1		1	前	—
	データサイエンス基礎	講義	1		1	前	—
	茶道文化Ⅰ	演習	1		1	前	—
	茶道文化Ⅱ	演習	1		1	後	—
	茶道文化Ⅲ	演習	1		2	前	—
	茶道文化Ⅳ	演習	1		2	後	—
	地域と人々	実習	1		1	通	—
	地域と職業	講義	1		1	後	—
	基礎化学	講義		2	1	前	—
	基礎化学実習	実習		1	1	前	—
	心理学	講義		2	1	前	—
	ビジネスマナー	演習		1	1	前	—
	福祉文化	演習		1	2	後	—
	コンピュータ演習Ⅰ	演習		1	1	前	—
	コンピュータ演習Ⅱ	演習		1	1	後	—
	Office総合演習	演習		1	2	後	—
	英語コミュニケーションⅠ	演習		1	1	前	—
	英語コミュニケーションⅡ	演習		1	1	後	—
	フランス語Ⅰ	演習		1	1	前	—
	フランス語Ⅱ	演習		1	1	後	—
	日本語Ⅰ	演習		1	1	前	—
	日本語Ⅱ	演習		1	1	後	—
	実践文書作成	演習		1	1	前	—
	スポーツ実習	実習		1	1	後	—
	スポーツ科学	講義		2	2	後	—
専門 教育 科目 (コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン)	英会話Ⅰ	演習		2	1	1・2	460
	英会話Ⅱ	演習		1	1	4	464
	英会話Ⅲ	演習		1	2	5	467
	英会話Ⅳ	演習		1	2	6	470
	英会話Ⅴ	演習		1	2	7	473
	英会話Ⅵ	演習		1	2	8	476
	英語検定Ⅰ	講義		2	1	1	479/483/486
	英語検定Ⅱ	講義		2	1	2	489/492/495
	英語検定Ⅲ	講義		2	2	5	498/501/504
	英語ライティング&グラマーⅠ	講義		2	1	3	507/511/514
	英語ライティング&グラマーⅡ	講義		2	2	7・8	517/520
	英語演習Ⅰ	演習		2	2	5・6	523/526
	英語演習Ⅱ	演習		2	2	7・8	529/533
	英語特別演習Ⅰ	演習		1	—	—	—
	英語特別演習Ⅱ	演習		1	—	—	—
	中国語基礎Ⅰ	講義		2	1	1・2	536/539
	中国語基礎Ⅱ	講義		2	1	1・2	542/544
	中国語基礎Ⅲ	演習		2	1	1・2	547/550
	中国語会話Ⅰ	演習		1	1	3	552/555
	中国語会話Ⅱ	演習		1	2	7・8	558/561
	中国語検定Ⅰ	講義		2	2	5・6	564/567
	中国語検定Ⅱ	講義		2	2	5・6	570/573
	中国語検定Ⅲ	講義		2	2	5・6	576
	中国語ライティング&グラマーⅠ	講義		2	1	4	579/582
	中国語ライティング&グラマーⅡ	講義		2	2	7・8	585/588
	中国語特別演習Ⅰ	演習		1	—	—	—
	中国語特別演習Ⅱ	演習		1	—	—	—
	韓国語基礎Ⅰ	講義		2	1	1・2	591/594
	韓国語基礎Ⅱ	講義		2	1	1・2	597/600
	韓国語基礎Ⅲ	演習		2	1	1・2	603/606

地域共生学科国際コミュニケーションコース

分類	授業科目	方法	必修	選択	年次	期	頁
専門教育科目	コミュニケーション（言語・多文化）	韓国語会話Ⅰ		1	1	3	609/612
		韓国語会話Ⅱ		1	2	7・8	615/618
		韓国語検定Ⅰ		2	2	5・6	621/624
		韓国語検定Ⅱ		2	2	5・6	627/630
		韓国語検定Ⅲ		2	2	5・6	633/636
		韓国語ライティング&グラマーⅠ		2	1	3	639/642
		韓国語ライティング&グラマーⅡ		2	2	7・8	645/648
		中国語特別演習Ⅰ		1	—	—	
		中国語特別演習Ⅱ		1	—	—	
		基礎日本語Ⅰ		2	1	1・2	651/654
		基礎日本語Ⅱ		2	2	3・4	657/660/662/664
		日本語会話Ⅰ		2	1	1	667/670/673/676
		日本語会話Ⅱ		2	1	2	679/682/685/688
		日本語会話Ⅲ		2	1	3	691/694/697/700
		日本語会話Ⅳ		2	1	4	703/706/709/712
		日本語会話Ⅴ		2	2	5	716/719/722/725
		日本語会話Ⅵ		2	2	6	728/731/734/737
		日本語検定Ⅰ		2	1	1	740/743/746/749
		日本語検定Ⅱ		2	1	3	752/755/758/761
		日本語検定Ⅲ		2	2	5	764/767/770/773
		日本語ライティング&グラマーⅠ		2	1	4	776/779/782
		日本語ライティング&グラマーⅡ		2	2	6	785/788
		日本語演習Ⅰ		2	2	5・6	791/795
		日本語演習Ⅱ		2	2	7	798/801/804/807
		総合日本語		2	2	7	810/813/816/819
		比較文化研究		2	2	7	822/825/828/831
		異文化理解演習		2	1	1・2	834/837
		国際・時事研究		2	2	日6/留5	841
	キャリアデザイン	キャリアガイダンス		2	1	日1・2/留5	845
		ビジネス文書		2	1	日1・2/留3・4	848/850/853/856
		実践ビジネスマナー		1	1	日1・2/留8	859
		ホテル業論		2	1	2	862
		ホスピタリティビジネス		2	2	7・8	865
		実践グローバル・リーダーシップⅠ	実習	2	1	4	868
		実践グローバル・リーダーシップⅡ	実習	2	1	4	871
		実践グローバル・リーダーシップⅢ	実習	2	1	4	874
	課題解決	Awesome Sasebo!Ⅰ		1	2	6	877/880
		Awesome Sasebo!Ⅱ		1	2	7	884/887
		Awesome Sasebo!Ⅲ		1	2	8	891/894
	ギャップイヤー	学外学修事前指導	講義	2	1	日1・3/留1・2	898/903
		海外文化事情(留学)Ⅰ	実習	2	1	3	907
		海外文化事情(留学)Ⅱ	実習	2	1	3	910
		海外文化事情(留学)Ⅲ	実習	6	1	3	913
		インターンシップⅠ	実習	2	1	3	916
		インターンシップⅡ	実習	2	1	3	918
		インターンシップⅢ	実習	2	1	3	920
		インターンシップⅣ	実習	2	1	3	922
		実践Awesome Sasebo! (サービスマーケティング)Ⅰ	実習	2	1	3	924/928
		実践Awesome Sasebo! (サービスマーケティング)Ⅱ	実習	2	1	3	932/935
		実践Awesome Sasebo! (サービスマーケティング)Ⅲ	実習	2	1	3	939
		実践Awesome Sasebo! (サービスマーケティング)Ⅳ	実習	2	1	3	—
		学外学修事後指導	講義	2	1	日5/留4	943/949
		卒業研究	講義	2	2	7・8	953/958

講義科目名称:英会話 I	授業コード:
英文科目名称:English Conversation I	ナンバリング:CC101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2	1年	2	選択	演習 クラス分け
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
〇ニー、アーニー、ジン				

授業概要	This course aims to build students' confidence and competence in holding conversations in English on everyday, familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized through practice and live online interaction with English speaking students in New Zealand. Live communication and group-work are used to develop and assess students' communication skills. 英会話Iでは日常的话题を英語で話せるように自信と知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。クラスメート、ネイティブスピーカー教員と共に英会話練習をするの上に、定期的にニュージーランドの学校とライブオンライン交流授業が行う。本演習では、①英語で練習済みの話題について話せる、②日常的话题で自分の意思が伝達できる、③グループディスカッションで相手の意図を理解できるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 課題	30% 30%
異文化知識・対応能力	英語で日常的な・基本的な表現を理解、用いることができる。限られた場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	Online Exchange	40%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、定期試験を実施しません。課題 30%、Online Exchange (LIVE CLASS・Message Board) 40%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 自己紹介、シラバス説明、教科書・ONLINE EXCHANGEを	対面授業	予習: 特になし 復習: 教科書、課題、クラスルーム

	説明する、課題のやり方		を確認します (1時間)
2回目	クラス分け(初級・中級・上級) Warm Up 英会話、課題チェック ONLINE EXCHANGE Message board 紹介	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
3回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話1週間目ディクテーション・ リスニング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
4回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題 LIVE CLASS 準備:会話練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
5回目	ONLINE EXCHANGE - LIVE CLASS ニュージーランドとオンライン交流 ※レポート提出	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
6回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話2週間目ディクテーション・ リスニング練習、ラジオ英会話「今週の Review」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
7回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話3週間目ディクテーション・ リスニング練習 ONLINE EXCHANGE Message board	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
8回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
9回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話4週間目ディクテーション・ リスニング練習、LIVE CLASS 準備:会 話練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
10回目	ONLINE EXCHANGE - LIVE CLASS ニュージーランドとオンライン交流 ※レポート提出	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
11回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話5週間目ディクテーション・ リスニング練習、ラジオ英会話「今週の Review」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
12回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話6週間目ディクテーション・ リスニング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
13回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
14回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話7週間目ディクテーション・ リスニング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
15回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題 LIVE CLASS 準備:会話練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
16回目	ONLINE EXCHANGE - LIVE CLASS ニュージーランドとオンライン交流 ※レポート提出	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)
17回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話8週間目ディクテーション・ リスニング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復 習する (15分)

	ラジオ英会話「今週のReview」の課題		
18回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話9週間目ディクテーション・リスニング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
19回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題 ONLINE EXCHANGE Message board	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
20回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話10週間目ディクテーション・リスニング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
21回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
22回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話11週間目ディクテーション・リスニング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
23回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
24回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話12週間目ディクテーション・リスニング練習 ONLINE EXCHANGE Message board	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
25回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
26回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話13週間目ディクテーション・リスニング練習 LIVE CLASS 準備:会話練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
27回目	ONLINE EXCHANGE - LIVE CLASS ニュージーランドとオンライン交流 ※レポート提出	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
28回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話14週間目ディクテーション・リスニング練習 ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
29回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話15週間目ディクテーション・リスニング練習	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
30回目	Warm Up 英会話、課題チェック ラジオ英会話「今週のReview」の課題	対面授業	予習:ラジオ英会話課題(45分) 復習:課題で間違えたところを復習する(15分)
	定期試験なし		授業外学修時間 30時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	

教科書・参考書	教科書(クラス分け後、担当教員から注文する) 上級クラス: ラジオ英会話(NHKテキスト) 中級クラス: 基礎英語レベル2(NHKテキスト) 初級クラス: 基礎英語レベル1(NHKテキスト)
履修条件	特になし
履修上の注意	可能ならPCやタブレットを持参してもいいです。 オンライン交流授業の日程は変更になる場合があります。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	学生は、毎日15 分間以上のリスニング宿題をするべきです。

講義科目名称:英会話Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:English Conversation Ⅱ	ナンバリング:CC301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1	1	選択	演習 クラス分け
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
□ニー、アーニー、ジン				

授業概要	This course builds on English Conversation I and aims to expand students' ability to hold conversations in English on familiar topics. Listening and speaking skills are emphasized through practice and online projects with English speaking students in New Zealand. Live communication, group-work and oral presentations are used to develop and assess students' communication skills. 英会話Iで学んだ内容を基礎として、身近な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。クラスメート、ネイティブスピーカー教員と共に英会話練習をするの上に、定期的にニュージーランドの学校とオンラインプロジェクトが行う。本演習では、①準備した内容を英語で発表できる、②日常の事柄について自分の意思が伝達できる、③ グループディスカッションで相手の話の内容を正確につかみ、コミュニケーションが取れるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度	30%
異文化知識・対応能力	英語で日常的な・基本的な表現を理解、用いることができる。限られた場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	課題 Online Exchange	40% 30%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、定期試験を実施しません。課題 40%、Online Exchange (VIDEO DIARY・Message Board) 30%、授業と授業で行うグループディスカッションへの参加・態度 30%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:シラバス説明、教科書・ONLINE EXCHANGEを説明する、	対面授業	予習: 特になし 復習: 教科書、課題、クラスルーム

	課題のやり方		を確認します (1時間)
2回目	Warm Up 英会話、課題チェック ONLINE EXCHANGE - VIDEO DIARY① NZのビデオを見て勉強する ※レポート提出	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
3回目	Warm Up 英会話、課題チェック グループワーク: VIDEO DIARY準備	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
4回目	Warm Up 英会話、課題チェック ONLINE EXCHANGE - VIDEO DIARY② グループワーク: ※ビデオ提出	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
5回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ① 基本の応対	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
6回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ① 基本の応対	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
7回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ② ホテル・旅館 ONLINE EXCHANGE Message board	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
8回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ② ホテル・旅館	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
9回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ② ホテル・旅館	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
10回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ③ レストラン・カフェ	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
11回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ③ レストラン・カフェ ONLINE EXCHANGE Message board	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
12回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ④ 観光地	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
13回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語 ⑤ 交通機関	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
14回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語①～⑤の復習	対面授業	予習: 接客英会話課題(45分) 復習: 授業で間違えたところを復習する (15分)
15回目	Warm Up 英会話、課題チェック 接客英語のまとめ小テスト	対面授業	予習: 接客英語を復習する(1時間) 復習: 特になし
	定期試験なし		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・	

AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書はなく、英会話のアプリで宿題をします。
履修条件	特になし
履修上の注意	PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	学生は、毎日15 分間以上のリスニング宿題をするべきです。

講義科目名称:英会話Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:English Conversation Ⅲ	ナンバリング:CC501

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2	1	選択	演習 クラス分け
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
□ニー、アーニー、ジン				

授業概要	This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English beyond familiar, everyday topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills. 1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックを英語で発表できる、②普段触れない話題や事柄について自分の意思が伝達できる、③ グループディスカッションで相手の話の内容に疑問を持ち、主体的に質問しあうコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
確かな専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができる。その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	プロジェクト・発表課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、プロジェクト・発表 50%、課題25%、グループディスカッションへの参加・態度 25%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:シラバス説明、課題説明、2年生の英語目標を書く、5Qのプロジェクト(ツアーガイド)を説明する	対面授業	予習:特になし 復習:佐世保の観光情報を調べる(1時間)

2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーガイド例①を見て勉強する 留学生にアンケートを出す	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーガイド例②を見て勉強する	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーガイド例③を見て勉強する	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 佐世保の観光スポットを調べる、情報をまとめる	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 佐世保の観光スポットを調べる、情報をまとめる	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ※ルートを提出する	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック SASEBOツアー英語文書を準備する	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック SASEBOツアー英語文書を準備する	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック SASEBOツアー英語文書を準備する	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
11回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ※SASEBOツアー英語文書提出	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
12回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーリハーサル	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
13回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ツアーリハーサル	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
14回目	SASEBOツアー(グループプロジェクト) 5月27日(土)	対面授業	予習: SASEBOツアーの練習をする(1時間)
15回目	SASEBOツアー(グループプロジェクト) 5月27日(土)	対面授業	予習: SASEBOツアーの練習をする(1時間)
	定期試験なし		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	特になし(プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材を使う)
履修条件	特になし

履修上の注意	SASEBOツアーの日程は変更になる場合があります。 PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	

講義科目名称:英会話Ⅳ	授業コード:
英文科目名称:English Conversation Ⅳ	ナンバリング:CC601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2	1	選択	演習 クラス分け
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
□ニー、アーニー、ジン				

授業概要	This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English beyond familiar, everyday topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills. 1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックを英語で発表できる、②普段触れない話題や事柄について自分の意思が伝達できる、③ グループディスカッションで相手の話の内容に疑問を持ち、主体的に質問しあうコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
確かな専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができる。その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	プロジェクト・発表課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、プロジェクト・発表 50%、課題25%、グループディスカッションへの参加・態度 25%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:シラバス説明、課題説明、6Qのプロジェクト(英語を教える)を説明する	対面授業	予習:特になし 復習:九州文化学園小・中学校の情報を調べる(1時間)

2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 児童英語教授法の基礎 授業の例①	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 授業の例②	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループ分け&ブレインストーミング	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: 授業計画	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: 授業計画	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: 資料の準備	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: 資料の準備	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: English Festival リハーサル	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: English Festival リハーサル	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
11回目	English Festival (グループプロジェクト)7月15日(土)	対面授業	予習: 資料・学習ノートをまとめる、練習する(1時間)
12回目	English Festival (グループプロジェクト)7月15日(土)	対面授業	予習: 資料・学習ノートをまとめる、練習する(1時間)
13回目	English Festival (グループプロジェクト)7月15日(土)	対面授業	予習: 資料・学習ノートをまとめる、練習する(1時間)
14回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: English Festivalの振り返り	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
15回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック ※レポート提出: English Festival振り返り	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
	定期試験なし		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	特になし(プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材もする)
履修条件	特になし
履修上の注意	English Festivalの日程は変更になる場合があります。

	PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	

講義科目名称:英会話V	授業コード:
英文科目名称:English Conversation V	ナンバリング:CC701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2	1	選択	演習 クラス分け
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
□二一、アーニー				

授業概要	This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English in a wide variety of topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills. 1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックについて熟考し起承転結を用いた発表ができる、②抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容について自分の意思が伝達できる、③ 教員の助けを借りず率先してグループディスカッションを成立させ、幅広いテーマについてコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
確かな専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	プロジェクト・発表課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、プロジェクト・発表 50%、課題25%、グループディスカッションへの参加・態度 25%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:シラバス説明、課題説明、7Qのプロジェクト(Interview	対面授業	予習:特になし 復習:英会話アプリ課題(1時間)

	Project)を説明する		
2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループ分け、インタビュー対象者を調べる インタビューの例①	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー対象者を調べる インタビューの例②	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー対象者に連絡する インタビューの例③	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー対象者に連絡する インタビューの例④	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの準備: 情報収集、質問の準備、練習 6回目～10回目の間: インタビューを行う	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの準備: 情報収集、質問の準備、練習 6回目～10回目の間: インタビューを行う	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの準備: 情報収集、質問の準備、練習 6回目～10回目の間: インタビューを行う	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの準備: 情報収集、質問の準備、練習 6回目～10回目の間: インタビューを行う	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー後: トランスクリプトと翻訳を作成する 6回目～10回目の間: インタビューを行う	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
11回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー記事の例① インタビュー後: トランスクリプトと翻訳を作成する	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
12回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビュー記事の例② インタビュー後: トランスクリプトと翻訳を作成する	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
13回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの記事を書く	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
14回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック インタビューの記事を書く	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)
15回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: 結果発表 ※提出: インタビュー録音、トランスクリプト、記事	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する (30分)

	定期試験なし		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	特になし(プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材もする)
履修条件	特になし
履修上の注意	PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	

講義科目名称:英会話VI	授業コード:
英文科目名称:English Conversation VI	ナンバリング:CC801

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2	1	選択	演習 クラス分け
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
□二一、アーニー				

授業概要	This course builds on English Conversation I & II and aims to expand students' ability to hold conversations in English in a wide variety of topics. Listening and speaking skills are emphasized. Pair-work, group-work and presentations are used to develop and assess students' communication skills. 1年生の時に学んだ内容を基礎として、様々な話題で英会話できるようにさらに英語の知識を養う。主にスピーキング力とリスニング力に焦点を当てた授業を行う。本演習では、①教員に与えられたトピックについて熟考し起承転結を用いた発表ができる、②抽象的な話題・具体的な話題でも複雑な内容について自分の意思が伝達できる、③ 教員の助けを借りず率先してグループディスカッションを成立させ、幅広いテーマについてコミュニケーションが取れるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対する理解と共感力を持って、英語でコミュニケーションをとることができる。	授業と授業で行うグループワークへの参加・態度	25%
確かな専門的知識や技能	英語で身近な話題について主要な点を理解できる。また仕事、学校、娯楽など大抵な事態に対処することができ、その場面で自らの意思を伝え、相手の意思を理解することができる。	プロジェクト・発表課題	50% 25%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、プロジェクト・発表 50%、課題25%、グループディスカッションへの参加・態度 25%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:シラバス説明、課題説明、8Qのプロジェクト(料理教室通訳)	対面授業	予習:特になし 復習:料理教室の情報を見る (1時

	を説明する		間)
2回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の基礎、料理語彙	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
3回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、料理語彙	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
4回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、英語のレシピ	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
5回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、英語のレシピ	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
6回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
7回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、資料翻訳	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
8回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、資料翻訳	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
9回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック 通訳の練習、資料翻訳	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
10回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: 料理教室 リハーサル	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
11回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: 料理教室 リハーサル	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
12回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: 料理教室 リハーサル	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
13回目	料理教室(グループプロジェクト)	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
14回目	料理教室(グループプロジェクト)	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
15回目	Warm Up 日常英会話、課題チェック グループワーク: 料理教室の振り返り ※レポート提出: 料理教室振り返り	対面授業	予習: 英会話アプリ課題(30分) 復習: 課題で間違えたところを復習する(30分)
	定期試験なし		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	

教科書・参考書	特になし(プリント教材は授業中で指定し、ネット上にある教材もする)
履修条件	特になし
履修上の注意	料理教室の日程は変更になる場合があります。 PCやタブレットを持参してもいいです。
オフィスアワー	各先生によって異なります。クラスの担当の先生に確認してください。
備考・メッセージ	

講義科目名称:英語検定 I (初級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test I	ナンバリング:CC102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信			⑦	

授業概要	TOEIC200～400(英検3級～準2級)レベルを目指して学習します。高校までの文法の復習と同時に、検定問題に取り組みます。また、英単語力を高めるために、継続的に単語テストも実施します。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行います。並行して、高校までの文法の復習を行います。 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・クラス内タスク ・授業への参加・態度	・60% ・30% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験60%、クラス内タスク30%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。			

1回目	オリエンテーション:授業の進め方 受け身[受動態]① 受け身② 受け身③ 否定文と疑問文	対面授業	予習:1クォータで学修した内容と単語ノートを読み返し、理解しておく(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習す

			る(2時間)
2回目	現在完了形①経験用法 現在完了形②完了・結果用法 現在完了形③継続用法	対面授業	予習: 前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習: この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
3回目	現在完了進行形 現在完了形に否定文 現在完了形の疑問文と答え方	対面授業	予習: 前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習: この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
4回目	How longとHow many times 文型①(SV/SVC/SVO) 文型②(SVOO)	対面授業	予習: 前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習: この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
5回目	文型③(SVOC) 形式主語の文 疑問詞+to+動詞の原形	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	too～to...と～enough to ... want [would like] +人+to+動詞の原形 tell [ask] +人+to+動詞の原形	対面授業	予習: 前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習: この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
7回目	使役動詞と知覚動詞 間接疑問文 so～thatの文	対面授業	予習: 前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習: この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
8回目	感嘆文 付加疑問文 仮定法過去	対面授業	予習: 前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記

			入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
9回目	I wish+主語+動詞の過去形 仮定法過去完了 現在分詞	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
10回目	過去分詞 関係代名詞①主格のwho 関係代名詞②主格のwhich, that	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
11回目	関係代名詞③目的格のwhich, that 関係代名詞④目的格のthat, who	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
12回目	TOEIC演習問題1	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回の演習問題で間違った項目を再確認し、復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
13回目	TOEIC演習問題2	対面授業	予習:前回の演習問題で間違った項目を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回の演習問題で間違った項目を再確認し、復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)

14回目	TOEIC演習問題3	対面授業	予習: 前回の演習問題で間違った項目を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習: この回の演習問題で間違った項目を再確認し、復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
15回目	TOEIC演習問題4	対面授業	予習: 前回の演習問題で間違った項目を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習: この回の演習問題で間違った項目を再確認し、復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	英文法パターンドリル 英単語ノート 入門1700レベル 出る単特急銀のフレーズその他、TOEICや英検の過去問題
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう 授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだレッスンの復習をすること。

講義科目名称: 英語検定 I (中級)	授業コード:
英文科目名称: English Proficiency Test I	ナンバリング: CC102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山口				

授業概要	目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・授業への参加・態度	・60% ・30% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
・本授業では定期試験60%、小テスト30%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 導入: 品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習: 品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1 出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ: 単語テスト601-650 You're Beautiful	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ: 単語テスト651-700 I Want It That Way	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ: Supplement 3 The First Time	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ: Supplement 4 Complicated	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ: 単語テスト701-750 My Heart Will Go On	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ: 単語テスト751-800 With You	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ: 単語テスト801-850 Torn	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ: 単語テスト851-900 You Are Not Alone	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ: 単語テスト 901-950 You Gotta Be	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ: 単語テスト951-1000 How Crazy Are You?	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)

12回目	銀フレ: Supplement 6 1-50 Last Christmas	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ: Supplement 6 51-100 Desperado	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	銀フレ: 単語テスト501-550 All I Want For Christmas Is You	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ: 単語テスト551-600 Sunday Morning	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	Let's Learn English With Pop Hits! 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業前後の時間とする
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう 授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだレッスンの復習をすること。

講義科目名称:英語検定 I (中級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test I	ナンバリング:CC102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
ロニー				

授業概要	目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ: 単語テスト601-650 Day1: 人物の動作表現(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ: 単語テスト651-700 Day2: 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ: Supplement 3 Day3: 疑問詞で始まる疑問文(Part2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ: Supplement 4 Day4: Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ: 単語テスト701-750 Day5: ステートメント・付加疑問文(Part2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ: 単語テスト751-800 Day6: Day1~5の復習	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ: 単語テスト801-850 Day7: 品詞・代名詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ: 単語テスト851-900 Day8: 態・分詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ: 単語テスト 901-950 Day9: 接続詞・前置詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ: 単語テスト951-1000 Day10: 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	銀フレ: Supplement 6 1-50 Day11: Day7~10の復習	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ: Supplement 6 51-100 Day12: 店・ホテルでの会話(Part3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	Day13: 日常生活における会話(Part3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間)

			予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	Day14:オフィスでの会話①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	TOEIC L&R 書き込みドリル【全パート入門編】 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう

講義科目名称: 英語検定Ⅱ(中級)	授業コード:
英文科目名称: English Proficiency Test Ⅱ	ナンバリング: CC201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信			⑦	

授業概要	TOEIC 400-600レベル(英検準2級～2級)レベルを目指して学修します。同時に英単語力を高めるために、継続的に単語テストも実施します。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・クラス内でのタスク ・授業への参加・態度	・60% ・30% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験60%、クラス内でのタスク30%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 導入: 品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習: 品詞と英語の意味順を再確認する(2時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ: 単語テスト1-50 Day1: 人物の動作表現(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間)

			予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ: 単語テスト51-100 Day2: 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ: 単語テスト101-150 Day3: 疑問詞で始まる疑問文(Part2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ: 単語テスト151-200 Day4: Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ: 単語テスト201-250 Day5: ステートメント・付加疑問文(Part2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ: 単語テスト251-300 Day6: Day1~5の復習	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ: 単語テスト301-350 Day7: 品詞・代名詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ: 単語テスト351-400 Day8: 態・分詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ: 単語テスト Supplement 1 Day9: 接続詞・前置詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ: 単語テスト Supplement 2 Day10: 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	銀フレ: 単語テスト401-450 Day11: Day7~10の復習	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ: 単語テスト451-500 Day12: 店・ホテルでの会話(Part3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時

			間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	銀フレ: 単語テスト501-550 Day13: 日常生活における会話(Part 3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ: 単語テスト551-600 Day14: オフィスでの会話①	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	TOEIC L&R 書き込みドリル【全パート入門編】 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう 授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだレッスンの復習をすること。

講義科目名称: 英語検定Ⅱ(上級)	授業コード:
英文科目名称: English Proficiency Test Ⅱ	ナンバリング: CC201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
ロニー				

授業概要	目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 導入: 品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習: 品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	金フレ: 単語テスト1-50 人物の動作表現(Part1) 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	金フレ: 単語テスト51-100 品詞・代名詞(Part5) 態・分詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	金フレ: 単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文(Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2) ステートメント・付加疑問文(Part 2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	金フレ: 151-200 接続詞・前置詞(Part5) 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	金フレ: 単語テスト201-250 社内での会話(Part 3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	金フレ: 単語テスト251-300 説明とお知らせを読む(Part 6)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	金フレ: 単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる(Part 4)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	金フレ: 単語テスト351-400 広告、伝票を読む(Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む(Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)

12回目	金フレ: 単語テスト 401-450 模擬試験 Reading	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
13回目	金フレ: 単語テスト 451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
14回目	金フレ: 単語テスト601-650 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
15回目	金フレ: 単語テスト651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
数理・データサイエンス・ AI教育プログラムに関す る事項	
教科書・参考書	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう

講義科目名称: 英語検定Ⅱ(上級)	授業コード:
英文科目名称: English Proficiency Test Ⅱ	ナンバリング: CC201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
本土 源太郎				

授業概要	目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・授業への参加・態度	・60% ・30% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験60%、小テスト20%、課題10%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 導入: 品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習: 品詞と英語の意味順を再確認する(2時間)

			予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	金フレ: 単語テスト1-50 人物の動作表現(Part1) 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	金フレ: 単語テスト51-100 品詞・代名詞(Part5) 態・分詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	金フレ: 単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文(Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2) ステートメント・付加疑問文(Part 2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	金フレ: 151-200 接続詞・前置詞(Part5) 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	金フレ: 単語テスト201-250 社内での会話(Part 3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	金フレ: 単語テスト251-300 説明とお知らせを読む(Part 6)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	金フレ: 単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる(Part 4)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	金フレ: 単語テスト351-400 広告、伝票を読む(Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む(Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)

12回目	金フレ: 単語テスト 401-450 模擬試験 Reading	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
13回目	金フレ: 単語テスト 451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
14回目	金フレ: 単語テスト601-650 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
15回目	金フレ: 単語テスト651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
数理・データサイエンス・ AI教育プログラムに関す る事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用 方法を適宜教授する。
教科書・参考書	出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業前後の時間とする
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう 授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学 んだレッスンの復習をすること。

講義科目名称:英語検定Ⅲ(上級)	授業コード:
英文科目名称:English Proficiency Test Ⅲ	ナンバリング:CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信			⑦	

授業概要	TOEIC 600(英検2級)以上レベルを目指して学修します。同時に英単語力を高めるために、継続的に単語テストも実施します。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・クラス内の課題 ・授業への参加・態度	・60% ・30% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験60%、授業内タスク30%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・オリエンテーション ・Dining Out(前置詞) ・金フレ単語	対面授業	予習: 次のUnitの予習(2時間) 復習: このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
2回目	・Offices(形容詞) ・金フレ単語	対面授業	予習: 次のUnitの予習(2時間) 復習: このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
3回目	・General Business(接続詞)	対面授業	予習: 次のUnitの予習(2時間)

	・金フレ単語		復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
4回目	・Manufacturing(相関接続詞) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
5回目	・Communication(分詞構文) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
6回目	・Health(倒置) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
7回目	・Finance and Budgeting(受動態) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
8回目	・Entertainment(比較) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
9回目	・Purchasing(不定詞) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
10回目	・Corporate Development(副詞) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
11回目	・Technical Areas(関係代名詞) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
12回目	・Travel(複合関係詞) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
13回目	・Housing/Corporate Property(過去完了) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
14回目	・Personnel(使役) ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitの予習(2時間) 復習:このUnitの学習内容を振り返り、次の単語テストの準備を行う(2時間)
15回目	・Unit1-Unit14 総復習	対面授業	予習: 復習:総復習で間違ったところを確認し、理解する(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	「Best Practice for the TOEIC L&R TEST (Advanced)」Seibido ・出る単特急金のフレーズ
履修条件	

履修上の注意	教科書は教員が注文
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう 授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだレッスンの復習をすること。

講義科目名称: 英語検定Ⅲ(中級)	授業コード:
英文科目名称: English Proficiency Test Ⅲ	ナンバリング: CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
本土・山口				

授業概要	目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・授業への参加・態度	・60% ・20% ・20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験60%、小テスト20%、授業への参加・態度20%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 導入: 品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習: 品詞と英語の意味順を再確認する(2時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テスト

			トに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ: 単語テスト1-50 Dining Out	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ: 単語テスト51-100 General Business	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ: 単語テスト101-150 Manufacturing	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ: 151-200 Finance and Budgeting	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ: 単語テスト201-250 Communication	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ: 単語テスト251-300 Health	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ: 単語テスト301-350 Purchasing	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ: 単語テスト351-400 Personnel	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ: 単語テスト Supplement 1 Corporate Development	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ: 単語テスト Supplement 2 Entertainment	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	銀フレ: 単語テスト 401-450	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを

	Technical Areas		解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ: 単語テスト 451-500 Offices	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	銀フレ: 単語テスト601-650 Travel	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ: 単語テスト651-700 Housing / Corporate Property	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC L&R TEST -pre-intermediate-
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう 授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだレッスンの復習をすること。

講義科目名称: 英語検定Ⅲ(上級)	授業コード:
英文科目名称: English Proficiency Test Ⅲ	ナンバリング: CC502

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
ロニー				

授業概要	目安として(G1)英検 2 級以上(TOEIC 600以上)レベル、(G2)2 級(TOEIC 400-600)レベル、(G3)準 2 級レベル(TOEIC 400以下)に分け、それぞれ上のクラスに移動することを目標に、卒業時には全員がTOEIC 600以上を取得できるレベルに上げることを目標とする。テキストは Vocabulary, Idioms Grammar, Composition, Reading, Listening を含む英語総合問題集を使用する。かなりのスピードを必要とするので、十分の予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 導入: 品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習: 品詞と英語の意味順を再確認する(2時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス

			トに備える(1時間) p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	金フレ: 単語テスト1-50 人物の動作表現(Part1) 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	金フレ: 単語テスト51-100 品詞・代名詞(Part5) 態・分詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	金フレ: 単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文(Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2) ステートメント・付加疑問文(Part 2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	金フレ: 151-200 接続詞・前置詞(Part5) 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	金フレ: 単語テスト201-250 社内での会話 (Part 3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	金フレ: 単語テスト251-300 説明とお知らせを読む (Part 6)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	金フレ: 単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを聞きとる(Part 4)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	金フレ: 単語テスト351-400 広告、伝票を読む (Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む (Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	金フレ: 単語テスト Supplement 1 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	金フレ: 単語テスト 401-450	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを

	模擬試験 Reading		解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	金フレ: 単語テスト 451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	金フレ: 単語テスト601-650 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	金フレ: 単語テスト651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	公式TOEIC Listening & Reading 問題集 出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう

講義科目名称: 英語ライティング&文法 I (初級)	授業コード:
英文科目名称: English Writing & Grammar I	ナンバリング: CC302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信			⑦	

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場面で「使える」ようにステップアップすることを目標とする。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。十分な予習と復習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	高校までの復習として、文法理解と基本的なライティングの力をつける。 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・授業中のタスク ・授業への参加・態度	・60% ・30% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験60%、授業中タスク30%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。			

1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 不定詞① 名詞的用法、副詞的用法	対面授業	予習: 高校で使用した英文法のテキストに目を通しておく(2時間) 復習: この回で学修した内容を復習する(2時間)
2回目	不定詞② 形容詞的用法	対面授業	予習: 前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備

			をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
3回目	動名詞	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
4回目	接続詞① 等位接続詞	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
5回目	接続詞② if, because	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
6回目	接続詞③ when, before, after	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
7回目	接続詞 that	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
8回目	前置詞①	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備

			をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
9回目	前置詞②	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
10回目	形容詞	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
11回目	副詞	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
12回目	比較① 原級	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
13回目	比較② 比較級	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
14回目	比較③ 最上級	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備

			をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
15回目	比較級・最上級の慣用表現	対面授業	予習:前回の授業内容を復習し、同時に、次回の学修ページを予習する。理解が難しい箇所があればノートに記入して、授業中に質問する。また、次回の英単語単語ノート小テストの準備をする。(2時間) 復習:この回で学修した内容を復習する。また、英単語ノートの小テストで間違った単語を暗記す(2時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	英文法パターンドリル 中学全範囲 英単語ノート 入門1700語レベル
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう 授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだレッスンの復習をすること。

講義科目名称: 英語ライティング&文法 I (中級)	授業コード:
英文科目名称: English Writing & Grammar I	ナンバリング: CC302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山口 本土				

授業概要	15回の講義を積極的に受講すれば、英検2級レベルのライティングでハイスコアを狙えます。 テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・授業への参加・態度	・60% ・30% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。
- ・本授業では定期試験60%、小テスト30%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。
- ・15分以上の遅刻は欠席とします。
- ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。
- ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 導入: 品詞の理解	対面授業	復習: 品詞と英語の意味順を再確認する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
2回目	銀フレ: 単語テスト1-50	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを

	Introduce Yourself		解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ: 単語テスト51-100 Introduce Your Friends	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ: 単語テスト101-150 Write about Your Weekend	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ: 単語テスト151-200 Write about Your Part-time Job	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ: 単語テスト201-250 Write about Your Summer Plans	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ: 単語テスト251-300 Give Directions to Your House	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ: 単語テスト301-350 Write about Your Favorite Movie	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ: 単語テスト351-400 Write about Things You Enjoy	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ: 単語テストSupplement1 Write about Your Schoolwork	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ: 単語テストSupplement2 Give Your Ideas: How to Improve Your English	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	銀フレ: 単語テスト401-450 Explain Japanese Foods	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)

13回目	銀フレ: 単語テスト451－500 Give Your Ideas about Sports	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	銀フレ: 単語テスト501－550 Give Your Ideas about Social Media	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ: 単語テスト551－600 Write to Yourself 10 Years from Now	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	Let's write & Learn English! from sentence to paragraph 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業前後の時間とする
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう 授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだレッスンの復習をすること。

講義科目名称:英語ライティング&グラマー I	授業コード:
英文科目名称:English Writing & Grammar I	ナンバリング:CC302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
ロニー				

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場面で「使える」ようにステップアップすることを目指す。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する

	導入:品詞の理解、英語の意味順		(2時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)、p.10を読みPart1出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ:単語テスト1ー50 動詞について学ぶ① be動詞、一般動詞、3人称単数	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	銀フレ:単語テスト51ー100 動詞について学ぶ② 過去形、進行形	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	銀フレ:単語テスト101ー150 現在完了①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	銀フレ:単語テスト151ー200 現在完了②	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	銀フレ:単語テスト201ー250 助動詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	銀フレ:単語テスト251ー300 疑問詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	銀フレ:単語テスト301ー350 間接疑問文	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	銀フレ:単語テスト351ー400 感嘆文、付加疑問文	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	銀フレ:単語テストSupplement1 文の構造	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	銀フレ:単語テストSupplement2 不定詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	銀フレ:単語テスト401ー450 不定詞、動名詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ:単語テスト451ー500 分詞	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	銀フレ:単語テスト501ー550 比較①	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間)

			予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ:単語テスト551-600 比較②	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習:指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	高校基礎英文法パターンドリル 出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう

講義科目名称: 英語ライティング&文法Ⅱ(中上級)	授業コード:
英文科目名称: English Writing & Grammar II	ナンバリング: CC702

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信				

授業概要	このクラスでは、英語検定Ⅲや英語演習Ⅰに続き、TOEICの問題を中心に英語のライティング力と文法の理解を深めます。また、毎回、英文でジャーナルを書き、その内容を発表してもらいます。さらに、英単語力を向上させるために、定期的に単語テストも実施します。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力 確かな専門的知識 や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に、ライティングの力も養成します。 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。 5.Writing: 基本的な英文を正しく書くことができる。	・定期試験 ・授業内のタスク ・授業への参加・態度	・60% ・30% ・10%
異文化知識・対応 能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験60%、授業内タスク30%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 ・サンプル問題Part1～part7の確認と解説 ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: テキストのサンプル問題Part1-Part2を理解しておく。(1時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
2回目	・問題集TEST1(35問)と解説①	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1

	・英語でジャーナル作成 & 発表		時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
3回目	・問題集TEST1(35問)と解説② ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
4回目	・問題集TEST1(35問)と解説③ ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
5回目	・問題集TEST1(35問)と解説④ ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
6回目	・問題集TEST1(35問)と解説⑤ ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
7回目	・問題集TEST1(35問)と解説⑥ ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
8回目	・問題集TEST1の復習テスト	対面授業	復習: Test1の総復習をする(3時間) 予習: 間違ったところを再度整理し、暗記する(1時間)
9回目	・問題集TEST2(35問)と解説① ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
10回目	・問題集TEST2(35問)と解説② ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
11回目	・問題集TEST2(35問)と解説③ ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
12回目	・問題集TEST2(35問)と解説④ ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1時間) 復習: 学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
13回目	・問題集TEST2(35問)と解説⑤ ・英語でジャーナル作成 & 発表	対面授業	予習: 前回の授業内容を整理する(1時間)

			復習:学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
14回目	・問題集TEST2(35問)と解説⑥ ・英語でジャーナル作成&発表	対面授業	予習:前回の授業内容を整理する(1時間) 復習:学修した内容、特に新たにしれえた知識、間違った箇所などをノートに整理し、正しく暗記する。(2時間)
15回目	・問題集TEST2の復習テスト	対面授業	復習:Test2の総復習をする(3時間) 予習:間違ったところを再度整理し、暗記する(1時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	「公式TOEIC Listening & Reading 問題集10」 * TOEIC L&Rテスト文法問題 * 公式TOEIC Listening & Reading(リーディング編、リスニング編) * 出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう。 予習復習は、確実に行ってください。

講義科目名称: 英語ライティング&文法Ⅱ(中級)	授業コード:
英文科目名称: English Writing & Grammar II	ナンバリング: CC702

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
ロニー				

授業概要	本授業では高校まで学んだ基礎英文法を再学習しながら、その知識を実際に話したり、書いたりする場面で「使える」ようにステップアップすることを目標とする。自らが文法のルールに気づき、理解するためにタスク活動も多く取り入れる。かなりのスピードを必要とするので、十分な予習が必要となる。テキストを中心に演習していくが、随時レベルに応じたプリント教材を使用する。3人の教員で、レベル別に授業を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・課題 ・授業への参加・態度	・50% ・20% ・20% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 不定詞① 名詞的用法、副詞的用法	対面授業	復習: 品詞と英語の意味順を再確認する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
2回目	不定詞②	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを

	形容詞的用法		解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
3回目	動名詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
4回目	接続詞① 等位接続詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
5回目	接続詞② if, because	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
6回目	接続詞③ when, before, after	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
7回目	接続詞 that	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
8回目	前置詞①	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
9回目	前置詞②	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
10回目	形容詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
11回目	副詞	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
12回目	比較① 原級	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)

13回目	比較② 比較級	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習:指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
14回目	比較③ 最上級	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習:指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
15回目	比較級・最上級の慣用表現	対面授業	復習:テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習:指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
数理・データサイエンス・ AI教育プログラムに関す る事項	
教科書・参考書	英文法パターンドリル 中学全範囲
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業内で説明する
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう

講義科目名称: 英語演習 I	授業コード:
英文科目名称: General English I	ナンバリング: CC602

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5・6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信			⑦	

授業概要	このクラスでは、英語検定Ⅲに引き続き、TOEIC 600(英検2級)以上レベルを目指して学修します。同時に英単語力を高めるために、継続的に単語テストも実施します。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・クラス内の課題 ・授業への参加・態度	・60% ・30% ・10%
異文化知識・対応 能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験60%、授業内タスク30%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: 授業の進め方 ・Restaurants ・金フレ単語	対面授業	予習: 次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習: このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
2回目	・Offices ・金フレ単語	対面授業	予習: 次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間)

			復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
3回目	•Daily Life •金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
4回目	•Personnel •金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
5回目	•Shopping •金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
6回目	•Finances •金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
7回目	•Transportation •金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
8回目	•Technology •金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
9回目	•Health •金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
10回目	•Travel •金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
11回目	•Business •金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間)

			復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
12回目	・Entertainment ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
13回目	・Education ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
14回目	・Housing ・金フレ単語	対面授業	予習:次のUnitを予習する。また、単語テストの準備をする。(2時間) 復習:このUnitで学修した内容の確認作業と、新たに学んだ内容、間違った項目をノートに整理する。(2時間)
15回目	・Unit1-14 総復習 ・金フレ単語		予習: 復習:そう復習で理解での課題を復習し、定期試験の準備を行う。(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	「コミュニケーションスキルが身に付くTOEIC® L&R TEST＜上級編＞Seibido ・出る単特急金のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう 予習復習は確実にこなうこと

講義科目名称:英語演習 I	授業コード:
英文科目名称:General English I	ナンバリング:CC602

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5・6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
本土 源太郎				

授業概要	TOEICの受験に必要な英語力を身につけ、TOEICの試験形式や問題解決技術を理解していく。また、ビジネスシーンに必要な英語表現やコミュニケーション能力を向上させることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	TOEICの「Listening」「Reading」強化を中心に行う: 1.Vocabulary、Idiom: 語彙やイディオムを正しく理解し、増やすことができる。 2.Grammar: 苦手とする文法を理解することができる。 3.Reading: 英文読解の精度とスピードを高めることができる。 4.Listening: 正確に英語を聞き取ることができる。	・定期試験 ・小テスト ・授業への参加	・60% ・30% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・授業に関する質問は授業内ほかオフィスアワー、Googleクラスルームで受け付けます。 ・本授業では定期試験60%、小テスト20%、課題10%、授業への参加・態度10%の割合で評価します。 ・15分以上の遅刻は欠席とします。 ・授業に関係のない私語や居眠り、許可のない携帯電話の使用は口頭で注意の上、改まらない場合は減点対象とします。 ・必要な場合、遠隔での授業を行う場合もあります。 ・要求されたTOEICスコアをクリアした場合は定期試験を満点とします。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション:授業の進め方 導入:品詞の理解、英語の意味順	対面授業	復習:品詞と英語の意味順を再確認する(2時間) 予習指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)、p.10を読みPart1

			出題形式を理解する(1時間)
2回目	銀フレ: 単語テスト1-50 人物の動作表現(Part1) 物に関する描写(Part1)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
3回目	銀フレ: 単語テスト51-100 品詞・代名詞(Part5) 態・分詞(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
4回目	銀フレ: 単語テスト101-150 疑問詞で始まる疑問文(Part2) Yes/No疑問文・選択疑問文(Part2) ステートメント・付加疑問文(Part 2)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
5回目	銀フレ: 151-200 接続詞・前置詞(Part5) 語彙問題・その他(Part5)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
6回目	銀フレ: 単語テスト201-250 社内での会話 (Part 3)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
7回目	銀フレ: 単語テスト251-300 説明とお知らせを読む (Part 6)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
8回目	銀フレ: 単語テスト301-350 スピーチ、電話のメッセージ、お知らせを 聞きとる(Part 4)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
9回目	銀フレ: 単語テスト351-400 広告、伝票を読む (Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
10回目	銀フレ: 単語テスト Supplement 1 1-50 記事、E-mailを読む (Part 7)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
11回目	銀フレ: 単語テスト Supplement 51-100 模擬試験 Listening	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間) 予習: 指定した単語を学習し、小テス トに備える(1時間)
12回目	銀フレ: 単語テスト 401-450 模擬試験 Reading	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを 解いて次回の授業で提出する(3時 間)

			予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
13回目	銀フレ: 単語テスト 451-500 模擬試験解説(リスニングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
14回目	銀フレ: 単語テスト 601-650 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
15回目	銀フレ: 単語テスト 651-700 模擬試験解説(リーディングパート)	対面授業	復習: テキストの音読と復習プリントを解いて次回の授業で提出する(3時間) 予習: 指定した単語を学習し、小テストに備える(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	出る単特急銀のフレーズ
履修条件	
履修上の注意	教科書は教員が注文する
オフィスアワー	授業前後の時間とする
備考・メッセージ	課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行なう 授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだレッスンの復習をすること

講義科目名称：英語演習Ⅱ	授業コード：
英文科目名称：General English Ⅱ	ナンバリング：CC802

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信				

授業概要	この授業では、NHK World Japan で扱われる最新ニュースや文化を取り上げ、毎回異なる英文記事を読みながら内容を理解し、読解力を向上させます。身近な話題を英語で学ぶことで、リスニング力も高め、英語検定試験やTOEICのリスニング・読解対策にも役立ちます。さらに、TOEIC L&R テストで頻繁に出題される文法問題を徹底的に学習します。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1) 英語学習への動機付け：英語を学ぶことのメリットをイメージでき、継続して自ら学びたいと思う気持ちを持てるようにする。 2) 読解：単語・フレーズを覚え、正しく英文を読解できるようにする。 3) 音読：正確に英語を読めるようにする。 4) 専門用語、日常の英語表現を理解できる。	・ 定期試験 ・ 授業内課題 ・ 授業への参加・態度	70% 20% 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・ 授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroom も活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 ・ 15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	イントロダクション：授業の進め方 ・ 授業の内容と進め方の説明 ①NHK World-JAPAN News の記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う（2時間） 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分

			をノートに書き出し復習する。 (2時間)
2回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
3回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
4回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
5回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
6回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間) 7
7回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
8回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分

			をノートに書き出し復習する。 (2時間)
9回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
10回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
11回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
12回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
13回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
14回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分をノートに書き出し復習する。 (2時間)
15回目	①NHK World-JAPAN Newsの記事読解 ②TOEIC L&R テスト文法問題 36 問	対面授業	予習：次の文法問題の予習を行う (2時間) 復習：扱った英文記事の内容を再度確認し、文法問題の苦手な部分

			をノートに書き出し復習する。 (2時間)
16回目	期末テスト	対面授業	授業外学修時間 60時間

科目（教職課程用）	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI 教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AI を活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICT の活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	TOEIC L&R テスト文法問題 （アスク出版） *NHK World-Japan News
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日（14：50－18：00） *その他、空きコマ（研究室ドアに掲示）も可
備考・メッセージ	授業前に、知らない単語やフレーズを調べる予習を必ず行うこと。また、授業後は、学んだレッスンの復習をすること。

講義科目名称: 英語演習 II	授業コード:
英文科目名称: General English II	ナンバリング: CC802

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7・8Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
ロニー				

授業概要	This course focuses on teaching students the skills they need for self-study and improving their English beyond the classroom. Students may choose their own areas of English to focus on, while learning the study methods, techniques and habits required to take their English ability to the next level. アクティブラーニングでは、自学自習に必要なスキルを教え、教室外での英語力向上を目指した授業を行う。本演習は、①学生各自の英語の苦手な分野或いは勉強したい分野を選択し上達させること、②英語力を次のレベルに引き上げるために必要な学習方法、スキルを学び、日常的に使えるようになること、③オンラインツールやリソースを利用し、英語に触れる機会を増やし英語の世界との関わりを広げ深めることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	英語で、比較的身近な話題について必要な語彙を用いて筋の通った文章を書くことができる。関心のある話題について明確で情報を伝えることができる。	・ディスカッション ・実習	・30% ・20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案することができ、やるべきことを積極的に取り組むことができる。	・Unit レポート ・Festival レポート	・40% ・10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
1) 授業に関する質問は直接のほかGoogle Classroomでも受け付けます。 2) 本授業では、ディスカッション・実習 50%、レポート50%の割合で評価します。 3) 課題の提出は授業中またはGoogle Classroomを使って行い、フィードバックはGoogle Classroomに載せます。 4) 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 5) 15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: シラバス、授業の進め方を説明する。Unit 1: Music—英語の歌詞を勉強する、会話と歌詞の言葉使いの差を理解します。	対面授業	予習: 特になし 復習: Unit1のノートをまとめ、好きな歌をいくつか選べます(1時間)
2回目	Unit 1: Music—自主学習活動: 個人で好きな	対面授業	復習: Unit1の曲を勉強して、リス

	英語の歌の歌詞をウェブで調べて勉強する。		ニングをする(1時間) 実習宿題をする(3時間)
3回目	Unit 1: Music—自主学習活動:個人で好きな英語の歌の歌詞をウェブで調べて勉強する。その英語について短い発表を準備する。	対面授業	復習:Unit1の発表準備をしあげて、発表を練習しておく(1時間)、実習宿題をする(3時間)
4回目	Unit 1: Music(ディスカッション) Unit 1のディスカッションを行い、レポートを書きます。	対面授業	復習:Unit1の新しい単語と文法をまとめて復習する(1時間)、実習宿題をする(3時間)
5回目	October Festival Event: Halloween 英語圏の祭りの歴史、習慣、アクティビティを勉強します。レポートを書きます。	対面授業	予習:Classroomにある資料を見ておく(30分) 復習:新しい単語と文法をまとめて復習する(30分)、実習宿題をする(3時間)
6回目	November Festival Event: Guy Fawkes Day 英語圏の祭りの歴史、習慣、アクティビティを勉強します。レポートを書きます。	対面授業	予習:Classroomにある資料を見ておく(30分) 復習:新しい単語と文法をまとめて復習する(30分)、実習宿題をする(3時間)
7回目	Unit 2: Cooking—英語のレシピを紹介し、レシピでよく使う英語を勉強する(料理で使う動詞、指示の文法など)	対面授業	復習:Unit 2のノートをまとめ、好きなレシピをいくつか選べます(1時間)、実習宿題をする(3時間)
8回目	Unit 2: Cooking—自主学習活動:グループでレシピを選んで、その英語を勉強し、料理実習のため準備する。	対面授業	復習:Unit 2のレシピを勉強して、新単語を覚えておく(1時間)、実習宿題をする(3時間)
9回目	Unit 2: Cooking—自主学習活動:グループでレシピを選んで、その英語を勉強し、料理実習のため準備する。	対面授業	復習:Unit 2のレシピを勉強して、新単語を覚えておく(1時間)、実習宿題をする(3時間)
10回目	Unit 2: Cooking(実習 第10～11回目) コミュニティセンターの料理室で、選んだ英語のレシピを使い、料理してみる。レポートを書きます(宿題)。	対面授業	予習:レシピの英語を復習する(1時間)、実習宿題をする(3時間)
11回目	Unit 2: Cooking(実習 第10～11回目) コミュニティセンターの料理室で、選んだ英語のレシピを使い、料理してみる。レポートを書きます(宿題)。	対面授業	復習:Unit2の新しい単語と文法をまとめて復習する、レポートを書きます。(1時間)実習宿題をする(3時間)
12回目	Unit 3: TV & Movies—英語圏の現代テレビや映画を紹介し、それで使われている英語を勉強する	対面授業	復習:Unit 3のノートをまとめ、好きなテレビ番組や映画をいくつか選べます(1時間)実習宿題をする(3時間)
13回目	Unit 3: TV & Movies—自主学習活動:個人で英語圏のテレビや映画を探し、興味あるものの英語を調べて勉強する。	対面授業	復習:Unit 3の動画を勉強して、リスニングをする(1時間)実習宿題をする(4時間)
14回目	Unit 3: TV & Movies—自主学習活動:個人で英語圏のテレビや映画を探し、興味あるものの英語を調べて勉強する。その英語について短い発表を準備する。	対面授業	復習:Unit 3の動画を勉強して、新単語を覚えておく(1時間)実習宿題をする(4時間)
15回目	Unit 3: Modern Media(ディスカッション) Unit 3のディスカッションを行い、レポートを書きます。	対面授業	予習:Unit 3の発表準備をしあげて、発表を練習しておく(1時間)実習宿題をする(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規	

則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	特になし(プリント教材は授業中で指定する)
履修条件	特になし
履修上の注意	ウェブやオンラインの資料を利用することが多いので、可能であればノートパソコンやタブレットを授業に持参してください。
オフィスアワー	
備考・メッセージ	

講義科目名称: 中国語基礎 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC104

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
井上 麗奈			①②③④⑤⑦	

授業概要	本講義は中国語初級者を対象としている。中国語の基礎である声調やピンインを学んだ上、日常会話や基礎文法を習得し、中国語の四技能である聴く、話す、読む、書くことが身につく、中国語や漢字圏の方とコミュニケーションができる。また、中国の文化、歴史、習慣、流行などを知ることによって、中国のことがより一層理解を深めることが目標とする。また、前期終了時には中国語の検定であるHSK(漢語水平考試) 1級に合格ができる。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。	・授業態度・授業や演習への参加度	5%
専門的知識や技能	・ピンインや声調の読み、書き、聞き取りができる。 ・簡単な日常会話を聞く、話すことができる。 ・日常会話で使う漢字を書くことができる。	・定期試験	30%
異文化知識・対応能力	・中国および漢字圏の中国語の表現を理解することができる。 ・中国語の検定、HSK1級に合格できる。	・課題レポート	5%
課題解決能力	・自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。 ・自分の意思を相手に伝えることができる。 ・中国語で自己紹介ができる。	・発表 ・小テスト	20% 20%
キャリアデザイン力	・中国の文化や歴史、習慣などを習得することができる。 ・中国の流行について理解することができる。	・中間試験	20%
合計			100%
補足事項			
小テスト(20%)は不定期に行い、主に学習した単語や文法とする。中間試験(20%)は、第9回目に1回行う。学習した基礎知識、授業内容の理解度の確認を主とする。定期試験(30%)は、筆記試験とし、教科書や資料等の持込み不可。課題レポート(5%)授業中に指示し、提出後添削を行い、翌週に返却する。未提出者や再提出が必要な場合、提出日を指定する。発表(20%)は、授業中に指示する。主に、発音の確認とする。授業態度・授業や演習への参加度(5%)は、出席回数や授業中の私語などで評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・授業の流れと中国語について簡単な説明 ・声調、ピンインについての説明および発声のコツ	対面授業	予習:教科書の構成を把握する。 復習:声調
2回目	ピンイン①・単母音、子音	対面授業	予習:母音(単母音)、子音

			復習: 単母音、子音
3回目	ピンイン②複母音、声調	対面授業	予習: 母音 復習: 母音、軽声
4回目	知って便利な呼び方・挨拶	対面授業	予習: P10～11 復習: 挨拶(P11)
5回目	第1課 自己紹介① ・文法(人称代名詞、是、呢、也、 请)	対面授業	予習: 文法(P13) 復習: 文法(P13)
6回目	第1課 自己紹介② ・会話、リスニング1	対面授業	予習: 会話、リスニング1 復習: 会話
7回目	第2課 これは何ですか① ・文法(指示代名詞、疑問詞を表す 吗、否定を表す不、疑問詞什么、 的)	対面授業	予習: 文法(P17) 復習: 文法(P17)
8回目	第2課 これは何ですか② ・会話、リスニング2	対面授業	予習: 会話、リスニング 復習: 会話
9回目	中間テスト	対面授業	予習: 第1～8回目の内容 復習: 中間テストで間違ったところ
10回目	第3課 これはいかがですか① ・文法(指示代名詞2、形容詞述語 文、疑問詞怎么样)	対面授業	予習: 文法(p21) 復習: 文法(p21)
11回目	第3課 これはいかがですか② ・会話、リスニング3	対面授業	予習: 会話 復習: 会話
12回目	第4課 買い物① ・数詞 ・文法(助詞吧、数量を表すい語)	対面授業	予習: 数詞、文法(P25) 復習: 数詞、文法
13回目	第4課 買い物② ・会話、リスニング4	対面授業	予習: 会話 復習: 会話
14回目	第5課 どこにありますか① ・文法(場所指示代名詞、動詞在、 助動詞想)	対面授業	予習: 文法(P29) 復習: 文法
15回目	第5課 どこにありますか② ・会話、リスニング4 ・総まとめ	対面授業	予習: 会話 復習: 今までのノートやプリントを見直す
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書: 塚本慶一・劉穎 『1年生のコミュニケーション中国語』白水社 参考書: 郭春貴・郭久美子『品詞別・例文で覚えるHSK基本語彙 1～4級』白帝社
履修条件	初級者であること
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを必ず復習、予習する。課題は必ず指示した日時に提出し、添削後、翌週に返却する。小テスト、中間テストのほか、課題の提出や発表、授業態度など総合的に評価する。なお、授業を5回欠席した場合、受験資格がなくなり、遅刻3回した場合、一回の欠席と見做す。

オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	継続は力なり

講義科目名称: 中国語基礎 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC104

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の基礎的な聞き取る力を身に付け、非常に簡単な単語とフレーズを理解および使用し、具体的なコミュニケーションが行えるようにする。HSK3級における文や単語を正確に聞き取り、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。	・授業態度・授業や演習への参加度	5%
専門的知識や技能	・ピンインや声調の読み、書き、聞き取りができる。 ・簡単な日常会話を聞く、話すことができる。 ・日常会話で使う漢字を書くことができる。	・定期試験	30%
異文化知識・対応能力	・中国および漢字圏の中国語の表現を理解することができる。 ・中国語の検定、HSK1級に合格ができる。	・課題レポート	5%
課題解決能力	・自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。 ・自分の意思を相手に伝えることができる。 ・中国語で自己紹介ができる。	・発表 ・小テスト	20% 20%
キャリアデザイン力	・中国の文化や歴史、習慣など習得することができる。 ・中国の流行について理解することができる。	・中間試験	20%
合計			100%

補足事項	
1. 課題提出を必ず行ってください。 2. 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3. 授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4. 学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、 ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・授業の流れと中国語について簡単な説明 1. HSKIについて紹介 2. 語学力の確認 3. 基礎的な知識復習	対面授業	予習: 教科書の構成を把握する。 復習: 高校で学んだ文法

2回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
4回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
5回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
6回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
7回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
8回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
9回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
10回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
11回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
12回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
13回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
14回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.小テスト	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
15回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習	対面授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)

	3.発音練習 4.小テスト		
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	中国語基礎Ⅱ・Ⅲを履修したこと
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK4 級の合格を目指して頑張りましょう!また、また、「中国百科検定」の初級、HSKKの初級・中級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語基礎Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC105

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
井上 麗奈			①②③④⑤⑦	

授業概要	本講義は中国語基礎Ⅰの続きであるため、中国語基礎Ⅰを履修したことを条件とする。中国語の基礎である声調やピンインを確実に身につけた上、さらなる難易度が高い単語、会話、文法を習得する。中国語の四技能である聴く、話す、読む、書くことがさらに上達し、様々な場面において、中国語や漢字圏の方とコミュニケーションができる。また、中国の文化、歴史、習慣、流行などを知ることによって、中国のことがより一層理解を深めることが目標とする。また、後期終了時には中国語の検定であるHSK(漢語水平考試)2級に合格ができる。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・様々な場面において、自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。 ・自分の意思を相手に伝えることができる。	・発表 ・小テスト	20% 20%
専門的知識や技能	・ピンインや声調の読み、書き、聞き取りが確実に身につくことができる。 ・簡単な日常会話を聞く、話すことができる。 ・日常会話で使う漢字を書くことができる。	・定期試験	40%
異文化知識・対応能力	・中国の文化や歴史、習慣など習得することができる。 ・中国の流行について理解することができる。	・課題レポート	10%
課題解決能力	中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。	・中間試験	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
小テスト(20%)は不定期に行い、主に学習した単語や文法とする。中間試験(10%)は、第8回目に1回行う。学習した基礎知識、授業内容の理解度の確認を主とする。定期試験(30%)は、筆記試験とし、教科書や資料等の持込み不可。課題レポート(10%)授業中に指示し、提出後添削を行い、翌週に返却する。未提出者や再提出が必要な場合、提出日を指定する。発表(20%)は、授業中に指示する。主に、発音の確認をする。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・オリエンテーション ・中国語ⅠAの学習内容	対面授業	予習: 中国語ⅠAで学習した文法 復習: 確認テストで間違ったところ
2回目	第6課 何がありますか①	対面授業	予習: 文法(P33) 復習: 文法
3回目	第6課 何がありますか②	対面授業	予習: 会話 復習: 会話

4回目	第7課 ホテルにチェックイン①	対面授業	予習: 文法 (P37) 復習: 文法
5回目	第7課 ホテルにチェックイン②	対面授業	予習: 会話 復習: 会話
6回目	第8課 何時に行きますか①	対面授業	予習: 文法 (P41) 復習: 文法
7回目	第8課 何時に行きますか②	対面授業	予習: 会話 復習: 会話
8回目	中間テスト	対面授業	予習: 第6～8課の文法、会話 復習: 中間テストの再確認
9回目	第9課 タクシーに乗る①	対面授業	予習: 文法 (P45) 復習: 文法
10回目	第9課 タクシーに乗る②	対面授業	予習: 会話 復習: 会話
11回目	第10課 試着と支払い①	対面授業	予習: 文法 (P49) 復習: 文法
12回目	第10課 試着と支払い②	対面授業	予習: 会話 復習: 会話
13回目	第11課 苦情を訴える	対面授業	予習: 文法 (P53) 復習: 文法、会話
14回目	第12課 紛失届を出す	対面授業	予習: 文法 (P57) 復習: 文法、会話
15回目	総まとめ	対面授業	予習: 今までのノートやプリントに目を通す 復習: 試験に備え勉強する
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書: 塚本慶一・劉穎 『1年生のコミュニケーション中国語』白水社 参考書: 郭春貴・郭久美子『品詞別・例文で覚えるHSK基本語彙 1～4級』白帝社
履修条件	中国語基礎 I を履修したこと
履修上の注意	毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを必ず復習、予習する。課題は必ず指示した日時に提出し、添削後、翌週に返却する。小テスト、中間テストのほか、課題の提出や発表、授業態度など総合的に評価する。なお、授業を5回欠席した場合、受験資格がなくなり、遅刻3回した場合、一回の欠席と見做す。 質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
オフィスアワー	継続は力なり
備考・メッセージ	

講義科目名称: 中国語基礎Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC105

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
松浦 百恵				

授業概要	本講義は中国語基礎Ⅰの続きであるため、中国語基礎Ⅰを履修したことを条件とする。授業では、中国語の中下級程度の聞き取る力を身に付け、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的流暢に話せるようにする。授業では、HSK3級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回口頭試験を行う。また、後期終了時には中国語の検定であるHSKK(中国語口頭試験)初級に合格ができる。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・様々な場面において、自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。 ・自分の意思を相手に伝えることができる。	・発表 ・会話テスト	20% 20%
専門的知識や技能	・ピンインや声調の読み、書き、聞き取りが確実に身につくことができる。 ・簡単な日常会話を聞く、話すことができる。 ・日常会話で使う漢字を書くことができる。	・定期試験	40%
異文化知識・対応能力	・中国の文化や歴史、習慣など習得することができる。 ・中国の流行について理解することができる。	・課題レポート	10%
課題解決能力	中国語を学び、中国の方がコミュニケーションの取り方、中国の文化や習慣を理解することができる。	・中間試験	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
1. 課題提出を必ず行ってください。 2. 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3. 授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4. 学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、 ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・オリエンテーション 1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2回目	1.HSK3級の単語を学ぶ	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間)

	2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験		時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
4回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
5回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
6回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
7回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
8回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
9回目	第1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
10回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
11回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
12回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
13回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
14回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級)	対面授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布し

	4.口頭試験		た読解問題。(2.5時間)
15回目	1.HSK3級の単語を学ぶ 2.聞き取り練習 3.発音練習 (HSKK初級) 4.口頭試験	対面授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。 ★HSKKに関する参考書 中国教育部中外語言交流合作中心『中国語検定公式過去問集口試2021年度』株式会社スプリックス
履修条件	中国語基礎Ⅰ・Ⅲを履修したこと
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK4級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の初級、HSKKの初級・中級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語基礎Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC106

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語基礎Ⅰ・Ⅱの学習を踏まえ、更に中国語の基礎的な聞き取る力と読解力を身に付け、身近な日常生活の話題について簡単に直接的な交流ができるようにする。授業では、第1回から第6回まではHSK3級の聞き取りを中心に行い、第7回から第15回からは読解を中心に行う。そして、HSK3級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。さらに、中国の地理、歴史、文化・芸術・風俗習慣などを学んでいく、「中国通」になることを到達目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・様々な場面において、自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。 ・自分の意思を相手に伝えることができる。	・発表 ・小テスト	20% 20%
専門的知識や技能	・ピンインを正確に発音できる。 ・一つの文を一息で発音できる。 ・HSK3級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 ・HSK3級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	・発音練習 ・定期試験	・10% ・30%
異文化知識・対応能力	・中国百科検定の問題に合格できる	・百科問題理解度	・10%
課題解決能力	・自ら積極的にコミュニケーションをとることができる。 ・自分の意思を相手に伝えることができる。 ・中国語で自己紹介ができる。	・課題提出	・10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
1. 課題提出を必ず行ってください。 2. 必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3. 授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4. 学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間

1回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
2回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
3回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
4回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
5回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
6回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課～第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
7回目	1.読解の問題を解く 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題を解く	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
8回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
9回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
10回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
11回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
12回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)
13回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5時間)

14回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解・中国語百科問題。(2.5 時間)
15回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.中国百科検定練習問題	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4 時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。(主に以下の教科書を参考) ★教科書:HSK3級 ①相原茂著『Whyに答えるはじめての中国語の文法書』同学社 ②劉穎・喜多山幸子・松田かの子『1冊目の中国語 会話クラス』白水社 ③宮岸雄介『中国語検定HSK公認テキスト3級』株式会社スプリックス ④郭春貴・郭久美子『品詞別・例文で覚えるHSK基本語彙1～4級』白帝社 ★参考書:中国百科検定 ①日中中国友好協会『中国百科検定問題集』めこん社 ②日中中国友好協会『中国百科一未来の為に中国を知る』めこん社
履修条件	中国語基礎Ⅰ・Ⅱを履修したこと
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK4級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の初級、HSKKの初級・中級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語基礎Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC106

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
井上 麗奈				

授業概要	中国語基礎Ⅲでは、中級レベルの中国語を学習する。様々なテーマを用いた長文を音読し、新しい単語や文法を身につけることができる。終了時には、hsk3級に合格することができるように、会話、語彙、文法を総合的に学習する。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	中国の文化をより一層、理解することができる。	授業参加、授業態度	10%
専門的知識や技能	中上級者が使う文法や単語、会話を身につけることができる。	中間テスト 定期テスト	5% 60%
異文化知識・対応能力	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。	発表	5%
課題解決能力	中上級者が使う文法や単語、会話を身につけることができる。	レポート	10%
キャリアデザイン力	積極的に学習する姿勢が身につけることができる。	課題提出	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・授業の進め方、履修するにあたり、注意事項や心構えについて説明する。	対面授業	予習: 検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて(2時間) 復習: 確実に合格するためのプランを立てる(2時間)
2回目	第1課 朋友 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	対面授業	予習: 3級の単語(2時間) 復習: 新出単語と文法(2時間)
3回目	第2課 隐私 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	対面授業	予習: 3級の単語(2時間) 復習: 新出単語と文法(2時間)
4回目	第3課 外人 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義(オンライン等の対応可)	予習: 3級の単語(2時間) 復習: 新出単語と文法(2時間)

5回目	第4課 邻居 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義(オンライン等の対応可)	予習:3級の単語(2時間) 復習:新出単語と文法(2時間)
6回目	第5課 过年 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義(オンライン等の対応可)	予習:3級の単語(2時間) 復習:新出単語と文法(2時間)
7回目	・中間スト。 ・答え合わせ。 ・解説	面接講義(オンライン等の対応可)	予習:3級の単語(2時間) 復習:間違った問題を再確認する(2時間)
8回目	第6課 结婚 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	対面授業	予習:3級の単語(2時間) 復習:新出単語と文法(2時間)
9回目	第7課 競争 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義(オンライン等の対応可)	予習:3級の単語(2時間) 復習:新出単語と文法(2時間)
10回目	第8課 幸福 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義(オンライン等の対応可)	予習:3級の単語(2時間) 復習:新出単語と文法(2時間)
11回目	第9課 情侶 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義(オンライン等の対応可)	予習:3級の単語(2時間) 復習:新出単語と文法(2時間)
12回目	第10課 家教 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義(オンライン等の対応可)	予習:3級の単語(2時間) 復習:新出単語と文法(2時間)
13回目	第11課 矛盾 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義(オンライン等の対応可)	予習:3級の単語(2時間) 復習:新出単語と文法(2時間)
14回目	第12課 留学 ・本文を音読する。日本語訳する。 ・文法や新出単語を学ぶ。	面接講義(オンライン等の対応可)	予習:3級の単語(2時間) 復習:新出単語と文法(2時間)
15回目	総まとめする。	対面授業	予習:今まで学習した内容やプリントを再確認する(2時間) 復習:テスト勉強する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	特に指定しない。授業内容に合わせて、プリントを配布する。
履修条件	
履修上の注意	毎回必ず予習、復習を行うこと。
オフィスアワー	質問やメッセージを紙に書き、事務局にある井上ボックスに入れておくこと。
備考・メッセージ	毎日予習、復習をきちんと行い、根気よく、継続して学習してください。

講義科目名称: 中国語会話 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	1単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の初級程度の聞き取る力を身に付け、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、主にHSK3級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。 また、日常的话题について流暢にコミュニケーションが行なえるようになるため、HSKK「汉语水平口语考试 Hànyǔ shuǐpíng kǒuyǔ kǎoshì」の初級・中級に挑戦する。なお、毎回グループ発表を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と轻声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK3級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4.4.HSKK初級の問題に対応できる	・発音練習 ・課題提出 ・定期試験 ・グループ発表	・10% ・10% ・60% ・20%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
2回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習

	2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表		習。(1.5 時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
3回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
4回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
5回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
6回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
7回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
8回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
9回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
10回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第 10 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
11回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第 11 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
12回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第 12 課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
13回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
14回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.グループ発表	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
15回目	1.HSK3 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。 これまでの授業の復習。(4 時間)

	4.グループ発表		
16回目	定期試験		授業外学修 15時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください。
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	1年間で最低HSK3級、できればHSK4 級の合格を目指して頑張りましょう!また、また、「中国百科検定」の初級、HSKKの初級・中級にも挑戦しましょう!

講義科目名称: 中国語会話 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	1単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
井上 麗奈 / 松浦 百恵			①②③④⑤⑦	

授業概要	中国語の基本である発声(ピンイン)を習得した上で、講義では文法と会話を交互に学習し、中国語の日常会話に必要な単語や基本文法を学ぶ。 本講義終了時、中国語で、自己紹介や日常会話ができる。また、中国語検定1級に合格することができる。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	中国語を学ぶと同時に、中国の文化を理解することができる。	授業参加	5%
専門的知識や技能	・中国語の発音を正確にできる。 ・文法を使って簡単な文が書ける。	・定期試験 ・小テスト	60% 5%
異文化知識・対応能力	簡単な日常会話ができる。	積極的に中国語で発話する	10%
課題解決能力	簡単な自己紹介を書いたり、発表したりすることができる。	グループディスカッション	10%
キャリアデザイン力	中国の方と交流ができることを理解し、積極的に学習することができる	出席率及び授業態度	10%
合計			100%
補足事項			
・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・毎回予習、復習を必ずする。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進め方、中国語についての簡単な説明	対面授業	予習: シラバスを確認する(0.5時間) 復習: 日常生活の中で、知っている中国語をまとめる(0.5時間)
2回目	声調と単母音を学習する	対面授業	予習: 中国語の発音のイメージについて考えてみる(0.5時間) 復習: 声調と単母音の発音を練習する(0.5時間)
3回目	複母音と子音について学習する	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間) 復習: 複母音と子音の発音を練習する(0.5時間)
4回目	そり舌音と鼻音を伴う母音を学習する	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間)

			復習: そり舌音と鼻音を伴う母音の発音を練習する(0.5時間)
5回目	軽声、R化、声調変化、数字を学習する	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間) 復習: ・軽声、R化、声調変化を理解する ・数字について発音を練習する(0.5時間)
6回目	1) 人称代名詞 2) 名詞述語文 3) 動詞述語文 4) “吗”の疑問文 5) 副詞“也”“都” 名詞の修飾語①	対面授業	予習: 人称代名詞や品詞についてまとめる(0.5時間) 復習: ・人称名詞を暗記する ・学習した文法を使って簡単な文を書く練習する(0.5時間)
7回目	簡単な単語を使い、挨拶する文を学習する	対面授業	予習: ・第一課で学んだ単語を暗記する ・挨拶で何を伝えたいのかを考える(0.5時間) 復習: 授業中に指定した文を暗唱する(0.5時間)
8回目	1) 形容詞述語文 2) 指示詞“这”“那” 3) 疑問詞“谁”“什么”“哪个” 4) “吧”の用法 “的”の省略	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間) 復習: 授業中に学んだ文法を使って、単語4つ以上を使って、文を書く(0.5時間)
9回目	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間) 復習: 授業中に指定した文を暗唱する(0.5時間)
10回目	1) 所有を表す“有” 2) 反復疑問文 3) 量詞 年月日・曜日・時刻の表し方	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間) 復習: 授業中に学んだ文法を使って、単語4つ以上を使って、文を書く(0.5時間)
11回目	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間) 復習: 授業中に指定した文を暗唱する(0.5時間)
12回目	1) 場所指示名詞“这儿”“那儿”“哪儿” 2) 方位詞 3) 存在を表す“有”“在” 4) 疑問詞“怎么” 連動文	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間) 復習: 授業中に学んだ文法を使って、単語4つ以上を使って、文を書く(0.5時間)
13回目	前回で学んだ文法を生かした会話を学習する	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間) 復習: 授業中に指定した文を暗唱する(0.5時間)
14回目	1) 疑問詞“几”“多少” 2) 程度を訪ねる“多” 3) 時間の表し方 4) 前置詞“在” 5) 前置詞“从”“到”“离”“往” “呢”の疑問詞	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間) 復習: 授業中に学んだ文法を使って、単語5つ以上を使って、文を書く(0.5時間)
15回目	今まで学んだ文法や会話を総まとめする	対面授業	予習: 事前に配布したプリントを確認する(0.5時間)

			認する(0.5時間) 復習:今まで学んだことを整理する(0.5時間)
16回目	定期試験		授業外学修 15時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:八木章好・鄭麗媚著(2014)『おぼえチャイナ1』朝日出版社
履修条件	
履修上の注意	・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	毎回出席する。授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを復習する。積極的に留学生と会話する。

講義科目名称: 中国語会話Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC704

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
井上 麗奈			①②③④⑤⑦	

授業概要	本講義は、中国語Ⅰで学習した内容を基礎とし、さらなるレベルアップすることを目的とする。講義では、授業内容に合わせて、中国の文化や習慣などを紹介し、より一層、中国について理解することができる。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	日常会話を中国語で聞く、伝えるようになる。	・授業参加 ・授業態度	5% 5%
専門的知識や技能	・正確な発音ができる。 ・学習した文法や単語を使って、中国語で、話す、聴くことができる。	定期テスト	60%
異文化知識・対応能力	様々な場面において、相手と中国語で、簡単なコミュニケーションができる。	グループディスカッションへの参加	10%
課題解決能力	・簡単な文を書くことができる。 ・課題に取り組むことができる。	小テスト	10%
キャリアデザイン力	予習と復習をすることによって、中国語が上達できる。	課題や宿題	10%
合計			100%
補足事項			
・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・予習、復習を必ずする			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	第一課 中国人の主食—北方和南方 本文 文法 中国の料理の種類と各地料理の特徴 若者の飲食について	対面授業	復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習: 第二課の文型や分からない単語などを調べておくこと(2時間)
2回目	第二課 中国人的饮食习惯 会話 文法 中国人の飲食習慣の昔と現在の違いについて	対面授業	復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習: 第三課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
3回目	第三課 送礼的讲究 本文 文法 中国人の付き合い方について	対面授業	復習: 学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習: 第四課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
4回目	第四課 大学生心目中的理想职业	対面授業	復習: 学習した内容をノートに整理し

	本文 文法 若者の就職事情		ておくこと(2時間) 予習:第五課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
5回目	第五課 “中国式”結婚 本文 文法 中国人の恋愛と婚姻	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第六課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
6回目	第六課 対双职工家庭 本文 文法	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第七課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
7回目	第七課 中国人的称呼---辈分和面子 本文 文法 中国人の上下関係と呼称	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:中間テストの勉強をすること(2時間)
8回目	中間テスト	対面授業	復習:テストで分からないところを再復習する(2時間) 予習:第八課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
9回目	第八課 我会唱中文歌 本文 文法	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第九課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
10回目	第九課 中国概况 会話 本文 文法 中国の名称、国歌、民族について	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第十課の会話を熟読しておくこと(2時間)
11回目	第十課 中国的节日 会話 本文 文法 中国の祝祭日について	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第十一課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
12回目	第十一課 中国人一生中经历的几种仪式 会話 本文 文法	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第十二課の会話を熟読しておくこと(2時間)
13回目	第十二課 80后和90后 会話 本文 文法	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第十三課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
14回目	第十三課 电影<<少林寺>> 会話 本文 文法 中国の武術について	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第十四課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
15回目	第十四課 看京剧 会話 本文 文法 総まとめ	対面授業	復習:今までの配布資料やノートを見直すこと(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	特に指定しない。授業内容に合わせて、プリントを配布する
履修条件	・毎回必ず出席し、積極的に発話やグループディスカッションに参加する ・予習、復習を行うこと
履修上の注意	
オフィスアワー	質問やメッセージを紙に書き、事務局にある井上ボックスに入れておくこと
備考・メッセージ	毎日予習、復習をきちんと行い、根性よく、継続して学習してください。

講義科目名称: 中国語会話Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC704

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、中国のテレビや映画を観賞し、大体の内容が理解できるようにする。授業では、主にHSK5級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。 また、自分の考えを中国語で表現できるようになり、中国語で中国語を母国語とする者と流暢にコミュニケーションがとれるようになるため、HSKK「汉语水平口語考試 Hànyǔ shuǐpíng kǒuyǔ kǎoshì」の中級・高級に挑戦する。なお、グループ発表等も行なう。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と軽声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK4・5級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。 4.HSKK中級・高級の問題をリスニングし・正確に復唱や回答ができるようになる。	・発音練習 ・課題提出 ・定期試験 ・グループ発表	・10% ・10% ・50% ・30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、 ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.HSK5級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第二課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)

2回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第三課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
3回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第四課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
4回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第五課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
5回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第六課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
6回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第七課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
7回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:中間テストの勉強をすること(2時間)
8回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:テストで分からないところを再復習する(2時間) 予習:第八課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
9回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第九課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
10回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第十課の会話を熟読しておくこと(2時間)
11回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第十一課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
12回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第十二課の会話を熟読しておくこと(2時間)
13回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第十三課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)
14回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習:学習した内容をノートに整理しておくこと(2時間) 予習:第十四課の分からない単語などを調べておくこと(2時間)

15回目	1.HSK5 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 4.映画鑑賞	対面授業	復習: 今までの配布資料やノートを見直すこと(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	・毎回必ず出席し、積極的に発話やグループディスカッションに参加する ・予習、復習を行うこと
履修上の注意	
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の2級・1級、HSKKの初級・中級・高級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語検定 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC504

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の作文力を身に付ける。これにより、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的スムーズに交流できるようにする。授業では、主にHSK4級の作文問題における問題についての的確に解答し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と轻声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK4級の作文問題に合格(正答率6割)できる。	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 ・百科問題理解度	・10% ・20% ・10% ・50% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、 ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間)

	3.小テスト		復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
4回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
5回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
6回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
7回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
8回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
9回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
10回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
11回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
12回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
13回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
14回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
15回目	1.作文の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト	面接授業	復習:第 15 課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4 時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規	

則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の2級・1級、HSKKの初級・中級・高級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語検定 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC504

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
井上 麗奈			⑦	

授業概要	本授業は中国語検定1、2級に必要な単語、文法を模擬問題を通して、繰り返し練習し、説明を行う。検定の過去問題の中で多く出題された単語や文法を理解し、どんな出題形式にも対応ができる。模擬問題を解き、解説を行う、また、間違ったところや分からないところを説明、練習を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	今まで学んだ単語や文法を理解した上で、模擬問題を解き、中国語検定1級に合格ができる。	・授業参加 ・授業態度	5% 5%
異文化知識・対応能力	自ら伝えたい簡単な日常会話ができる。	グループディスカッション	10%
課題解決能力	中国語検定では、時間が決まられているため、時間通り、問題を解かなければなりません。そのため、授業では、問題を解く時間を意識しながら、問題を解く。	課題	20%
キャリアデザイン力	模擬問題の中で、分からないことや間違った問題を積極的に質問をしたり、復習したりすることができる。	定期テスト	60%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進め方、履修にあたって、注意事項や心構えについて説明する。	対面授業	予習: 中国語 I で学習した基本的な挨拶用語(2時間) 復習: 新しい挨拶用語を暗記する(2時間)
2回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	対面授業	予習: 単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: ・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
3回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い、反復練習する。	対面授業	予習: 単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: ・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)。

4回目	模擬問題を解いた後、答え合わせを行う。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
5回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
6回目	模擬問題を解いた後、答え合わせを行う。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
7回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使い、反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
8回目	検定テストと同様に記入シートを使い、時間通りにテストを行う。その後、答え合わせをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
9回目	テストを解説し、間違った問題を反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
10回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
11回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使って反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
12回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
13回目	模擬問題の解説を行い、間違った文法や単語を使って反復練習する。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
14回目	模擬問題を解いた後、答え合わせをする。	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
15回目	模擬問題の解説を行い、総まとめをする	対面授業	予習：単語帳にある1、2級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習：・新しい単語・文法 ・間違った問題の再確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	

たは事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書：『中国語検定HSK 公式過去問題集1級』2018 出版社：スプリックス ・『中国語検定HSK 公式過去問題集2級』2018 出版社：スプリックス 参考書：参考書：郭春貴・郭久美子編著『HSK 基本語彙1～4級』 白帝社
履修条件	
履修上の注意	・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。 ・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	授業後、学習したことを復習する。

講義科目名称: 中国語検定Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC505

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の聞き取る力を身に付け、幅広い範囲にわたる話題について、中国語の母語話者と比較的流暢に話せるようにする。授業では、HSK4級の聞き取り問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と轻声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSKKの中級過去問題・発音練習 4.HSK4・5級の聞き取り問題に合格(正答率6割)できる。	・発音練習 ・課題提出 ・定期試験 ・グループ発表	・10% ・10% ・50% ・30%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、 ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時

	2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト		間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
4回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
5回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
6回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
7回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
8回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
9回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
10回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
11回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
12回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
13回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
14回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
15回目	1.HSK4 級の単語を学ぶ 2.書き取り練習 3.発音練習 (HSKK中級) 4.小テスト	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。 ★HSKKに関する参考書 中国教育部中外語言交流合作中心『中国語検定公式過去問集口試2021年度』株式会社スプリックス
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の2級・1級、HSKKの初級・中級・高級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語検定Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC505

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
井上 麗奈			⑦	

授業概要	本講義はHSK 3、4級に必要な単語、文法を模擬問題を通して、繰り返して練習し、解説を行う。また、学生のレベルに合わせ、3級の復習をしながら、4級の検定対策をする。今まで、検定の中で多く出題された単語や文法を理解し、どんな出題形式にも対応することができる。模擬問題を解き、解説を行う、また、間違ったところや分からないところを解説し、練習を重ねる。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	今まで学んだ単語や文法を理解した上で、模擬問題を解き、中国語検定1級に合格ができる。	授業参加	5%
異文化知識・対応能力	自ら伝えたい簡単な日常会話ができる。	グループディスカッション	20%
課題解決能力	中国語検定では、時間が決まられているため、時間通り、問題を解かなければなりません。そのため、授業では、問題を解く時間を意識しながら、問題を解く。	・課題 ・小テスト	10% 5%
キャリアデザイン力	模擬問題の中で、分からないことや間違った問題を積極的に質問をしたり、復習する。	定期テスト	60%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	授業の進め方、履修にあたり、注意事項や心構えについて説明する。	対面授業	予習: 検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて(2時間) 復習: 確実に合格するためのプランを立てる(2時間)
2回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
3回目	聴解の解説をする。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
4回目	文法、新出単語を解説する。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)

5回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
6回目	聴解の解説をする。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
7回目	文法、新出単語を解説する。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
8回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
9回目	聴解の解説をする。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
10回目	文法、新出単語を解説する。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
11回目	・模擬問題を解く。 ・答え合わせする。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
12回目	聴解の解説をする。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
13回目	文法、新出単語を解説する。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
14回目	模擬問題1～4までの聴解を総まとめする。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
15回目	模擬問題1～4までの文法、新出単語や文法を総まとめする。	対面授業	予習: 単語帳にある3、4級の単語を音読、書く練習・テスト勉強(2時間) 復習: 新出単語や文法の再確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書: 『中国語検定HSK 公式過去問題集3級』2018 出版社: スプリックス 『中国語検定HSK 公式過去問題集4級』2018 出版社: スプリックス 参考書: 『中国語検定HSK公認 テキスト3級』2018 出版社: スプリックス 『中国語検定HSK公認 テキスト4級』2018 出版社: スプリックス 郭春貴・郭久美子編著『HSK 基本語彙1～4級』 白帝社
履修条件	
履修上の注意	・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。授業後、毎回学習したことを復習する。 ・グループディスカッションの際、調べるがあるので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。

オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	毎日予習、復習をきちんと行い、根気よく、継続して学習してください。

講義科目名称: 中国語検定Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC506

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国語の幅広い範囲にわたる話題の文章を理解できるようにする。授業では、主にHSK4級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。さらに、中国の地理、歴史、文化・芸術・風俗習慣などを学んでいく、「中国通」になることを到達目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と轻声の発音方法を理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK4級の読解問題に合格(正答率6割)できる。 4.中国百科検定の問題に合格できる。	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験 ・百科問題理解度	・10% ・20% ・10% ・50% ・10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、 ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
2回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5時間)
3回目	1.読解の問題を解く	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間)

	2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題		間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
4回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
5回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
6回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
7回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
8回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
9回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
10回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
11回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
12回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
13回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
14回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
15回目	1.読解の問題を解く 2.発音練習 3.小テスト 4.中国百科練習問題	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。これまでの授業の復習。(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の2級・1級、HSKKの初級・中級・高級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語ライティング&グラマー I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(3Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の発音の基礎を固め、同時に、初級程度の読解力を身に付ける。これにより、中国語を用いて、生活、学習、仕事等で基本的なコミュニケーションができ、中国で旅行をする時にも大多数の場合において対応できるようにする。授業では、第1回から第11回まではピンインの復習を行う。第12回からは HSK3 級の読解問題を解き、HSK3級における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回 小テストを行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	1.中国語の四声と軽声の発音方法を 理解し、ピンインを正確に発音できる。 2.一つの文を一息で発音できる。 3.HSK3級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	・発音練習 ・小テスト ・課題提出 ・定期試験	・10% ・20% ・10% ・60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.“有点儿”、“是…的”を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
2回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.比較の表現を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読と配布した読解問題。(2.5 時間)
3回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。	面接授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習

	2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.“把”構文、“从～到…”を学ぶ 4.小テスト		習。(1.5 時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(2.5 時間)
4回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.結果補語、二重目的語を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(2.5 時間)
5回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.疑問詞“怎么”、番号の言い方を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(2.5 時間)
6回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.使役動詞“让”“叫”、名詞の修飾を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(2.5 時間)
7回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.様態補語、動作の進行を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(2.5 時間)
8回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.可能補語、“就要～了”を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(2.5 時間)
9回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.状態補語、主述構造の目的語を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(2.5 時間)
10回目	1.母音と子音の組み合わせについて復習。 2.簡単な日常表現を学ぶ。 3.程度補語、前置詞“为”を学ぶ 4.小テスト	面接授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(2.5 時間)
11回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	面接授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読 と配布した読解問題。(2.5 時間)
12回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	面接授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(2.5 時間)
13回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	面接授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読と 配布した読解問題。(2.5 時間)
14回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	面接授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5 時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読 と配布した読解問題。(2.5 時間)
15回目	1.読解の問題を解く 2.答え合わせ 3.解説 4.小テスト	面接授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。 これまでの授業の復習。(4 時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教員が作成したものを配布します。
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	1年間で最低 HSK2級、できれば HSK3 級、4 級の合格を目指して頑張りましょう！また、中国百科検定の初級、HSKKの初級、中級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語ライティング&文法 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(3Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
井上 麗奈			①②③④⑤⑦	

授業概要	本講義では、使う頻度が多い文法や、語彙を用いて、会話と購読を中心に進める。今まで学んだ文法や語彙を復習しながら、新しい語彙、文法を学ぶ。 文を使ってグループディスカッションをする。その後、短文を書き、発表を行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	中国の文化を理解することができる。	・授業参加	5%
専門的知識や技能	文法や語彙を使って、柔軟に会話や作文を書き、発表することができる。	・授業態度 ・定期テスト	5% 60%
異文化知識・対応能力	さまざまな場面において、コミュニケーションができる	・グループディスカッション	10%
課題解決能力	課題に取り組むことができる。	・小テスト	10%
キャリアデザイン力	積極的に予習、復習をする習慣を身につくことができる。	・課題レポート	10%
合計			100%
補足事項			
・授業中、分からないことがあったら、後にせず、積極的に質問する。 ・予習、復習を必ずする。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・授業内容や進め方を説明する。	対面授業	予習: シラバスの確認(2h) 復習: ピンインを再確認する(2h)
2回目	第1課 会話: 你好 購読: 自我介绍 ・自分や他人について紹介する内容を学ぶ。	対面授業	予習: 人称代名詞をまとめる(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
3回目	第2課 会話: 这是什么? 購読: 大山的房间 ・指示名詞を学び、紹介したい場所について学ぶ。	対面授業	予習: 指示代名詞をまとめる(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
4回目	第3課 会話: 你去哪儿? 購読: 便利店・さまざまな店の言い方や行きたい場所の言い方について学ぶ。	対面授業	予習: 動詞述語文を確認する(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
5回目	第4課	対面授業	予習: 数字や量詞言い方をまと

	会話: 你要几个? 購読: 全家照 ・買い物の際、いくつ、いくらなどについて学ぶ。 ・家族構成について学ぶ。		める(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
6回目	第5課 会話: 你星期几打工? 購読: 踢足球 ・アルバイトをする曜日について学ぶ。 ・サッカーなどのスポーツの言い方、それらを使う助詞について学ぶ。	対面授業	予習: 曜日、時刻の言い方をまとめる(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
7回目	会話: 今天的课都完了吗? 購読: 唱卡拉OK ・今日のスケジュールの言い方について学ぶ。	対面授業	予習: 完了形を確認する(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
8回目	第7課 会話: 你吃饭了吗? 購読: 去海边儿 ・どこへ行ったのか、何をしたのかの言い方について学ぶ。	対面授業	予習: 連動文を確認する(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
9回目	第9課 会話: 你在干什么呢? 購読: 学开车 ・好きな場所について、どのように相手に伝うのかを学ぶ。	対面授業	予習: 位置を表す語を確認する(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
10回目	第10課 会話: 你有什么爱好? 購読: 联谊会 ・今何をしているのかの伝え方を学ぶ。	対面授業	予習: 主述述語文を確認する(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
11回目	第11課 会話: 这双鞋怎么样? 購読: 动漫 ・趣味や興味について学ぶ。	対面授業	予習: 様態補語を確認する(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
12回目	第11課 会話: 这双鞋怎么样? 購読: 动漫 ・「この靴はどうですか」の文のように、自分のものを他人に意見を求める際の言い方について学ぶ。	対面授業	予習: 相手に何を紹介するかを考える(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
13回目	第12課 会話: 生日快乐! 購読: 买衣服 ・誕生日の方に、お祝いの言葉をどのように伝えるかを学ぶ。	対面授業	予習: 年、月、日の言い方をまとめる(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
14回目	会話の総まとめ ・今まで学んだ会話文を総まとめする。	対面授業	予習: 会話のプリントを確認する(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
15回目	購読の総まとめ ・今まで学んだ購読文を総まとめする。	対面授業	予習: 朗読のプリントを確認する(2h) 復習: 新出単語や文を朗読する(2h)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:竹島 毅 趙昕(2007)『さあ、中国語を学ぼう!』—会話・購読— 株式会社 白水社 参考書:林 松濤(2020)『大人なら使いたい中国語表現』 三修社
履修条件	
履修上の注意	・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。 ・グループディスカッションの際、調べることがあるので、PCやタブレットを忘れずに持参すること。
オフィスアワー	質問がある場合は、教員ボックスに質問用紙を入れるか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	授業後、毎回学習したことを復習する。

講義科目名称: 中国語ライティング&グラマーⅡ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC705

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
松浦 百恵				

授業概要	本授業では、中国語の中級程度の読解力を身に付け、中国の新聞や雑誌の内容が大体理解できるようにする。授業では、主にHSK5級の読解問題における文を正確に解釈し、同時に正確に発音できるよう反復練習を行う。また、毎回小テストを行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国の文化をより一層、理解することができる。	授業参加、授業態度	10%
専門的知識や技能	HSK5級の読解問題に合格(正答率6割)できる。	定期テスト	60%
異文化知識・対応能力	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。一つの文を一息で発音できる。	発表	10%
課題解決能力	中上級者が使う文法や単語、会話を身につけることができる。	レポート	10%
キャリアデザイン力	積極的に学習する姿勢が身につくことができる。	課題提出	10%
合計			100%

補足事項	
1.課題提出を必ず行ってください。 2.必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。 3.授業では毎回新しい内容を学習するので、できるだけ毎回出席すること。 遅刻3回を欠席1回でカウントします。(※15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす) 早退は特別な事情がない限り、欠席と見なす。なお授業を5回欠席した場合、受験資格はない。 4.学生の口頭発表、練習問題の板書での解答、教師の質問に対する中国語でのレスポンス、 ペアワークを中心に進めるので、積極的に取り組んでほしい。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・授業の進め方、履修にあたって、注意事項や心構えについて説明する。 HSK5 級の読解 1 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて 第2課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第1課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)
2回目	HSK5 級の読解 2 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第3課で学ぶ箇所の音読練習。(1.5時間) 復習:第2課で学んだ箇所の音読。(2.5時間)

3回目	HSK5 級の読解 3 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第4課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第3課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
4回目	HSK5 級の読解 4 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第5課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第4課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
5回目	HSK5 級の読解 5 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第6課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第5課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
6回目	HSK5 級の読解 6 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第7課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第6課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
7回目	HSK5 級の読解 7 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第8課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第7課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
8回目	HSK5 級の読解 8 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第9課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第8課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
9回目	HSK5 級の読解 9 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第10課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第9課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
10回目	HSK5 級の読解 10 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第11課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第10課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
11回目	HSK5 級の読解 11 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第12課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第11課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
12回目	HSK5 級の読解 12 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第13課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第12課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
13回目	HSK5 級の読解 13 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第14課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第13課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
14回目	HSK5 級の読解 14 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	予習:第15課で学ぶ箇所の音読練習。 (1.5時間) 復習:第14課で学んだ箇所の音読。 (2.5時間)
15回目	HSK5 級の読解 15 (1)読解の問題を解く (2)発音練習 (3)小テスト	対面授業	復習:第15課で学んだ箇所の音読。 (4時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	★教科書:HSK5級 ①相原茂著『Whyに答えるはじめての中国語の文法書』同学社 ②楊達 『新HSK5級必ず★でる単スピードマスタ』Jリサーチ出版 ③李貞愛 『HSK5級トレーニングブック読解・作文題編』アスク ④『中国語検定HSK公認長文テキスト5級改訂版』株式会社スプリックス
履修条件	
履修上の注意	大きな声で発音してください。また、課題提出を必ず厳守してください！
オフィスアワー	授業終了後にその場で受け付けます。あるいは、WeChat または LINE で随時受け付けフィードバックします。
備考・メッセージ	2年間で最低 HSK4級、できれば HSK5 級、6 級の合格を目指して頑張りましょう！また、「中国百科検定」の2級・1級、HSKKの初級・中級・高級にも挑戦しましょう！

講義科目名称: 中国語ライティング&グラマーⅡ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC705

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
井上 麗奈			①②③④⑤⑦	

授業概要	この講義では、中国語検定HSK 4級以上、中上級に必要とする難易度の高い語彙、文法、発音を総合的に学習する。中国の文化について、さまざまなテーマを用いて、講義を行う。また、自分が興味のあることをはじめ、他の学生の前で発表する。更に、他人の発表を聞いたあと、質問をする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	中国の文化をより一層、理解することができる。	授業参加、授業態度	10%
専門的知識や技能	中上級者が使う文法や単語、会話を身につけることができる。	定期テスト	60%
異文化知識・対応能力	さまざまな場面において、中国の方と会話ができる。	発表	10%
課題解決能力	中上級者が使う文法や単語、会話を身につけることができる。	レポート	10%
キャリアデザイン力	積極的に学習する姿勢が身につくことができる。	課題提出	10%
合計			100%
補足事項			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・授業の進め方、履修にあたって、注意事項や心構えについて説明する。	対面授業	予習: 検定を受けるまでのスケジュールや心構えについて(2時間)
2回目	第1課 大学生の週末 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習: 文法“是”“了”“不”の使い方をまとめる(2時間) 復習: 新出単語と文法を再確認する(2時間)
3回目	第2課 北京的交通 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習: 文法“吗”、“也”、“什么”の使い方をまとめる(2時間) 復習: 新出単語と文法を再確認する(2時間)
4回目	第3課 中国人的主食----北方和南方 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習: 文法“吧”、“在”、“想”の使い方をまとめる(2時間) 復習: 新出単語と文法を再確認する(2時間)

5回目	第4課 对数字的喜好 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習:文法“有”、“过”、“从～到”の使い方をまとめる(2時間) 復習:新出単語と文法を再確認する(2時間)
6回目	第5課 大学生的“打工”现状 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習:文法“可以”、“能”、“会”の使い方をまとめる(2時間) 復習:・新出単語と文法を再確認する(2時間) ・中間テストの勉強(1.5時間)
7回目	中間テスト 第1課から第5課までの内容をテスト、答え合わせ、解説を行う。	対面授業	予習:文法“给”、“去”、“来”の使い方をまとめる(2時間) 復習:間違った問題を再確認する(1時間)
8回目	第6課 集体生活的好处 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習:文法“地”、“得”、“着”の使い方をまとめる(2時間) 復習:新出単語と文法を再確認する(2時間)
9回目	第7課 在北京购物 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習:文法“怎么”、“怎么样”、“呢”の使い方をまとめる(2時間) 復習:新出単語と文法を再確認する(2時間)
10回目	第8課 送礼的讲究 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習:文法“几”、“多少”、“多”の使い方をまとめる(2時間) 復習:新出単語と文法を再確認する(2時間)
11回目	第9課 “中国式”的结婚 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習:文法“从”、“到”、“离”、“往”の使い方をまとめる(2時間) 復習:新出単語と文法を再確認する(2時間)
12回目	第10課 双职工家庭 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習:文法“反复疑问文”、“连动文”、“疑问词”の使い方をまとめる(2時間) 復習:新出単語と文法を再確認する(2時間)
13回目	第11課 中国人的称呼-----辈分和面子 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習:文法“量词”、“方位词”、“指示词”の使い方をまとめる(2時間) 復習:新出単語と文法を再確認する(2時間)
14回目	第12課 大学生心目中的理想职业 ・本文を朗読、翻訳 ・文法	対面授業	予習:文法“都”、“的”、“的省略”の使い方をまとめる(2時間) 復習:新出単語と文法を再確認する(2時間)
15回目	総まとめ ・すべての内容をまとめる	対面授業	予習:プリントやノートを整理、確認する(2時間) 復習:テスト勉強する(4時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	

教科書・参考書	教科書: 吉田泰謙・相原里美・葛靖著(2013)『知っておきたい中国語事情』 白水社 参考書: 張乃方(2006)『中国語実習コース』 白水社
履修条件	
履修上の注意	・毎回出席し、授業中は積極的に発話する。 ・授業後、毎回学習したことを復習する。
オフィスアワー	質問がある場合、教員ボックスに質問用紙を入れていただくか、メールを送ってください。
備考・メッセージ	

講義科目名称:韓国語基礎Ⅰ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC107

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李載宇			⑦	

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実践会話に活用できるように練習する。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができる。 ・韓国語で、ごく基本的な定型のあいさつや短い文章を書くことができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し

	きかなら一個ずつ覚える		て、単語テストを準備する(2時間)
3回目	韓国語の複合母音、韓国語のパッチム 韓国語の複合母音、韓国語のパッチム について勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書 きかなら一個ずつ覚える。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
4回目	韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強す る。 教科書を使って、該当する各例について 一個ずつ確認する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
5回目	韓国語まとめ ハングルの組み合わせ(練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
6回目	韓国語基礎文法・実戦会話1 名詞+은/는 名詞+입니다/입니까? 名詞+이에요/예요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
7回目	韓国語基礎文法・実戦会話2 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
8回目	韓国語基礎文法・実戦会話3 名詞+이/가 名詞+이/가 아니다 名詞+도	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
9回目	韓国語基礎文法・実戦会話4 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
10回目	韓国語基礎文法・実戦会話5 用言+습니다/입니다 名詞+에서 名詞+을/를 名詞+에 名詞+으로/로	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
11回目	韓国語基礎文法・実戦会話6 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単 語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
12回目	韓国語基礎文法・実戦会話7 이,그,저	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに 提示する講座テーマを確認して必要な単

	일,이,삼 하나,둘,셋 用言+아요/어요		語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	韓国語基礎文法・実戦会話8 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	韓国語基礎文法・実戦会話9 用言+아/어 주세요 名詞+한데 用言+지만	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	韓国語基礎文法・実戦会話10 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各言語検定の習得のために必要な点数、過去受験生の得点数推移や傾向分析を授業指導に活用する ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	教科書:「おはよう韓国語1」
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に私語及び指示なしの携帯使用がないようにすること
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語基礎 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC107

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、韓国語の入門段階でハングルの組み合わせと正確な発音を学ぶ。簡単な短文を作成するための基礎文法を学習しながら、実戦会話に活用できるように練習する。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、日常的表現と基本的な言い回しを用いることができる。 ・韓国語で、ごく基本的な定型のあいさつや短い文章を書くことができる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を480個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語とは何か、韓国語の特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	韓国語の基本母音字、基本子音字 韓国語の基本母音字、基本子音字について勉強する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

	教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える		復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	韓国語の複合母音、韓国語のパッチム 韓国語の複合母音、韓国語のパッチムについて勉強する。 教科書を使って、各文字を繰り返して書きながら一個ずつ覚える。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	韓国語の発音の変化 韓国語の発音の変化について勉強する。 教科書を使って、該当する各例について一個ずつ確認する。	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	韓国語まとめ ハングルの組み合わせ(練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	韓国語基礎文法・実戦会話1 名詞+은/는 名詞+입니다/입니까? 名詞+이에요/예요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	韓国語基礎文法・実戦会話2 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	韓国語基礎文法・実戦会話3 名詞+이/가 名詞+이/가 아니다 名詞+도	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	韓国語基礎文法・実戦会話4 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	韓国語基礎文法・実戦会話5 用言+습니다/입니다 名詞+에서 名詞+을/를 名詞+에 名詞+으로/로	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	韓国語基礎文法・実戦会話6 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

12回目	韓国語基礎文法・実戦会話7 이,그,저 일,이,삼 하나,둘,셋 用言+아요/어요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	韓国語基礎文法・実戦会話8 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	韓国語基礎文法・実戦会話9 用言+아/어 주세요 名詞+한테 用言+지만	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	韓国語基礎文法・実戦会話10 まとめ(単語・文法練習)	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:「おはよう韓国語1」
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語基礎Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC108

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李載宇			⑦	

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約800語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK1級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し

	TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方法について		て、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK1級問題分析1 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK1級問題分析2 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK1級問題分析3 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK1級問題分析4 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK1級問題分析5 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK1級問題分析6 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK1級問題分析7 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK1級問題分析8 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK1級問題分析9 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK1級問題分析10 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK1級問題分析最後 TOPIK1の1級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIK1模擬テスト(リスニング) TOPIK1の模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIK1模擬テスト(リーディング) TOPIK1の模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各言語検定の習得のために必要な点数、過去受験生の得点数推移や傾向分析を授業指導に活用する ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	教科書:「TOPIK1冊でOK」日本語版
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に私語及び指示なしの携帯使用がないようにすること
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語基礎Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC108

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約800語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK1級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を800個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

2回目	TOPIK1級問題分析1 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK1級問題分析2 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK1級問題分析3 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK1級問題分析4 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK1級問題分析5 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK1級問題分析6 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK1級問題分析7 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK1級問題分析8 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK1級問題分析9 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK1級問題分析10 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

12回目	TOPIK1級問題分析最後 TOPIKIの1級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKI模擬テスト(リスニング) TOPIKIの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKI模擬テスト(リーディング) TOPIKIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKI1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語基礎Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC109

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李載宇			⑦	

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約1500語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK2級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1,500個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強方	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

	法について		
2回目	TOPIK2級問題分析1 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK2級問題分析2 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK2級問題分析3 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK2級問題分析4 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK2級問題分析5 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK2級問題分析6 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK2級問題分析7 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK2級問題分析8 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK2級問題分析9 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK2級問題分析10 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、

			単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK2級問題分析最後 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKI模擬テスト(リスニング) TOPIKIの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKI模擬テスト(リーディング) TOPIKIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各言語検定の習得のために必要な点数、過去受験生の得点数推移や傾向分析を授業指導に活用する ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	教科書:「TOPIKI1冊でOK」日本語版
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に私語及び指示なしの携帯使用がないようにすること
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語基礎Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC109

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(1Q-2Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK I」を受験するためにリスニング・リーディングなどを学習した上で模擬試験を行い、約1500語程度の語彙を用いた文章を理解でき、文法力を着実に身につけるようにする。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK2級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・自ら考え行動をすることを意識することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で書かれた、日常的な話題についての平易な文章を読み、内容を理解することができる。 ・韓国語で、よく使われる日常的表現と基本的な表現が理解できる。 ・同時期開催される韓国語科目と連動し、韓国語初級単語を1,500個以上覚えることができる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・限られた場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIの特徴、勉強	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

	方法について		
2回目	TOPIK2級問題分析1 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK2級問題分析2 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK2級問題分析3 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK2級問題分析4 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK2級問題分析5 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK2級問題分析6 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK2級問題分析7 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK2級問題分析8 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK2級問題分析9 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK2級問題分析10 TOPIK1の2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

			語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK2級問題分析最後 TOPIKIの2級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKI模擬テスト(リスニング) TOPIKIの模擬テスト(リスニング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKI模擬テスト(リーディング) TOPIKIの模擬テスト(リーディング)実施、採点方法、採点後の整理方法について	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKI1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語会話 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC305

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(3Q)	1年	1単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李載宇			⑦	

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズを聴いて、離す練習を通じてネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。 ・韓国語で、直接的関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語会話練習、スピーチコンテストについて	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
2回目	韓国語応用文法・実戦会話1 用言+았/었 하다用言 했 動詞+고 있다 用言+으면/면	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)

	動詞・存在詞+고 싶다		
3回目	韓国語応用文法・実戦会話2 用言+으시/시 用言+고 用言+네요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
4回目	韓国語応用文法・実戦会話3 用言+으세요/세요 用言+지요(조) 用言+는/은/ㄴ 데요 으変則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
5回目	韓国語応用文法・実戦会話4 안+用言 ㅁ変則 用言+아서/어서 動詞+을래요/ㄹ래요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
6回目	韓国語応用文法・実戦会話5 用言+을/ㄹ 거예요 겠 動詞・存在詞+는+名詞 形容詞+은/ㄴ+名詞 指定詞+인+名詞 動詞+으러/러	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
7回目	韓国語応用文法・実戦会話6 用言+으면 되다 ㄹ変則 用言+으셨/셨 用言+으니까/니까	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
8回目	韓国語応用文法・実戦会話7 名詞+하고, 과/와 用言+을/ㄹ 수 있다/없다 動詞+은/ㄴ+名詞 形容詞・指定詞・存在詞+던+名詞 指定詞+이던+名詞 用言+을/ㄹ 게요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
9回目	韓国語応用文法・実戦会話8 用言+으려고 하다 用言+기로 하다 用言+을/ㄹ ㄹ変則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
10回目	韓国語応用文法・実戦会話9 ㄹ変則 用言+아/어야 되다(하다) 用言+을/ㄹ 것 같다 用言+아/어도 되다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
11回目	韓国語応用文法・実戦会話10 ㄹ変則 못+動詞・存在詞 動詞・存在詞+는 것 같다 形容詞+은/ㄴ 것 같다 指定詞+인 것 같다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(1時間)

	動詞+아/어 보다		
12回目	韓国語スピーチ大会準備1 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
13回目	韓国語スピーチ大会準備2 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(1時間)
14回目	韓国語スピーチ大会準備3 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(1時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 30時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各言語検定の習得のために必要な点数、過去受験生の得点数推移や傾向分析を授業指導に活用する ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	教科書:「おはよう韓国語2」
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に私語及び指示なしの携帯使用がないようにすること
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語会話I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC305

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(3Q)	1年	1単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、会話を中心としたコミュニケーション能力を身に付けることを目標としている。さまざまな場面で核心フレーズを聴いて、離す練習を通じてネイティブの韓国人学生達と話して会話の「感」を覚える。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近で日常の事柄について単純で直接的な情報を伝えることができる。 ・韓国語で、直接的関係がある領域に関してよく使われる表現が理解できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 韓国語会話練習、スピーチコンテストについて	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
2回目	韓国語応用文法・実戦会話1 用言+았/었 하다用言 했 動詞+고 있다 用言+으면/면	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)

	動詞・存在詞+고 싶다		
3回目	韓国語応用文法・実戦会話2 用言+으시/시 用言+고 用言+네요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
4回目	韓国語応用文法・実戦会話3 用言+으세요/세요 用言+지요(조) 用言+는/은/ㄴ 데요 으変則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
5回目	韓国語応用文法・実戦会話4 안+用言 ㅁ変則 用言+아서/어서 動詞+을래요/ㄹ래요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
6回目	韓国語応用文法・実戦会話5 用言+을/ㄹ 거예요 겠 動詞・存在詞+는+名詞 形容詞+은/ㄴ+名詞 指定詞+인+名詞 動詞+으러/러	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
7回目	韓国語応用文法・実戦会話6 用言+으면 되다 ㄹ変則 用言+으셨/셨 用言+으니까/니까	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
8回目	韓国語応用文法・実戦会話7 名詞+하고, 과/와 用言+을/ㄹ 수 있다/없다 動詞+은/ㄴ+名詞 形容詞・指定詞・存在詞+던+名詞 指定詞+이던+名詞 用言+을/ㄹ 게요	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
9回目	韓国語応用文法・実戦会話8 用言+으려고 하다 用言+기로 하다 用言+을/ㄹ ㄹ変則	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
10回目	韓国語応用文法・実戦会話9 ㄹ変則 用言+아/어야 되다(하다) 用言+을/ㄹ 것 같다 用言+아/어도 되다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
11回目	韓国語応用文法・実戦会話10 ㄹ変則 못+動詞・存在詞 動詞・存在詞+는 것 같다 形容詞+은/ㄴ 것 같다 指定詞+인 것 같다	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(1時間)

	動詞+아/어 보다		
12回目	韓国語スピーチ大会準備1 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(1時間)
13回目	韓国語スピーチ大会準備2 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(1時間)
14回目	韓国語スピーチ大会準備3 韓国語スピーチ大会の内容設定、原稿作成 発音、イントネーション練習	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(1時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(1時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 30時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:「おはよう韓国語2」
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語会話Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC707

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7Q-8Q)	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李載宇			⑦	

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK Speaking」を受験するために問題の類型を分析し、模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・談話状況に適切な言語を使用し、語彙と表現を多様・正確に使用できる ・TOPIK Speaking問題の類型を把握し、合格できる	・課題	60%
異文化知識・対応能力	・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。	・グループワーク	35%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、課題60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査など	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し

			て、単語テストを準備する(2時間)
3回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的話題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的話題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題などに対して自分の見解を論理的に提示し、賛成または反対の立場から自分の見解	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し

	を提示する		て、単語テストを準備する(2時間)
13回目	類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題など に対して自分の見解を論理的に提示し、 賛成または反対の立場から自分の見解 を提示する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
14回目	グループワーク 今まで勉強した内容を持ってTOPIK Speakingを実施し、相互評価する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認し て、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容 を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各言語検定の習得のために必要な点数、過去受験生の得点数推移や傾向分析を授業指導に活用する ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	各授業で提示
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に私語及び指示なしの携帯使用がないようにすること
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語会話Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC707

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7Q-8Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK Speaking」を受験するために問題の類型を分析し、模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・談話状況に適切な言語を使用し、語彙と表現を多様・正確に使用できる ・TOPIK Speaking問題の類型を把握し、合格できる	・課題	60%
異文化知識・対応能力	・相手や目的・場面に応じて自らの意思を適切に表現・伝達し、相手の意思を的確に理解することができる。	・グループワーク	35%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、課題60%、グループワーク35%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査など	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、

			単語テストを準備する(2時間)
3回目	類型1 質問に答える 日常生活で良く出会う状況で簡単な質問を聞いて、適切に答える	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	類型2 絵を見て役割を随行する 日常生活で良く出会う状況に関する絵を見ながら、簡単な質問を聞いて適切に役割を随行する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	類型3 絵を見て話す 身近な社会的話題の連続された絵を見て、絵の中の人物の行動や状況などを説明し、提示された絵の順番に従って事件を叙述する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	類型4 会話を完成させる 社会的状況で行われる会話を聞いて、会話の脈略に合わせて相手の言葉に適切に対応する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的 話題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	類型5 資料解釈 経済、科学、大衆媒体、文化、芸術、政治、環境など社会的話題や抽象的 話題の資料を見て解釈し、批判的に自分の意見を述べる	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題などに対して自分の見解を論理的に提示し、賛成または反対の立場から自	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、

	分の見解を提示する		単語テストを準備する(2時間)
13回目	類型6 意見提示 専門分野や抽象的内容、社会的題などに対して自分の見解を論理的に提示し、賛成または反対の立場から自分の見解を提示する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
14回目	グループワーク 今まで勉強した内容を持ってTOPIK Speakingを実施し、相互評価する	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	各授業で提示
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	

講義科目名称:韓国語検定I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC507

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李載宇			⑦	

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表

	受験対策を行う		現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表

	受験対策を行う		現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各言語検定の習得のために必要な点数、過去受験生の得点数推移や傾向分析を授業指導に活用する ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に私語及び指示なしの携帯使用がないようにすること
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語検定I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC507

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級問題分析1	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提

	TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う		示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK 3級問題分析11	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提

	TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う		示す講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語検定Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC508

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q-6Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李載宇			⑦	

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIKⅡ」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKⅡの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級問題分析1 TOPIKⅡの3級問題の類型を分析し、	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、

	受験対策を行う		表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK 3級問題分析11 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、

	受験対策を行う		表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各言語検定の習得のために必要な点数、過去受験生の得点数推移や傾向分析を授業指導に活用する ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に私語及び指示なしの携帯使用がないようにすること
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語検定Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC508

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q-6Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIKⅡ」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な話題について主要な点を理解できる。 ・TOPIK3級問題の類型を把握し、合格できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKⅡの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIK 3級問題分析1	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提

	TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う		示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIK 3級問題分析2 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIK 3級問題分析3 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIK 3級問題分析4 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIK 3級問題分析5 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIK 3級問題分析6 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIK 3級問題分析7 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIK 3級問題分析8 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIK 3級問題分析9 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIK 3級問題分析10 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、 受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIK 3級問題分析11	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提

	TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う		示す講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIK 3級問題分析12 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIK 3級問題分析13 TOPIKIIの3級問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語検定III	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC509

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q-6Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李載宇			⑦	

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK4級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・TOPIKIIのライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、

	分析し、受験対策を行う		表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIのライティング問題の類型を	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、

	分析し、受験対策を行う		表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各言語検定の習得のために必要な点数、過去受験生の得点数推移や傾向分析を授業指導に活用する ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に私語及び指示なしの携帯使用がないようにすること
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語検定Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC509

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(5Q-6Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIKⅡ」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK4級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・TOPIKⅡのライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKⅡの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKⅡライティング問題分析1 TOPIKⅡのライティング問題の類型を分	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単

	析し、受験対策を行う		語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIのライティング問題の類型を分	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

	析し、受験対策を行う		語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」 参考書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語ライティング&文法I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC306

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(4Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李載宇			⑦	

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにライティングを学習し、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。 ・韓国語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・TOPIK II級のライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、

	TOPIK概要、TOPIKIIライティング問題の特徴、勉強方法について		単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間)

			復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各言語検定の習得のために必要な点数、過去受験生の得点数推移や傾向分析を授業指導に活用する ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	教科書:「おはよう韓国語2」
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に私語及び指示なしの携帯使用がないようにすること
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語ライティング&文法I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC306

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(4Q)	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIK II」を受験するためにライティングを学習し、本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK3級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・試行錯誤しながら、自ら考え行動する。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、自身の必要や感情を表すために、基礎的な語彙を用いた短い文章を書くことができる。 ・韓国語で書かれた、自身に直接関連する領域についての基本的な文章を読み、内容を理解することができる。 ・TOPIK II級のライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKIIライティング問	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

	題の特徴、勉強方法について		
2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、

			模擬テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して、TOPIKII作文を準備する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、韓国語スピーチ大会を準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」 参考書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・ 授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語ライティング&文法Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC708

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(7Q-8Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李載宇			⑦	

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIKⅡ」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK5級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・TOPIKⅡのライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。 ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKⅡの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
2回目	TOPIKⅡライティング問題分析1	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提

	TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う		示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIのライティング問題の類型を 分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提 示する講座テーマを確認して必要な単語、 表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、 単語テストを準備する(2時間)
12回目	TOPIKIIライティング問題分析11	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提

	TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う		示す講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各言語検定の習得のために必要な点数、過去受験生の得点数推移や傾向分析を授業指導に活用する ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に私語及び指示なしの携帯使用がないようにすること
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:韓国語ライティング&文法Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC708

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
前期(7Q-8Q)	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
パク・キョン				

授業概要	実用的な外国語能力を使い多様な人々とコミュニケーションをとる能力を身に付けるため、大韓民国政府(教育省)が認定・実施する唯一の韓国語試験である韓国語能力試験(TOPIK)を通じて、韓国語の教育評価を標準化し、韓国語の学習者に学習方法を提示する。本授業は「TOPIKⅡ」を受験するためにリスニング・リーディング・ライティングなどを学習した上で模擬試験を行う。本試験の際に個人が持っている能力が十分発揮できるようにして、TOPIK5級以上合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・韓国語で、身近な、あるいは関心のある話題について、必要な語彙を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。 ・TOPIKⅡのライティング問題の類型を把握できる。	・定期試験 ・単語小テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・仕事、学校、娯楽などたいいな場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる	・グループワーク	15%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、単語小テスト20%、グループワーク15%、授業への参加・態度5%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、MELLY及びGOOGLECLASSを利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。
- ・課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行なう。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション 授業の進み方、アンケート調査、クラス分け、自己紹介 TOPIK概要、TOPIKⅡの特徴、勉強方法について	対面授業	予習 シラバスを確認して関連情報を集める(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

2回目	TOPIKIIライティング問題分析1 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
3回目	TOPIKIIライティング問題分析2 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
4回目	TOPIKIIライティング問題分析3 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
5回目	TOPIKIIライティング問題分析4 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
6回目	TOPIKIIライティング問題分析5 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
7回目	TOPIKIIライティング問題分析6 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
8回目	TOPIKIIライティング問題分析7 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
9回目	TOPIKIIライティング問題分析8 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
10回目	TOPIKIIライティング問題分析9 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
11回目	TOPIKIIライティング問題分析10 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)

12回目	TOPIKIIライティング問題分析11 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
13回目	TOPIKIIライティング問題分析12 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、模擬テストを準備する(2時間)
14回目	TOPIKIIライティング問題分析13 TOPIKIIのライティング問題の類型を分析し、受験対策を行う	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 授業内容をまとめた内容を確認して、単語テストを準備する(2時間)
15回目	総まとめ 今まで学習した内容の整理	対面授業	予習 シラバス及びGOOGLECLASSに提示する講座テーマを確認して必要な単語、表現を整理する(2時間) 復習 今までの授業内容をまとめた内容を確認して、定期試験を準備する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:「TOPIKII한국어능력시험 토픽 쓰기」 参考書:「TOPIKII1冊でOK」日本語版
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	なし・授業に関する質問は授業の前・後に直接に質問する、またはメール等で連絡する。
備考・メッセージ	毎回予習・復習の小テスト(単語)があります。

講義科目名称:基礎日本語 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC110

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
宮崎 香梅			⑦グループ・ワーク	

授業概要	本授業は、①授業の導入段階(授業内容に興味・関心を持つ)②「スタートテスト」で腕ためし(重点を置く文法知識を絞る)③各課の文法知識について、例文を挙げて説明を聞く。④教科書の練習問題を解く。グループワークで意見交換し、解答する。⑤練習問題の解説。要点を絞ってまとめる。⑥プリントを配って練習問題を解く。⑦配布資料の解答、解説。の流れで学ぶ。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	グループ活動で自分の役割を理解し、チームメンバーと協力しながら活動することができる。	グループワーク	5%
確かな専門的知識や技能	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。身近なあるいは関心のある話題について、必要な語彙・文法表現を用いて筋の通った簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	他者に対して常に親和的な態度で関わる事ができる。	授業中の言動	10%
課題解決能力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	課題、予習・復習	10%
主体的に学ぶ力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業態度、参加度	5%
合計			100%

補足事項	
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では授業態度・参加度5%、課題・予習復習10%、授業中の言動10%、グループワーク5%、ミニテスト10%、定期試験60%の割合で評価する。 ・本講義の課題レポートはGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される。 ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ◇出欠確認、欠席連絡の仕方 ◇授業内容、進め方、予習復習の仕方 ◇評価方法の説明 第1課 いろいろな働きをする助詞 第18課(ポイント1)	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
2回目	第2課 話題の取り立て 第18課(ポイント2、ポイント3) 【ミニテスト 1】	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	第3課 助詞の働きをする言葉1 第19課 丁寧な言い方 【ミニテスト 2】	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	第4課 助詞の働きをする言葉2 第20課 会話・文章のまとめ(ポイント1、ポイント2) 【ミニテスト 3】	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目 (5/9)	第5課 助詞の働きをする言葉3 第20課 会話・文章のまとめ(ポイント3) 【ミニテスト 4】	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	第6課 名詞化の方法「こと」と「の」 第17課 語彙を広げる(ポイント1) 【ミニテスト 5】	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	第7課 複文構造 第17課 語彙を広げる(ポイント2) 【ミニテスト 6】	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	第8課 名詞修飾 第9課 複文を作る言葉1 【ミニテスト 7】	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	第10課 複文を作る言葉2 第11課 複文を作る言葉3(ポイント1) 【ミニテスト 8】	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	第11課 複文を作る言葉3(ポイント2、ポイント3) 第12課 否定の言い方 【ミニテスト 9】	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	第13課 わたしからの発信1 第14課 わたしからの発信2 【ミニテスト 10】	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	第15課 決まった使い方の副詞 【ミニテスト 11】 中級日本語文法要点整理ポイント20復習①	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	第16課 接続の言葉 【ミニテスト 12】 中級日本語文法要点整理ポイント20復習②	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:中級日本語文法要点の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	中級日本語文法要点整理ポイント20復習③	対面授業 オンライン等 の対応可	予習:中級日本語文法要点の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	中級日本語文法要点整理ポイント20総まとめ		予習:今までの内容をまとめる。 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:『中級日本語文法要点整理ポイント20』 参考書:『初級日本語文法総まとめポイント20』
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	指定された課題を必ず、授業前にはしておくこと
オフィスアワー	月曜日13:30~14:30
備考・メッセージ	『初級日本語文法総まとめポイント20』と合わせて、『中級日本語文法要点整理ポイント20』を使うことをお勧めします。 また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称:基礎日本語 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC110

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦グループ・ワーク	

授業概要	日本語学習の基礎となる初級日本語文法を習得し初中級日本語文法の運用力をつける。学習した文型や語彙の理解を深め、学んだ内容をもとに練習を継続的に行い、能動的な言語活動を促す。 対象者はN4レベルの学習者である。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して常に親和的な態度で話したり行動することができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	日本語で、身近な出来事や関心のあるトピックについて、必要な文型や語彙を用いて簡単な文章を書くことができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	チームでの活動時、自分の役割を理解し、活動することができる。		
課題解決能力	日常生活の場面で自らの意思を表現・伝達し、相手の意思を理解し得ることができる。自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる。	授業態度	10%
合計			100%

補足事項	
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では授業態度20%、ミニテスト10%、期末テスト60%、課題10%の割合で評価する ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション google class roomの使い方説明 授業内容を説明 第1課 助詞	対面授業	予習:教科書を読んで内容を理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)

	第2課「は」と「が」		
2回目	第3課 活用① 第4課 活用②	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
3回目	第5課 動詞の活用 第6課 普通形 <u>「ミニテスト①」</u>	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) ミニテストの準備(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
4回目	第7課 こ・そ・あ 自分と相手の関係 第8課 申し出・勧誘 <u>「ミニテスト②」</u>	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
5回目 (5/9)	第9課 自分か他者か 第10課 継続性か、瞬間性か	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
6回目	第11課 話者の位置 ～ていく・～てくる <u>「ミニテスト③」</u>	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
7回目	第12課 他動詞と自動詞の対	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
8回目	第13課 可能表現 <u>「ミニテスト④」</u>	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
9回目	第14課 事実か、気持ちが入っているか	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
10回目	第15課 条件など <u>「ミニテスト⑤」</u>	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
11回目	第16課 授受 だれがだれに？	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
12回目	第17課 使役 <u>「ミニテスト⑥」</u>	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
13回目	第18課 受身・使役受身	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
14回目	第19課 敬語・コラム <u>「ミニテスト⑦」</u>	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)

15回目	第20課 文のスタイル・コラム	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:既習単語と文型を確認する(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	短期集中初級日本語文法総まとめポイント20
履修条件	日本語の学習時間が300から400時間程度の学習者を対象とする
履修上の注意	予習、復習を必ず行うこと。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	できるだけ母国語を使わないこと。 調べる以外にはスマートフォンを使用しないこと。 また、授業開始15分以内の出席は遅刻扱いになりますが、15分を越す場合は欠席になります。また、ひとつの授業に75分以上の出席がない場合、欠席扱いとなります。

講義科目名称:基礎日本語Ⅱ N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
西尾 春奈			②	

授業概要	初中級から中級・中上級レベルの学習をする。主に「読んでわかる」に重点をおく。自分の気持ち、状況、経験などをより豊かに表現できるようになることを 目標とする。後半は初中級レベルの内容を踏まえて、中級・中上級レベルの学習をする。読むことに役立つ文法・文型も同時に学習する。実際に使える日本語 力向上を目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。		
確かな専門的知識や技能	自分の意見や感想が表現でき、初中級から中上級レベル相当の基礎日本語を習得する。また、使える日本語を身に付け異文化の中で自己表現ができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	ことばと文化を合わせて学び異文化の中で自己表現ができる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業	予習:2回目の語彙を調べ覚える。読解2.3(4時間)

	評価方法の説明 インタビュー 読解をはじめるあなたへ 1		
2回目	読解をはじめるあなたへ 2.3	対面授業	予習:読解4.5の語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	読解をはじめるあなたへ 4.5	対面授業	予習:読解6.7語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	読解をはじめるあなたへ 6.7	対面授業	予習:読解8.9語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	読解をはじめるあなたへ 8.9	対面授業	予習:読解10.11語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	読解をはじめるあなたへ 10.11	対面授業	予習:読解12.13語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	読解をはじめるあなたへ 12.13	対面授業	予習:読解14.15語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	読解をはじめるあなたへ 14.15	対面授業	予習:読解16.17語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	読解をはじめるあなたへ 16.17	対面授業	予習:読解18.19語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	読解をはじめるあなたへ 18.19	対面授業	予習:読解20.21語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	読解をはじめるあなたへ 20.21	対面授業	予習:読解22.23語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	読解をはじめるあなたへ 22.23	対面授業	予習:読解まとめ語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	読解をはじめるあなたへ 復習①	対面授業	予習:読解まとめ語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	読解をはじめるあなたへ 復習②	対面授業	予習:読解まとめ語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	読解をはじめるあなたへ 総まとめ	対面授業	予習:定期試験の準備(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	読解をはじめるあなたへ
履修条件	意欲的に授業に参加できること

履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:基礎日本語Ⅱ N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
宮崎 香梅				

授業概要	初中級から中級・中上級レベルの学習をする。主に「読んでわかる」に重点をおく。自分の気持ち、状況、経験などをより豊かに表現できるようになることを目標とする。後半は初中級レベルの内容を踏まえて、中級・中上級レベルの学習をする。読むことに役立つ文法・文型も同時に学習する。実際に使える日本語 力向上を目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。		
確かな専門的知識や技能	自分の意見や感想が表現でき、初中級から中上級レベル相当の基礎日本語を習得する。また、使える日本語を身に付け異文化の中で自己表現ができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	ことばと文化を合わせて学び異文化の中で自己表現ができる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業 オンライン可	予習:2回目の語彙を調べ覚える。

	評価方法の説明 インタビュー 読解をはじめるあなたへ 1		
2回目	読解をはじめるあなたへ 2.3	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	読解をはじめるあなたへ 4.5	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	読解をはじめるあなたへ 6.7	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	読解をはじめるあなたへ 8.9	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	読解をはじめるあなたへ 10.11	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	読解をはじめるあなたへ 12.13	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	読解をはじめるあなたへ 14.15	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	読解をはじめるあなたへ 16.17	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	読解をはじめるあなたへ 18.19	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	読解をはじめるあなたへ 20.21	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	読解をはじめるあなたへ 22.23	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	読解をはじめるあなたへ 復習①	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	読解をはじめるあなたへ 復習②	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	読解をはじめるあなたへ 総まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	読解をはじめるあなたへ
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:基礎日本語Ⅱ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦グループワーク	

授業概要	初中級から中級・中上級レベルの学習をする。主に「読んでわかる」に重点をおく。自分の気持ち、状況、経験などをより豊かに表現できるようになることを 目標とする。後半は初中級レベルの内容を踏まえて、中級・中上級レベルの学習をする。読むことに役立つ文法・文型も同時に学習する。実際に使える日本語 力向上を目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる。		
確かな専門的知識や技能	自分の意見や感想が表現でき、初中級から中上級レベル相当の基礎日本語を習得する。また、使える日本語を身に付け異文化の中で自己表現ができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	ことばと文化を合わせて学び異文化の中で自己表現ができる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業 オンライン可	予習:2回目の語彙を調べ覚える。

	評価方法の説明 インタビュー 読解をはじめるあなたへ 1		
2回目	読解をはじめるあなたへ 2.3	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	読解をはじめるあなたへ 4.5	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	読解をはじめるあなたへ 6.7	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	読解をはじめるあなたへ 8.9	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	読解をはじめるあなたへ 10.11	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	読解をはじめるあなたへ 12.13	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	読解をはじめるあなたへ 14.15	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	読解をはじめるあなたへ 16.17	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	読解をはじめるあなたへ 18.19	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	読解をはじめるあなたへ 20.21	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	読解をはじめるあなたへ 22.23	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	読解をはじめるあなたへ 復習①	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	読解をはじめるあなたへ 復習②	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	読解をはじめるあなたへ 総まとめ	対面授業 オンライン可	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	読解をはじめるあなたへ
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:基礎日本語Ⅱ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
塩田 裕明			①、⑤	

授業概要	この授業では、身近なテーマ(「日本で暮らす」「日本を知る」)に関する様々な文章に触れ、表現方法を学ぶと同時に、自分自身や身の回りのことについて相手に正確に伝わる文章が書けるようになることを目標とする。対象は N4 レベルの学生である。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	クラスメイトに対して親和的な態度で関わるができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	自分自身や身の回りのことについて相手に正確に伝わる文章を書くことができる。	課題・ミニテスト 定期試験	30% 40%
異文化知識・対応能力	与えられたテーマやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に興味を持ち、理解しようと試みることができる。	授業態度	10%
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験40%、課題30%、授業態度30%の割合で評価する。 ○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認 「日本を知る」 ①これは何でしょう？ 作文トレーニング1課	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom登録。文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
2回目	「日本で暮らす」 ①ハンバーガーショップで注文 ②お店で見つけたおもしろい物 作文トレーニング2課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)

			間)
3回目	ミニテスト① 「日本を知る」 ②なんの数でしょう？～日本の数～ ③朝の音 作文トレーニング3課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
4回目	「日本で暮らす」 ③遊びに行こう！ 作文トレーニング4課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
5回目	ミニテスト② 「日本を知る」 ④日本の名物 ⑤てるてる坊主 作文トレーニング5課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
6回目	「日本で暮らす」 ④週末に行ってみたい街 作文トレーニング6課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
7回目	ミニテスト③ 「日本を知る」 ⑥おむすびころりん 作文トレーニング7課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
8回目	「日本で暮らす」 ⑤野球を見に行きましょう 作文トレーニング8課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
9回目	ミニテスト④ 「日本を知る」 ⑦ハチ公 作文トレーニング9課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
10回目	「日本で暮らす」 ⑥イベントのお知らせ 作文トレーニング10課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
11回目	ミニテスト⑤ 「日本を知る」 ⑧お土産の始まり 作文トレーニング11課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
12回目	「日本で暮らす」 ⑦ケーキの食べ放題特集！ 作文トレーニング12課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
13回目	ミニテスト⑥ 「日本を知る」 ⑨旭山動物園	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深め

	作文トレーニング13課		る。指定された課題を提出する。(2時間)
14回目	「日本で暮らす」 ⑧沖縄へ行きたい 作文トレーニング14課	対面授業	【予習】文章を読み、わからない言葉の意味を調べておく。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
15回目	ミニテスト⑦ 総まとめ	対面授業	【予習】今までの授業内容を確認する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。指定された課題を提出する。(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『身近なテーマで伝える！にほんご作文トレーニング[初中級 (A2-B1)]』くろしお出版 『たのしい読みもの55』アルク
履修条件	目的意識を持って意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	毎回、教科書を持ってくること。
オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応、Google Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する) ○Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ○予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。

講義科目名称: 日本語会話 I N3上	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC111

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
西尾 春奈			⑦	

授業概要	基礎会話力を身につけるために、会話の場面や内容、写真、イラストなどを使用し 日常 会話を学習する。 ①日常生活でよく使われる文や表現が理解できる。 ②日常の事柄について情報交換に応じることができる。 実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点 をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
確かな専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N3 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogleclassroomを使用する。また、授業内容によりプリントを配布し、回収、フィードバックする。 ○課題発表やプレゼンテーションもある。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明	対面授業	予習:2回目の語彙を調べ覚える。(4時間) 漢字たまご2課を解いておく。

	インタビュー 初級2 A 2かつどう復習 トピック1・2 ○漢字たまご1課		
2回目	初級2 A 2かつどう復習 トピック3・4・5 ○漢字たまご2課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご2課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	初級2 A 2かつどう復習 トピック6・7・8・9 ○漢字たまご2課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご3課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	初中級 A2/B1 トピック 1part1 part2 ○漢字たまご3課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご3課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック 1 part3 part4 ○漢字たまご3課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご4課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック 1 part5 part6 ○漢字たまご4課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご4課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	初中級 A2/B1 トピック 2part1 ○漢字たまご4課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご5課を解いて 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック 2part2 part3 ○漢字たまご5課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご5課を解いて 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック 2 part4 part5 ○漢字たまご5課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご6課を解いておく 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	初中級 A2/B1 トピック 3part1 ○漢字たまご6課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご6課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック 3part2 part3 ○漢字たまご6課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご7課を解いておく 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック 3part4 part5 ○漢字たまご7課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご7課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	初中級 A2/B1 トピック 4part1 ○漢字たまご7課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご8課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック 4part2 part3 ○漢字たまご8課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご8課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック 4 part4 part5 ○漢字たまご8課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化初級2 A 2かつどう」 「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2／B1」 漢字たまご初中級
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語会話 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 みづほ			⑦	

授業概要	進学希望が多い留学生に流暢な日本語会話力を身に付けることを目標とする。 本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことば遣いができる、②豊富な語彙を用いることができる、③的確な表現ができる ことを目指したい。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・漢字テスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験50%、テスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。 ・漢字テストの出題範囲は、前回に必ず知らせる。(漢字たまご初中級1課～8課)			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 まると初級1A2かつどう(復習) 第1課～第2課	対面授業	予習:P22～32を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
2回目	第3課～第5課 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習:P33～53を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
3回目	第6課～8課	対面授業	予習:P54～72を読み自分の意見を持つ(2時間)

	・TOPICから会話を広げる		復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	第9課～12課 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P73～102を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	第13課～第16課 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P102～126を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	第17課、18課 課のまとめ ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P127～139を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	まるごと初中級A2/B1 TOPIC1 1～4 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P24～29を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	TOPIC1 5, 6 TOPIC2 1 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P30～35を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	TOPIC2 2～5 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P36～43を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	TOPIC3 1～3 ・TOPICから会話を広げる		予習: P44～49を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
11回目	TOPIC3 4, 5 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P50～53を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	TOPIC4 1, 2 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P54～57を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
13回目	TOPIC4 3, 4 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P58～62を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
14回目	TOPIC4 5 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P63を読み自分とつながりのある国について意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	いままでのふりかえり	対面授業	予習: いままでで気になったTOPICをチェックする(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと初級2Aかつどう、まるごと初中級A2B1日本のことばと文化 漢字たまご初中級 新聞、タウン誌、パンフレットなど参考にしましょう
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 授業でTOPICに即したNHK for Schoolの番組を見せることがあります。

講義科目名称: 日本語会話 I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC111

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲				

授業概要	進学希望が多い留学生に流暢な日本語会話力を身に付けることを目標とする。 本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことば遣いができる、②豊富な語彙を用いることができる、③的確な表現ができる ことを目指したい。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・ミニテスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験50%、ミニテスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 まると初級1日本のことばと文化 TOPIC 1わたしとかぞく だい1か東京に住んでいます P22～P27 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: P22～27を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
2回目	まると初級1日本のことばと文化 TOPIC 1 PART2しゅみはクラシックを聞くことです P28～P32	対面授業 オンライン等の 対応可	予習: P28～32を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)

	・TOPICから会話を広げる		
3回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 きせつとてんき だい3か日本はいま、はるです P33～P39 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P33～39を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 だい4か いいてんきですねP40～P46 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P40～46を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 わたしのまち だい5か このこうえんはひろくてきれいです P47～P53 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P47～53を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 だい6か まっすぐ行ってください P54～P60 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P54～60を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 でかける だい7か 10時でもいいですか P61～P67 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P61～67を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 だい8か もうやけいを見に行きましたか P68～P72 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P68～72を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 がいこくごとががいこくぶんかだい9か 日本語ははつおんがかんたんです P73～P79 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P73～79を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 だい10か いつか日本に行きたいです P80～P85 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P80～85を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
11回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 6 そとで食べる だい11か なにをもっていきますか だい12か おいしそうですね P89～P102 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P89～102を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 7 しゅっちょう だい13か たなかさんに会ったことがあります だい14かこれ、つかってもいいですか P103～P114 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P103～114を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
13回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 8 けんこう だい15か たいそうするといいですよ だい16か はったり、およ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P115～126を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)

	いだりしています P115～P126 ・TOPICから会話を広げる		認する(2時間)
14回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 9 おいわい だい17か たんじょう 日にもらったんです だい18か パーティがいいとおもいます P127～P139 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:P127～139を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	テストとふりかえり1, 2 P86, 87, 140, 141 ・TOPICから会話を広げる	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:いままでで気になったTOPICをチェックする(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと初級1日本のことばと文化 新聞、タウン誌、パンフレットなど参考にしましょう
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 授業でTOPICに即したNHK for Schoolの番組を見せることがあります。

講義科目名称: 日本語会話 I N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦	

授業概要	日常で使用する基礎会話やコミュニケーション力を養うことを目標とする。 日常生活で実際に使う身近な場面での会話を中心に「話す・聞く」に重点を置く N4レベルの学生を対象とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる	グループディスカッション	10%
専門的知識や技能	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 日常会話で使用するコミュニケーション能力を身に着けることができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	日本文化について理解できる。 授業内容やディスカッションを通して多様な文化を理解することができる	課題	10%
課題解決能力	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる	授業への参加・態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、グループディスカッション10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とし遅刻3回を欠席1回とする。 授業を5回欠席した場合、受験資格はなしとする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 まると初級1日本のことばと文化 TOPIC 1わたしとかぞく だい1か東京に住んでいますP22～P27 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第1課	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
2回目	まると初級1日本のことばと文化 TOPIC 1 PART2しゅみはクラシックを聞くこ	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間)

	とです P28～P32 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト		復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
3回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 きせつとてんき だい3か日本はいま、はるです P33～P39 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第2課	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 だい4か いいてんきですねP40～P46 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 まとめ・会話練習 ・漢字たまご第3課	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 わたしのまち だい5か このこうえんはひろくてきれいです P47～P53 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 だい6か まっすぐ行ってください P54～P60 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第4課	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 まとめ・会話練習 ミニテスト	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 でかける だい7か 10時でもいいですか P61～P67 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第5課	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 だい8か もうやけいを見に行きましたか P68～P72 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
11回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 まとめ・会話練習 ・漢字たまご第6課	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 がいこくごとがいこくぶんかだい9か 日本語ははつおんがかんたんです	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)

	P73～P79 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト		認する(2時間)
13回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 だい10か いつか日本に行きたいです P80～P85 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第7課	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
14回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 まとめ・会話練習 ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	1～14回までの授業のまとめ 漢字のまとめ・ふりかえり ・漢字たまご第8課 ミニテスト	対面授業	予習:いままでで気になったTOPICをチェックする(2時間) 復習:ふりかえりの復習(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと初級1A2かつどう日本のことばと文化 漢字たまご初級
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってメールで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。

講義科目名称: 日本語会話Ⅱ N3上	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
西尾 春奈			⑦	

授業概要	実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
確かな専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N3 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
○課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー ○漢字たまご初中級9課	対面授業	予習: 2回目(漢字たまご初中級10課①)の語彙を調べ覚える。(4時間)
2回目	初中級 A2/B1 トピック 5part1 ○漢字たまご初中級10課①	対面授業	予習: 語彙(漢字たまご初中級10課②)・文型の確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)

3回目	トピック 5part2 part3 ○漢字たまご初中級10課②	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級11課①)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック 5part4 part5 ○漢字たまご初中級11課①	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級11課②)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	初中級 A2/B1 トピック 6part1 ○漢字たまご初中級11課②	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級12課①)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック 6part2 part3 part4 ○漢字たまご初中級12課①	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級12課②)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック 6 part5 part6 ○漢字たまご初中級12課②	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級13課①)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	初中級 A2/B1 トピック 7part1 ○漢字たまご初中級13課①	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級13課②)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック 7part2 part3 ○漢字たまご初中級13課②	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級14課①)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック 7part4 part5 ○漢字たまご初中級14課①	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級14課②)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	初中級 A2/B1 トピック 8part1 ○漢字たまご初中級14課②	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級15課①)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック 8part2 part3 ○漢字たまご初中級15課①	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級15課②)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック 8 part4 part5 part6 ○漢字たまご初中級15課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	初中級 A2/B1 トピック 9part1 part2 part3 ○漢字たまご初中級復習①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック 9part4 part5 ○漢字たまご初中級復習②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	○「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1」 ○漢字たまご初中級
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応

備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語会話Ⅱ N3上	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
西尾 春奈			⑦	

授業概要	実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
確かな専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N3 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。
○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
○課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー ○漢字たまご初中級9課	対面授業	予習: 2回目(漢字たまご初中級10課①)の語彙を調べ覚える。(4時間)
2回目	初中級 A2/B1 トピック 5part1 ○漢字たまご初中級10課①	対面授業	予習: 語彙(漢字たまご初中級10課②)・文型の確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)

3回目	トピック 5part2 part3 ○漢字たまご初中級10課②	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級11課①)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック 5part4 part5 ○漢字たまご初中級11課①	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級11課②)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	初中級 A2/B1 トピック 6part1 ○漢字たまご初中級11課②	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級12課①)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック 6part2 part3 part4 ○漢字たまご初中級12課①	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級12課②)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック 6 part5 part6 ○漢字たまご初中級12課②	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級13課①)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	初中級 A2/B1 トピック 7part1 ○漢字たまご初中級13課①	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級13課②)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック 7part2 part3 ○漢字たまご初中級13課②	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級14課①)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック 7part4 part5 ○漢字たまご初中級14課①	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級14課②)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	初中級 A2/B1 トピック 8part1 ○漢字たまご初中級14課②	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級15課①)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック 8part2 part3 ○漢字たまご初中級15課①	対面授業	予習:語彙(漢字たまご初中級15課②)・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック 8 part4 part5 part6 ○漢字たまご初中級15課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	初中級 A2/B1 トピック 9part1 part2 part3 ○漢字たまご初中級復習①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック 9part4 part5 ○漢字たまご初中級復習②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	○「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1」 ○漢字たまご初中級
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応

備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語会話Ⅱ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 みづほ			⑦	

授業概要	日本で生活する中での、基礎的な日本語会話力を身に付けることを目標とする。 本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことば遣いができる、②覚えた語彙を用いることができる、③的確な表現ができる ことを目指したい。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話することができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・漢字テスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験50%、漢字テスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。 ・漢字テストは出題範囲を前回に必ず提示する。(漢字たまご初中級9～15課)			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 「トピック5」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)

2回目	「トピック5」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
3回目	「トピック5」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	「トピック6」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	「トピック6」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	「トピック6」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	「トピック7」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	「トピック7」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	「トピック7」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	「トピック8」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)

11回目	「トピック8」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	「トピック8」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
13回目	「トピック9」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
14回目	「トピック9」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	「トピック9」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと初中級A2/B1 漢字たまご初中級
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。 授業開始から15分経過したら欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 時間があれば、授業でNHK for schoolを視聴するので、番組を楽しみながらより会話力をつけましょう。

講義科目名称: 日本語会話Ⅱ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC202

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦	

授業概要	日常で使用する基礎会話やコミュニケーション力を養うことを目標とする。 日常生活で実際に使う身近な場面での会話を中心に「話す・聞く」に重点を置く N4レベルの学生を対象とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる	グループディスカッション	10%
専門的知識や技能	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 日常会話で使用するコミュニケーション能力を身に着けることができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	日本文化について理解できる。 授業内容やディスカッションを通して多様な文化を理解することができる	課題	10%
課題解決能力	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる	授業への参加・態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
授業の出欠、連絡、課題、ミニテスト、質問などはGoogle Classroomを利用する。 本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、グループディスカッション10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・オリエンテーション 授業の進め方と注意点についての説明をする。 ・まるごと初級1A2 だい11か「なにをもっていきますか」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第9課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
2回目	・トピック① だい12か「おいしそうですね」	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間)

	・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第9課 ・ミニテスト		復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
3回目	・トピック② - だい13か「たなかさんに会ったことがあります」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第10課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	・トピック② - だい14か「これ、つかってもいいですか」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	・トピック③ - だい15か「たいそうするといいですよ」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第11課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	・トピック③ - だい16か「はったり、およいだりしています」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	・トピック④ - だい17か「たんじょう日にもらったんです」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第12課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	・トピック④ - だい18か「パーティーがいいとおもいます」 ・TOPICから会話を広げる ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	まるごと初級2A2かつどう ・トピック① - だい1か「いいなまえですね」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第13課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	・トピック① - だい2か「めがねをかけている人です」 ・TOPICから会話を広げる ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
11回目	・トピック② - だい3か「おすすめは何ですか」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第14課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	・トピック② - だい4か「どうやって食べますか」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
13回目	・トピック③ - だい5か「ぼうしを持っていったほうがいいですよ」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第15課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)

14回目	・トピック③ だい6か「イルカのショーが見られます」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習:内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	漢字・授業のまとめ	対面授業	予習:内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと初級1A2かつどう日本のことばと文化 まるごと初級2A2かつどう日本のことばと文化 漢字たまご初級
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。 授業開始から15分経過したら欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。

講義科目名称: 日本語会話Ⅲ N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里			⑦	

授業概要	実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。特に、話す・聞くに焦点を当て、相手や目的・場面に応じて適切に対応できることを目指す。対象は N1 レベルの学生である。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して親和的な態度で関わるができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	様々な話題について、相手や目的・場面に適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、話を聞いて相手の意思を理解することができる。	ミニテスト 定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に関心を持ち、理解しようと試みることができる。	授業態度	10%
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテスト・課題を評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2回目	●ミニテスト ●ユニット1 許可を求める セクション1 許可を求める	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2

			時間)
3回目	●ミニテスト ●ユニット1 許可を求める - セクション2 許可の求めに答える	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
4回目	●ミニテスト ●ユニット1 許可を求める - セクション3 総合練習	対面授業	【予習】セクション1,2の内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
5回目	●ミニテスト ●ユニット2 依頼する - セクション1 依頼する	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
6回目	●ミニテスト ●ユニット2 依頼する - セクション2 依頼に答える	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
7回目	●ミニテスト ●ユニット2 助言する - セクション3 総合練習	対面授業	【予習】セクション1,2の内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
8回目	●ミニテスト ●ユニット1,2のまとめ	対面授業	【予習】セクション1,2の内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
9回目	●ミニテスト ●ユニット3 謝罪する - セクション1 謝罪する	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
10回目	●ミニテスト ●ユニット3 謝罪する - セクション2 謝罪に答える	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
11回目	●ミニテスト ●ユニット3 不満を伝える - セクション3 総合練習	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
12回目	●ミニテスト ●ユニット4 誘う	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間)

	セクション1 誘う		る。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
13回目	●ミニテスト ●ユニット4 誘う セクション2 誘いに答える	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
14回目	●ミニテスト ●ユニット4 誘う セクション3 総合練習	対面授業	【予習】セクション1,2の内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
15回目	●ミニテスト ●ユニット3,4のまとめ	対面授業	【予習】セクション1,2の内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
16回目	定期試験		【予習】定期試験に向けて準備を行う。(2 時間) 授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『みがけ!コミュニケーションスキル 中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』スリーエーネットワーク
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称: 日本語会話Ⅲ N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 みづほ			⑦	

授業概要	実際に使える日本語習得のため、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
確かな専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの実力)	定期試験 漢字テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、漢字テスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○漢字テストの範囲は、次回の分を指示する。漢字たまご中級1 第5課～6課 ○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。 ○課題発表やプレゼンテーションもある。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。

2回目	トピック7part1 私は柔道をやってます	対面授業	予習:3 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック7part2 練習は何曜日にあるんでしょうか?	対面授業	予習:4回目の語彙を調べ覚える。ページ161を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピックpart3 子どものころ、学校で習いました。	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック7part1～3まとめ	対面授業	予習:6回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック8part1 スマホなしじゃどこにも行けない!	対面授業	予習:7 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック8part2 電子辞書を買おうと思うんですけど	対面授業	予習:8回目の語彙を調べ覚える。ページ179を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック8part3 いいもの買ったんですよ	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック8part1～3まとめ	対面授業	予習:10 回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック9part1 祭りは7日まで続きます	対面授業	予習:11 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック9part2 私も踊ってきました	対面授業	予習:12 回目の語彙を調べ覚える。ページ197を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック9part3 祭りのいちばんの見どころは...	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック9part1～3まとめ	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック7～9part1～3 総まとめ①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック7～9part1～3 総まとめ②	対面授業	予習:定期試験の準備(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるとと 中級1 B1、漢字たまご中級1B1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること

オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語会話ⅢN3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
西尾 春奈				⑦

授業概要	実際に使える日本語習得のため、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N3レベルの 実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・ 方策の決定等の力を身に付け、日常生活の 課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態 度	10%
合計			100%

補足事項	
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。 ○課題発表やプレゼンテーションもある。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明	対面授業	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級1課①)

	インタビュー		(4時間)
2回目	トピック1part1 みなさん、こんにちは ○漢字たまご中級1課①	対面授業	予習:3 回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級1課②) 文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
3回目	トピック1part2 あのう、失礼ですが・・・ ○漢字たまご中級1課②	対面授業	予習:4 回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級1課③) ページ 53を考察する。 (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
4回目	トピック1part3 はじめまして、マイと申します ○漢字たまご中級1課③	対面授業	予習:語彙・文型の確認 (漢字たまご中級1課④) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
5回目	トピック1part4.5 ○漢字たまご中級1課④	対面授業	予習:6 回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級1課) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
6回目	トピック2part1 ここは、とくに魚がうまい ○漢字たまご中級1課復習	対面授業	予習:7 回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級2課①) 文型を確認する (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック2part2 お好み焼き粉は・・・ ○漢字たまご中級2課①	対面授業	予習:8 回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級2課②) ページ 71 を考察する。 (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
8回目	トピック2part3 ぜひ、めしあがってみてください ○漢字たまご中級2課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認 (漢字たまご中級2課②) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
9回目	トピック2part4.5 ○漢字たまご中級2課③	対面授業	予習:10回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級2課④) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
10回目	トピック3part1 やっぱり演歌でしょう ○漢字たまご中級2課④	対面授業	予習:11回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級2課) 文型を確認する (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
11回目	トピック3part2 いい歌は古くならないんです ○漢字たまご中級2課復習	対面授業	予習:12回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級2課) ページ 89 を考察する。 (2 時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
12回目	トピック3part3 彼女のすごいところは・・・ ○漢字たまご中級1.2課	対面授業	予習:語彙・文型の確認 (漢字たまご中級1.2課) (2時間) 復習:既習内容の確認

			(2時間)
13回目	トピック3part4.5 ○漢字たまご中級1.2課	対面授業	予習:語彙・文型の確認 (漢字たまご中級1.2課) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
14回目	トピック1～3総まとめ① ○漢字たまご中級1.2課	対面授業	予習:語彙・文型の確認 (漢字たまご中級1.2課) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
15回目	トピック1～3 総まとめ② ○漢字たまご中級1.2課	対面授業	予習:定期試験の準備 (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 中級1 B1 漢字たまご中級
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語会話Ⅲ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦	

授業概要	実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。 特に、日常生活で出会う身近な場面を中心に、話す・聞くに焦点を当てて授業を行う。 対象は N4 レベルの学生である。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して親和的な態度で積極的に関わることができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	身近な話題について、場面に適した語彙や表現を用いて詳しく伝えることができる。 また、相手の話を具体的に理解することができる。	ミニテスト 定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力	トピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考えから学びを深め、相手との関係を発展することができる	授業態度	10%
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、自ら設定した目標に向かってクラスメイトと協力しながら粘り強く授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習: シラバスを読み、教科書を準備する。内容を把握する(2時間) 復習: 学んだ内容をもう一度確認する(2時間)。
2回目	トピック1 スポーツの試合①～③	対面授業	予習: 教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる

	漢字たまご第1課①		(2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
3回目	トピック1 スポーツの試合14~6 漢字たまご第1課②	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
4回目	トピック1 まとめ ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
5回目	トピック2 家をさがす1~3 漢字たまご第2課①	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
6回目	トピック2 家をさがす4~5 漢字たまご第2課②	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
7回目	トピック2 まとめ ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
8回目	トピック3 ほっとする食べ物1~3 漢字たまご第3課①	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
9回目	トピック3 ほっとする食べ物4~5 漢字たまご第3課②	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
10回目	トピック3 まとめ ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
11回目	トピック4 訪問1~3 漢字たまご第4課①	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
12回目	トピック4 訪問4~5 トピック4まとめ 漢字たまご第4課②	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認

	ミニテスト		する。(2時間)
13回目	トピック5 ことばを学ぶ楽しみ①～③ 漢字たまご第5課①	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語 や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認 する。(2時間)
14回目	トピック5 ことばを学ぶ楽しみ④～⑤ トピック5まとめ 漢字たまご第5課②	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語 や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認 する。(2時間)
15回目	まとめの問題 ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語 や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認 する。(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと 初中級A2/B1 漢字たまご初中級
履修条件	意欲的に授業に参加すること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること わからない単語などを調べるため、携帯電話やスマートフォンなどの電子機器を持ってくるのが望ましい。 遅刻や欠席の場合には必ずメールで連絡をすること。
オフィスアワー	授業の前後で対応する。 事前にclassroomやメールなどで連絡、または直接相談すること
備考・メッセージ	授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語会話IVN1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
西尾 春奈			⑦	

授業概要	日本人とコミュニケーションするときに「相手の気持ちに配慮しながらも、自分の考えや気持ちをきちんと伝えることができるようになる」ことを目的とする。また、各ユニットを通して、場面や相手にそった適切なことばの使い方を効率的・体系的に学ぶことができる。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
確かな専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N1 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。 ○課題発表やプレゼンテーションもある。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習: 語彙を調べ覚える。(4時間)
2回目	ユニット5申し出をする セクション1	対面授業	予習: ユニット5セクション2をよく読み理解しておく(2時間)

			復習:既習内容の確認 (2時間)
3回目	ユニット5申し出をする セクション2	対面授業	予習:ユニット5セクション3をよく読み理解 しておく。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	ユニット5申し出をする セクション3	対面授業	予習:ユニット6セクション1をよく読み理解 しておく (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	ユニット6助言する セクション1	対面授業	予習:ユニット6セクション2をよく読み理解 しておく(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	ユニット6助言する セクション2	対面授業	予習:ユニット6セクション3をよく読み理解 しておく(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	ユニット6助言する セクション3	対面授業	予習:ユニット7セクション1をよく読み理解 しておく(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	ユニット7不満を伝える セクション1	対面授業	予習:ユニット7セクション2をよく読み理解 しておく(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	ユニット7不満を伝える セクション2	対面授業	予習:ユニット7セクション3をよく読み理解 しておく(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	ユニット7不満を伝える セクション3	対面授業	予習:ユニット8セクション1をよく読み理解 しておく(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	ユニット8ほめる セクション1	対面授業	予習:ユニット8セクション2をよく読み理解 しておく(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	ユニット8ほめる セクション2	対面授業	予習:ユニット8セクション3をよく読み理解 しておく(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	ユニット8ほめる セクション3	対面授業	予習:ユニット5～8をよく読み理解しておく (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	ユニット5～8復習①	対面授業	予習:ユニット5～8をよく読み理解しておく (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	ユニット5～8復習②	対面授業	予習:定期試験の準備 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応

備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:日本語会話Ⅳ N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 みづほ			⑦	

授業概要	実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
確かな専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの 実力)	定期試験 漢字テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○課題提出や連絡は Google classroom を利用する ○定期試験 60%、漢字テスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。 ○毎回の漢字テストの出題範囲は、漢字たまご中級7～8課から事前に指示する。 ○課題発表やプレゼンテーションもある。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習:2回目の授業の語彙を調べ覚える。
2回目	トピック1part1	対面授業	予習:3回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

3回目	トピック1part2	対面授業	予習:4 回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック1part3	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック1part4	対面授業	予習:6 回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック 1part5 まとめ	対面授業	予習:7 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック 2part1	対面授業	予習:8 回目の語彙を調べ覚える。ページ 125 を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック 2part2	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック 2part3	対面授業	予習:10 回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック 2part4	対面授業	予習:11 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック 2part5	対面授業	予習:12 回目の語彙を調べ覚える。ページ 143 を考察する。(2 時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック 3part1	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック 3part2	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック3part3, 4	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック3part5 まとめ	対面授業	予習:定期試験の準備(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級1」、漢字たまご中級1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応

備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語会話Ⅳ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC410

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦	

授業概要	実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。特に、話す・聞くに焦点を当て、相手や目的・場面に応じて適切に対応できることを目指す。対象は N3 レベルの学生である。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	様々な話題について、各場面に適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、話を聞いて相手の意思を理解し、適切な反応ができる。	ミニテスト 定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に関心を持ち、理解しようと試みることができる。	授業態度	10%
課題解決能力	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認 ○漢字たまご中級3課①②	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2回目	トピック4 Part 1 今、私は温泉に來ています。 ○漢字たまご中級3課③④	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)

			時間)
3回目	トピック4 Part 2 日本の旅館ははじめてです。 ミニテスト①	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
4回目	トピック4 Part 3 いちばん行きたいのは... ○漢字たまご中級4課①②	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
5回目	トピック4 Part 4 とても満足しました。 ミニテスト②	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
6回目	トピック4 Part 5 食事についての問い合わせ ○漢字たまご中級4課③④	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
7回目	トピック5 Part 1 /2 ねえ、聞いて聞いて 最近、仕事が忙しくて... ミニテスト③	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
8回目	トピック5 Part 3 最近、ヨガにはまってるんです ○漢字たまご中級5課①②	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
9回目	トピック5 Part 4 我が家の近況ですが... ミニテスト④	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
10回目	トピック5 Part 5 お元気ですか ○漢字たまご中級5課③④	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
11回目	トピック6 Part 1 /2 すごく有名なマンガですよ これはチョッパーの帽子です ミニテスト⑤	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
12回目	トピック6 Part 3 酒飲みの大男の話です	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめ

	○漢字たまご中級6課①②		る。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13回目	トピック6 Part 4 マンガばかり読んでいて... ミニテスト⑥	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14回目	トピック6 Part 5 「悩める母」さんへ。 ○漢字たまご中級6課③④	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15回目	トピックのまとめ ミニテスト⑥	対面授業	【予習】教科書の内容を読み、単語などを調べてくる。ミニテストの準備(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16回目	定期試験		【予習】定期試験に向けて準備を行う。(2時間) 授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『まるごと 中級1 にほんのことばと文化』 漢字たまご 中級1
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 ・遅刻や欠席がある場合には必ずメールで連絡すること。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称: 日本語会話Ⅳ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC410

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里			②問題解決学習 ⑦グループワーク	

授業概要	実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。 特に、日常生活で出会う身近な場面を中心に、話す・聞くに焦点を当てて授業を行う。 対象は N4 レベルの学生である。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して親和的な態度で関わるができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	身近な話題について、場面に適した語彙や表現を用いて詳しく伝えることができる。 また、相手の話を具体的に理解することができる。	ミニテスト・課題 定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方に興味を持ち、理解しようと試みることができる。	授業態度	10%
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテスト・課題を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認		【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2回目	●漢字の時間 第9課①(課題・ミニテス	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、

	ト) ●トピック6ー①②		「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】⑤⑥の「文法・文型を勉強しましょう」「読みましょう」を行う。 授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3回目	●漢字の時間 第9課②(課題・ミニテスト) ●トピック6ー③④	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】⑤⑥の「文法・文型を勉強しましょう」「読みましょう」を行う。 授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
4回目	●漢字の時間 第10課①(課題・ミニテスト) ●トピック6のまとめ	対面授業	【予習】これまでの学習で理解が不十分なところを把握しておく(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
5回目	●漢字の時間 第10課②(課題・ミニテスト) ●トピック7ー①②	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】⑤⑥の「文法・文型を勉強しましょう」「読みましょう」を行う。 授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
6回目	●漢字の時間 第11課①(課題・ミニテスト) ●トピック7ー③	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】④⑤の「文法・文型を勉強しましょう」「読みましょう」を行う。 授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
7回目	●漢字の時間 第11課②(課題・ミニテスト) ●トピック7のまとめ	対面授業	【予習】これまでの学習で理解が不十分なところを把握しておく(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
8回目	●漢字の時間 第12課①(課題・ミニテスト) ●トピック8ー①②	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】⑤⑥の「文法・文型を勉強しましょう」「読みましょう」を行う。 授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
9回目	●漢字の時間 第12課②(課題・ミニテスト) ●トピック8ー③④	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】⑤⑥の「文法・文型を勉強

			しましょう」「読みましょう」を行う。 授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
10回目	●漢字の時間 第13課①(課題・ミニテスト) ●トピック8のまとめ	対面授業	【予習】これまでの学習で理解が不十分なところを把握しておく(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
11回目	●漢字の時間 第13課②(課題・ミニテスト) ●トピック9ー①②	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】④⑤の「文法・文型を勉強しましょう」「読みましょう」を行う。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
12回目	●漢字の時間 第14課①(課題・ミニテスト) ●トピック9ー③	対面授業	【予習】授業範囲の語句の確認、「聞きましょう」「聞いて言いましょう」「ことばの使い方のルールを発見しましょう」を行う。(2 時間) 【復習】⑤⑥の「文法・文型を勉強しましょう」「読みましょう」を行う。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
13回目	●漢字の時間 第14課②(課題・ミニテスト) ●トピック9のまとめ	対面授業	【予習】これまでの学習で理解が不十分なところを把握しておく(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
14回目	●漢字の時間 第15課①(課題・ミニテスト) ●総まとめ	対面授業	【予習】これまでの学習で理解が不十分なところを把握しておく(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
15回目	●漢字の時間 第15課②(課題・ミニテスト) ●プレゼンテーション準備	対面授業	【予習】プレゼンテーションの資料集め、原稿作成(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
16回目	定期試験(プレゼンテーション)		【予習】定期試験に向けて準備を行う。(2 時間) 授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『まるごと 日本のことばと文化 初中級 A2/B1』三修社 『漢字たまご 初中級』凡人社
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。

履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくる ことが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称:日本語会話VN2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2	選択	演習
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
西尾 春奈				⑦

授業概要	学習の成果が教室の外での実際のコミュニケーションにつながるように、これまで学習してきた会話に役立つ文法・文型、会話を基にロールプレイなどを通して使える日本語を定着させる。実際にコミュニケーションをする中で自分に必要な情報をひろったり、話の重要な点を理解して会話を勧めたりできるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	様々な場面で日本語を使い分けて、表現できる。(日本語能力試験 N2 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	中上級相当の知識で多様な文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペア ワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・ 態度	10%
合計			100%
補足事項			

○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。

○課題提出や連絡は Google classroom を使用する。また、授業内容によりプリントを配布し、回収、フィードバックする。

○定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業	予習:トピック 4① part1 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

	評価方法の説明 インタビュー		
2 回目	トピック 4① part1 ○漢字たまご中級9課①	対面授業	予習:トピック 4②part2 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3 回目	トピック 4②part2 ○漢字たまご中級9課②	対面授業	予習:トピック 4③part3 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4 回目	トピック 4③part3 ○漢字たまご中級9課③	対面授業	予習:トピック 4④part4.5 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5 回目	トピック 4④part4.5 ○漢字たまご中級9課④	対面授業	予習:トピック5①part1 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6 回目	トピック5①part1 ○漢字たまご中級9課復習	対面授業	予習:トピック 5②part2 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7 回目	トピック 5②part2 ○漢字たまご中級10課①	対面授業	予習:トピック5③part3 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8 回目	トピック5③part3 ○漢字たまご中級10課②	対面授業	予習:トピック 5④part4.5 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9 回目	トピック 5④part4.5 ○漢字たまご中級10課③	対面授業	予習:トピック 6①part1 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10 回目	トピック 6①part1 ○漢字たまご中級10課④	対面授業	予習:トピック6②part2 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

11 回目	トピック6②part2 ○漢字たまご中級10課復習	対面授業	予習:トピック 6③part3 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12 回目	トピック 6③part3 ○漢字たまご中級9.10課復習	対面授業	予習:トピック 6④part4.5 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13 回目	トピック 6④part4.5 ○漢字たまご中級9.10課復習	対面授業	予習:トピック 4～6 総まとめ語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14 回目	トピック 4～6 総まとめ ① ○漢字たまご中級9.10課復習	対面授業	予習:トピック 4～6総まとめ語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

	会話・ロールプレイ		
15 回目	トピック 4～6総まとめ ② 会話・ロールプレイ ○漢字たまご中級9.10課復習	対面授業	予習:定期試験の準備(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16 回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」 漢字たまご中級1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:日本語会話Ⅴ N3上	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC510

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
西尾 春奈			⑦	

授業概要	基礎会話力を身につけるために、会話の場面や内容、写真、イラストなどを使用し 日常 会話を学習する。 ①日常生活でよく使われる文や表現が理解できる。 ②日常の事柄について情報交換に応じることができる。 実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
確かな専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N3 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogleclassroomを使用する。また、授業内容によりプリントを配布し、回収、フィードバックする。 ○課題発表やプレゼンテーションもある。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明	対面授業	予習:2回目の語彙を調べ覚える。 (4時間) 漢字たまご2課を解いておく。

	インタビュー 初級2 A 2かつどう復習 トピック1・2 ○漢字たまご1課		
2回目	初級2 A 2かつどう復習 トピック3・4・5 ○漢字たまご2課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご2課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	初級2 A 2かつどう復習 トピック6・7・8・9 ○漢字たまご2課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご3課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	初中級 A2/B1 トピック 1part1 part2 ○漢字たまご3課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご3課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック 1 part3 part4 ○漢字たまご3課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご4課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック 1 part5 part6 ○漢字たまご4課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご4課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	初中級 A2/B1 トピック 2part1 ○漢字たまご4課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご5課を解いて 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック 2part2 part3 ○漢字たまご5課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご5課を解いて 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック 2 part4 part5 ○漢字たまご5課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご6課を解いておく 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	初中級 A2/B1 トピック 3part1 ○漢字たまご6課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご6課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック 3part2 part3 ○漢字たまご6課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご7課を解いておく 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック 3part4 part5 ○漢字たまご7課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご7課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	初中級 A2/B1 トピック 4part1 ○漢字たまご7課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご8課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック 4part2 part3 ○漢字たまご8課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご8課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック 4 part4 part5 ○漢字たまご8課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	

教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 初級2 A 2かつどう」 「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2／B1」 漢字たまご初中級
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語会話Ⅴ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 みづほ			⑦	

授業概要	進学希望が多い留学生に流暢な日本語会話力を身に付けることを目標とする。 本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことは遣いができる、②豊富な語彙を用いることができる、③的確な表現ができる ことを目指したい。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話すことができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・漢字テスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験50%、テスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。 ・漢字テストの出題範囲は、前回に必ず知らせる。(漢字たまご初中級1課～8課)			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 まると初級1A2かつどう(復習) 第1課～第2課	対面授業	予習:P22～32を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
2回目	第3課～第5課 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習:P33～53を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
3回目	第6課～8課	対面授業	予習:P54～72を読み自分の意見を持つ(2時間)

	・TOPICから会話を広げる		復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	第9課～12課 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P73～102を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	第13課～第16課 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P102～126を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	第17課、18課 課のまとめ ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P127～139を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	まるごと初中級A2/B1 TOPIC1 1～4 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P24～29を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	TOPIC1 5, 6 TOPIC2 1 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P30～35を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	TOPIC2 2～5 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P36～43を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	TOPIC3 1～3 ・TOPICから会話を広げる		予習: P44～49を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
11回目	TOPIC3 4, 5 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P50～53を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	TOPIC4 1, 2 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P54～57を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
13回目	TOPIC4 3, 4 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P58～62を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
14回目	TOPIC4 5 ・TOPICから会話を広げる	対面授業	予習: P63を読み自分とつながりのある国について意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	いままでのふりかえり	対面授業	予習: いままでで気になったTOPICをチェックする(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと初級2Aかつどう、まるごと初中級A2B1日本のことばと文化 漢字たまご初中級 新聞、タウン誌、パンフレットなど参考にしましょう
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 授業でTOPICに即したNHK for Schoolの番組を見せることがあります。

講義科目名称: 日本語会話Ⅴ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC510

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲				

授業概要	日常で使用する基礎会話やコミュニケーション力を養うことを目標とする。 日常生活で実際に使う身近な場面での会話を中心に「話す・聞く」に重点を置く N4レベルの学生を対象とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる	グループディスカッション	10%
専門的知識や技能	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 日常会話で使用するコミュニケーション能力を身に着けることができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	日本文化について理解できる。 授業内容やディスカッションを通して多様な文化を理解することができる	課題	10%
課題解決能力	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる	授業への参加・態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、グループディスカッション10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とし遅刻3回を欠席1回とする。 授業を5回欠席した場合、受験資格はなしとする。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 まると初級1日本のことばと文化 TOPIC 1わたしとかぞく だい1か東京に住んでいますP22～P27 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第1課	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
2回目	まると初級1日本のことばと文化 TOPIC 1 PART2しゅみはクラシックを聞くこ	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間)

	とです P28～P32 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト		復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
3回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 きせつとてんき だい3か日本はいま、はるです P33～P39 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第2課	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 だい4か いいてんきですねP40～P46 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 2 まとめ・会話練習 ・漢字たまご第3課	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 わたしのまち だい5か このこうえんはひろくてきれいです P47～P53 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 だい6か まっすぐ行ってください P54～P60 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第4課	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 3 まとめ・会話練習 ミニテスト	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 でかける だい7か 10時でもいいですか P61～P67 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第5課	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 だい8か もうやけいを見に行きましたか P68～P72 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
11回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 4 まとめ・会話練習 ・漢字たまご第6課	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 がいくつとがいくつぶんかだい9か 日本語ははつおんがかんたんです	対面授業	予習: 教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)

	P73～P79 ・TOPICから会話を広げる ミニテスト		認する(2時間)
13回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 だい10か いくつか日本に行きたいです P80～P85 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第7課	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
14回目	まるごと初級1日本のことばと文化 TOPIC 5 まとめ・会話練習 ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読んで理解する(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	1～14回までの授業のまとめ 漢字のまとめ・ふりかえり ・漢字たまご第8課 ミニテスト	対面授業	予習:いままでで気になったTOPICをチェックする(2時間) 復習:ふりかえりの復習(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと初級1A2かつどう日本のことばと文化 新聞、タウン誌、パンフレットなど参考にしましょう
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。

講義科目名称:日本語会話VIN1N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2	選択	演習
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
西尾 春奈				⑦

授業概要	学習の成果が教室の外での実際のコミュニケーションにつながるように、これまで学習してきた会話に役立つ文法・文型、会話を基にロールプレイなどを通して使える日本語を定着させる。実際にコミュニケーションをする中で自分に必要な情報をひろったり、話の重要な点を理解して会話を勧めたりできるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	様々な場面で日本語を使い分けて、表現できる。(日本語能力試験 N2 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	中上級相当の知識で多様な文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡は Google classroom を使用する。また、授業内容によりプリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 定期試験 60%、ミニテスト 10%、グループ・ペアワーク 10%、課題 10%、授業への参加・態度 10% の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1 回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明	対面授業	予習:トピック 7① part1 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

	評価方法の説明 インタビュー		
2 回目	トピック 7① part1 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック 7②part2 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3 回目	トピック 7②part2 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック 7③part3 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4 回目	トピック 7③part3 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック 7④part4.5 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5 回目	トピック 7④part4.5 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック8①part1 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6 回目	トピック8①part1 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック 8②part2 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7 回目	トピック 8②part2 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック8③part3 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8 回目	トピック8③part3 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック 8④part4.5 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9 回目	トピック 8④part4.5 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック 9①part1 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10 回目	トピック 9①part1 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック9②part2 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

11 回目	トピック9②part2 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック 9③part3 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12 回目	トピック 9③part3 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:トピック 9④part4.5 語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13 回目	トピック 9④part4.5 ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:7～9 総まとめ語彙・文型の確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14 回目	トピック 7～9 総まとめ ① ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:7～9 総まとめ語彙・文型の確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

	会話・ロールプレイ		
15 回目	トピック 7～9 総まとめ ② 会話・ロールプレイ ○漢字たまご中級復習	対面授業	予習:定期試験の準備(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16 回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行 規 則に定める科目区 分または事項等	
教科書・参考書	「まるごと日本のことばと文化 中級2」 漢字たまご中級1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語会話VIN3上	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
西尾 春奈			⑦	

授業概要	実際に使える日本語が身につけられるように身近な場面を取り入れ、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での具体的な「can-do」を目指し、実際の日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	多文化共生の中、自他ともに理解し、他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
確かな専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N3 レベルの実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	学習をする上で問題の認識・情報の収集と分析・方策の決定・実行する力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	自身がモチベーション高く、目の前のことに向き合い能力向上に意欲的になることができる	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
○授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
○課題発表やプレゼンテーションもある。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー ○漢字たまご初中級9課	対面授業	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。(4時間) 漢字たまご10課を解いておく。
2回目	初中級 A2/B1 トピック 5part1 ○漢字たまご初中級10課①	対面授業	予習: 語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご10課を解いておく。 復習: 既習内容の確認(2時間)

3回目	トピック 5part2 part3 ○漢字たまご初中級10課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご11課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピック 5part4 part5 ○漢字たまご初中級11課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご11課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	初中級 A2/B1 トピック 6part1 ○漢字たまご初中級11課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご12課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック 6part2 part3 part4 ○漢字たまご初中級12課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご12課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック 6 part5 part6 ○漢字たまご初中級12課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご13課を解いて 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	初中級 A2/B1 トピック 7part1 ○漢字たまご初中級13課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご13課を解いて 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック 7part2 part3 ○漢字たまご初中級13課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご14課を解いておく 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック 7part4 part5 ○漢字たまご初中級14課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご14課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	初中級 A2/B1 トピック 8part1 ○漢字たまご初中級14課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご15課を解いておく 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック 8part2 part3 ○漢字たまご初中級15課①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご15課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック 8 part4 part5 part6 ○漢字たまご初中級15課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご9～15課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	初中級 A2/B1 トピック 9part1 part2 part3 ○漢字たまご初中級復習①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 漢字たまご9～15課を解いておく。 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック 9part4 part5 ○漢字たまご初中級復習②	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	○「まるごと日本のことばと文化 初中級 A2/B1」 ○漢字たまご初中級
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応

備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語会話VI N3中	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 みづほ			⑦	

授業概要	日本で生活する中での、基礎的な日本語会話力を身に付けることを目標とする。 本演習では、設定された場面での会話を、①場面に即したことば遣いができる、②覚えた語彙を用いることができる、③的確な表現ができる ことを目指したい。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・他への思いやりを持った受け答えができる。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 ・正しい発音でわかりやすく話することができる。 ・オノマトペを使いこなすことができる。	・定期試験 ・漢字テスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化の特徴を理解している。 ・日本のマナーを体得している。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないこと、聞き取れなかったことをその場で聞き返すことができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・自分の将来を言語化してしっかりと説明することができる。	・スピーチ	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験50%、漢字テスト20%、レポート10%、グループディスカッション・授業への参加態度10%、スピーチ10%の割合で評価する。 ・漢字テストは出題範囲を前回に必ず提示する。(漢字たまご初中級9～15課)			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 「トピック5」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: Classroomで指示されたことを行う(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)

2回目	「トピック5」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
3回目	「トピック5」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	「トピック6」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	「トピック6」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	「トピック6」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	「トピック7」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	「トピック7」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	「トピック7」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	「トピック8」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習: 最近のニュースを調べる(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)

11回目	「トピック8」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	「トピック8」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
13回目	「トピック9」① ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
14回目	「トピック9」② ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	「トピック9」③ ・トピックについて、さまざまなイメージを話し合う。 ・設定された場面でのやり取りを、ペアで行い順番に発表する。	対面授業	予習:最近のニュースを調べる(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと初中級A2/B1 漢字たまご初中級
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。 授業開始から15分経過したら欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 時間があれば、授業でNHK for schoolを視聴するので、番組を楽しみながらより会話力をつけましょう。

講義科目名称:日本語会話VI N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC603

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦	

授業概要	日常で使用する基礎会話やコミュニケーション力を養うことを目標とする。 日常生活で実際に使う身近な場面での会話を中心に「話す・聞く」に重点を置く N4レベルの学生を対象とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる	グループディスカッション	10%
専門的知識や技能	質問事項に対して、的確な表現を用いて答えることができる。 日常会話で使用するコミュニケーション能力を身に着けることができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	日本文化について理解できる。 授業内容やディスカッションを通して多様な文化を理解することができる	課題	10%
課題解決能力	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる	授業への参加・態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
授業の出欠、連絡、課題、ミニテスト、質問などはGoogle Classroomを利用する。 本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、課題10%、グループディスカッション10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・オリエンテーション 授業の進め方と注意点についての説明をする。 ・まるごと初級1A2 だい11か「なにをもっていきますか」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第9課	対面授業	予習:内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)

2回目	・トピック① - だい12か「おいしそうですね」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第9課 ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
3回目	・トピック② - だい13か「たなかさんに会ったことがあります」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第10課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
4回目	・トピック② - だい14か「これ、つかってもいいですか」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
5回目	・トピック③ - だい15か「たいそうするといいですよ」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第11課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
6回目	・トピック③ - だい16か「はったり、およいだりしています」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
7回目	・トピック④ - だい17か「たんじょう日にもらったんです」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第12課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
8回目	・トピック④ - だい18か「パーティーがいいとおもいます」 ・TOPICから会話を広げる ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
9回目	まるごと初級2A2かつどう ・トピック① - だい1か「いいなまえですね」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第13課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
10回目	・トピック① - だい2か「めがねをかけている人です」 ・TOPICから会話を広げる ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
11回目	・トピック② - だい3か「おすすめは何ですか」 ・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第14課	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
12回目	・トピック② - だい4か「どうやって食べますか」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)
13回目	・トピック③ - だい5か「ぼうしを持っていったほうがいいですよ」	対面授業	予習: 内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習: 今日の新出単語を確認する(2時間)

	・TOPICから会話を広げる ・漢字たまご第15課		認する(2時間)
14回目	・トピック③ だい6か「イルカのショーが見られます」 ・TOPICから会話を広げる。 ・ミニテスト	対面授業	予習:内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
15回目	漢字・授業のまとめ	対面授業	予習:内容を読み自分の意見を持つ(2時間) 復習:今日の新出単語を確認する(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと初級2A2かつどう日本のことばと文化 漢字たまご初級
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。 授業開始から15分経過したら欠席となります。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べることに以外に使わないこと。

講義科目名称: 日本語検定 I N1/N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
塩田 裕明			②、⑤	

授業概要	日本留学試験で高得点を取ることを目指して、読解力と記述力、並びに語彙力を養う。読解については、問題の種類(短文単問、短文複問、長文)ごとの解き方を身に付ける。なお、前もって語彙の意味を調べてくることが課題として出される。記述についても、問題の種類(二項対立、予測・問題解決)ごとの解き方を身に付ける。なお、各テーマについてディスカッションを行い、既有知識の活性化を行ってから記述の課題に取り組む。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	・日本留学試験に対応できる読解力、記述力、語彙力を身に付けている。	・定期試験 ・単語テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・N2相当(N2以上)の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	・目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	・予習・復習	10%
キャリアデザイン力	・モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	・授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、単語テスト20%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 ・日本留学試験とは 速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題1)p. 26 ・短文複問(問題1)pp. 56-57 ・長文(問題1)pp. 116-117 単語テスト①	対面授業	予習: テキスト(読解編) pp. 10-11およびテキスト(記述編) pp. 8-15を読む(2時間)

2回目	速攻トレーニング(記述編) ・二項対立(1番)pp. 32-35 単語テスト②	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題2)p. 27 ・短文複問(問題2)pp. 58-59 ・長文(問題2)pp. 118-119 単語テスト③	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	速攻トレーニング(記述編) ・予測・問題解決(1番)pp. 32-35 単語テスト④	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題3)p. 28 ・短文複問(問題3)pp. 60-61 ・長文(問題3)pp. 120-121 単語テスト⑤	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	速攻トレーニング(記述編) ・二項対立(2番)pp. 32-35 単語テスト⑥	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題4)p. 29 ・短文複問(問題4)pp. 62-63 ・長文(問題4)pp. 122-123 単語テスト⑦	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	速攻トレーニング(記述編) ・予測・問題解決(2番)pp. 32-35 単語テスト⑧	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題5)p. 30 ・短文複問(問題5)pp. 64-65 ・長文(問題5)pp. 124-125 単語テスト⑨	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	速攻トレーニング(記述編) ・二項対立(3番)pp. 32-35 単語テスト⑩	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題6)p. 31 ・短文複問(問題6)pp. 66-67 ・長文(問題6)pp. 126-127 単語テスト⑪	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	速攻トレーニング(記述編) ・予測・問題解決(3番)pp. 32-35 単語テスト⑫	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題7)p. 32 ・短文複問(問題7)pp. 68-69 ・長文(問題7)pp. 128-129 単語テスト⑬	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

14回目	速攻トレーニング(記述編) ・二項対立(4番)pp. 32-35 単語テスト⑭	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題8)p. 33 ・短文複問(問題8)pp. 70-71 ・長文(問題8)pp. 130-131 単語テスト⑮	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	日本留学試験速攻トレーニング 読解編 日本留学試験速攻トレーニング 記述編 JLPT N2 日本語能力試験ベスト単語合格2400
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:日本語検定 I N3上	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
宮崎 香梅			⑤⑦	

授業概要	JLPTN3級合格を目指して、文字・語彙と文法の力を養う。必ず予習として問題を解いて参加し、授業では解答と解説を行う。分からないところ、苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力をつけることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	・N3レベルの文字・語彙・文法力を身に付けている。	・定期試験 ・ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	・日本語の感覚を身に付けている。	・授業中の言動	10%
課題解決能力	・工夫した学習法を身に付けている。	・予習・復習	10%
キャリアデザイン力	・モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	・授業への参加、態度	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroom活用する。 ・本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、授業中の言動10%、授業への参加・態度10%、予習・復習10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・オリエンテーション、 ・授業の進め方と注意点についての説明、 ・評価方法の説明 ・インタビュー ・TRY1章(1)	対面授業 オンライン等の対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
2回目	・ミニテスト① ・TRY1章(2)	対面授業 オンライン等の対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

3回目	・ミニテスト② ・TRY1章 まとめの問題 ・TRY1章総まとめ(プリント配布)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	TRY2章(1)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	・ミニテスト③ ・TRY2章(2) ・TRY2章 まとめの問題	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	・ミニテスト④ ・TRY2章総まとめ(プリント配布)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	TRY3章(1)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	・ミニテスト⑤ ・TRY3章(2) ・TRY3章 まとめの問題	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	・ミニテスト⑥ ・TRY3章総まとめ(プリント配布) ・TRY4章(1)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	・ミニテスト⑦	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)

	・TRY4章(2)		間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	・ミニテスト⑧ ・TRY4章 まとめの問題 ・TRY4章総まとめ(プリント配布)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	TRY5章(1)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	・ミニテスト⑨ ・TRY5章(2)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	・ミニテスト⑩ ・TRY5章 まとめの問題 ・TRY5章総まとめ(プリント配布)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	総まとめ(TRY1～5章)	対面授業 オンライン等の 対応可	復習:既習内容の確認(2時間)
試験	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:『TRY! 日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』 参考書:『JLPTN3総合問題集』『JLPTN3ベスト単語2400』
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 N3合格に向けて頑張りましょう。

講義科目名称:日本語検定 I N3中	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC112

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑤⑦	

授業概要	JLPTN3級合格を目指して、文字・語彙と文法の力を養う。必ず予習として問題を解いて参加し、授業では解答と解説を行う。分からないところ、苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力をつけることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	目標に向かって、着実に進歩することができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	N3レベルの文字・語彙・文法力を身に付けている。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	日本語の感覚を身に付けている。	授業中の言動	10%
課題解決能力	工夫した学習法を身に付けている。	毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroom活用する。 ・本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、授業への参加態度10%、授業中の言動10%、毎回の予習・復習10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 1初めての富士登山(1)	対面授業	予習:教科書の準備、 Classroomの登録(2時間) 復習:授業内容を復習し理解する(2時間)
2回目	ミニテスト topic1 1初めての富士登山(2) まとめの問題	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む(2時間) 復習:授業内容を復習し理解する(2時間))
3回目	ミニテスト topic2 2ぼくの犬、クロ(1)	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む(2時間) 復習:授業内容を復習し理解する(2時間)
4回目	ミニテスト	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備

	topic3 2ぼくの犬、クロ(2) まとめの問題		をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
5回目	ミニテスト topic4 3市民農園の募集(1)	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備 をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
6回目	ミニテスト topic5 3市民農園の募集(2) まとめの問題	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備 をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
7回目	1～3までの復習	対面授業	予習:ミニテスト(単語) topic1～5を確認する 1～3までの内容を確認する (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
8回目	ミニテスト topic6 4水泳大会(1)	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備 をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
9回目	ミニテスト topic7 4水泳大会(2) まとめの問題	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備 をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
10回目	ミニテスト topic8 5手作りハムのレシピ(1)	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備 をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
11回目	ミニテスト topic9 5手作りハムのレシピ(2) まとめの問題	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備 をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
12回目	ミニテスト topic10 6里山について(1)	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備 をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
13回目	ミニテスト	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備

	topic11 6里山について(2) まとめの問題		をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
14回目	ミニテスト topic12 4～6までの復習	対面授業	予習:ミニテスト(単語) topic6～12を確認する 4～6までの内容を確認する (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
15回目	14回目までのまとめ 復習問題	対面授業	予習:14回までに習った内容 を確認する(2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
試験			授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	TRY! 日本語能力試験N3文法から伸ばす日本語 JLPTN3 日本語能力試験ベスト単語合格2100
履修条件	
履修上の注意	・欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。 ・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習をしっかりとしておくこと。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 N3合格に向けて頑張りましょう。

講義科目名称: 日本語検定 I N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本みづほ			⑦	

授業概要	JLPTN4級合格を目指して、文字・語彙と文法の力を養う。必ず予習として問題を解いて参加し、授業では解答と解説を行う。分からないところ、苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力をつけることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・目標に向かって、着実に進歩することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・N2レベルの文字・語彙・文法力を身に付けている。	・定期試験 ・漢字テスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本語の感覚を身に付けている。	・授業中の言動	5%
課題解決能力	・工夫した学習法を身に付けている。	・毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力	・資格を進学や就職に活かそうとする。	・レポート	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroom活用する。 ・本授業では、定期試験50%、漢字テスト20%、授業への参加態度20%、レポート10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。1回に10ページ進むので、必ず問題を解いてくる。 N4TRY! あいさつのことば P4～P17 ・解説と解答	対面授業	予習:P4～17を読む(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
2回目	N4TRY! おかし作り(1) P18～P25 ・解説と解答	対面授業	予習:P18～P25を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
3回目	N4TRY! おかし作り(2) P26～P35 ・解説と解答	対面授業	予習:P26～35を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
4回目	N4TRY! けっこん式(1)(2) P36～P49	対面授業	予習:P36～49を解く(2時間)

	・解説と解答		復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
5回目	N4TRY! 私の町ハノイ(1)(2) P50～P67 ・解説と解答	対面授業	予習:P50～67を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
6回目	N4TRY! ハイキングの計画(1)(2) P68～P85 ・解説と解答	対面授業	予習:P68～85を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
7回目	N4TRY! 木の上の子ねこ(1)(2) P86～P102 ・解説と解答	対面授業	予習:P86～102を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
8回目	N4TRY! 大好きなピアノ(1)(2) P103～P119 ・解説と解答	対面授業	予習:P103～119を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
9回目	N4TRY! 旅館のよやく(1)(2) P120～P133 ・解説と解答	対面授業	予習:P120～133を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
10回目	N4TRY! ゆうしょうインタビュー(1)(2) P134～P149 ・解説と解答	対面授業	予習:P134～149を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
11回目	N4TRY! アルバイトのめんせつ(1)(2) P150～P161 ・解説と解答	対面授業	予習:P150～161を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
12回目	N4TRY! 便利な言葉 助詞 P162～P165 ・解説と解答	対面授業	予習:P162～165を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
13回目	N4TRY! 便利な言葉 副詞 P165～P167 ・解説と解答	対面授業	予習:P165～167を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
14回目	N4TRY! 便利な言葉 指示語 P167～P169 ・解説と解答	対面授業	予習:P167～169を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
15回目	N4TRY! 模擬試験 P192～P199 ・解説と解答	対面授業	予習:P192～199を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
試験			授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	N4TRY！ JLPTN4総合問題集 JLPTN3ベスト単語2100
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 N3, 4合格に向けて頑張りましょう。

講義科目名称: 日本語検定Ⅱ N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里			⑤⑦	

授業概要	日本語能力試験 N1 レベルの文法と語彙を中心に扱う。実際の会話や文章の中でどのように文法や語彙が使われているか理解し、運用できるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	クラスメイトに対して親和的な態度で関わるができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	自分の力で正答を導き出すことができる。 重要な表現、漢字や語彙等が理解できる。	授業態度 ミニテスト 定期試験	10% 10% 60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2回目	●ミニテスト ●TRY1	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3回目	●ミニテスト ●TRY2－1回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間)

			【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
4回目	●ミニテスト ●TRY2－2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
5回目	●ミニテスト ●TRY3－1回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
6回目	●ミニテスト ●TRY3－2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
7回目	●ミニテスト ●TRY4(1)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
8回目	●ミニテスト ●TRY4(2)	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
9回目	●ミニテスト ●TRY5(1)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
10回目	●ミニテスト ●TRY5(2)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
11回目	●ミニテスト ●TRY6－1回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
12回目	●ミニテスト ●TRY6－2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
13回目	●ミニテスト ●TRY7(1)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
14回目	●ミニテスト ●TRY7(2)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間)

			【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
15回目	●ミニテスト ●第 15 回までの復習	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
16回目	定期試験		【予習】定期試験に向けて準備する。(2 時間) 授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『TRY!日本語能力試験N1』アスク出版 『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N1合格2600』ジャパンタイムズ出版
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称: 日本語検定Ⅱ N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
塩田 裕明			①、⑫	

授業概要	日本語能力試験N2レベルの各能力を高めるため、問題に取り組む。具体的には、教科書(TRY! N2)に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N2合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	N2相当の文法力や読解力が身に付いている。	定期試験 単語テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	N2相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、単語テスト20%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 TRY1章	対面授業	予習: TRY (pp. 4-9)を読んでもくる。 (2時間)
2回目	TRY2章(1)	対面授業	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	TRY2章(2) 単語テスト①	対面授業	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)

4回目	TRY3章(1) 単語テスト②	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	TRY3章(2) 単語テスト③	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	TRY4章 単語テスト④	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	TRY5章(1) 単語テスト⑤	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	TRY5章(2) 単語テスト⑥	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	TRY6章(1) 単語テスト⑦	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	TRY6章(2) 単語テスト⑧	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	TRY7章(1) 単語テスト⑨	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	TRY7章(2) 単語テスト⑩	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	TRY8章 単語テスト⑪	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	TRY9章(1)(2) 単語テスト⑫	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	TRY10章(1)(2) 単語テスト⑬	対面授業	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	TRY! 日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語 JLPT N2 日本語能力試験ベスト単語合格2400
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応、Google Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。

	○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語検定Ⅱ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦	

授業概要	日本語能力試験 N3 レベルの言語知識、読解、聴解を中心に学習する。様々な問題を積極的に解きながら、出題される試験問題に慣れることができる。また、語彙力の向上を目指し、授業内でミニテストを行う。問題を解くだけでなく、関連する表現や漢字、語彙等と一緒に学び、試験問題以外でも運用できる応用力を身につけることを目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	自分の力で正答を導き出すことができる。 重要な表現、漢字や語彙等が理解できる。	授業態度 ミニテスト 定期試験	10% 10% 60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、問題の解き方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2回目	問題演習 言語知識:漢字読み・表記 1日目 読解:内容理解(短文) 1日目 聴解:課題理解 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3回目	●問題演習	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。

	言語知識:文脈規定・言い換え類義1日目 読解:内容理解(中文) 1日目 聴解:ポイント理解 1日目		言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
4回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:用法・文の組み立て 1日目 読解:内容理解(長文) 1日目 聴解:概要理解・発話表現 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
5回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 1日目 読解:情報検索 1日目 聴解:即時応答 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
6回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:漢字読み・表記 2日目 読解:内容理解(短文) 2日目 聴解:課題理解 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
7回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文脈規定・言い換え類義2日目 読解:内容理解(中文) 2日目 聴解:ポイント理解 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
8回目	●第7回までの復習 7回までの中から問題を抜粋し解く	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
9回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:用法・文の組み立て 2日目 読解:内容理解(長文) 2日目 聴解:概要理解・発話表現 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
10回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 2日目 読解:情報検索 2日目 聴解:即時応答 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
11回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:漢字読み・表記 3日目 読解:内容理解(短文) 3日目 聴解:課題理解 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
12回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文脈規定・言い換え類義3日目 読解:内容理解(中文) 3日目 聴解:ポイント理解 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
13回目	●ミニテスト ●問題演習	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べて

	言語知識:用法・文の組み立て 3日目 読解:内容理解(長文) 3日目 聴解:概要理解・発話表現 3日目		おく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
14回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 3日目 読解:情報検索 3日目 聴解:即時応答 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
15回目	●第 15 回までの復習	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
16回目	定期試験		【予習】定期試験に向けて準備する。(2 時間) 授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『全科目攻略!JLPT 日本語能力試験ベスト総合問題集 N3』ジャパントイズ出版 『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N3合格2100』ジャパントイズ出版
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくる ことが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備 しておくこと。 ・遅刻や欠席がある場合には事前にメールで連絡をすること。
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称: 日本語検定ⅡN4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
西尾 春奈				②

授業概要	文法を整理し日本語が使えるようになることを目標とする。①実際のコミュニケーションの中でその文法がどのように使われているか知ることができる。②基本的な練習で使い慣れることができる。具体的には、教科書(N3TRY)に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N3合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	N3の基本的な文法力や読解力が身に付いている。	定期試験 単語テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	N3相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
主体的に学ぶ力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 定期試験60%、単語テスト20%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。
- 授業の連絡はGoogle classroomを使用する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明・インタビュー	対面授業	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習。 単語テスト①を覚える(2時間)
2回目	TRY1章(1) 単語テスト①	対面授業	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト②を覚える。 復習: 既習内容の確認(2時間)

3回目	TRY1章(2) 単語テスト②	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト③を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	TRY2章(1) 単語テスト③	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト④を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	TRY2章(2) 単語テスト④	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑤を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	TRY3章 単語テスト⑤	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑥を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	TRY4章(1) 単語テスト⑥	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑦を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	TRY4章(2) 単語テスト⑦	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑧を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	TRY5章(1) 単語テスト⑧	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑨を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	TRY5章(2) 単語テスト⑨	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑩を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	TRY6章(1) 単語テスト⑩	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑪を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	TRY6章(2) 単語テスト⑪	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑫を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	TRY7章(1) 単語テスト⑫	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑬を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	TRY7章(2) 単語テスト⑬	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑭を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	TRY8章 単語テスト⑭	対面授業	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規	

則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	TRY！日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語 JLPT N3 ベスト単語合格2100
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし課題提出のみ使用可（Google classroom）。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）

講義科目名称: 日本語検定Ⅲ N1/N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
塩田 裕明			②、⑤	

授業概要	日本留学試験で高得点を取ることを目指して、読解力と記述力、並びに語彙力を養う。読解については、問題の種類(短文単問、短文複問、長文)ごとの解き方を身に付ける。なお、前もって語彙の意味を調べてくることが課題として出される。記述についても、問題の種類(二項対立、予測・問題解決)ごとの解き方を身に付ける。なお、各テーマについてディスカッションを行い、既有知識の活性化を行ってから記述の課題に取り組む。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	・日本留学試験に対応できる読解力、記述力、語彙力を身に付けている。	・定期試験 ・単語テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・N2相当(N2以上)の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	・目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	・予習・復習	10%
キャリアデザイン力	・モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	・授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、単語テスト20%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 ・日本留学試験とは 速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題1)p. 26 ・短文複問(問題1)pp. 56-57 ・長文(問題1)pp. 116-117 単語テスト①	対面授業	予習: テキスト(読解編)pp. 10-11およびテキスト(記述編)pp. 8-15を読む(2時間)
2回目	速攻トレーニング(記述編)	対面授業	予習: 指定された課題に取り

	・二項対立(1番)pp. 32-35 単語テスト②		組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題2)p. 27 ・短文複問(問題2)pp. 58-59 ・長文(問題2)pp. 118-119 単語テスト③	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	速攻トレーニング(記述編) ・予測・問題解決(1番)pp. 32-35 単語テスト④	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題3)p. 28 ・短文複問(問題3)pp. 60-61 ・長文(問題3)pp. 120-121 単語テスト⑤	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	速攻トレーニング(記述編) ・二項対立(2番)pp. 32-35 単語テスト⑥	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題4)p. 29 ・短文複問(問題4)pp. 62-63 ・長文(問題4)pp. 122-123 単語テスト⑦	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	速攻トレーニング(記述編) ・予測・問題解決(2番)pp. 32-35 単語テスト⑧	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題5)p. 30 ・短文複問(問題5)pp. 64-65 ・長文(問題5)pp. 124-125 単語テスト⑨	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	速攻トレーニング(記述編) ・二項対立(3番)pp. 32-35 単語テスト⑩	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題6)p. 31 ・短文複問(問題6)pp. 66-67 ・長文(問題6)pp. 126-127 単語テスト⑪	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	速攻トレーニング(記述編) ・予測・問題解決(3番)pp. 32-35 単語テスト⑫	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題7)p. 32 ・短文複問(問題7)pp. 68-69 ・長文(問題7)pp. 128-129 単語テスト⑬	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	速攻トレーニング(記述編)	対面授業	予習:指定された課題に取り

	・二項対立(4番)pp. 32-35 単語テスト⑭		組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題8)p. 33 ・短文複問(問題8)pp. 70-71 ・長文(問題8)pp. 130-131 単語テスト⑮	対面授業	予習:指定された課題に取り 組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	日本留学試験速攻トレーニング 読解編 日本留学試験速攻トレーニング 記述編 JLPT N2 日本語能力試験ベスト単語合格2400
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語検定Ⅲ N3上	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
宮崎 香梅			⑦	

授業概要	JLPTN3級合格を目指して、文字・語彙と文法の力を養う。必ず予習として問題を解いて参加し、授業では解答と解説を行う。分からないところ、苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力をつけることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・目標に向かって、着実に進歩することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・N3レベルの文字・語彙・文法力を身に付けている。	・定期試験 ・ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	・日本語の感覚を身に付けている。	・授業中の言動	10%
課題解決能力	・工夫した学習法を身に付けている。	・毎回の予習・復習の様子	5%
キャリアデザイン力	・資格を進学や就職に活かそうとする。	・レポート	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroom活用する。 ・本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、授業への参加態度5%、予習・復習5%、授業中の言動10%、レポート10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	・オリエンテーション、 ・授業の進め方と注意点についての説明、 ・評価方法の説明 ・インタビュー ・TRY1章(1)	対面授業 オンライン等の対応可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
2回目	・ミニテスト① ・TRY1章(2)	対面授業 オンライン等の対応可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	・ミニテスト②	対面授業 オンライン等の対応可	予習: 指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)

	・TRY1章 まとめの問題 ・TRY1章総まとめ(プリント配布)		間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	TRY2章(1)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	・ミニテスト③ ・TRY2章(2) ・TRY2章 まとめの問題	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	・ミニテスト④ ・TRY2章総まとめ(プリント配布)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	TRY3章(1)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	・ミニテスト⑤ ・TRY3章(2) ・TRY3章 まとめの問題	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	・ミニテスト⑥ ・TRY3章総まとめ(プリント配布) ・TRY4章(1)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	・ミニテスト⑦ ・TRY4章(2)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

11回目	・ミニテスト⑧ ・TRY4章 まとめの問題 ・TRY4章総まとめ(プリント配布)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	TRY5章(1)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	・ミニテスト⑨ ・TRY5章(2)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	・ミニテスト⑩ ・TRY5章 まとめの問題 ・TRY5章総まとめ(プリント配布)	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	総まとめ(TRY1～5章)	対面授業 オンライン等の 対応可	復習:既習内容の確認(2時間)
試験	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:『TRY! 日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』 参考書:『JLPTN3総合問題集』『JLPTN3ベスト単語2400』
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 N3合格に向けて頑張りましょう。

講義科目名称: 日本語検定Ⅲ N3中	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC511

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦	

授業概要	JLPTN3級合格を目指して、文字・語彙と文法の力を養う。必ず予習として問題を解いて参加し、授業では解答と解説を行う。分からないところ、苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力をつけることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	目標に向かって、着実に進歩することができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	N3レベルの文字・語彙・文法力を身に付けている。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	日本語の感覚を身に付けている。	授業中の言動	10%
課題解決能力	工夫した学習法を身に付けている。	毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroom活用する。 ・本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、授業への参加態度10%、授業中の言動10%、毎回の予習・復習10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。 1初めての富士登山(1)	対面授業	予習:教科書の準備、 Classroomの登録(2時間) 復習:授業内容を復習し理解する(2時間)
2回目	ミニテスト topic1 1初めての富士登山(2) まとめの問題	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む(2時間) 復習:授業内容を復習し理解する(2時間))
3回目	ミニテスト topic2 2ぼくの犬、クロ(1)	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む(2時間) 復習:授業内容を復習し理解する(2時間)
4回目	ミニテスト	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備

	topic3 2ぼくの犬、クロ(2) まとめの問題		備をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
5回目	ミニテスト topic4 3市民農園の募集(1)	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
6回目	ミニテスト topic5 3市民農園の募集(2) まとめの問題	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
7回目	1～3までの復習	対面授業	予習:ミニテスト(単語) topik1～5を確認する 1～3までの内容を確認する (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
8回目	ミニテスト topic6 4水泳大会(1)	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
9回目	ミニテスト topic7 4水泳大会(2) まとめの問題	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
10回目	ミニテスト topic8 5手作りハムのレシピ(1)	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
11回目	ミニテスト topic9 5手作りハムのレシピ(2) まとめの問題	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
12回目	ミニテスト topic10 6里山について(1)	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
13回目	ミニテスト	対面授業	予習:ミニテスト(単語)の準備

	topic11 6里山について(2) まとめの問題		備をする できること、見本の文を読む (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
14回目	ミニテスト topic12 4～6までの復習	対面授業	予習:ミニテスト(単語) topik6～12を確認する 4～6までの内容を確認する (2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
15回目	14回目までのまとめ 復習問題	対面授業	予習:14回までに習った内容 を確認する(2時間) 復習:授業内容を復習し理解 する(2時間)
試験			授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	TRY! 日本語能力試験N3文法から伸ばす日本語 JLPTN3 日本語能力試験ベスト単語合格2100
履修条件	
履修上の注意	・欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。 ・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習をしっかりとしておくこと。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 N3合格に向けて頑張りましょう。

講義科目名称: 日本語検定Ⅲ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本みづほ			⑦	

授業概要	JLPTN4級合格を目指して、文字・語彙と文法の力を養う。必ず予習として問題を解いて参加し、授業では解答と解説を行う。分からないところ、苦手なところを繰り返して学ぶことで、確実な日本語力をつけることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・目標に向かって、着実に進歩することができる。	・授業への参加・態度	5%
専門的知識や技能	・N2レベルの文字・語彙・文法力を身に付けている。	・定期試験 ・漢字テスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本語の感覚を身に付けている。	・授業中の言動	5%
課題解決能力	・工夫した学習法を身に付けている。	・毎回の予習・復習の様子	10%
キャリアデザイン力	・資格を進学や就職に活かそうとする。	・レポート	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroom活用する。 ・本授業では、定期試験50%、漢字テスト20%、授業への参加態度20%、レポート10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方と注意点についての説明をする。1回に10ページ進むので、必ず問題を解いてくる。 N4TRY! あいさつのことば P4～P17 ・解説と解答	対面授業	予習:P4～17を読む(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
2回目	N4TRY! おかし作り(1) P18～P25 ・解説と解答	対面授業	予習:P18～P25を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
3回目	N4TRY! おかし作り(2) P26～P35 ・解説と解答	対面授業	予習:P26～35を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
4回目	N4TRY! けっこん式(1)(2) P36～P49	対面授業	予習:P36～49を解く(2時間)

	・解説と解答		復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
5回目	N4TRY! 私の町ハノイ(1)(2) P50～P67 ・解説と解答	対面授業	予習:P50～67を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
6回目	N4TRY! ハイキングの計画(1)(2) P68～P85 ・解説と解答	対面授業	予習:P68～85を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
7回目	N4TRY! 木の上の子ねこ(1)(2) P86～P102 ・解説と解答	対面授業	予習:P86～102を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
8回目	N4TRY! 大好きなピアノ(1)(2) P103～P119 ・解説と解答	対面授業	予習:P103～119を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
9回目	N4TRY! 旅館のよやく(1)(2) P120～P133 ・解説と解答	対面授業	予習:P120～133を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
10回目	N4TRY! ゆうしょうインタビュー(1)(2) P134～P149 ・解説と解答	対面授業	予習:P134～149を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
11回目	N4TRY! アルバイトのめんせつ(1)(2) P150～P161 ・解説と解答	対面授業	予習:P150～161を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
12回目	N4TRY! 便利な言葉 助詞 P162～P165 ・解説と解答	対面授業	予習:P162～165を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
13回目	N4TRY! 便利な言葉 副詞 P165～P167 ・解説と解答	対面授業	予習:P165～167を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
14回目	N4TRY! 便利な言葉 指示語 P167～P169 ・解説と解答	対面授業	予習:P167～169を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
15回目	N4TRY! 模擬試験 P192～P199 ・解説と解答	対面授業	予習:P192～199を解く(2時間) 復習:間違ったところのやり直しをする(2時間)
試験			授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	N4TRY！ JLPTN4総合問題集 JLPTN4ベスト単語2400
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業となる場合は、別途連絡します。 N3, 4合格に向けて頑張りましょう。

講義科目名称: 日本語ライティング&グラマー I N1N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本みづほ			⑦	

授業概要	本講義は、日本語能力試験及び、J.Testの結果を基に編成されたN4からN1レベルの学生を対象とした科目である。日本の企業や、日本人と協働する上で最低限必要な日本語コミュニケーション能力の育成から、ビジネス上で使用される文章作成能力、メール上のコミュニケーション能力を身に付けることを目的としている。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・他を思いやる心、常に向上心を持つことができる。		
専門的知識や技能	・これまで学んだ日本語に加えて、敬語、謙譲語を確かな日本語を用いて、文章にまとめることができる。	課題	20%
異文化知識・対応能力	・日本社会で必要な、敬語、謙譲語、丁寧語を相手によって使い分けられるようになる	授業参加態度	10%
課題解決能力	・自らの課題解決に向けて真摯に取り組むことができる。	授業参加態度	10%
キャリアデザイン力	学んだ文法、語彙に関して責任をもち、活用する。 また、正しい知識を持つ事ができる。	試験	60%
合計			100%
補足事項			
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題20%、授業参加態度20%、試験60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	シラバス確認、教科書確認、課題確認 P103-106 ホウレンソウとは学校だけでなく、就職や進学先での必須スキル、報連相に関して、文章でアウトプットできるようになる	対面授業	予習: シラバス読む 教科書の確認・準備をしておく(2時間) 復習: 報連相に関して実践できるようになる(2時間)
2回目	V 敬語 P109~P111 仕事をする上で必要な敬語を確認する。 ・敬語の種類と形 ・ビジネスでよく使われる丁寧な表現 ・敬語の種類と対象を理解する・書く	対面授業	予習: 新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習: 敬語の種類と、使われ方に関して理解できるようになる P111暗記(2時間)

3回目	P110 ①丁寧語(名詞) 「お/ご+名詞」 ②尊敬語(動詞) 「お+(動詞-ます形)+になる」 「お+(動詞-ます形)+です」 を使った文章が作ることができる	対面授業	予習:新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
4回目	前回の復習と実践練習 P111 「お+(動詞-ます形)+になる」が使えない動詞	対面授業	予習:配布プリントの新出語彙を覚えておく。敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
5回目	P110 ②尊敬語(形容詞) 「お+(い形容詞)+です」 「お+(な形容詞)+です」 を使った文章が作ることができる	対面授業	予習:新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
6回目	前回の復習と実践練習	対面授業	予習:配布プリントの新出語彙を覚えておく。敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
7回目	P110 ④立場が上のひとに対しての指示・依頼 「お+(動詞ます形)+ください」 「お+(動詞ます形)+いただけますか」 P112～113敬語まとめ	対面授業	予習:新出語彙を覚えておく。 敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
8回目	P114～P116 ビジネス上使われる丁寧な表現 言い換え練習	対面授業	予習:P114～P116 新出語彙を覚えておく。敬語の練習(2時間) 復習:本日の内容に即して、該当する例文を作成してくる。(2時間)
9回目	敬語総復習(中間テスト)	対面授業	予習:中間テスト対策(2時間)
10回目	P117～P119 ビジネス上の挨拶 雑談など高度なコミュニケーションのための 日本語がアウトプットできるようになる	対面授業	予習:P114～P116 新出語彙を覚えておく。敬語の練習(2時間) 復習:p120～p122を記入し、理解を深めておく。(2時間)
11回目	P133～P137 電話を受ける ビジネス上、電話を受けることは必須である。この課では、ビジネスに即した電話の出方を学び、実践できるようになる まずは書いて、内容を確認する	対面授業	予習:p133～137 新出語彙を覚えておく。敬語の練習(2時間) 復習:p138～140を記入し、理解を深めておく。(2時間)
12回目	p138～140 復習 P141～142 ロールプレイで実践力を高める	対面授業	予習:P133～140 内容の確認 (2時間) 復習:これまでの学びを記入し、理解を深めておく。(2時間)
13回目	P143～	対面授業	予習:P143～146 新出語彙

	電話 アポイントをとる 今後、就職活動、進学の場合で約束をとる 付けることは必須である。、様々な状況に 応じて、約束ができるようにメモを取りながら、 電話対応ができるようになる		を覚えておく。内容の確認(2時 間) 復習:P147~148を記入し、理 解を深めておく。(2時間)
14回目	P172~p173 メール連絡 メールの設定・署名等の記入について学ぶ	対面授業	予習:P172~173 新出語彙 を覚えておく。内容の確認(2時 間) 復習:p173真ん中の問いに 対して、担当教員へメールする。 理解を深めておく。(2時間)
15回目	p173 確認 全体のまとめ	対面授業	予習: これまでの学びの確認 (2時間) 復習: 全体的に質問がないか 確認する(4時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	なし
数理・データサイエンス・ AI教育プログラムに関す る事項	
教科書・参考書	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	学ぶ意欲のある学生
履修上の注意	予習復習が学修成功の鍵です。課題を基にした演習も予定していますので忘れ ることなく、課題をしてきてください。
オフィスアワー	授業の前後またはClassroomで対応します。
備考・メッセージ	積極的な参加を求めます 諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。

講義科目名称: 日本語ライティング&グラマー I N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC403

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里				

授業概要	本講義では、日本の企業や日本人と協働する上で最低限必要な日本語コミュニケーション能力の育成を目指す。特に、敬語表現の基礎を学び、電話応対や訪問といったビジネス上のコミュニケーション能力や文書作成能力を身に付けることを目的としている。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して親和的な態度で関わるができる。	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	ビジネスの場面において、相手や目的・場面に適した語彙や表現を用いてやりとりすることができる。	ミニテスト 定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力	日本で働く上で必要な基礎知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。	授業への参加・態度	10%
課題解決能力	「報告・連絡・相談」の習慣を身につけ、状況に応じて適切な行動がとれる。	授業外でもできるようになることを最終目標とし、この授業では評価しない。	
キャリアデザイン力	日本の企業や日本人と協働する上で必要なコミュニケーション能力を理解した上で、主体的に学ぶことができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、授業への参加・態度30%、ミニテスト10%を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、またはClassroomで行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退出や授業終了30分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 IV 社会人基礎力 5. 報告・連絡・相談	対面授業	【予習】教科書を読み、学修内容の見直しを持つ。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
2回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ① 敬語の種類と形p111-113 これまでの学習内容の確認(敬語)	対面授業	【予習】「この課で覚える言葉」を覚える。ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)

	この課で覚える言葉 p110		める。(2時間)
3回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ② 敬語の種類と形p111-113 尊敬語	対面授業	【予習】これまでに学んだ敬語を思い出しておく。ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
4回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ① 敬語の種類と形p111-113 謙譲語	対面授業	【予習】これまでに学んだ敬語を思い出しておく。ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
5回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ① 敬語の種類と形p111-113 丁寧語	対面授業	【予習】これまでに学んだ敬語を思い出しておく。ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
6回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ① 敬語の種類と形p111-113 特殊形、「お+～になる」が使えない動詞	対面授業	【予習】これまでに学んだ敬語を思い出しておく。ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
7回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ② ビジネスでよく使われる丁寧な表現p114	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
8回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ③ 言い換え練習 p115-116 これまでの授業のまとめ	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
9回目	V 仕事の日本語力 2. 挨拶 この課で覚える言葉 ① 会話例 p117-119	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
10回目	V 仕事の日本語力 2. 挨拶 ② ③ ロールプレイ p120-122	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
11回目	V 仕事の日本語力 3. 電話 受ける p123-132	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
12回目	V 仕事の日本語力 4. 電話 かける p133-142	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
13回目	V 仕事の日本語力 5. 電話 アポイントを取る p143-148	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
14回目	V 仕事の日本語力 6. 訪問 p149-155	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
15回目	V 仕事の日本語力	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間)

	これまでの授業のまとめ		備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』国書刊行会
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroomを使用できるデバイス(PCやスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称: 日本語ライティング&文法 I N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC403

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦	

授業概要	本講義では、日本企業や日本人と協働する上で最低限必要な日本語コミュニケーション能力の育成を目指す。特に、敬語表現の基礎を学び、電話応対や訪問といったビジネス上のコミュニケーション能力や文書作成能力を身に付けることを目的としている。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる	授業への参加・態度	10%
確かな専門的知識や技能	ビジネスの場面において、相手や目的・場面に適した語彙や表現を用いてやりとりすることができる。	ミニテスト 定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力	日本で働く上で必要な基礎知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。	授業への参加・態度	10%
課題解決能力	「報告・連絡・相談」の習慣を身につけ、状況に応じて適切な行動がとれる。		
キャリアデザイン力	日本の企業や日本人と協働する上で必要なコミュニケーション能力を理解した上で、主体的に学ぶことができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、定期試験60%、授業への参加・態度30%、ミニテスト10%を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、またはClassroomで行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退出や授業終了30分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 IV 社会人基礎力 5. 報告・連絡・相談	対面授業	【予習】教科書を読み、学修内容の見直しを持つ。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
2回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ① 敬語の種類と形 p110-113 これまでの学習内容の確認(敬語) この課で覚える言葉 p109	対面授業	【予習】「この課で覚える言葉」を覚える。ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)

3回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ② 敬語の種類と形p110-113 尊敬語 ミニテスト①	対面授業	【予習】これまでに学んだ敬語を思い出しておく。ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
4回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ① 敬語の種類と形p110-113 謙譲語 ミニテスト②	対面授業	【予習】これまでに学んだ敬語を思い出しておく。ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
5回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ① 敬語の種類と形p110-113 丁寧語 ミニテスト③	対面授業	【予習】これまでに学んだ敬語を思い出しておく。ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
6回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ① 敬語の種類と形p111-113 特殊形、「お＋～になる」が使えない動詞 ミニテスト④	対面授業	【予習】これまでに学んだ敬語を思い出しておく。ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
7回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ② ビジネスでよく使われる丁寧な表現p114	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
8回目	V 仕事の日本語力 1. 敬語 ③ 言い換え練習 p115-116 これまでの授業のまとめ ミニテスト⑤	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
9回目	V 仕事の日本語力 2. 挨拶 この課で覚える言葉 ① 会話例 p117-119 ミニテスト⑥	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
10回目	V 仕事の日本語力 2. 挨拶 ② ③ ロールプレイ p120-122 ミニテスト⑦	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
11回目	V 仕事の日本語力 3. 電話 受ける p123-132	対面授業	【予習】教科書を読み電話応対に必要な語彙などを覚えてくる(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
12回目	V 仕事の日本語力 4. 電話 かける p133-142 ミニテスト⑧	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
13回目	V 仕事の日本語力 5. 電話 アポイントを取る p143-148 ミニテスト⑨	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
14回目	V 仕事の日本語力 6. 訪問 p149-155 ミニテスト⑩	対面授業	【予習】教科書を読み、ミニテストの準備をする。(2時間) 【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
15回目	V 仕事の日本語力 これまでの授業のまとめ	対面授業	【予習】これまで学んだ範囲をもう一度確認してくる。(2時間)

			【復習】本時の学びを確認し、理解を深める。(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』国書刊行会
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroomを使用できるデバイス(PCやスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。 ・遅刻や欠席をする際には必ずメールで連絡をすること
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。 Google Classroomやメールなどで連絡をするか直接相談すること
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称: 日本語ライティング&グラマーⅡ N1N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC710

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
西尾 春奈			②	

授業概要	一般的・社会的な内容から専門的な内容までのトピックについて理解を深めながら、アカデミック・ライティングの力(書く力)をつける。さらに論理構成を整え、内容を深く掘り下げた説得力のある文章を書くことを目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	アカデミック・ライティングにふさわしい日本語のスタイル、適切な言語表現、説得力のある内容・構成で書くことができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応 能力	培った知識で多様な日本文化に対応でき、また自己表現ができる。		
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、一般的・社会的な内容から専門的な内容の課題に向き合うことができる。	予習・復習／課題・レポート	20%
主体的に学ぶ力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、ミニテスト10%、予習・復習／課題／レポート20%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題／レポート提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。 ○課題／レポートは提出期限を守り必ず提出すること。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明	対面授業	予習: 次回(第1課)の言葉調べと内容確認(4時間)

2回目	第1課 「アカデミック・ライティングへの準備」	対面授業	予習: 次回(第2課step1.2)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
3回目	第2課「日本・日本人」 Step1 文化・習慣の違い Step2 日本らしさの発見	対面授業	予習: 次回(第2課step3)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
4回目	第2課 Step3 日本論・日本人論	対面授業	予習: 次回(第3課step1.2)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
5回目	第3課「テクノロジー」 Step1 アナログVSデジタル Step2 インターネットの功罪	対面授業	予習: 次回(第3課step3)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
6回目	第3課 Step3 AIの光と影	対面授業	予習: 次回(第4課step1.2)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
7回目	まとめ 第1課～第3課	対面授業	予習: 次回(第4課step1.2)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
8回目	第4課「教育」 Step1 自国の教育の特徴と課題 Step2 宿題の必要性	対面授業	予習: 次回(第4課step3)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
9回目	第4課 Step3 教育格差の是正	対面授業	予習: 次回(第5課step1.2)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
10回目	第5課「ニュース」 Step1 ニュースの紹介 Step2 新聞記事の紹介	対面授業	予習: 次回(第5課step3)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
11回目	第5課 Step3 複数の記事の検討	対面授業	予習: 次回(第6課step1.2)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
12回目	第6課「働き方」 Step1 将来の職業選択 Step2 女性と労働	対面授業	予習: 次回(第6課step3)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
13回目	第6課 Step3 労働に関する社会的課題	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
14回目	第7課① 「持続可能な世界:SDGsを考える」	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認。 課題作成(2時間)
15回目	第7課② 学んだことを生かしてレポートを	対面授業	予習: 定期試験の準備 確認(2時間)

	完成させる		復習:既習内容の確認。 (2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	日本語を学ぶためのアカデミック・ライティング講座
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語ライティング&文法Ⅱ N3N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC710

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里			②問題解決学習 ⑦グループワーク	

授業概要	この授業では、手紙やメール、ニュースや案内文等の様々な文章を読んで理解すること、状況に適した語彙や表現を用いて文章が書けるようになることを目標とする。また、メールの作成方法や原稿用紙の使い方といった日本語で文章を書く上で必要な知識についても実践的に学び、授業外でも活用できるようになることを目指す。対象はN3N4レベルの学生である。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的に接することができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識 や技能	文章を読み、主要点を理解することができる。 状況に適した語彙や表現を用いて文章を書くことができる。また、メールや原稿用紙等、指定された形式にあった文章を書くことができる。	課題	40%
異文化知識・対応 能力	与えられたテーマやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考えから新たな視点を得て、自らの考えを深め、発展させることができる。	授業態度	10%
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って周り助け合いながら積極的に授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力	進学・就職のために必要なライティングスキルを理解し、実践につなげることができる。	課題	30%
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度と課題を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認 ●第1節 みんなに友だちを紹介する	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。 「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)

2回目	●第2節 依頼する/許可を求める	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
3回目	●第3節 感謝を表す	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
4回目	●第4節 誘い、依頼を断る	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
5回目	●第5節 物事を描写する	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
6回目	●第6節 ニュースを伝える	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
7回目	●第7節 商品を宣伝する	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
8回目	●第8節 自己 PR する	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
9回目	●第9節 イベント情報を伝える	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
10回目	●第10節 意見を述べる	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
11回目	●第11節 感情を表現する	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
12回目	●第12節 アドバイスする	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題

			を提出する。(2 時間)
13回目	●第13節 将来を予測する	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
14回目	●第14節 過去と現在を比較する	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
15回目	●第15節 考えを主張する	対面授業	【予習】「読んでみよう」を読み、内容と文型・表現を確認する。分からない言葉を調べ理解する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し理解を深める。課題を提出する。(2 時間)
			授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『学ぼう!にほんご作文練習帳』専門教育出版
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PCやスマートフォン等)を持ってくる ことが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称: 日本語演習 I N1N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC513

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里			②問題解決学習 ⑦グループワーク	

授業概要	本授業は日本語検定試験N3またはJ.Test実用日本語検定Dレベル相当の能力を持つ学習者を対象とし、主にJ.TEST実用日本語検定のA～Cレベル取得を目的とした試験対策を行う。授業を通じて得た知識や技能を他の検定試験や実生活での日本語使用場面でも応用できるようになることを目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して常に親和的に接することができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	問題演習や解説を通じ、自分の力で正答を導き出すことができる。 重要な漢字や語彙、表現が理解できる。	課題 定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力	与えられたテーマやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考えから新たな視点を得て、自らの考えを深め、発展させることができる。	授業態度	10%
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って周りと助け合いながら積極的に授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力	卒業後の就職や進学時に必要な日本語能力を理解し、実践につなげることができる。		
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度と課題、定期試験を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】これまでの学習を振り返る。教科書を準備する。(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
2回目	●言葉の時間 ●第1回試験問題 ・文法・語彙:A	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を

	・読解:1～5 ・漢字:A ・記述:A ・聴解:1写真問題 2聴読解問題		深める。(2時間)
3回目	●言葉の時間 ●第1回試験問題 ・文法・語彙:B ・読解:6～11 ・漢字:BC ・記述:B ・聴解:3応答問題 4会話・説明問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
4回目	●言葉の時間 ●第2回試験問題 ・文法・語彙:A ・読解:1～5 ・漢字:A ・記述:A ・聴解:1写真問題 2聴読解問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5回目	●言葉の時間 ●第2回試験問題 ・文法・語彙:B ・読解:6～11 ・漢字:BC ・記述:B ・聴解:3応答問題 4会話・説明問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6回目	●言葉の時間 ●第3回試験問題 ・文法・語彙:A ・読解:1～5 ・漢字:A ・記述:A ・聴解:1写真問題 2聴読解問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7回目	●言葉の時間 ●第3回試験問題 ・文法・語彙:B ・読解:6～11 ・漢字:BC ・記述:B ・聴解:3応答問題 4会話・説明問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8回目	これまでのまとめ①	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9回目	●言葉の時間 ●第4回試験問題 ・文法・語彙:A ・読解:1～5 ・漢字:A ・記述:A ・聴解:1写真問題 2聴読解問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10回目	●言葉の時間 ●第4回試験問題 ・文法・語彙:B ・読解:6～11	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)

	・漢字:BC ・記述:B ・聴解:3応答問題 4会話・説明問題		
11回目	●言葉の時間 ●第5回試験問題 ・文法・語彙:A ・読解:1～5 ・漢字:A ・記述:A ・聴解:1写真問題 2聴読解問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
12回目	●言葉の時間 ●第5回試験問題 ・文法・語彙:B ・読解:6～11 ・漢字:BC ・記述:B ・聴解:3応答問題 4会話・説明問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
13回目	●言葉の時間 ●第6回試験問題 ・文法・語彙:A ・読解:1～5 ・漢字:A ・記述:A ・聴解:1写真問題 2聴読解問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
14回目	●言葉の時間 ●第6回試験問題 ・文法・語彙:B ・読解:6～11 ・漢字:BC ・記述:B ・聴解:3応答問題 4会話・説明問題	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
15回目	これまでのまとめ②	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解き、疑問点を明らかにしておく(2時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
16回目	定期試験 これまで学んだ内容に関して、定期試験を行う	対面授業	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	J.Test実用日本語検定問題集[A～Cレベル]2023
履修条件	日本語検定試験N3またはJ.Test実用日本語検定Dレベル相当の能力を持つ学習者
履修上の注意	指定された課題を必ず授業前にはしておくこと
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。

備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称: 日本語演習 I N3N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC513

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q6Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
西尾 春奈				②

授業概要	就職や進学あるいは日本語を使って実務的な仕事をこなすために必要な日本語能力を、J.TEST D E レベル試験問題に取り組みながら向上させる。 日本でできることの幅を広げることにもつながる。 幅広い場面に対応したJTESTの対策を通して実際に日本での生活に役立つ知識を増やすことができる。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	J.TESTに前向きな姿勢でチャレンジすることができる。	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	総合力と実用能力を身に付けながら、N 3程度で自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら取り組むことができる。	予習・復習	20%
主体的に学ぶ力	キャリア意識・キャリアデザインビジョンを掲げてその実現を目指すことができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 課題提出や連絡はGoogle classroom を使用する。授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 定期試験60 %、ミニテスト 10 %、予習・復習 20 %、授業への参加・態度 10 %の割合で評価する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題1～5) 試験問題に慣れるための学習(2時間)

2回目	J.TEST 第1回試験問題 読解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題6~9) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	J.TEST 第1回試験問題 聴解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題1~5) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
4回目	J.TEST 第2回試験問題 読解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題6~9) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
5回目	J.TEST 第2回試験問題 聴解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題1~5) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
6回目	J.TEST 第3回試験問題 読解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題6~9) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
7回目	J.TEST 第3回試験問題 聴解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題1~5) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
8回目	J.TEST 第4回試験問題 読解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。(読解問題6~9) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
9回目	J.TEST 第4回試験問題 聴解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題1~5) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
10回目	J.TEST 第5回試験問題 読解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題6~9) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
11回目	J.TEST 第5回試験問題 聴解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題1~5) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
12回目	J.TEST 第6回試験問題 読解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題6~9) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
13回目	J.TEST 第6回試験問題 聴解	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題まとめ) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
14回目	復習 総まとめ①	対面授業	予習: 指定箇所を解く。 (読解問題まとめ) 試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
15回目	復習 総まとめ②	対面授業	予習: 定期試験の準備(4時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	○「J. TEST 実用日本語検定問題集(D-E レベル)2023 年」
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語演習Ⅱ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC711

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2	2	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 美里				

授業概要	実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。特に、話す・聞くに焦点を当て、相手や目的・場面に応じて適切に対応できることを目指す。対象は N1 レベルの学生である。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して親和的な態度で積極的に関わることができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	様々な話題について、相手や目的・場面に適した語彙や表現を用いて伝えることができる。また、話を聞いて相手の意思を理解することができる。	ミニテスト・課題 定期試験	10% 60%
異文化知識・対応能力	与えられたトピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考え方から学びを深め、他者との関わりを発展させることができる。	授業態度	10%
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、自ら設定した目標に向かってクラスメイトと協力しながら粘り強く授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテスト・課題を評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2回目	●ミニテスト ●ユニット1 許可を求める セクション1 許可を求める	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間)

			【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
3回目	●ミニテスト ●ユニット1 許可を求める セクション2 許可の求めに答える	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
4回目	●ミニテスト ●ユニット1 許可を求める セクション3 総合練習	対面授業	【予習】セクション1,2の内容を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
5回目	●ミニテスト ●ユニット2 依頼する セクション1 依頼する	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
6回目	●ミニテスト ●ユニット2 依頼する セクション2 依頼に答える	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
7回目	●ミニテスト ●ユニット2 助言する セクション3 総合練習	対面授業	【予習】セクション1,2の内容を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
8回目	●ミニテスト ●ユニット1,2のまとめ	対面授業	【予習】セクション1,2の内容を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
9回目	●ミニテスト ●ユニット3 謝罪する セクション1 謝罪する	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
10回目	●ミニテスト ●ユニット3 謝罪する セクション2謝罪に答える	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)
11回目	●ミニテスト ●ユニット3 不満を伝える セクション3 総合練習	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2時間)

12回目	●ミニテスト ●ユニット4 誘う セクション1 誘う	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
13回目	●ミニテスト ●ユニット4 誘う セクション2 誘いに答える	対面授業	【予習】CD を聞いて「聞いてみよう」を行う。「くわしく学ぼう」を読む。語彙を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
14回目	●ミニテスト ●ユニット4 誘う セクション3 総合練習	対面授業	【予習】セクション1,2の内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
15回目	●ミニテスト ●ユニット3,4のまとめ	対面授業	【予習】セクション1,2の内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業で行った会話の内容をまとめる。授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
16回目	定期試験		【予習】定期試験に向けて準備を行う。(2 時間) 授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	『みがけ!コミュニケーションスキル 中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』スリーエーネットワーク
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称: 日本語演習Ⅱ N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 みづほ			⑦	

授業概要	実際に使える日本語習得のため、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
確かな専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N2 レベルの実力)	定期試験 漢字テスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、漢字テスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○漢字テストの範囲は、次回の分を指示する。(漢字たまご中級1 第5課～6課) ○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。 ○課題発表やプレゼンテーションもある。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。

2回目	トピック7part1 私は柔道をやってます	対面授業	予習:3 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	トピック7part2 練習は何曜日にあるんでしょうか?	対面授業	予習:4回目の語彙を調べ覚える。ページ161を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	トピックpart3 子どものころ、学校で習いました。	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	トピック7part1～3まとめ	対面授業	予習:6回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	トピック8part1 スマホなしじゃどこにも行けない!	対面授業	予習:7 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック8part2 電子辞書を買おうと思うんですけど	対面授業	予習:8回目の語彙を調べ覚える。ページ179を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	トピック8part3 いいもの買ったんですよ	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	トピック8part1～3まとめ	対面授業	予習:10 回目の語彙を調べ覚える。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	トピック9part1 祭りは7日まで続きます	対面授業	予習:11 回目の語彙を調べ覚える。文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	トピック9part2 私も踊ってきました	対面授業	予習:12 回目の語彙を調べ覚える。ページ197を考察する。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	トピック9part3 祭りのいちばんの見どころは...	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	トピック9part1～3まとめ	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	トピック7～9part1～3 総まとめ①	対面授業	予習:語彙・文型の確認(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	トピック7～9part1～3 総まとめ②	対面授業	予習:定期試験の準備(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるとと 中級1 B1、漢字たまご中級1B1
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること

オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語演習Ⅱ N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	演習
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
西尾 春奈				⑦

授業概要	実際に使える日本語習得のため、「聞く・話す」に重点をおいた学習をする。各回での「can-do」達成を目指し、日本語使用場面で「できる」ことを増やす。またコミュニケーションに積極的な態度を養うことも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他人を思いやる心や感動する心を高めることができる		
専門的知識や技能	コミュニケーションに必要な日本語を身につけることができる。(日本語能力試験 N3 レベルの 実力)	定期試験 ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	培ったコミュニケーション力で多様な日本文化 に対応でき、また自己表現できる。	グループ・ ペアワーク	10%
課題解決能力	問題の認識・情報の収集・分析・方策の決定等の力を身に付け、日常生活の課題に向き合うことができる。	課題	10%
主体的に学ぶ力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、ミニテスト10%、グループ・ペアワーク10%、課題10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。 ○課題発表やプレゼンテーションもある。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明	対面授業	予習: 2回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級1課①)

	インタビュー		(4時間)
2回目	トピック1part1 みなさん、こんにちは ○漢字たまご中級1課①	対面授業	予習:3 回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級1課②) 文型を確認する(2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
3回目	トピック1part2 あのう、失礼ですが・・・ ○漢字たまご中級1課②	対面授業	予習:4 回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級1課③) ページ 53を考察する。 (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
4回目	トピック1part3 はじめまして、マイと申します ○漢字たまご中級1課③	対面授業	予習:語彙・文型の確認 (漢字たまご中級1課④) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
5回目	トピック1part4.5 ○漢字たまご中級1課④	対面授業	予習:6 回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級1課) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
6回目	トピック2part1 ここは、とくに魚がうまい ○漢字たまご中級1課復習	対面授業	予習:7 回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級2課①) 文型を確認する (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	トピック2part2 お好み焼き粉は・・・ ○漢字たまご中級2課①	対面授業	予習:8 回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級2課②) ページ 71 を考察する。 (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
8回目	トピック2part3 ぜひ、めしあがってみてください ○漢字たまご中級2課②	対面授業	予習:語彙・文型の確認 (漢字たまご中級2課②) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
9回目	トピック2part4.5 ○漢字たまご中級2課③	対面授業	予習:10回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級2課④) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
10回目	トピック3part1 やっぱり演歌でしょう ○漢字たまご中級2課④	対面授業	予習:11回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級2課) 文型を確認する (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
11回目	トピック3part2 いい歌は古くならないんです ○漢字たまご中級2課復習	対面授業	予習:12回目の語彙を調べ覚える。(漢字たまご中級2課) ページ 89 を考察する。 (2 時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
12回目	トピック3part3 彼女のすごいところは・・・ ○漢字たまご中級1.2課	対面授業	予習:語彙・文型の確認 (漢字たまご中級1.2課) (2時間) 復習:既習内容の確認

			(2時間)
13回目	トピック3part4.5 ○漢字たまご中級1.2課	対面授業	予習:語彙・文型の確認 (漢字たまご中級1.2課) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
14回目	トピック1～3総まとめ① ○漢字たまご中級1.2課	対面授業	予習:語彙・文型の確認 (漢字たまご中級1.2課) (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
15回目	トピック1～3 総まとめ② ○漢字たまご中級1.2課	対面授業	予習:定期試験の準備 (2時間) 復習:既習内容の確認 (2時間)
16回目	定期試験		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	まるごと 中級1 B1 漢字たまご中級
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただしミニテスト・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称: 日本語演習Ⅱ N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: CC711

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2	2	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦	

授業概要	実際の日本語使用場面に対応できるコミュニケーション能力を養うことを目的とする。 特に、日常生活で出会う身近な場面を中心に、話す・聞くに焦点を当てて授業を行う。 対象は N4 レベルの学生である。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して親和的な態度で積極的に関わることができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識 や技能	身近な話題について、場面に適した語彙や表現を用いて詳しく伝えることができる。 また、相手の話を具体的に理解することができる。	ミニテスト 定期試験	10% 60%
異文化知識・対応 能力	トピックやクラスメイト等との交流を通じ、多様な文化や考えから学びを深め、相手との関係を発展することができる	授業態度	10%
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、自ら設定した目標に向かってクラスメイトと協力しながら粘り強く授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくは Classroom で指示する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習: シラバスを読み、教科書を準備する。内容を把握する(2時間) 復習: 学んだ内容をもう一度確認する(2時間)。
2回目	トピック1 スポーツの試合①～③ 漢字たまご第1課①	対面授業	予習: 教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる(2時間) 復習: 学んだ内容をもう一度確認する。(2時間)
3回目	トピック1	対面授業	予習: 教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる

	スポーツの試合14④⑥ 漢字たまご第1課②		(2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
4回目	トピック1 まとめ ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
5回目	トピック2 家をさがす1①③ 漢字たまご第2課①	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
6回目	トピック2 家をさがす4④⑤ 漢字たまご第2課②	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
7回目	トピック2 まとめ ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
8回目	トピック3 ほっとする食べ物1①③ 漢字たまご第3課①	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
9回目	トピック3 ほっとする食べ物4④⑤ 漢字たまご第3課②	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
10回目	トピック3 まとめ ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
11回目	トピック4 訪問1①③ 漢字たまご第4課①	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
12回目	トピック4 訪問4④⑤ トピック4まとめ 漢字たまご第4課② ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
13回目	トピック5 ことばを学ぶ楽しみ1①③ 漢字たまご第5課①	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
14回目	トピック5 ことばを学ぶ楽しみ4④⑤ トピック5まとめ	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間)

	漢字たまご第5課②		復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
15回目	まとめの問題 ミニテスト	対面授業	予習:教科書の内容を読み、単語や漢字の読みを調べる (2時間) 復習:学んだ内容をもう一度確認する。 (2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	まるごと 初中級A2/B1 漢字たまご初中級
履修条件	意欲的に授業に参加すること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること わからない単語などを調べるため、携帯電話やスマートフォンなどの電子機器を持ってくるのが望ましい。 遅刻や欠席の場合には必ずメールで連絡をすること
オフィスアワー	授業の前後で対応する。 事前にclassroomやメールなどで連絡、または直接相談すること
備考・メッセージ	授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:応用日本語 N1N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC606

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義 演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
塩田 裕明			②、⑤	

授業概要	日本留学試験で高得点を取ることを目指して、読解力と記述力、並びに語彙力を養う。読解については、問題の種類(短文単問、短文複問、長文)ごとの解き方を身に付ける。なお、前もって語彙の意味を調べてくることが課題として出される。記述についても、問題の種類(二項対立、予測・問題解決)ごとの解き方を身に付ける。なお、各テーマについてディスカッションを行い、既有知識の活性化を行ってから記述の課題に取り組む。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	・日本留学試験に対応できる読解力、記述力、語彙力を身に付けている。	・定期試験 ・単語テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	・N2相当(N2以上)の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	・目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	・予習・復習	10%
キャリアデザイン力	・モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	・授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、単語テスト20%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 ・日本留学試験とは 速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題9)p. 34 ・短文複問(問題9)pp. 72-73 ・長文(問題9)pp. 132-133 単語テスト①	対面授業	予習:テキスト(読解編)pp. 10-11およびテキスト(記述編)pp. 8-15を読む(2時間)
2回目	速攻トレーニング(記述編)	対面授業	予習:指定された課題に取り

	・二項対立(5番)pp. 48-51 単語テスト②		組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題10)p. 35 ・短文複問(問題10)pp. 74-75 ・長文(問題10)pp. 134-135 単語テスト③	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	速攻トレーニング(記述編) ・予測・問題解決(4番)pp. 124-127 単語テスト④	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題11)p. 36 ・短文複問(問題11)pp. 76-77 ・長文(問題11)pp. 136-137 単語テスト⑤	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	速攻トレーニング(記述編) ・二項対立(6番)pp. 52-55 単語テスト⑥	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題12)p. 37 ・短文複問(問題12)pp. 78-79 ・長文(問題12)pp. 138-139 単語テスト⑦	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	速攻トレーニング(記述編) ・予測・問題解決(5番)pp. 128-131 単語テスト⑧	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題13)p. 38 ・短文複問(問題13)pp. 80-81 ・長文(問題13)pp. 140-141 単語テスト⑨	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	速攻トレーニング(記述編) ・二項対立(7番)pp. 56-59 単語テスト⑩	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題14)p. 39 ・短文複問(問題14)pp. 82-83 ・長文(問題14)pp. 142-143 単語テスト⑪	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	速攻トレーニング(記述編) ・予測・問題解決(6番)pp. 132-135 単語テスト⑫	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題15)p. 40 ・短文複問(問題15)pp. 84-85 ・長文(問題15)pp. 144-145 単語テスト⑬	対面授業	予習:指定された課題に取り組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	速攻トレーニング(記述編)	対面授業	予習:指定された課題に取り

	・二項対立(8番)pp. 60-63 単語テスト⑭		組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	速攻トレーニング(読解編) ・短文単問(問題16)p. 41 ・短文複問(問題16)pp. 86-87 ・長文(問題16)pp. 146-147 単語テスト⑮	対面授業	予習:指定された課題に取り 組む。(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	日本留学試験速攻トレーニング 読解編 日本留学試験速攻トレーニング 記述編 JLPT N4 日本語能力試験ベスト単語合格2400
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:応用日本語 N3上	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC606

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義 演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
宮崎 香梅			⑦	

授業概要	日常生活に必要な知識、会話力を養う。 本講義では、JLPTN3取得を目指し、①文法の「使い方」を理解し、②聞く・読む練習で文法を身に付けることを目標にする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・一つひとつのトピックに、積極的に取り組もうとする。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・日常生活に必要な用語を適切に使うことができる。 ・自分の思いを短い会話をつなぎながら表現することができる。	・定期試験 ・ミニテスト	60% 10%
異文化知識・対応能力	・日本文化についての理解を深め、日本社会に馴染もうとする姿勢が見られる。	・授業中の言動	10%
課題解決能力	・分からないことをそのままにせず、自ら調べたり質問することができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・学んだことをその日から活かそうとする。	・レポート	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験60%、ミニテスト10%、グループディスカッション5%、授業中の言動10%、レポート10%、授業への参加態度5%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明・インタビュー	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
2回目	TRY6章(1) 単語テスト①	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
3回目	TRY6章(2) 単語テスト②	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
4回目	TRY7章(1) 単語テスト③	対面授業 オンライン等の	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習

		対応可	(2時間)
5回目	TRY7章(2) 単語テスト④	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
6回目	TRY8章 単語テスト⑤	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
7回目	TRY9章(1) 単語テスト⑥	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
8回目	TRY9章(2) 単語テスト⑦	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
9回目	TRY10章(1) 単語テスト⑧ ・解答と解説	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
10回目	TRY10章(2) 単語テスト⑨	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
11回目	TRY11章(1) 単語テスト⑩	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
12回目	TRY11章(2) 単語テスト⑪	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
13回目	TRY6章からTRY11章まで復習①	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
14回目	TRY6章からTRY11章まで復習②	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間)
15回目	総まとめ	対面授業 オンライン等の 対応可	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書:『TRY! 日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語』 参考書: JLPT N3 ベスト単語合格2100
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。

	授業時間に余裕があるときはNHK for Schoolを視聴する。

講義科目名称:応用日本語 N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC606

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義 演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里			⑦グループワーク	

授業概要	日本語能力試験 N3 レベルの文法と語彙を中心に扱う。実際の会話や文章の中でどのように文法や語彙が使われているか理解し、運用できるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	他者に対して親和的な態度で関わるができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	実際の日本語使用場面の中で、適切な文法項目や語彙を選んだり、正しい形に直して運用したりできる。 食事・旅行・学校等、身近なトピックでよく使われる語彙(意味、使い方、漢字等)が理解できる。	授業態度 ミニテスト 定期試験	10% 10% 60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、目的意識を持って主体的に授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項

- ・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。
- ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。
- ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。
- ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。
- ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業 オンライン可	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2回目	TRY 7(1) 単語テスト①	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を

			深める(2 時間)
3回目	TRY 7(2) 単語テスト②	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
4回目	TRY 8-1 単語テスト③	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
5回目	TRY 8-2 単語テスト④	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
6回目	TRY 復習① 単語テスト⑤	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
7回目	TRY 9(1) 単語テスト⑥	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
8回目	TRY 9(2) 単語テスト⑦	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
9回目	TRY 10(1) 単語テスト⑧	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
10回目	TRY 10(2) 単語テスト⑨	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
11回目	TRY 復習② 単語テスト⑩	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
12回目	TRY 11(1) 単語テスト⑪	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
13回目	TRY 11(2) 単語テスト⑫	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間)

			【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
14回目	TRY 復習③ 単語テスト⑬	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
15回目	TRY 総まとめ 単語テスト⑭	対面授業 オンライン可	【予習】単語テストの準備を行う。 「できること」と見本文を読み、内容を理解する(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める(2 時間)
16回目	定期試験		【予習】定期試験に向けて準備を行う。(2 時間) 授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N3合格2100』 ジャパンタイムズ出版 『TRY! 日本語能力試験 N3 文法から伸ばす日本語[改訂版]』アスク
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称:応用日本語 N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義 演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本みづほ			⑦	

授業概要	日常生活に必要な知識、会話力を養う。 本講義では、JLPTN3取得を目指し、①文法の「使い方」を理解し、②聞く・読む練習で文法を身に付けることを目標にする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・一つひとつのトピックに、積極的に取り組もうとする。	・グループディスカッション	5%
専門的知識や技能	・日常生活に必要な用語を適切に使うことができる。 ・自分の思いを短い会話をつなぎながら表現することができる。	・定期試験 ・漢字テスト	50% 20%
異文化知識・対応能力	・日本文化についての理解を深め、日本社会に馴染もうとする姿勢が見られる。	・レポート	10%
課題解決能力	・分からないことをそのままにせず、自ら調べたり質問することができる。	・授業への参加・態度	5%
キャリアデザイン力	・学んだことをその日から活かそうとする。	・レポート	10%
合計			100%
補足事項			
・授業の出欠、連絡、ミニテスト、レポート提出、質問などはGoogle Classroomを利用する。 ・本授業では、定期試験50%、漢字テスト20%、レポート20%、授業への参加態度10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、心がまえ、注意点について説明する。 JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 文字・語彙・文法 第1週1日目～3日目 P20～31 ・解答と解説	対面授業	予習:P20～31を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
2回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 文字・語彙・文法 第1週4日目、5日目第2週1日目 P32～P39 ・解答と解説	対面授業	予習:P32～39を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)

3回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 文字・語彙・文法 第2週2, 3, 4日目 P42～P47 ・解答と解説	対面授業	予習:P42～47を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
4回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 文字・語彙・文法 第2週5日目、第3週1, 2日目 P48～P57 ・解答と解説	対面授業	予習:P48～57を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
5回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 文字・語彙・文法 第3週3, 4, 5日目 P58～P70 ・解答と解説	対面授業	予習:P58～70を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
6回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 読解 例題と解き方P72～P77 第4週1, 2日目 P78～P81 ・解答と解説	対面授業	予習:P72～81を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
7回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 読解 第4週3, 4, 5日目 P82～P87 ・解答と解説	対面授業	予習:P82～87を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
8回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 読解 第5週1, 2, 3日目 P88～P93 ・解答と解説	対面授業	予習:P88～93を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
9回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 読解 第5週4, 5日目 第6週1日目 P94～P99 ・解答と解説	対面授業	予習:P94～99を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
10回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 読解 第6週2, 3, 4, 5日目 P100～P108 ・解答と解説	対面授業	予習:P100～108を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
11回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 読解 第6週5日目 聴解 例題と解き方 第7週1, 2日目 P106～P125 ・解説と解答	対面授業	予習:P106～125を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
12回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 聴解 第7週3, 4, 5日目 P126～P137 ・解説と解答	対面授業	予習:P126～137を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
13回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 聴解 第8週1, 2, 3, 4, 5日目 P138～P147	対面授業	予習:P138～147を読み問題を再度解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し

	特に理解できなかった部分を再度解説		し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
14回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 聴解 第9週1, 2, 3, 4, 5日目 P148～P162 特に理解できなかった部分を再度解説	対面授業	予習:P148～162を読み問題を解く(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
15回目	JLPTN4日本語能力試験ベスト総合問題集 これまでで特に理解できなかった部分を再度解説	対面授業	予習:これまでを振り返る(2時間) 復習:間違った問題のやり直し、新出単語を書いて覚える。(2時間)
16回目	定期試験	対面のみ	授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	JLPTN4総合問題集 JLPTN3ベスト単語合格2100
履修条件	
履修上の注意	欠席する場合は前もってClassroomで連絡すること。
オフィスアワー	授業の前後、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	授業中は母国語で話さないこと。 スマートフォンは調べる以外に使わないこと。 諸般の事情によりオンライン授業となるときは、別途連絡します。 授業時間に余裕があるときはNHK for Schoolを視聴する。

講義科目名称:総合日本語 N1	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC713

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里				

授業概要	日本語能力試験 N1 レベルの文法と語彙を中心に扱う。実際の会話や文章の中でどのように文法や語彙が使われているか理解し、運用できるようになることを目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	クラスメイトに対して親和的な態度で積極的に関わることができる。	授業態度	10%
確かな専門的知識 や技能	自分の力で正答を導き出すことができる。 重要な表現、漢字や語彙等が理解できる。	授業態度 ミニテスト 定期試験	10% 10% 60%
異文化知識・対応 能力			
課題解決能力	今後の日本語使用場面を想像し、自ら設定した目標に向かってクラスメイトと協力しながら粘り強く授業に取り組める。	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明 ・これまでの学習内容の確認	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2回目	●ミニテスト ●TRY1	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3回目	●ミニテスト ●TRY2－1回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間)

			【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
4回目	●ミニテスト ●TRY2－2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
5回目	●ミニテスト ●TRY3－1回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
6回目	●ミニテスト ●TRY3－2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
7回目	●ミニテスト ●TRY4(1)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
8回目	●ミニテスト ●TRY4(2)	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
9回目	●ミニテスト ●TRY5(1)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
10回目	●ミニテスト ●TRY5(2)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
11回目	●ミニテスト ●TRY6－1回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
12回目	●ミニテスト ●TRY6－2回目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
13回目	●ミニテスト ●TRY7(1)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
14回目	●ミニテスト ●TRY7(2)	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間)

			【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
15回目	●ミニテスト ●第 15 回までの復習	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
16回目	定期試験		【予習】定期試験に向けて準備する。(2 時間) 授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『TRY!日本語能力試験N1』アスク出版 『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N1合格2600』ジャパンタイムズ出版
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称:総合日本語 N2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC713

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
塩田 裕明			①、⑫	

授業概要	日本語能力試験N2レベルの各能力を高めるため、問題に取り組む。具体的には、教科書(TRY! N2)に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N2合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	N2相当の文法力や読解力が身に付いている。	定期試験 単語テスト	60% 20%
異文化知識・対応能力	N2相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
キャリアデザイン力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、単語テスト20%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方と注意点の説明 ・評価方法の説明 TRY1章	対面授業	予習:TRY (pp. 4-9)を読んでもくる。 (2時間)
2回目	TRY2章(1)	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
3回目	TRY2章(2) 単語テスト①	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)

4回目	TRY3章(1) 単語テスト②	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	TRY3章(2) 単語テスト③	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	TRY4章 単語テスト④	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	TRY5章(1) 単語テスト⑤	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	TRY5章(2) 単語テスト⑥	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	TRY6章(1) 単語テスト⑦	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	TRY6章(2) 単語テスト⑧	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	TRY7章(1) 単語テスト⑨	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	TRY7章(2) 単語テスト⑩	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	TRY8章 単語テスト⑪	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	TRY9章(1)(2) 単語テスト⑫	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	TRY10章(1)(2) 単語テスト⑬	対面授業	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	TRY! 日本語能力試験N2 文法から伸ばす日本語 JLPT N2 日本語能力試験ベスト単語合格2400
履修条件	意欲的に授業に参加できること。
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること。
オフィスアワー	基本的には授業の前後で対応、Google Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。

	○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:総合日本語 N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CC713

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲			⑦	

授業概要	日本語能力試験 N3 レベルの言語知識、読解、聴解を中心に学習する。様々な問題を積極的に解きながら、出題される試験問題に慣れることができる。また、語彙力の向上を目指し、授業内でミニテストを行う。問題を解くだけでなく、関連する表現や漢字、語彙等と一緒に学び、試験問題以外でも運用できる応用力を身につけることを目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	他者に対して思いやりを持った受け答えや行動ができる	授業態度	10%
確かな専門的知識や技能	自分の力で正答を導き出すことができる。 重要な表現、漢字や語彙等が理解できる。	授業態度 ミニテスト 定期試験	10% 10% 60%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	使用する日本語の場面を想像し、課題に積極的に向き合うことができる	授業態度	10%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、授業態度、定期試験、ミニテストを評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは授業内に直接、または Classroom で行う。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30 分以上の退出や授業終了 30 分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 ・出欠確認、欠席連絡の仕方 ・授業内容、進め方、問題の解き方、予習復習の仕方 ・評価に関する説明	対面授業	【予習】教科書を準備する、Classroom 登録。(1 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(1 時間)
2回目	問題演習 言語知識:漢字読み・表記 1日目 読解:内容理解(短文) 1日目 聴解:課題理解 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
3回目	●問題演習	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。

	言語知識:文脈規定・言い換え類義1日目 読解:内容理解(中文) 1日目 聴解:ポイント理解 1日目		言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
4回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:用法・文の組み立て 1日目 読解:内容理解(長文) 1日目 聴解:概要理解・発話表現 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
5回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 1日目 読解:情報検索 1日目 聴解:即時応答 1日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
6回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:漢字読み・表記 2日目 読解:内容理解(短文) 2日目 聴解:課題理解 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
7回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文脈規定・言い換え類義2日目 読解:内容理解(中文) 2日目 聴解:ポイント理解 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
8回目	●第7回までの復習 7回までの中から問題を抜粋し解く	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
9回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:用法・文の組み立て 2日目 読解:内容理解(長文) 2日目 聴解:概要理解・発話表現 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
10回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 2日目 読解:情報検索 2日目 聴解:即時応答 2日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
11回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:漢字読み・表記 3日目 読解:内容理解(短文) 3日目 聴解:課題理解 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
12回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文脈規定・言い換え類義3日目 読解:内容理解(中文) 3日目 聴解:ポイント理解 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
13回目	●ミニテスト ●問題演習	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べて

	言語知識:用法・文の組み立て 3日目 読解:内容理解(長文) 3日目 聴解:概要理解・発話表現 3日目		おく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
14回目	●ミニテスト ●問題演習 言語知識:文法形式の判断・文章の文法 3日目 読解:情報検索 3日目 聴解:即時応答 3日目	対面授業	【予習】授業範囲の問題を解いておく。 言葉の意味や漢字の読み方を調べておく。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
15回目	●第 15 回までの復習	対面授業	【予習】これまでの授業内容を確認する。(2 時間) 【復習】授業内容を見直し、理解を深める。(2 時間)
16回目	定期試験		【予習】定期試験に向けて準備する。(2 時間) 授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『全科目攻略!JLPT 日本語能力試験ベスト総合問題集 N3』ジャパントイズ出版 『ミニストーリーで覚えるJLPT日本語能力試験ベスト単語N3合格2100』ジャパントイズ出版
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroom を使用できるデバイス(PC やスマートフォン等)を持ってくる ことが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備 しておくこと。 ・遅刻や欠席がある場合には事前にメールで連絡をすること。
オフィスアワー	授業の前後、メール、Classroomでも受け付けます。
備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称:総合日本語(検定)N4	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
西尾 春奈				②

授業概要	文法を整理し日本語が使えるようになることを目標とする。①実際のコミュニケーションの中でその文法がどのように使われているか知ることができる。②基本的な練習で使い慣れることができる。具体的には、教科書(N3TRY)に沿って問題を解き、解答及び解説を行う。解説では、関連する文法事項などの確認を適宜行い、日本語能力試験N3合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識 や技能	N3の基本的な文法力や読解力が身に付いている。	定期試験 単語テスト	60% 20%
異文化知識・対応 能力	N3相当の知識を深めることで、より豊かに自己表現できる。		
課題解決能力	目標に向かって自ら積極的に取り組むことができる。	予習・復習	10%
主体的に学ぶ力	モチベーション高く、目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
合計			100%

補足事項	
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○定期試験60%、単語テスト20%、予習・復習10%、授業への参加態度10%の割合で評価する。 ○授業の連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明・インタビュー	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習。 単語テスト①を覚える(2時間)
2回目	TRY1章(1) 単語テスト①	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト②を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)

3回目	TRY1章(2) 単語テスト②	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト③を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
4回目	TRY2章(1) 単語テスト③	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト④を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	TRY2章(2) 単語テスト④	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑤を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	TRY3章 単語テスト⑤	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑥を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	TRY4章(1) 単語テスト⑥	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑦を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	TRY4章(2) 単語テスト⑦	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑧を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	TRY5章(1) 単語テスト⑧	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑨を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	TRY5章(2) 単語テスト⑨	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑩を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	TRY6章(1) 単語テスト⑩	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑪を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	TRY6章(2) 単語テスト⑪	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑫を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	TRY7章(1) 単語テスト⑫	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑬を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	TRY7章(2) 単語テスト⑬	対面授業	予習:指定箇所を解く。試験問題に慣れるための学習(2時間) 単語テスト⑭を覚える。 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	TRY8章 単語テスト⑭	対面授業	予習:定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規	

則に定める科目区分または事項等	
教科書・参考書	TRY！日本語能力試験N3 文法から伸ばす日本語 JLPT N3 ベスト単語合格2100
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし課題提出のみ使用可（Google classroom）。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。（詳細は最初の授業で説明する）

講義科目名称:比較文化研究(日)	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:MU701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
後期(7Q)	2年	2単位	選択	講義(オムニバス)
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田、李、松浦、依藤、ロニー、山本			④⑦	

授業概要	コミュニケーション力とグローバルな視点によって多様な人々と積極的に交流することができるようにするため、この授業の目的となるキーワードは、「協働」「比較文化」「異文化理解」「コミュニケーション」とする。これからのグローバル社会では、様々な国の出身者と協働で働き、生活を共にすることがますます必要となる。いくつかのプロジェクトを通して、多様な文化を理解し、価値観の違いを知り、また自国文化に関しての理解を深める。1年次の「異文化理解演習」をベースに、さらに幾つかの国の文化を自国の文化と比較研究をおこなう。特に、日本、韓国、中国、カナダ、ニュージーランドをより深く理解しておくことが重要だと考える。グループワークを通じたプロジェクト型の授業となるため、その中でコミュニケーション力を磨き、協調性を培い、責任感を育てる。グループ全員がそれぞれの立場からそれぞれの資質を活かし、プロジェクトにコミットすることに意義があり、共に学ぶ学生と協働して、プロジェクトに取組み、プレゼンテーション等の作成・発表を通して、到達目標達成を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・自ら考え、適切に判断し継続して行動することができる	・グループワーク	40%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	・異なる文化を持つ人々にとって重要な要素の複雑さを理解して、自発的に多面的な場面にに関わり、その関わりを発展させることができる ・自己の文化的ルールや偏見について認識し、明確に自分の意見を述べることができ、自己の経験がどのように形成されたか認識し、抱える文化的な偏見に対する気づき、対応する方法がわかる。	・課題	30%
課題解決能力	・目標に向かって、自ら問題を見つけ、その解決方法を提案、検討、計画し、課題に対して新しい解決方法を考えることができる	・課題	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、課題60%、グループワーク40%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「文化」とは何か、文化研究に取り組む前に「文化」の概念を共有した後に、異文化研究や異文化接触時に必要な「文化」の概念とは何かを学習する。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
2回目	「文化」とは何か、文化研究に取り組む前に「文化」の概念を共有した後に、異文化研究や異文化接触時に必要な「文化」の概念とは何かを学習する。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
3回目	韓国へようこそ！1 この授業全体のガイダンスをした後、韓国の地理、国旗、花、伝統衣装、お金、住食など韓国の概要について勉強しながら、日本・日本文化との比較を行う。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
4回目	韓国へようこそ！2 韓国と日本の国際交流について話して、両国の望ましい関係について議論する。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
5回目	中国の三大節1 中国の代表的な節日は「春節、端午節、中秋節」の3つであり、これらは三大節と言われる。一緒に中国のことや文化、風習などを学んでいきましょう！	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
6回目	中国の三大節2 中国の代表的な節日は「春節、端午節、中秋節」の3つであり、これらは三大節と言われる。一緒に中国のことや文化、風習などを学んでいきましょう！	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
7回目	「日本の着物①」 日本の伝統衣装である着物について学ぶ。外国の伝統衣装とも比較することで、着物の特徴や歴史、種類について理解を深める。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
8回目	2コマ目「日本の着物②」 着物の着方とコーディネートについて実践的に学ぶ。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
9回目	香港文化の紹介1 香港の伝統文化って何？香港の様々な文化について学びましょう。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
10回目	香港文化の紹介2 香港の伝統文化って何？香港の様々な文化について学びましょう。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな

			な情報を追加する。(2時間)
11回目	カナダの言語/文化/社会事情紹介 カナダの言語事情 日本と比べたカナダの教育事情 日本と比べたカナダの文化/社会事情 食文化の違い	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
12回目	世界/日本の英語とグローバル人材 世界の英語、日本の英語 これから求められるグローバル人材とは 英語圏に暮らす人とzoomでインタビュー(予定)	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
13回目	英文学入門1 英文学とは何か?様々な作品とその特徴について学びましょう。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
14回目	英文学入門2 英文学とは何か?様々な作品とその特徴について学びましょう。	面接授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する講座テーマを確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:授業内容を確認しながら、新たな情報を追加する。(2時間)
15回目	総まとめ 学習内容まとめ アンケート調査	面接授業	予習:今までの授業内容を改めて整理する(4時間) 復習:とくになし
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	・各国の人口、面積、経済動向などのデータから始まり、日本と世界各国の状況を深く分析することでグローバル社会に必要な多様な観点を育てる。 ・生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修条件	なし
履修上の注意	課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行う。
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	

講義科目名称:異文化理解演習	授業コード:
英文科目名称:Cross-cultural Understanding	ナンバリング:MU101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信			④⑦	

授業概要	国境を越えた人々の自由な往来やインターネットの普及が進む中で、社会のグローバル化が加速しています。その結果、異なる文化背景を持つ人々とのコミュニケーションは日常的になり、大学ではさまざまな国からの留学生と共に学び、地域社会でも外国籍の人々が日本人と共に働いています。 国籍が同じでも文化背景が異なることはよくありますし、同じ日本人の中でも文化背景は一概ではありません。 この授業では、日本人と留学生が様々な異文化理解を深めるためのタスクやエクササイズを通じて、自文化と他文化を再認識し、文化的に異なる人々に対して開かれた心と態度を持つことを目指します。これにより、今後必要とされる異文化コミュニケーション能力を身につけることを目的としています。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・文化背景の異なる人への開かれた心と態度を持つことができる。	・タスクやエクササイズへの参加度	30%
専門的知識や技能	・文化紹介のタスクを適切におこなうことができる。	・各タスクの評価	40%
異文化知識・対応能力	・異文化理解に関する概念や専門用語を理解できる。 ・異文化コミュニケーション能力を身につけることができる。	・タスクやエクササイズへの参加度	30%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項
授業の1回目から7回目までは、日本人と留学生がさまざまなタスクやエクササイズを通じて交流し、異文化理解を深めながら友達作りを行います。この過程で、異文化とは何かを実際に体験しながら学びます。 8回目から14回目は、異文化理解の意味を学びながら、「異文化交流パーティー」のプレゼンテーション準備を進めます。具体的には、各国紹介ポスターの作成や、各国を代表するお菓子の購入・説明プレゼンの作

成、各グループでの異文化パフォーマンスの準備などを行います。ポスターには「国情報」「言葉」「独自の文化と思うもの」などを盛り込み、最後にグループで「文化背景の異なる人々と共生するためにはどうすればよいか」を話し合い、まとめとして書き込んでください。

「異文化交流パーティー」では、各グループのプレゼンテーションを全員で確認し、評価を行います。

本授業では、タスクやエクササイズへの参加度(60%)と各タスクの評価(40%)を基に総合評価を行います。プレゼンテーションの評価には、ルーブリック評価表を使用します。

[ルーブリック評価表はこちら](#)

また、本授業では、遅刻3回を欠席1回とカウントします。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・授業概要と授業目標の説明 ・全体で自己紹介 ・多国籍グループ作り、及びグループ内自己紹介 異文化理解タスク1「グループ内メンバー紹介動画作成」の計画と作成(1回目) * 動画は、3分程度。 * グループメンバーで紹介動画の構成を考える。 * 日本人は、「日本語(又は日本語のサブタイトル)」と「日本語以外のメンバーの言語」で自己紹介。 * 留学生は、「日本語」のみ。余裕があれば、「日本語以外のメンバーの言語」で自己紹介。 * それぞれのネイティブスピーカーが発音指導を行う。	対面授業	予習:「異文化」とはなにを指すのかを考え、自分の身の回りの異文化と思われるもの・ことを書き出す。(2時間) 復習:他言語での自己紹介を反復練習し、暗記する。適宜、ネイティブスピーカーの指導を仰ぐ。この過程において、母国語との違いは何かを考える。(2時間)
2回目 3回目	異文化理解タスク1「グループ内メンバー紹介動画作成」(2回目、3回目) ・動画の撮影と編集	対面授業	予習:他言語での自己紹介を反復練習し、暗記する。適宜、ネイティブスピーカーの指導を仰ぐ。この過程において、母国語との違いは何かを考える。(各回2時間) 復習:他言語での自己紹介を反復練習し、暗記する。適宜、ネイティブスピーカーの指導を仰ぐ。この過程において、母国語との違いは何かを考える。(各回2時間)
4回目	異文化理解タスク1「グループ内メンバー紹介動画プレゼンテーション」	対面授業	予習:まとめプレゼンテーションでの自分の発表の練習をしておく。(2時間) 復習:タスク1の発表の振り返りを行い、反省点、評価された点に関して、まとめておく。(2時間)

5回目	異文化理解タスク2「HTB研修」 ・計画と準備 ・各グループの計画概要発表	対面授業	予習:タスク2のHTBに関して、インターネット等で情報を収集しておく。(4時間) 復習:計画した内容に沿って、自分の役割分担を確認し、動画作成の段取りを再確認しておく。(4時間)
6回目	異文化理解タスク2「HTB研修」 ・HTB研修のプレゼンテーション作成	対面授業	予習:HTB研修の行動履歴を確認し、撮影した写真や動画を整理し、編集しやすいようにまとめる。(4時間) 復習:作成した動画に基づいて準備しているプレゼンテーションでの自分の役割を練習し、準備する。(4時間)
7回目	異文化理解タスク2「HTB研修」 ・HTB研修のプレゼンテーション作成 ・グループ・プレゼンテーション	対面授業	予習:プレゼンテーションにおける自分の発表で、メモを見ないで発表できるように準備しておく。(2時間) 復習:他のグループの発表も参考に、自分たちのプレゼンを見直し、よかった点、改善点などをまとめる。(2時間)
8回目	異文化理解タスク2「HTB研修」 ・グループ・プレゼンテーション (個人課題) ①コラージュ(写真)を作成し提出 ②google formでアンケート(感想を含む)への回答	対面授業	予習:タスク1、タスク2で経験したことを通して「異文化コミュニケーション」の難しさや問題点について考えておく。(2時間) 復習:講義①に関して、内容を再度確認し、理解しておく。 また、タスク3の比較項目を考えておく。(2時間)
9回目	異文化理解タスク3 「異文化交流パーティー準備」 ・国別グループの再編 ・国別パフォーマンスの準備	対面授業	予習:異文化を表現するためどんなようなパフォーマンスが良いかを考える(2時間) 復習:グループで話し合った内容について再度検討を行う。(2時間)
10回目	異文化理解タスク3 「異文化交流パーティー準備」 ・国別グループの再編 ・国別パフォーマンスの準備	対面授業	予習:異文化を表現するためどんなようなパフォーマンスが良いかを考える(2時間) 復習:グループで話し合った内容について再度検討を行う。(2時間)
11回目	異文化理解タスク3 「異文化交流パーティー準備」 ・国別グループの再編 ・国別パフォーマンスの準備	対面授業	予習:決定したパフォーマンスの準備を行う。(2時間) 復習:振り返りを行い練習等を行う。(2時間)

12回目	異文化理解タスク3 「異文化交流パーティー準備」 ・国別グループの再編 ・国別パフォーマンスの準備	対面授業	予習: 決定したパフォーマンスの準備を行う。(2時間) 復習: 振り返りを行い練習等を行う。(2時間)
13回目 ～ 15回目	異文化交流パーティーに関して、各自 ①コラージュ(写真)を作成し提出 ②google formでアンケート(感想を含む)への回答 * Speak Upチャレンジの発表会実施 * 総まとめ * 「異文化交流パーティー(土曜日)」の授業調整あり。	対面授業	
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	参考として、各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	国籍の異なる多くのクラスメイトと交流し、自国の文化を認識すると同時に、異文化理解力を高めてください。

講義科目名称:国際・時事研究	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:MU601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信			④⑦	

授業概要	最近の国内外の時事問題に関して、広く知識を獲得し、自分の意見を持ち、発言できるようにする。就職活動や海外へ留学した際に、基本的な時事問題を理解し、それについて自分の意見を述べることは非常に重要である。 google classroomを使用し、参考文献や活用するデータのリンク先やデータ等を提供する。 授業の中では、主に以下をおこなう。 ①受講者が気になった新聞やネット記事を読み、内容をマインドマップ(留学生クラスは、ワークシート)に落とし込み、そのマインドマップ(ワークシート)を元に記事内容をクラスで説明する。 ②同時に、プレゼンする記事に関して「自分の意見」を述べ、他の学生と意見交換を行い、時事問題について理解を深める。 ③学生がプレゼンする時事問題に関して教員が解説し、全員で議論する。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	・ニュースを正しく理解でき、記事内容を簡潔に要約(マインドマップ/ワークシート化)できる。 ・取り扱う国内・国際時事用語を正しく理解できる。 ・マインドマップ/ワークシートの概念を理解できる。 ・情報を整理し、分かり易いマインドマップ/ワークシートを作成することができる。	・最終課題 ・毎回の授業でのタスク ・授業への参加・態度	30% 30% 10%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	・要約した記事内容を口頭で第三者にわかりやすく説明できる。 ・記事に関して、自分の意見を論理的に簡潔に述べるができる。		30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・「授業内で行うタスク」、「授業や活動への参加・態度」で、総合的に評価する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。			

- ・「グループ内プレゼン」→「グループ代表者による全体プレゼン(ローテーション)」を行い、徐々に人前でのプレゼンに慣れるようにする。また、決められた時間で自分の考えや意見をわかりやすく伝える力をつける。
- ・プレゼンテーションに関しては、ルーブリック評価表を使用する。
<https://drive.google.com/file/d/1YOUijafajqaZ3thTOBrbU8S7lmhUncr-/view?usp=sharing>
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・新聞の構成を理解し、効率的な読み方を学習する。 ・マインドマップ/ワークシートの理解、及び作成方法を学ぶ。	対面授業	予習: 提示するマインドマップの説明動画を視聴し、概要を理解しておく。(2時間) 復習: 学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
2回目	国際情勢理解1 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習: 教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習: 学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
3回目	国際情勢理解2 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習: 教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習: 学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
4回目	国際情勢理解3 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習: 教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習: 学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
5回目	国際情勢理解4 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習: 教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習: 学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
6回目	紛争と領土問題1 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容の	対面授業	予習: 教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間)

	マインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション		復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
7回目	紛争と領土問題2 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
8回目	社会1 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
9回目	社会2 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
10回目	社会3 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
11回目	産業・資源1 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
12回目	産業・資源2 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)

13回目	自然・地理 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
14回目	旅行・世界遺産 ・教員が提示する時事問題の解説と学生との意見交換。 ・各自で記事を選択し、用語調べ、内容のマインドマップ/ワークシート作成、グループ内発表・ディスカッション	対面授業	予習:教員が指定する新聞やネット上のニュースソースから各自興味あるものを講読し、内容を理解しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。又、疑問点などを調べ、次の授業で発表する準備をしておく。(2時間)
15回目	まとめ ・授業で取り扱った内容に関して、総復習をおこなう。	対面授業	予習:これまで学習した項目の内容を再確認しておく。(2時間) 復習:学習した内容をノートに整理し再確認する。(2時間)
	定期試験	対面授業	授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	学修効果を高めるために、AIを活用したオンライン辞書、自動翻訳機などのICTの活用方法を適宜教授する。
教科書・参考書	(教科書) 特になし * NHKニュースを含む各社新聞、ネットニュース、その他、授業中に指示
履修条件	
履修上の注意	授業に参加するにあたり、予習復習を必ずしておくこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	就職活動においても、時事問題に関心を持ち、理解を深めることは大切である。できるだけ毎日、新聞やネットニュースを読み、テレビ・ラジオのニュースを視聴することを心がけること。

講義科目名称: キャリアガイダンス	授業コード:
英文科目名称: Career Guidance	ナンバリング: CD101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1・2Q	1	2	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
中野 明人				

授業概要	・この授業はキャリアデザイン力を身につけることを目的としている。2年間の学修成果を活用したキャリアデザインに取り組むことができることを到達目標とする。 ・本講義では、①自己理解をし、自分について説明することができる、②社会理解を行い、2年後の進路選択をする上でどのような力が必要かを知る、③その後体験するギャップイヤーに備え、長期学外学修で何を学ぶのかについて整理することができることも目標とする。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・自己理解を通して、自分自身について説明できる。	・授業への参加・態度 ・課題提出 ・プレゼンテーション	20%
確かな専門的知識や技能			
コミュニケーション能力			
課題解決能力	・自分の進路選択における課題を明確にし、その課題を解決できる。	・授業への参加・態度 ・課題提出 ・プレゼンテーション	30%
キャリアデザイン力	・職業理解を通して、自分の生き方やパーソナリティと適職について説明できる。	・授業への参加・態度 ・課題提出 ・プレゼンテーション	50%
合計			100%

補足事項
・授業に関する質問は直接のほかClassroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で答える。 ・レポートは Googleドキュメントを使用する。Googleドキュメントのファイルは教員(助手を含め)と共有するため、必要があればweb上でコメントする。 ・本授業では1Q修了時の課題の中間評価(40%)、2Q修了時の課題の最終提出への評価(40%)、最終回授業でのプレゼンテーション(10%)、授業への参加・態度(10%)の割合で評価する。 ・課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「ガイダンス この授業がめざすもの」 ・この授業が、キャリアをデザインする上でどのような役割を果たすのかについて理解する。 ・就活事情の今について、新聞の切り抜きを見	面接授業	予習: シラバスを読み、キャリアについて調べる(2時間)。 復習: 今の就職戦線について自分なりの理解の内容をまとめる(2時

	て、考える。		間)。
2回目	「客観的な自分のイメージ」 ・自己認識をする。 ・理想の自己イメージについて考える。 ・自分のパーソナリティ分析をする(ペアワーク)。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:ありたい自分を再度確認しまとめる(2時間)。
3回目	「自分の行動特徴(エゴグラム)」 ・エゴグラムテストで自分の行動特徴を知る。 ・自分のセルフコントロールしたい自我について考える。 ・ジョハリウィンドウについて学ぶ。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:自我についてまとめる(2時間)。
4回目	「自分のパーソナリティと適職の関係について」 ・いろんな職業について説明する ・興味のある職業調べを行う。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:自分の知らなかった職業についてまとめる(2時間)。
5回目	「自分のパーソナリティと適職の関係について」 ・自分にとって大切なものは何かについて考える。 ・自分と職業の関係についてまとめる。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:自分の価値観についてまとめる(2時間)。
6回目	「キャリア選択のバリアーの正体」 ・自分の考え方のクセに気づく。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:自分の一番のこだわりについて確認する(2時間)。
7回目	「キャリア選択のバリアーの克服法」 ・自分の思い込みについて考え、その思い込みについて修正を試みる。 ・自分がどうしたいかについて考えをまとめる。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:思い込みの克服法についてまとめる(2時間)。
8回目	「今までのライフスタイル」 ・今までの自分を振り返り、ライフラインを書いてみる。 ・影響のあった出来事や人物について書き出し、どんな影響を受けたのかについてまとめる。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:一番大切だと思ったエピソードについてまとめる(2時間)。
9回目	「ライフスタイルと職業生活」 ・職業志向条件と勤務条件から職業について調べる ・自分なりに必要な勤務条件について考える。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:勤務条件と職業生活について自分の考えをまとめる(2時間)。
10回目	「キャリアレインボーを作る」 ・キャリアレインボーを描いてみる。 ・キャリア計画と目標について、各年代ごとにまとめ、行動目標を作る	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:一番自分が生き生きしている年代をイメージし言葉にする(2時間)。
11回目	「仕事選択職業レディネス度 職業レディネスチェック 資格取得の意志決定」 ・職業レディネスチェックをする。 ・自分が選択した職業と資格について調べてまとめる。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:具体的な目標の実現のためにまず何に取り組むか決定する(2時間)。
12回目	「就職の意志決定」 ・企業情報を自分で調べてシートにまとめる。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間) 復習:授業で調べられなかった企業についてまとめる(2時間)。

13回目	「自分情報」 ・自分情報シートについてまとめる。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:シートを完成させる(2時間)。
14回目	「5年後と10年後の自分」 ・5年後と10年後の、「ありたい姿」の私について考えをまとめる。 ・就職活動のアクションプランを自分で計画する。	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:就活のポイントについてまとめておく(2時間)。
15回目	「未来の自分をプレゼンする」 ・5年後と10年後の自分について発表し、聞きあい、評価する。 ・就職活動だけでなく、卒業後の自分自身の生き方を主体的に考え、デザインすることができるようになる	面接授業	予習:この1週間の就職に関連する記事を調べる(2時間)。 復習:ギャップイヤーでどんな体験をしたいかについてまとめる(2時間)。
16回目	課題最終提出		授業外学修 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	日頃からニュースなど時事問題に関心を持つことが大切です。必ずニュースに目を通して授業に臨んでください。
オフィスアワー	・木曜日の放課後をオフィスアワーとして設定しています。事前に予約を取って研究室を訪問してくださいと助かります。 ・また、水曜日以外の昼休みもオフィスアワーとして利用できますので、ぜひ質問にきてください。
備考・メッセージ	就職活動で内定をえるのはゴールではなく、スタートラインに立つということです。よりよい人生を主体的に生きるためには、キャリアデザインがとても大切になります。計画を立てると修正もできます。早い段階でキャリアについて考えることが大事になります。

講義科目名称:ビジネス文書	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
梶谷 良子				

授業概要	サービス接遇を学ぶことで人に対する思いやり、心配り、気遣いを形として表す方法を身につける。サービススタッフとして必要な専門的知識を養う。サービス接遇検定の合格を目指す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	サービススタッフとして必要とされる資質を構築する	筆記試験	70%
専門的知識や技能	サービススタッフが持つ専門的知識や技能を理解できる		
異文化知識・対応能力	社会常識をもって公の場にふさわしい態度（言葉遣いや話し方）を身につけることができる		
課題解決能力	サービス接遇検定試験2級の合格を目指す	検定試験合格	20%
キャリアデザイン力	サービス接遇検定試験2級を取得し、さらに上級を目指す	授業への参加・態度	10%
合計			100%
補足事項			
課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義のすすめ方・サービス接遇検定について説明する	対面授業 オンライン可	
2回目	「おもてなしの心とは」 「サービス」と「接遇」について理解する	対面授業 オンライン可	予習:「サービス」と「接遇」について考えておく(2時間) 復習:講義内容の確認(2時間)
3回目	「サービススタッフの資質」 必要とされる要件を説明する	対面授業 オンライン可	予習:前回の講義の確認(2時間) 復習:配布プリント問題を解く(2時間)
4回目	「サービススタッフの資質」 従業要件を理解する	対面授業 オンライン可	予習:サービススタッフについて考えておく(2時間) 復習:配布プリント問題を解く(2時間)
5回目	「専門知識」 サービス知識の説明	対面授業 オンライン可	予習:前回の講義の確認(2時間)復習:配布プリント問題を解く(2時間)
6回目	「専門知識」 商業用語・経済用語を理解する	対面授業 オンライン可	予習:配布プリントの確認(2時間) 復習:講義内容の確認(2時間)

7回目	「一般知識」 社会常識を理解する	対面授業 オンライン可	予習:社会常識について考えておく(2時間) 復習:配布プリント問題を解く(2時間)
8回目	「対人技能」 人間関係・対人心理を説明する	対面授業 オンライン可	予習:配布プリント問題を解く(2時間) 復習:講義内容の確認(2時間)
9回目	「対人技能」 接遇知識を説明する	対面授業 オンライン可	予習:配布プリント問題を解く(2時間) 復習:講義内容の確認(2時間)
10回目	「対人技能」 接遇用語を理解する	対面授業 オンライン可	予習:接遇用語を確認しておく(2時間) 復習:配布プリント問題を解く(2時間)
11回目	「実務技能」 問題処理(苦情や問い合わせ)について説明する	対面授業 オンライン可	予習:苦情について考えておく(2時間) 復習:配布プリント問題を解く(2時間)
12回目	「実務技能」 環境整備について説明する	対面授業 オンライン可	予習:配布プリント問題を解く(2時間) 復習:講義内容の確認(2時間)
13回目	「実務技能」 社交儀礼について説明する	対面授業 オンライン可	予習:マナーテキストブックを読み返す(2時間) 復習:配布プリント問題を解く(2時間)
14回目	「総まとめ(講義の振り返り)」総合問題を解く(解答・解説)	対面授業 オンライン可	予習:総合問題プリントを解く(2時間) 復習:総合問題プリントを解く(2時間)
15回目	「最終対策問題」 総合問題を解く(解答・解説)	対面授業 オンライン可	予習:総合問題プリントを解く(2時間) 復習:総合問題の再確認(6時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	サービス接遇検定2級に必要な事項・問題のプリントを配布する
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスに相応した身だしなみ(制服又はスーツ)、髪型を整えて出席すること
オフィスアワー	授業の前後又は Classroom で対応する
備考・メッセージ	自身の資格取得のため2級だけではなく準1級、1級と上を目指してほしい

講義科目名称:ビジネス文書 N1.2	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
西尾 春奈			④	

授業概要	ビジネス場面における習慣や考え方について理解を深め、日本語力の向上を目指す。 ビジネス場面で必要とされる文書形式を学ぶ。 ①履歴書・送付状の書式と表現を知ることができる。 ②基本的なビジネスメールが書けるようになる。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方、習慣を身に付けることができる。	定期試験	60%
異文化知識・対応能力	日本に関する基本的な知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。		
課題解決能力	場面や状況・立場に応じた多様な日本語表現が理解できる。	ミニテスト	10%
主体的に学ぶ力	履歴書等、就職活動の際に必要な書類を日本語で作成できる。メールや報告書等、仕事をする際に必要な書類を日本語で作成できる。	文書作成	20%
合計			100%

補足事項

- 授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。
- 授業への参加態度10%、定期試験60%、ミニテスト10%、文書作成20%、の割合で評価する。
- 課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。
- 課題／レポートは提出期限を守ること。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業	予習: 次回(43ページ.44～47ページ)の言葉調べと内容確認(2時間)
2回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 1 履歴書のポイント	対面授業	予習: 次回(48ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 2 エントリーシートのポイント	対面授業	予習: 次回(49ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)

4回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 3 送付状の書き方	対面授業	予習: 次回(51ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
5回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 4 封筒の書き方	対面授業	予習: 次回(52ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
6回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題(履歴書・送付状作成)	対面授業	予習: 次回(43～52ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
7回目	p43～52 まとめ	対面授業	予習: 次回(168ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
8回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 1 ビジネスメールの基本	対面授業	予習: 次回(169ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
9回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 2 ビジネスメールでよく使う表現	対面授業	予習: 次回(170.171ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
10回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 3 ビジネスメールの例	対面授業	予習: 次回(172ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
11回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 4 課題1(署名欄の設定など)	対面授業	予習: 次回(173ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
12回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 5 課題2(志望先企業にメールを書く)	対面授業	予習: 次回(173ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
13回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 6 課題3(自分の上司にメールを書く)	対面授業	予習: 次回(167～173ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
14回目	p167～173 まとめ①	対面授業	予習: 次回(167～173ページ)の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
15回目	p167～173 まとめ②	対面授業	予習: 定期試験の準備(4時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Googleclassroom) ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。

	○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。 ○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:ビジネス文書 N3	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里			②問題解決学習 ②体験学習	

授業概要	ビジネス場面における習慣や考え方について理解を深め、日本語力の向上を目指す。 ビジネス場面で必要とされる文書形式を学ぶ。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方、習慣を身に付けることができる。	授業への参加・態度	10%
異文化知識・対応能力	日本に関する基本的な知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。	授業への参加・態度	10%
課題解決能力	場面や状況・立場に応じた多様な日本語表現が理解できる。	授業への参加・態度	10%
キャリアデザイン力	自身の進路希望を踏まえ、履歴書等、就職活動の際に必要な書類を日本語で作成できる。 メールや報告書等、仕事をする際に必要な書類を日本語で作成できる。	課題	60%
合計			100%

補足事項	
・本授業では、授業への参加・態度40%、課題提出60%を評価対象とする。 ・課題の提出・フィードバックは、は授業内に直接、またはClassroomで行う。また、授業内容によりプレゼンテーションの実施やプリントを使用する場合もある。 ・授業を欠席等の場合は、必ず授業開始前に担当教員に連絡すること。 ・やむを得ない場合を除き、30分以上の退出や授業終了30分以上前の早退は欠席と同等と見做す。 ・授業は対面で行う。オンラインでの実施が必要な場合は、授業内もしくはClassroomで指示する。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 1 ビジネスメールの基本	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
2回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 2 ビジネスメールでよく使う表現 3 ビジネスメールの例	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 4 課題1(署名欄の設定など)	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認(2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)

4回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 1 履歴書のポイント	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
5回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 2 エントリーシートのポイントⅡ	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
6回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 3 送付状の書き方	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
7回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 4 封筒の書き方	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
8回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題(履歴書・送付状作成)	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
9回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題(履歴書・送付状作成)	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
10回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題(履歴書・送付状作成)	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
11回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題(履歴書・送付状作成)	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
12回目	p43～52 まとめ	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
13回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 3 ビジネスメールの例 復習① 5 課題2(志望先企業にメールを書く)	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
14回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 3 ビジネスメールの例 復習① 6 課題3(自分の上司にメールを書く)	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
15回目	p167～173 まとめ	対面授業	復習: 既習内容の確認(4時間)
16回目			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	目的意識を持って授業に参加できること。
履修上の注意	・毎回、教科書を持ってくること。 ・Google Classroomを使用できるデバイス(PCやスマートフォン等)を持ってくるのが望ましい。 ・予習・復習ができていることを前提に授業を進めるので、事前にしっかり準備しておくこと。
オフィスアワー	授業前後に対応。相談の上改めて時間を設ける場合もある。その他の時間に開設する場合は、別途連絡する。

備考・メッセージ	みなさんの積極的な参加を望みます。

講義科目名称:ビジネス文書 N	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q4Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
山本 美咲				

授業概要	ビジネス場面における習慣や考え方について理解を深め、日本語力の向上を目指す。 ビジネス場面で必要とされる文書形式を学ぶ。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	目の前のことに向き合い、能力向上に意欲的になることができる。	授業への参加・態度	10%
専門的知識や技能	社会人として身につけておくべき基本的な知識や考え方、習慣を身に付けることができる。	定期試験	60%
異文化知識・対応能力	日本に関する基本的な知識や、異文化の壁を乗り越えるための柔軟な思考方法を学習できる。		
課題解決能力	場面や状況・立場に応じた多様な日本語表現が理解できる。	ミニテスト	10%
キャリアデザイン力	履歴書等、就職活動の際に必要な書類を日本語で作成できる。メールや報告書等、仕事をする際に必要な書類を日本語で作成できる。	文書作成	20%
合計			100%
補足事項			
○授業開始から15分までの入室は遅刻。15分以降は欠席とする。 ○授業への参加態度10%、定期試験60%、ミニテスト10%、文書作成20%、の割合で評価する。 ○授業の出席・連絡はGoogle classroomを使用する。 ○課題提出はGoogle classroomを使用する。また、授業内容により、プリントを配布し、回収、フィードバックする。 ○課題発表やプレゼンテーションもある。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 今後の授業の説明 評価方法の説明 インタビュー	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間)
2回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 1 履歴書のポイント	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
3回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 2 エントリーシートのポイント	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習: 既習内容の確認(2時間)
4回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状	対面授業	予習: 次回の言葉調べと内容確認

	3 送付状の書き方	オンライン可	(2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
5回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 4 封筒の書き方	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
6回目	Ⅱ 就活能力 7 履歴書・送付状 5 課題(履歴書・送付状作成)	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
7回目	p43～52 まとめ	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
8回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 1 ビジネスメールの基本	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
9回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 2 ビジネスメールでよく使う表現	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
10回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 3 ビジネスメールの例	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
11回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 4 課題1(署名欄の設定など)	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
12回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 5 課題2(志望先企業にメールを書く)	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
13回目	V 仕事の日本語力 8 ビジネスメール 6 課題3(自分の上司にメールを書く)	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
14回目	p167～173 まとめ①	対面授業 オンライン可	予習: 次回の言葉調べと内容確認 (2時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
15回目	p167～173 まとめ②	対面授業 オンライン可	予習: 定期試験の準備(4時間) 復習:既習内容の確認(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力
履修条件	意欲的に授業に参加できること
履修上の注意	指定教科書を必ず持参すること
オフィスアワー	授業の前後で対応
備考・メッセージ	○携帯電話は使用禁止とする。 ただし、出席・ミニテスト(必要時)・課題提出のみ使用可(Google classroom)。 ○欠席の場合は必ずGoogle classroomで連絡すること。 ○授業内容などは受講学生の状況に応じて変更することもある。

	○授業のルールを守ること。(詳細は最初の授業で説明する)

講義科目名称:実践ビジネスマナー	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q2Q	1年	1単位	選択	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
梶谷 良子			①、②、③	

授業概要	心地よい人間関係を築いていくためのマナーを身につける。社会人として必要なビジネスマナー・日常マナーを学ぶことで相手を尊重し、敬意をもって人と接するための『気配り』『気働き』『心くばり』の自覚を促す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	・良識を持ち、相手に対する思いやりの心(気持ち)を素直に表現することができる。	筆記試験	70%
確かな専門的知識や技能	・社交儀礼の業務について理解し活用できる ・接遇用語を理解し活用できる		
異文化知識・対応能力	・さまざまな価値観の人たちと共に生きていく(仕事をする)上で必要とされるコミュニケーション力を身につけることができる ・人間関係の対処		
課題解決能力	・顧客心理を理解し、能力を発揮できる	実技試験	20%
キャリアデザイン力	・ビジネスマナーを身につけることで、社会人として相手から信頼され、仕事を円滑に進められることを理解し、積極的な学習ができる	授業への参加	10%
合計			100%
補足事項			
・授業に関する質問は直接受け付け、またweb 上あるいは以降の授業回で答える。 ・本授業では筆記試験 70%、実技試験 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構えについて説明する	対面授業	予習:マナーテキストブック全体に目を通す(1時間) 復習:次回の学習ページ(P17)を確認する(1時間)
2回目	「人間関係は挨拶から」 挨拶の持つ意味、心地よい人間関係をつくる方法を理解する	対面授業	予習:人間関係について考える(1時間) 復習:マナーテキストブック(P17)を読み直す(1時間)
3回目	「美しい立ち居振る舞い」 笑顔の演出、好感の持てる挨拶のしかたを説明し、実演する	対面授業	予習:笑顔の必要性について考える(1時間) 復習:講義内容を確認する(1時間)

4回目	「身だしなみについて」 身だしなみで誠実度が見抜かれることを説明する	対面授業	予習:自分自身の身だしなみについて考えてみる(1時間) 復習:講義内容を確認する(1時間)
5回目	「来客応対」 来客の先導・ドアの開閉・席次について説明する	対面授業	予習:マナーテキストブック(P24.25.27)に目を通す(1時間) 復習:講義内容を確認する(1時間)
6回目	「和室でのマナー」 訪問とおもてなしのマナー・座布団のマナー・和室の席次について説明する	対面授業	予習:マナーテキストブック(P1～P4)を読む(1時間) 復習:講義内容を確認する(1時間)
7回目	「招待状の返事の手書き方」 招待状の出席・欠席の返事の手書き方のマナーを説明する	対面授業	予習:マナーテキストブック(P3.P4)を読む(1時間) 復習:返信ハガキの手書き方を練習する(1時間)
8回目	「冠婚葬祭のマナー」 慶弔の服装・祝儀・不祝儀袋の手書き方を説明する	対面授業	予習:マナーテキストブック(P5.6.9.10.11)を読む(1時間) 復習:祝儀・不祝儀袋の手書き方を練習する(1時間)
9回目	「社交マナー」 贈り物のマナー、お見舞いのマナー、賀寿祝いについて説明する	対面授業	予習:マナーテキストブック(P12.13.16)を読む(1時間) 復習:講義内容を確認する(1時間)
10回目	「言葉遣い」 正しい敬語の遣い方を説明する	対面授業	予習:配布プリントを読む(1時間) 復習:練習問題を解く。配布プリントを読み返す(1時間)
11回目	「言葉遣い」 ビジネスでの言葉遣い・接客用語の説明をする	対面授業	予習:マナーテキストブック(P28)を読む(1時間) 復習:配布プリントを読み返す(1時間)
12回目	「電話応対」 ビジネスでの電話応対の重要性について説明する	対面授業	予習:マナーテキストブック(P30～P33)を読む(1時間) 復習:講義内容の確認(1時間)
13回目	「電話応対」 (Ⅰ)基礎編 ロールプレイング	対面授業	予習:マナーテキストブック(P34)を読む(1時間) 復習:基礎編を練習する(1時間)
14回目	「電話応対」 (Ⅱ)応用編 ロールプレイング	対面授業	予習:マナーテキストブック(P35)を読む(1時間) 復習:応用編を練習する(1時間)
15回目	講義の振り返り(総まとめ)これまでの講義内容を振り返る 丁寧な挨拶の実技テスト	対面授業	予習:マナーテキストブック全体を読み返す(1時間) 復習:いつでも笑顔で丁寧な挨拶が出来るように練習する(1時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間 30時間

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分	

たは事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『センスアップマナーテキスト』ソシアル淳心
履修条件	
履修上の注意	原則としてビジネスマナーに相応した身だしなみ(制服又はスーツ)・髪型をきちんと整えて講義に出席すること(スニーカー・スリッパ不可)
オフィスアワー	授業の前後又はClassroom に対応する
備考・メッセージ	日々の生活の中で相手を思いやる心を大切にしてほしい

講義科目名称:ホテル業論	授業コード:
英文科目名称:Practical Business Skill for Hotel	ナンバリング:CD201

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
本田 奈美子				

授業概要	実際にホテルで働く講師からホテル業界のリアルを学び、就職活動を行うにあたっての企業研究・業界研究の場とし、資格取得やインターンシップに繋がる時間とすることを目的とした授業です。ホテル業界で働く上で必要な専門知識、社会人としてのマナーや役立つ知識などホテルに関わる「接客分野」、レストラン・宴会・婚礼・調理の「料飲分野」、フロント・客室の「宿泊分野」、その他関連法規などの「ホテル関連分野」、ホテルのバック部門(業務・施設・企画)について学修します。また、ビジネス能力認定サーティファイ「ホテル実務技能認定試験 初級」合格を目指し過去問題を通して理解を深めていきます。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	ホテルの全ての分野について問題集(教科書)の内容を理解して試験合格を目指すことができる。	定期試験	60点
異文化知識・対応能力	ホテルの概要を知ること、利用しやすくなると共に今後のインターンシップにも役立てることができる。	授業への参加・態度	10点
課題解決能力	毎回、問題集(教科書)を用いて予習・復習内容を確認して理解度を高めることができる。	口述試験	10点
キャリアデザイン力	実際にホテル見学を通して、よりホテルの構造を理解できる。	感想レポートの提出	20点
合計			100%
補足事項			
・履修の際は、サーティファイの「ホテル実務技能認定試験 初級 問題集」を購入しておくこと。 ・毎回、教科書から項目を指定しますので、予習にて解答して下さい。当日授業にて答え合わせをします。また、間違えた問題については、復習にて理解して次回授業にて解説していきます。 ・遅刻3回および早退は開始から45分以前で、いずれも欠席1回と見做します。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 授業の進め方、心構え、授業中の注意点について説明する。 「2025年度新卒就職活動について」 一般的な就職活動及びホテル業界の就職活動スケジュールを確認する。	面接授業	予習:シラバスを読む。(2時間) 復習:今後の就職活動の方向性を考える。(2時間)
2回目	「接客分野」①ホテルスタッフの心得について	面接授業	予習:指定した問題集(教科書)

	②ホテルの種類と組織について ③ホテルのルーツ及び歴史について 「ホテル実務技能認定試験について」 試験内容及びスケジュールの確認		を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
3回目	「料飲分野」①料飲部門の主な業務と組織について②什器・食器・備品類の取扱いについて	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
4回目	「料飲分野」①西洋料理の基礎知識について ②西洋料理のテーブルマナーについて ※ホテル実務技能認定試験解説	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
5回目	「料飲分野」①朝食の知識について②日本料理・中国料理の基礎知識について	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
6回目	「料飲分野」①宴会部門の組織と業務について②バー・ラウンジ部門の組織と業務について③婚礼部門の組織と業務について ※ホテル実務技能認定試験解説	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
7回目	「ホテル見学」 レストランおよび料飲関連施設を見学	面接授業	予習: ホテル日航ハウステンボスのホームページを閲覧する。(1時間) 復習: 感想レポートを提出する。(2時間)
8回目	「ホテル見学」 客室などの宿泊施設および関連施設を見学	面接授業	予習: ホテル日航ハウステンボスのホームページを閲覧する。(1時間) 復習: 感想レポートを提出する。(2時間)
9回目	「宿泊分野」①フロントオフィスの組織と業務について②フロントサービスの組織と業務について	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
10回目	「宿泊分野」①客室部門の組織と業務について②コンシェルジュについて ※ホテル実務技能認定試験解説	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
11回目	「管理部門」①業務・施設・企画などのホテルバック部門について理解する。	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
12回目	「その他ホテル関連分野」①食品・公衆・安全衛生に関する知識について②プロトコルに関する知識について ※ホテル実務技能認定試験解説	面接授業	予習: 指定した問題集(教科書) を読む。(2時間) 復習: 指定した問題集(教科書) を復習する。(2時間)
13回目	「ワークショップ(ホテル調査)」 事前に調べたホテルについて発表資料を作成する	面接授業	予習: 調査するホテルを決めて 指定の項目について調べる(3時間) 復習: なし
14回目	「ワークショップ(ホテル調査)」 事前に調べたホテルについて各自発表する	面接授業	予習: 同上 復習: 各自が調べたホテルについて改めて資料を見直す(3時間)

15回目	授業のふり返し	面接授業	復習:定期試験に向けた学修(8時間)
16回目	定期試験(四択問題テスト)		授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	教科書「ホテル実務技能認定試験 初級 問題集」(編著:サーティファイホテル実務能力認定委員会・発行(株)サーティファイ 1,700円(税別)) 参考書「ウイネット発行」料飲Ⅰ レストラン・宴会編」・「料飲Ⅱ バー・ラウンジ編」・「宿泊Ⅰ フロント・オフィス編」・「宿泊Ⅱ フロント・サービス編」・「ホテル業務関連知識」
履修条件	なし
履修上の注意	授業中に各自必要に応じてウェブサイトで調べものをして構わないので、必要であればPCやタブレットを持参すること。
オフィスアワー	授業終了後に声をかけてください。
備考・メッセージ	複数のホテルで実務経験を有する教員が授業を担当します。

講義科目名称:ホスピタリティビジネス	授業コード:
実務家教員	ナンバリング:CD701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q・8Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
梶谷 良子				

授業概要	1年生時に学んだビジネスマナーの内容を『わかる』から確実に『できる』ようにする。授業内容を復習、再確認することでそれをしっかりと身につけ各自の就職へと結びつける。また卒業後、社会人として働くための心構え、自覚を促す。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	・就職面接時に自分の気持ちを素直に表現できる	筆記試験 実技試験	70% 20%
専門的知識や技能	・就職面接時に向けて好感のもてる立ち居振る舞いを身につけることができる ・感じの良い電話応対を身につけることができる		
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	・各自希望の就職先への内定をいただくことができる	授業への参加 態度	10%
キャリアデザイン力	・社会人として働くために必要なビジネスマナー、コミュニケーション能力を身につけることができる ・ロールプレイングを繰り返すことで、自信をもって就職面接に臨むことができる		
合計			100%
補足事項			
授業に関する質問は直接受け付け、また web 上あるいは以降の授業回で答える。 本授業では筆記 70%、実技試験 20%、授業への参加・態度 10%の割合で評価する。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義のすすめ方、心構えについて説明する	対面授業	復習:1年時に使用したマナーテキストブックを読み返す(2時間)
2回目	「言葉遣い」 正しい敬語の遣い方(復習編)	対面授業	予習:マナーテキストブックを読み返す(2時間) 復習:正しい敬語の遣い方を確認する(2時間)
3回目	「面接指導」 ・就職面接での好感の持てる立ち居振る舞い ・就職面接に向けての身だしなみ	対面授業	予習:マナーテキストブック(P18.P19.P20.P21)を読んでおく(2時間) 復習:立ち居振る舞いの練習をする(2時間)

4回目	「面接指導」 ・ロールプレイング(Ⅰ)	対面授業	予習:言葉遣い・立ち居振る舞いの練習をする(2時間) 復習:指摘された点を再確認する(2時間)
5回目	「面接指導」 ・ロールプレイング(Ⅱ)	対面授業	予習:質疑応答の練習をする(1時間) 復習:指摘された点を再確認する(2時間)
6回目	「電話対応」 ・復習編	対面授業	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:講義内容を確認する(2時間)
7回目	「電話対応」 ・応用編(Ⅰ)	対面授業	予習:実習内容を確認しておく(2時間) 復習:応用編(Ⅰ)の練習(2時間)
8回目	「電話対応」 ・応用編(Ⅱ)	対面授業	予習:実習内容を確認しておく(2時間) 復習:応用編(Ⅱ)の練習(2時間)
9回目	「冠婚葬祭のマナー」 ・復習編	対面授業	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:講義内容を確認する(2時間)
10回目	「冠婚葬祭のマナー」 ・お参りの仕方(仏教・神道・キリスト教)	対面授業	予習:配布プリントを読んでおく(2時間) 復習:講義内容を確認とお参りの練習(2時間)
11回目	「来客対応」 ・復習編	対面授業	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:配布されたプリントを確認する(2時間)
12回目	「来客対応」 ・ロールプレイング(来客の先導)	対面授業	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:配布されたプリントを確認する(2時間)
13回目	「名刺交換」 ・ロールプレイング	対面授業	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:名刺交換の練習をする(2時間)
14回目	「お茶の淹れ方・出し方・いただき方」 ロールプレイング(お茶の淹れ方・出し方・いただき方)	対面授業	予習:マナーテキストブックを読み直す(30分) 復習:自分でお茶を淹れ、いただいている(2時間30分)
15回目	テーブルマナー ・洋食フルコースのマナー(ホテルにて実食)	対面授業	予習:マナーテキストブックを読み直す(2時間) 復習:テーブルマナーの確認と試験対策(6時間)
16回目	定期試験		授業外学修時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『センスアップマナーテキスト』ソシアル淳心
履修条件	・原則として制服又はスーツ ビジネスの場にふさわしい身だしなみを整える(髪型・くつ)
履修上の注意	
オフィスアワー	・授業の前後又は Classroom で対応する
備考・メッセージ	長崎短期大学の卒業生として、自信をもって社会人として出発できるようになってほしい。

講義科目名称:(日)実践グローバルリーダーシップ I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD402

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
福原 功太郎 牟田 美信			④⑦	

授業概要	この授業では、生活する地域が異なる学生や地域市民と相互に交流することを通じて、自分たちの視野を広げ、豊かな人間関係を築く楽しさを実感します。また、学生が主体的に交流活動に取り組むことで、グローバルな感覚を持ったリーダーの育成を目指します。 授業では、イベントへの参加やさまざまな人たちとの交流を想定し、MC(司会進行)、写真や動画の撮影・編集、SNSでの発信方法、プレゼンテーションなどの基本的なスキルを学びます。 これまでに実施した活動例として、以下のものがあります： ● 韓国の大学訪問: 韓国の3つの大学を訪問し、現地大学生とプレゼンテーションや意見交換を行いました。また、現地の日系企業を訪れて、異文化でのビジネスの難しさや現地生活の楽しさについて学びました。 ● 国内研修: 北海道と長崎という異なる地域で生活する学生同士が、地元の観光や食文化、大学紹介、キャリアプランについてプレゼンし、互いに質問し合いながら学び合いました。 ● ミャンマー訪問: ミャンマーで日本語の模擬授業を行い、現地学生との観光やグループワークを通じて、異文化理解を深めました。 これらの活動を通じて、学生は多様な文化に触れ、グローバルな視野を広げ、実践的なスキルを身につけることができます。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	・イベントでの基本的なMCスキルを身につけることができる。 ・SNS向けの基本的な写真撮影のスキルを身につけることができる。 ・SNS向けの基本的な動画撮影のスキルを身につけることができる。 ・基本的なSNS発信方法を身につけることができる。	レポート評価	30%
異文化知識・対応能力	・地域の人達と積極的にコミュニケーションができる。	レポート評価	30%
課題解決能力	・イベント等に参加した後、実施した内容を検証し、学んだことや改善すべきことをまとめ、簡潔に発表することができる。	プレゼンテーション	40%
キャリアデザイン力			

合計	100%
補足事項	
本授業は、レポート60%、プレゼンテーション40%の割合で総合評価を行います。 授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるためにGoogle Classroomを活用します。必要に応じて、遠隔授業を行うことがあります。 本授業では、遅刻3回を欠席1回とカウントします。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・活動の概要(内容、趣旨、目的など)説明 ・活動の成果報告方法説明 ・活動評価方法の説明 ・過去の研修の紹介	対面授業	予習:グローバルリーダーシップとは何かを調べてくる。(2時間) 復習:どのような活動に取り組むかを考える。(2時間)
2回目	「イベントMC」基礎	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
3回目	「イベントMC」演習	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
4回目	SNS向け「写真撮影」基礎	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
5回目	SNS向け「写真撮影」演習	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
6回目	SNS向け「動画撮影」基礎	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
7回目	SNS向け「動画撮影」演習1	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
8回目	SNS向け「動画撮影」演習2	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
9回目	SNS向け「動画撮影」演習3	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
10回目	SNS向け「動画撮影」演習4	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)

11回目	SNS向け「動画撮影」演習5	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
12回目	「SNS発信方法」基礎	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
13回目	「SNS発信」演習1	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
14回目	「SNS発信」演習1	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:自分のプレゼンと他の人のプレゼンを振り返り、今回の活動で学んだ内容を確認する。(2時間)
16回目			授業外学修(60時間以上) * 研修日数により異なる

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	特になし
履修上の注意	他大学の同世代の学生や地域の人達と交流を行うため、自分の意見をしっかりと述べられるように準備すること。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	事前の十分な準備、事後の報告書の作成など、しっかりと取り組むこと。

講義科目名称:(日)実践グローバルリーダーシップⅡ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD403

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
福原 功太郎 牟田 美信			④⑦	

授業概要	この授業では、生活する地域が異なる学生や地域市民と相互に交流し、視野を広げ、豊かな人間関係を築く楽しさを実感します。学生が主体的に交流活動に取り組むことで、グローバルな感覚を持ったリーダーを育成することを目指します。 また、「実践グローバルリーダーシップⅠ」で学んだスキルを活用し、実際のイベントに参加して、MCパフォーマンス、イベント支援、写真や動画の撮影・編集、SNSでの発信を行います。さらに、音響機器の扱いについても学び、実践的なスキルを身につけます。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	・イベントでの基本的なMCスキルを身につけることができる。 ・SNS向けの基本的な写真撮影のスキルを身につけることができる。 ・SNS向けの基本的な動画撮影のスキルを身につけることができる。 ・基本的なSNS発信方法を身につけることができる。	レポート評価	30%
異文化知識・対応能力	・地域の人達と積極的にコミュニケーションができる。	レポート評価	30%
課題解決能力	・イベント等に参加した後、実施した内容を検証し、学んだことや改善すべきことをまとめ、簡潔に発表することができる。	プレゼンテーション	40%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、総合評価をレポート60%、プレゼンテーション40%の割合で行います。学習効果を高めるために、Google Classroomを活用し、連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックを行います。必要に応じて、遠隔授業を実施することもあります。また、遅刻3回を欠席1回としてカウントします。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本

	・活動の概要(内容、趣旨、目的など)説明 ・活動の成果報告方法説明 ・活動評価方法の説明 ・過去の活動の紹介		的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
2回目	「学園祭」関連での活動準備	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
3回目	「学園祭」関連での活動準備	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
4回目	「学園祭」関連での活動準備	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
5回目	「学園祭」での実践活動	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
6回目	「佐世保おくんち」関連での活動準備	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
7回目	「佐世保おくんち」関連での活動準備	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
8回目	「佐世保おくんち」での実践活動	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
9回目	「学園祭」「佐世保おくんち」のSNS作成と発信活動	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
10回目	「学園祭」「佐世保おくんち」のSNS作成と発信活動	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
11回目	「学園祭」「佐世保おくんち」のSNS作成と発信活動	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
12回目	「学園祭」「佐世保おくんち」のSNS作成と発信活動	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
13回目	最終プレゼンテーション準備	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
14回目	最終プレゼンテーション準備	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間)

			復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:自分のプレゼンと他の人のプレゼンを振り返り、今回の活動で学んだ内容を確認する。(2時間)
16回目			授業外学修(60時間以上) * 研修日数により異なる

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	特になし
履修上の注意	他大学の同世代の学生や地域の人達と交流を行うため、自分の意見をしっかりと述べられるように準備すること。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	事前の十分な準備、事後の報告書の作成など、しっかりと取り組むこと。

講義科目名称:(日)実践グローバルリーダーシップⅢ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:CD404

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
福原 功太郎 牟田 美信			④⑦	

授業概要	この授業では、地域が異なる学生や地域市民と相互に交流することで視野を広げ、豊かな人間関係を築く楽しさを実感します。学生が主体的に交流活動に取り組むことで、グローバルな感覚を持ったリーダーの育成を目指します。 「実践グローバルリーダーシップⅠ・Ⅱ」で学んだスキルと実践体験を活かし、国際コミュニケーションのコースのオープンキャンパスに関連する動画撮影・編集やSNSでの発信を行います。また、音響機器の扱いについても学び、実践的なスキルを身につけます。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	・イベントでの基本的なMCスキルを身につけることができる。 ・SNS向けの基本的な写真撮影のスキルを身につけることができる。 ・SNS向けの基本的な動画撮影のスキルを身につけることができる。 ・基本的なSNS発信方法を身につけることができる。	レポート評価	30%
異文化知識・対応能力	・地域の人達と積極的にコミュニケーションができる。	レポート評価	30%
課題解決能力	・イベント等に参加した後、実施した内容を検証し、学んだことや改善すべきことをまとめ、簡潔に発表することができる。	プレゼンテーション	40%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、評価をレポート60%、プレゼンテーション40%の割合で行います。授業に関する連絡や補足説明、課題の提出・回収、フィードバックなどは、学習効果を高めるためにGoogle Classroomを活用します。必要に応じて、遠隔授業を行うこともあります。また、遅刻3回を欠席1回としてカウントします。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間

1回目	オリエンテーション ・活動の概要(内容、趣旨、目的など)説明 ・活動の成果報告方法説明 ・活動評価方法の説明 ・過去の活動の紹介	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
2回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
3回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
4回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
5回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
6回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
7回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
8回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
9回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
10回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
11回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
12回目	・国際コミュニケーションPR動画撮影 ・インスタ作成	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
13回目	最終プレゼンテーション準備	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)

14回目	最終プレゼンテーション準備	対面授業	予習:これから学ぶことに関する基本的な情報を収集する。(2時間) 復習:学んだことを整理し、重要な部分を再確認する。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:活動の振り返りを行い、プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習:自分のプレゼンと他の人のプレゼンを振り返り、今回の活動で学んだ内容を確認する。(2時間)
16回目			授業外学修(60時間以上) * 研修日数により異なる

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	必要に応じてプリント等を配布する。
履修条件	特になし
履修上の注意	他大学の同世代の学生や地域の人達と交流を行うため、自分の意見をしっかりと述べられるように準備すること。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	事前の十分な準備、事後の報告書の作成など、しっかりと取り組むこと。

講義科目名称:Awesome Sasebo! I	授業コード:
英文科目名称:Awesome Sasebo! I	ナンバリング:PS501

開講期間	配当年	単位数	科目必修区分	授業形態
6Q	2年	1単位	コース必修	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信、李 載宇、松浦 百恵			④⑦	

授業概要	この授業では、国際コミュニケーションコースの学びを外部の高校生や保護者に説得力をもって説明するためのプロジェクト「オープンキャンパスの企画運営」をグループ別に実施します。プロジェクトの目的は、以下の6つの項目を通じて学びを深めることです。 1. 社会人基礎力の醸成 ①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力 2. 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 3. 調査・情報収集・まとめの力の向上 4. プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 5. 言語運用能力(翻訳等)の向上 6. 地域のニーズを把握し、解決する力の向上

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	調査・情報収集・まとめの力の向上ができる プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上ができる 言語運用能力(翻訳等)の向上ができる	コースSNSの充実度 インタビュー取材、映像作成の内容	40%
異文化知識・対応能力	世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成ができる	自発的なコミュニケーションと関わり度	30%
課題解決能力	社会人基礎力の醸成(①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)ができる 地域のニーズを把握して解決する力の向上ができる	積極性 独創性 チームとしてのまとまり	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業では、遅刻3回を欠席1回でカウントします。			

1回目	オリエンテーション:Q6プロジェクトを説明する、オープンキャンパス(OC)の内容を詳しく見る、過去のOCプレゼンを見る	対面授業	予習: 特になし 復習: 去年のOCの内容を見ておく(1時間)

2回目	OC当日のリーダー、担当者、個人プレゼンする人などを決めます。スケジュールを確認する。 Tシャツグループ・夏イベントグループ分け	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
3回目	グループワーク:プロジェクト活動 Tシャツ・イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
4回目	グループワーク:プロジェクト活動 Tシャツ・イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
5回目	グループワーク:プロジェクト活動 Tシャツ・イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
6回目	グループワーク:プロジェクト活動 Tシャツ・イベント・個人発表・PR動画 ※Tシャツデザイン提出	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
7回目	グループワーク:プロジェクト活動 イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
8回目	グループワーク:プロジェクト活動 イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
9回目	グループワーク:プロジェクト活動 イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
10回目	グループワーク:プロジェクト活動 イベント・個人発表・PR動画	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
11回目	オープンキャンパスリハーサル	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
12回目	オープンキャンパスリハーサル	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
13回目	・OCチーム話し合い ・Q6の進捗プレゼン作成	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
14回目	夏前イベント準備・実施	対面授業	予習:参考にアイデアを調べておく(0.5時間) 復習:知れ得て情報のまとめ(0.5時間)
15回目	まとめの発表 OCチーム:OC準備の振り返り	対面授業	予習:まとめの発表の準備をする(1時間)

	ビデオチーム:PR動画		
16回目	試験は実施せず、授業の成果物で評価する		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	各先生によって異なります。グループ担当の先生に確認してください。 * 空きコマ（研究室ドアに提示）も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称: 留② Awesome Sasebo I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: PS501

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	1単位	コース必修	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里、山本 美咲、松浦 百恵				

授業概要	「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした継続的な演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。 Awesome Sasebo! I では、2年生のチームが、来日間もない留学生1年生とそれぞれチームを組み、佐世保地域アクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながらチームビルディングの方法を学ぶ。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	身近な他者に対して親和的な態度で関わるができる	授業態度	5%
専門的知識や技能	相手や目的・場面に応じて自らの意志を表現・伝達することができる。また、相手の意志を理解することができる。	授業態度 課題	5% 10%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。	課題	10%
課題解決能力	相手の意見を理解し、自分の意見を的確に伝え、自分の感情をコントロールすることができる。また、柔軟に物事に取り組み、チームで協力して活動することができる	授業態度	50%
キャリアデザイン力	チームビルディングの方法を実践することができる	授業態度	20%
合計			100%

補足事項	
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題20%、授業参加態度80%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする 「チーム作り①」	対面授業	予習:『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』Ⅱ課1p15~24を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。Googleclassroomのクラスに登録する(1時間)

	1年生歓迎会(学内ゲーム)準備 チーム分け、役割分担 ・1年生サポーター・司会 ・点数カウント(集計表)・記録係 ・ジェスチャー係・フリップ係 ・問題係(正当表:配布用)		復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
2回目	「チーム作り②」 イベント計画(チームごと) 1年生のメンバーが誰かを考える 準備物の確認・準備・購入	対面授業	予習:配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。 Google classroomのクラスに登録する(1時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
3回目	「チーム作り③」 準備物の確認・準備・購入	対面授業	予習:自分を表すものは何か考えてデザインしておく。その語彙もメモにかいておく(1時間) 復習:どの部分で、チームビルディングに関して何を学んだかをレポートにまとめる(1時間)
4回目	「チーム作り④」 チームで交流会での出し物を決める	対面授業	予習:交流会での出し物のアイディアを考えておく(1時間) 復習:自分のチームでの活動を振り返る。レポート提出(1時間)
5回目	「チーム作り⑤」 役割決定、練習、およびレポート提出 (レポート:ゲーム説明、流れ、問題点、改善方法) <u>リハーサル</u>	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
6回目	「チーム作り⑥」 最終確認 <u>リハーサル</u>	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、すぐに研修が開始できるようにしておく(1時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(1時間)
7回目	「日本を知る、佐世保を知る①」 災害に備える学習 語彙を勉強する 災害に備える学習 ビデオを見る	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、すぐに振り返りが開始できるようにしておく(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
8回目	「日本を知る、佐世保を知る②」 災害に備える学習 グループで討論する 災害に備える学習 発表	対面授業	予習:『伸ばす!就活能力・ビジネス日本語力』IV課p79~85を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(1時間)
9回目	「学内外研修①～パールシー～」 1年生歓迎会(学内ゲーム)	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、すぐに振り返りが開始できるようにしておく(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)

			間)
10回目	「学内外研修②」 1年生歓迎会(学内ゲーム)	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、すぐに振り返りが開始できるようにしておく(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(1時間)
11回目	「学内外研修③」 1年生と合同で、各グループでパールシーに学外研修を行う(5月内) ミッション、活動などの動画、写真を撮影、共有しておく	対面授業	予習:『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』Ⅳ課p79~85を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(1時間)
12回目	「学内外研修④」 1年生と合同で、各グループでパールシーに学外研修を行う(5月内) ミッション、活動などの動画、写真を撮影、共有しておく	対面授業	予習:『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』Ⅳ課p79~85を読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(1時間) 復習:構成を見直し、次に各部分に必要な語彙などを覚えておく(2時間)
13回目	「情報機器のスキル①:発表準備」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する	対面授業	予習:『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』Ⅲ課p67~73を読んでおく。未習語彙は調べておくこと(1時間) 復習:ミニテストと講演の内容を再確認する(1時間)
14回目	「情報機器のスキル②:発表準備」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する	対面授業	予習:全体の体裁等を確認しておく(1時間) 復習:提出したものを見直し、発表会準備をする(1時間)
15回目	「情報機器のスキル③」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ。 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する	対面授業	予習:配布プリントを読んでおく。発表準備を入念に行うこと(2時間) 復習:提出したものを見直し、発表会準備をする(1時間)
16回目	「情報機器のスキル④:発表」	対面授業	予習:配布プリントを読んでおく。発表準備を入念に行うこと(2時間) 復習:提出したものを見直し、発表会準備をする(1時間)
			授業外学修時間 35時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する	

る事項	
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』
履修条件	積極的に活動に参加できる日本語力を身に付けていること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、2年生は1年生のチューターの役割があるため、昨年の学びを自分の中で授業前に復習しておくこと
オフィスアワー	水曜日3コマ目(13:30～14:30)研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはメールで連絡すること

講義科目名称: Awesome Sasebo! II	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! II	ナンバリング: PS601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	1単位	コース必修	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信、李 載宇、松浦 百恵			④⑦	

授業概要	「学園祭(白蝶祭)」でのプロジェクトの企画運営」を留学生と日本人が共同で、グループ別に実施する。このプロジェクトでは、以下の6項目を学びの目的とする。 1) 社会人基礎力の醸成(①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) 2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 3) 調査・情報収集・まとめの力の向上 4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 5) 言語運用能力(翻訳等)の向上 6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力 専門的知識や技能	- 調査・情報収集・まとめの力を向上することができる - プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上することができる - 言語運用能力(翻訳等)を向上することができる	- NJC学生ホームページの充実度 - インタビュー取材、映像作成の内容	40%
異文化知識・対応能力	- 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力を醸成することができる	- 自発的なコミュニケーションと関わり度	30%
課題解決能力	- 社会人基礎力(①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)を醸成することができる - 地域のニーズを把握して解決する力を向上することができる	- 積極性 - 独創性 - チームとしてのまとまり	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
遅刻3回を欠席1回でカウントする。	

1回目	オリエンテーション: Q7~8のプロジェクトを説明する。去年の動画・記事を見る。後期のグ	対面授業	予習: 去年の学外学習の動画を見る(0.5時間)

	ループ分けをする(ビデオチーム・学外活動グループ)		復習: チーム希望アンケートに記入する (0.5時間)
2回目	白蝶祭のテーマを発表する。役割・仕事を説明する。	対面授業	予習: 去年の学外学習の動画を見る (0.5時間) 復習: 学びノートのまとめ (0.5時間)
3回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
4回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
5回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
6回目	グループワーク: 白蝶祭の準備 ※学外活動グループ行き先報告書提出	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
7回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
8回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
9回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
10回目	グループワーク: 白蝶祭の準備	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
11回目	グループワーク: 学外活動計画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
12回目	グループワーク: 学外活動計画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
13回目	グループワーク: 学外活動計画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)
14回目	グループワーク: 学外活動計画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得て情報のまとめ (0.5時間)

15回目	まとめの発表 ※学外活動計画も提出 学外活動グループ:計画を発表する ビデオチーム:進捗を発表する	対面授業	予習:まとめの発表の準備をする (1時間)
16回目	試験は実施せず、授業の成果物で評価する		授業外学修時間 15時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	各先生によって異なります。グループ担当の先生に確認してください。 * 空きコマ(研究室ドアに提示)も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように心がけてください。

講義科目名称: 留② Awesome Sasebo II	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: PS601

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
6Q	2年	1単位	コース必修	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里、山本 美咲、松浦 百恵				

授業概要	「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。 Awsome Sasebo! II では、2年生のチームが主体となってコーチングスキルなどを学びながら、目的に応じてそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアプローチを学ぶ。それぞれの目的に応じたアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践能力を育成する。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	率先して、常に社会のルールや状況に適した振る舞いができ、他者にも促すことができる。	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で幅広い話題について明確で詳細な文章を読み書きでき、伝えることができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることができる。	課題	30%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。	課題	10%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる。	授業態度	50%
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる。	授業態度	5%
合計			100%

補足事項	
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・本講義における出席は合計16回とし、開始15分までは「遅刻」、16分以降は「欠席」となる。また、授業参加時間が合計で75分に満たない場合も同様に「欠席」となる。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」	対面授業	予習: Googleclassroomのクラス

	講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする		に登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	レシピについて 地域での各国料理への関心の高まり、レストランや給食等での活用例を知り、地域のために母国料理のレシピ提供に取り組むことについて見通しを持つ。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	レシピ作成① 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	レシピ作成② 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
5回目	レシピ作成③ 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに作成できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	レシピ作成④ 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	遠隔授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに作成できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	レシピ作成⑤ 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する ※この日までに写真・動画以外を仕上げる 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: これまでの準備を基に、必要な写真や動画の構成を検討する(2時間) 復習: 出来上がりが満足できるものか、何度も確認する(2時間)
8回目	レシピ作成⑥ / 写真・動画作成準備 レシピに使用する写真や動画のための食材を買いに行く計画を立てる。 動画を作成する計画を立てる。	対面授業	予習: これまでの準備を基に、必要な写真や動画の構成を検討する(2時間) 復習: 出来上がりが満足できるものか、何度も確認する(2時間)
9回目	写真・動画作成① レシピに使用する写真や動画を作成する。 (自宅での実習)	遠隔授業	予習: 必要な写真や映像資料を確認し、効率的に撮影できるよう準備しておく。(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
10回目	写真・動画作成② レシピに使用する写真や動画を作成する。 (自宅での実習) ※作成した写真・動画の素材はGoogle	遠隔授業	予習: 必要な写真や映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイ

	Classroomに保存しておくこと。		ルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
11回目	スライド(写真動画入りレシピ)作成① 写真・動画を編集する。 レシピに挿入し、スライドを完成させる。全体の構成を確認する。	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
12回目	スライド(写真動画入りレシピ)作成② 写真・動画を編集する。 レシピに挿入し、スライドを完成させる。全体の構成を確認する。 ※最終版のスライドをGoogle classroomに提出	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
13回目	プレゼンテーション準備① わかりやすく説明できるように発表の練習をする	対面授業	予習: スライドを用いて、プレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習: チームでの発表練習を踏まえ、より良い発表になるように改善する。(2時間)
14回目	プレゼンテーション準備② わかりやすく説明できるように発表の練習をする	対面授業	予習: スライドを用いて、プレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習: チームでの発表練習を踏まえ、より良い発表になるように改善する。(2時間)
15回目	プレゼンテーション準備③ チーム毎に最終リハーサルを行う。 ※伸ばす就活能力・ビジネス日本語力 p.79~p.88	対面授業	予習: スライドを用いて、プレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習: 他の方のプレゼンで良かったところを確認し、自分のプレゼンに取り入れる(2時間)
16回目	プレゼンテーション チーム毎にプレゼンテーションを行う。 ※伸ばす就活能力・ビジネス日本語力 p.79~p.88	対面授業	予習: スライドを用いて、プレゼンの方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習: 他の方のプレゼンで良かったところを確認し、自分のプレゼンに取り入れる(2時間)
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	「まるごと」中級B1 「伸ばす就活能力・ビジネス日本語力」
履修条件	Awesome Sasebo! I を成功的に履修が修了した者
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習

	が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。 また、担当教員との連携が求められるため、ハウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	水曜日3コマ目(13:30~14:30)研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはGoogle classroomへ連絡すること

講義科目名称: Awesome Sasebo! III	授業コード:
英文科目名称: Awesome Sasebo! III	ナンバリング: PS701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	1単位	コース必修	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
李 載宇、松浦 百恵、ロニー、福原 功太郎			④⑦	

授業概要	地域を元気にしている企業、団体、個人を探し、実際に現地に赴き(体験し)、インタビューを含めた調査を行い、調べた内容をまとめて、クラスでのプレゼンテーション及びコースのSNSで発信を行う。このプロジェクトでは、以下の6項目を学びの目的とする。 1) 社会人基礎力の醸成(①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力) 2) 世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力の醸成 3) 調査・情報収集・まとめの力の向上 4) プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上 5) 言語運用能力(翻訳等)の向上 6) 地域のニーズを把握して解決する力の向上

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
専門的知識や技能	調査・情報収集・まとめの力を向上することができる プレゼン作成・発信力・プレゼンテーション力を向上することができる 言語運用能力(翻訳等)を向上することができる	NJC学生ホームページの充実度 インタビュー取材、映像作成の内容	40%
異文化知識・対応能力	世代、性別、国籍を超えたコミュニケーション力を醸成することができる	自発的なコミュニケーションと関わり度	30%
課題解決能力	社会人基礎力(①前に踏み出す力、②考え抜く力、③チームで働く力)を醸成することができる 地域のニーズを把握して解決する力を向上することができる	積極性 独創性 チームとしてのまとまり	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
15分以上授業に遅れると、欠席扱いになります。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション: グループで計画を確認する、取材・ビデオ撮影などについての説明を聞く。	対面授業	予習: 去年の学外学習の動画を見る(0.5時間) 復習: チーム希望アンケートに記

			入する (0.5時間)
2回目	スケジュールを確認する。15回目に提出するべきものを確認する。	対面授業	予習: 去年の学外学習の動画を見る (0.5時間) 復習: 学びノートのまとめ (0.5時間)
3回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
4回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
5回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
6回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
7回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
8回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
9回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
10回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
11回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
12回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
13回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
14回目	グループワーク: プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習: 参考アイデアを調べておく (0.5時間) 復習: 知れ得た情報のまとめ (0.5時間)
15回目	まとめの発表	対面授業	予習: まとめ発表の準備をする

	学外活動グループ:動画・チラシ・HP記事を 発表する ビデオチーム:動画と振り返りのプレゼンを発 表する		(1時間)
11回目	グループワーク:プロジェクト活動 学外活動・動画	対面授業	予習:参考アイデアを調べて おく(0.5時間) 復習:知れ得た情報のまとめ (0.5時間)

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	なし
数理・データサイエンス・ AI教育プログラムに関す る事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用す る際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	特になし
履修条件	なし
履修上の注意	グループメンバー全員が分担して作業が行えるように計画すること。
オフィスアワー	各先生によって異なります。グループ担当の先生に確認してください。 * 空きコマ(研究室ドアに提示)も可
備考・メッセージ	普段から、学科、コースを超えて、教職員や学生とコミュニケーションをとるように 心がけてください。

講義科目名称: 留② Awesome Sasebo III	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: PS701

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7Q	2年	1単位	コース必修	演習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
依藤 実里、山本 美咲、松浦 百恵				

授業概要	「Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で課題解決能力の育成を目的とした1Qから2年生の8Qまで続く演習授業である。留学生の本演習授業では、学んだ様々な語学を活用しながらこれまで学び、体験したことを用いて、地域の様々な課題解決に挑戦し、自己を振り返る機会となるように組み立てられている。 Awsome Sasebo IIIでは、2年生のチームが主体となってコーチングスキルなどを学びながら、目的に応じてそれぞれチームを組み、佐世保地域の課題解決に関するアプローチを学ぶ。それぞれの目的に応じたアクティビティを計画・実践しながら交流し、人、文化を理解しながら具体的な解決方法解決・実践能力を育成する。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	率先して、常に社会のルールや状況に適した振る舞いができ、他者にも促すことができる。	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で幅広い話題について明確で詳細な文章を読み書きでき、伝えることができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることができる。	課題	30%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、行動に取り入れることができる。さらに共通の理解を得るために交渉を始めることができる。	課題	10%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる。	授業態度	50%
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学 の視点を持つことができる。	授業態度	5%
合計			100%
補足事項			
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・本講義における出席は合計16回とし、開始15分までは「遅刻」、16分以降は「欠席」となる。また、授業参加時間が合計で75分に満たない場合も同様に「欠席」となる。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間

1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする	対面授業	予習: Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	レシピについて 日本語のレシピについて、Cook padなどの実例を通して、日本の定食の構成を学び、自国との比較を通して進出語彙や専門用語を学ぶ	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	レシピ作成① 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	レシピ作成② 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
5回目	レシピ作成③ 学生毎に担当する料理を決め、レシピ作りのための語彙探し、食材名を調べ、レシピを作成する ※この日までに写真以外を仕上げる 教科書「まるごと」中級B1を参考に作成	対面授業	予習: これまでの準備を見直して、すぐに作成できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	レシピ作成④ / 動画作成① レシピに使用する写真や動画のための食材を買いに行く PPT発表に必要な動画を作成する計画をたてる	遠隔授業	予習: これまでの準備を見直して、すぐに作成できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	レシピ作成⑤ / 動画作成② レシピに使用する写真やPPT発表に必要な動画を作成する (自宅での実習)	遠隔授業	予習: これまでの準備を基に、必要な写真や動画の構成を検討する(2時間) 復習: 出来上がりが満足できるものか、何度も確認する(2時間)
8回目	レシピ作成⑥ / 動画作成③ レシピに使用する写真やPPT発表に必要な動画を作成する (自宅での実習)	遠隔授業	予習: これまでの準備を基に、必要な写真や動画の構成を検討する(2時間) 復習: 出来上がりが満足できるものか、何度も確認する(2時間)
9回目	レシピ作成⑦ / 動画作成④ 食物栄養コースに提出する「レシピ」及び、動画付きPPTを作成する ※レシピはこの日までに仕上げてGoogle classroomに提出すること	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
10回目	PPT作成① 食物栄養コースに提出する動画付きPPTを作成する ※PPTを作成すること	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)

11回目	PPT作成② 食物栄養コースに提出する動画付きPPTを作成する ※PPTを作成すること	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
12回目	PPT作成③ 食物栄養コースに提出する動画付きPPTを作成する ※PPTをGoogle classroomに提出	対面授業	予習: 必要な映像資料をまとめて、ファイルやドライブに保存しておく(2時間) 復習: 作成したそれぞれのファイルを見直し、改善が必要な部分があれば改善する(2時間)
13回目	レシピ振り返り① 食物栄養コースのアンケート結果を基に、日本語表現を改善する→仕上げる ※最終版レシピをGoogle classroomに提出	対面授業	予習: 食物栄養コースからのアンケート結果を読み、改善をメモしておく(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14回目	PPT振り返り① 食物栄養コースのアンケート結果を基に、日本語表現を改善する→仕上げる ※最終版PPTをGoogle classroomに提出	対面授業	予習: 食物栄養コースからのアンケート結果を読み、改善をメモしておく(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
15回目	PPT発表練習① 食物栄養コースにわかりやすく説明できるように発表の練習をする ※伸ばす就活能力・ビジネス日本語力 p.79~p.88	対面授業	予習: 作成したPPTのプレゼンする方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習: 他の方のプレゼンで良かったところを確認し、自分のプレゼンに取り入れる(2時間)
16回目	PPT発表練習② 食物栄養コースにわかりやすく説明できるように発表の練習をする ※伸ばす就活能力・ビジネス日本語力 p.79~p.88	対面授業	予習: 作成したPPTのプレゼンする方法をテキストを見て練習しておく(2時間) 復習: 他の方のプレゼンで良かったところを確認し、自分のプレゼンに取り入れ、本番に備える(2時間)
			授業外学修時間 64時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	「まるごと」中級B1 「伸ばす就活能力・ビジネス日本語力」
履修条件	Awesome Sasebo! II を成功的に履修が修了した者
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。

	また、担当教員との連携が求められるため、ホウレンソウをしっかりと実行できるように努力すること。
オフィスアワー	授業の前後に対応します。
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはGoogle classroomへ連絡すること

講義科目名称: 学外学修事前指導	授業コード:
英文科目名称: Preparation Seminar for Gap Term	ナンバリング: GY101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q3Q	1年	2単位	コース必修	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 李 松浦			④⑦	

授業概要	Quarter1: 長期学外学修の意義と目的を理解し、ギャップタームにおいて「留学」「インターンシップ」「サービスラーニング」から選択する際に、教員や先輩からの情報をしっかり聞き取り、詳細な計画を立てることができるようになる。計画作成を通じて、大学生として正しい情報収集と分析を行い、適切な判断力を養うことが目的である。
	Quarter3: Quarter 1で作成した計画に基づき、各カテゴリーに対して詳細な直前準備を行う。準備の過程では、自分の考えに固執せず、様々な視点から物事を考えたとともに、他人の意見をしっかり聞き、十分に見直しを行うことが求められる。 ①中期(3か月)留学: 渡航手続き、留学・ホームステイアプリケーション作成、異文化理解、ホームシック対応等 *希望者は、オンライン留学も可能。 ②インターンシップ: インターンシップ先の情報収集、履歴書作成、面接準備、ビジネスマナー等 ③サービスラーニング: 内容の確認、実施方法の決定、対応マナー等

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
専門的知識や技能	・ギャップタームの活動に必要な適切で十分な情報を得ることができる。 ・GoogleClassroom、GoogleMeet、Google Document、GooglePhoto、Zoomを使うことができる。	・活動計画書作成	40%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	・ギャップタームの活動の目的を正しく理解できる。 ・ギャップタームの活動の際のリスクに関しても正しく分析できる。 ・ギャップタームの活動に関する評価システム(活動後に、自らの学びの確認と改善、さらなる学びのために)を理解し、運用できる。	・授業や活動への参加・態度	20%
キャリアデザイン力	・ギャップタームの活動計画を立て、プレゼンテーションができる。	・活動計画のプレゼンテーション	40%
合計			100%
補足事項			

- ・「活動計画書作成」、「活動計画のプレゼンテーション」、「授業や活動への参加・態度」で、総合的に評価する。
- ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。
- ・プレゼンテーションに関しては、ルーブリック評価表を使用する。
<https://drive.google.com/file/d/1YOUijafajqaZ3thTOBrbU8S7lmhUncr/view?usp=sharing>
- ・ギャップターム期間は、語学学習の一環として希望者に「暗唱(音読)マラソン」も実施する。
- ・「キャリアステップ(社会人基礎力及び職業適性)テスト」は、1回目は、1Qで、第2回目は、2年次3Qの「学外学修事後指導」の授業内で実施する。
- ・本授業では、遅刻3回を欠席1回とカウントする。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・ギャップターム概要説明 ・ディプロマサプリの説明 ・Google Classroom/Meetの理解 ・googleのアプリを全て携帯にダウンロード ・短期/中期/サンドイッチ留学の概要説明 ・その他、Q&A	対面授業	予習: 特になし 復習: 説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(4時間)
2回目	ギャップターム概要説明 ・有給インターンシップ ・サービスマーケティング ・3ヶ月留学 ・第1回ギャップターム希望調査 * google formへ回答 ・履修科目の確認作業	対面授業	予習: ギャップタームに関して自分の希望を考えておく。(2時間) 復習: 説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(2時間)
3回目	ワーホリ留学の説明 (外部講師: zoom又は対面、日本ワーホリ協会) ・感想文/質問提出 ・履歴書作成 *google documentで作成し、2年間追加修正し、就職の際に利用する。教員とシェアする。	対面授業 (遠隔)	予習: ワーホリ留学とはどのようなものか事前に調べておく。(2時間) 復習: 説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(2時間)
4回目	韓国留学の説明 (外部講師: zoomにて、海外の姉妹大学) ・感想文/質問提出 ・履歴書作成	対面授業	予習: NZ有給インターンシップ留学とはどのようなものか事前に調べておく。(2時間) 復習: 説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(2時間)
5回目	中国留学の説明 (外部講師: zoomにて、海外の姉妹大学) ・感想文/質問提出 ・履歴書作成	対面授業	予習: 国内有給インターンシップとはどのようなものか事前に調べておく。(2時間) 復習: 説明された内容を整理し、分からない点、質問事項を考えておく。(2時間)
6回目	2年生によるプレゼンへの参加① ・2年生によるギャップターム体験プレゼン ・医療事務講座説明	対面授業	予習: 履歴書作成のための情報収集をおこなう。(2時間)

	→ Q&A、コメント作成 https://forms.gle/AAgwbxLiPLw75fnn6		復習: 完成させた履歴書に間違いがないかを再確認しておく(2時間)
7回目	2年生によるプレゼンへの参加② ・2年生によるギャップターム体験プレゼン → Q&A、コメント作成 https://forms.gle/AAgwbxLiPLw75fnn6	対面授業	予習: ギャップタームでどのような体験ができるか/ したいかを考えておく。(2時間) 復習: 先輩のプレゼンを聞き、感じたこと、学んだことを整理する。(2時間)
8回目	2年生によるプレゼンへの参加③ ・2年生によるギャップターム体験プレゼン → Q&A、コメント作成 https://forms.gle/AAgwbxLiPLw75fnn6 国内有給インターンシップ説明 (外部講師: ダイブ) ・感想文/質問提出 ———— 1Q 終了 ———— * 次回は、3Qより	対面授業	予習: ギャップタームでどのような体験ができるか/ したいかを考えておく。(2時間) 復習: 先輩のプレゼンを聞き、感じたこと、学んだことを整理する。(2時間)
9回目	ギャップターム準備 全体説明をして、ISとSLに分かれて説明。 ———— ・インターンシップ/サービ斯拉ーニングのどちらにするか確認	対面授業	予習: 自分がどれを選択するかを保護者も交えて決めてくる。(2時間) 復習: 必要な事項の準備を始める。(2時間)
10回目	分かれて、 ・キャリアステップテストの実施。 ・ジャーナルを書き始める。 ———— オンラインジャーナルの説明と記入 ・SLかインターンシップかの確認(数名) ・オンライン日誌の書き方説明と基本情報入力 (キャリアステップ情報を含む) ・2年生のジャーナルを参考として提示する。 ・ダイブのやりとりなど、ジャーナルに書き始める。 ・インターンシップ参加条件の確認(体力、気力、髪の色、ピアス、爪 etc.) ———— 準備① 「チームで働く力」の各項目の定義・エピソード・改善方法を書き出す。	対面授業	予習: 自分がどれを選択するかを保護者も交えて決めてくる。(2時間) 復習: ジャーナルに情報を追加する。(2時間)
6回目	2年生によるプレゼンへの参加① ・2年生によるギャップターム体験プレゼン ・医療事務講座説明 → Q&A、コメント作成 https://forms.gle/AAgwbxLiPLw75fnn6	対面授業	予習: 指定する資料を読んでおく。(2時間) 復習: ジャーナルに情報を追加する。(2時間)

7回目	2年生によるプレゼンへの参加② ・2年生によるギャップターム体験プレゼン → Q&A、コメント作成 https://forms.gle/AAgwbxLiPLw75fnn6	対面授業	予習: プレゼンの準備を行う。(2時間) 復習: ジャーナルに情報を追加する。(2時間)
8回目	2年生によるプレゼンへの参加③ ・2年生によるギャップターム体験プレゼン → Q&A、コメント作成 https://forms.gle/AAgwbxLiPLw75fnn6 国内有給インターンシップ説明 (外部講師: ダイブ) ・感想文/質問提出 ———— 1Q 終了 ———— * 次回は、3Qより	対面授業	予習: ギャップタームの目標を考えておく。(2時間) 復習: プレゼンテーションの練習をしておく。(2時間)
9回目	ギャップターム準備 全体説明をして、ISとSLに分かれて説明。 ———— ・インターンシップ/サービ斯拉ーニングのどちらにするか確認	対面授業	予習: プレゼンテーションの練習。(2時間) 復習: プレゼンテーションの練習、及び日誌の書き方の確認をしておく。(2時間)
10回目	分かれて、 ・キャリアステップテストの実施。 ・ジャーナルを書き始める。 ———— オンラインジャーナルの説明と記入 ・SLかインターンシップかの確認(数名) ・オンライン日誌の書き方説明と基本情報入力(キャリアステップ情報を含む) ・2年生のジャーナルを参考として提示する。 ・ダイブのやりとりなど、ジャーナルに書き始める。 ・インターンシップ参加条件の確認(体力、気力、髪の色、ピアス、爪 etc.) ———— 準備① 「チームで働く力」の各項目の定義・エピソード・改善方法を書き出す。	対面授業	予習: ジャーナルを完成させる。(2時間) 復習: ギャップターム活動の直前の準備を行う(2時間)
16回目	(最終発表) ・5つの目標 ・インターンシップ先と期間 ・先方での初めの挨拶 ・働く時に気を付けるべき注意事項 (ダイブよりメッセージ) 「お客様から見た場合、ベテラン社員も新人も変わりはないので、常に自覚を持って取り組み、自発的に行動することが大切です。人間関係に関しては、相性もあるため一概には言えま		授業外学修 60 時間

	せんが、自分から積極的に関わる姿勢を持つ方が比較的うまく溶け込めることが多いです。ただし、無理に我慢する必要はないと思いますので、そのような状況があれば、ぜひ弊社担当に相談してください。」 (2年生から後輩へのメッセージ) ・行く旅館やホテルの情報を徹底的に調べておく:客室数、施設内容、など。 ・第一印象が重要。 ・人の目を見て話す。 ・メモを取る。 ・積極的に挨拶する。 ・お礼は、3回。 ・人のいいところを探して褒める。 ・友達に聞いてもたもたするのではなく、自分の言葉で話す。 ・人の話を聞く、私語はしない。 ・「ほうれんそう」を必ず。 ・「友達がするから、私も。。。」はやめる。 ・目つき、笑顔 ・雑談力		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	特になし
教科書・参考書	特になし
履修条件	インターンシップ参加者は、原則「ビジネスマナー」「ホテル業論」を受講すること。
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択な重要な時期になるので、真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可

講義科目名称: 留① 学外学修事前指導	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: GY101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
1Q	1年	2単位	コース必修	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田、依藤、山本、松浦			②問題解決学習 ③体験学習 ⑦グループ・ワーク	

授業概要	「学外学修事前指導」は「学外学修事後指導」と共に、国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で自己実現のための「生きる力」の育成を目的とした1Q2Qから4Qまで続く授業である。 留学生の本授業では、3Qでの地域学習（高校での授業、小学校との交流授業など）の実施準備期間として、必要なプレゼンテーション能力や語学力、異文化対応能力等の育成を図る。チームでの活動が多いため、チーム力育成のための方法なども同時に学ぶ。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	試行錯誤しながら自ら考え行動する。	授業態度	10%
専門的知識や技能	画像などを用い、デザインを工夫したプレゼンテーションが作成できる。 また、必要で関心のある事柄に対し、適切な日本語で伝えることができる。	課題・試験	40%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々との関わりを通して、自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持・改善をしようと試みることができる。	課題・試験	10%
課題解決能力	確認や見直しを行い、事前に計画をたて自分の考察を交えてチームで解決することができる。	授業態度	30%
キャリアデザイン力	佐世保市の教育現場に関わる事で、自己認識をし、生活者としての自分に気が付くことができる。さらに自ら関わる意識を持つことができる。	授業態度	10%
合計			100%

補足事項	
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題・試験50%、授業参加態度50%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション①」 自己紹介 講義の進め方、心構え、Google classroom登	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。 Google classroomのクラスに登録する(1時間) 復習: 本日の学びに関して復習

	録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする		し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(2時間)
2回目	「オリエンテーション②」 レゴで自己表現方法を学ぶ		予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。 Google classroomのクラスに登録する(1時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogleclassroomをとおして提出する(1時間)
3回目	「チーム作り①」 クラス内での会話を増やす仕組み	対面授業	予習: 自己表現の仕方を考えておく(2時間) 復習: 自分のチームでの活動を振り返る。レポート提出(2時間)
4回目	「チーム作り①」 クラス内での会話を増やす仕組み	対面授業	予習: 自己表現の仕方を考えておく(2時間) 復習: 自分のチームでの活動を振り返る。レポート提出(2時間)
5回目	「チーム作り①」 クラス内での会話を増やす仕組み	対面授業	予習: 自己表現の仕方を考えておく(2時間) 復習: 自分のチームでの活動を振り返る。レポート提出(2時間)
6回目	「チーム作り②」 チームビルディング活動&チーム発表	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに研修が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
7回目	「チーム作り②」 チームビルディング活動&チーム発表	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに研修が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
8回目	「チーム作り②」 チームビルディング活動&チーム発表	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに研修が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
9回目	「日本を知る、佐世保を知る」 災害に備える学習 語彙を勉強する ビデオを見る	対面授業	予習: 災害に関する重要語彙などを調べて、理解しておく。(2時間) 復習: 自分の住む地域にある避難場所を訪れる、防災バッグを準備する(2時間)
10回目	「学内研修～学内ゲーム～」 09:10 開会式(流れの説明) 09:40 教室移動 09:50 各教室のゲーム開始 11:00 休憩(10分)	対面授業	予習: 初対面の人との会話・交流についてまとめ、効果的なコミュニケーションが取れるように準備する(2時間) 復習: 活動を振り返り、プレゼンテーションの準備をする(2時間)

	11:10 表彰式・集合写真撮影		
11回目	「学内研修～学内ゲーム～」 09:10 開会式(流れの説明) 09:40 教室移動 09:50 各教室のゲーム開始 11:00 休憩(10分) 11:10 表彰式・集合写真撮影	対面授業	予習: 初対面の人との会話・交流についてまとめ、効果的なコミュニケーションが取れるように準備する(2時間) 復習: 活動を振り返り、プレゼンテーションの準備をする(2時間)
12回目	「学外研修～パールシー～」 公共交通機関の利用方法 パールシー散策 ※食事 乗り場集合乗船 乗船 写真撮影・水族館移動 イルカショー観覧 解散	対面授業	予習: 初対面の人との会話・交流についてまとめ、効果的なコミュニケーションが取れるように準備する(2時間) 復習: 活動を振り返り、プレゼンテーションの準備をする(2時間)
13回目	「学外研修～パールシー～」 公共交通機関の利用方法 パールシー散策 ※食事 乗り場集合乗船 乗船 写真撮影・水族館移動 イルカショー観覧 解散	対面授業	予習: 初対面の人との会話・交流についてまとめ、効果的なコミュニケーションが取れるように準備する(2時間) 復習: 活動を振り返り、プレゼンテーションの準備をする(2時間)
14回目	「情報機器のスキル:発表準備」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ 活動の振り返り。 また、活動に関してチーム内でインタビューをして動画にまとめる(役割決め)	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙に関しては調べておくこと(2時間) 復習: プレゼンテーションに向けて、スライドやスクリプトの準備を行う。(2時間)
15回目	「情報機器のスキル:発表準備」 動画・PPTなどプレゼンテーションに必要なスキルを学ぶ 活動の振り返り。 また、活動に関してチーム内でインタビューをして動画にまとめる(役割決め)	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙に関しては調べておくこと(2時間) 復習: プレゼンテーションに向けて、スライドやスクリプトの準備を行う。(2時間)
16回目	「情報機器のスキル:発表準備」 チームごとに発表をまとめ、発表する。 発表の仕方は授業中に指示する	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙に関しては調べておくこと(2時間) 復習: プレゼンテーションに向けて、スライドやスクリプトの準備を行う。(2時間)
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規	なし

則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』プレゼンテーション
履修条件	3Qの実践Awesome SaseboIと実践Awesome SaseboIIを併せて履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること また、本授業はチーム活動が中心であるため、全体をみながらコミュニケーションを取ることが求められている。積極的な行動が望ましい。
オフィスアワー	月曜日3コマ目(13:00～14:00)研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称:海外文化事情Ⅰ(アジア圏短期研修)	授業コード:
英文科目名称:Foreign Culture StudyⅠ	ナンバリング:GY301

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田美信			①②③④⑦	

授業概要	授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期(約10日間)海外研修プログラム(オンラインでの留学を含む)。 渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習する。 主に、アジア諸国の韓国、中国、台湾の姉妹大学を訪問し、現地の学生と交流活動をおこなう。 滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験する。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行う。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	・海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。	レポート評価	40%
コミュニケーション能力	・姉妹校の学生との交流会(又は、ホームステイ)などを通して現地の文化を理解することができる。	レポート評価	30%
課題解決能力	・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。	プレゼンテーションの評価	30%
主体的に学ぶ力			
合計			
補足事項			
・レポート(70%)、最終プレゼンテーション(30%)の割合で総合評価を行う。 ・費用(交通費、滞在費、現地プログラム費、食費、等)等は、事前にオリエンテーションで詳細に説明する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・渡航先に関する説明	対面授業	予習:渡航先の情報を収集する。(2時間)

	・渡航の目的やプログラム概要について説明する。 ・既に参加したことのある先輩からの説明。 ・参加予定者からの質疑応答		復習：説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。(2時間)
2回目	渡航準備1 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習：渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習：説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
3回目	渡航準備2 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習：渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習：説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
4回目	渡航準備3 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習：渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習：説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
5回目	渡航準備4 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習：渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習：説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
6回目	渡航準備5 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習：渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習：説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
7回目 ～ 11回目	渡航先での活動	対面授業	予習：渡航先のプログラムに従い予習を行う。(時間：プログラムの期間により異なる) 復習：プログラム参加後の研修内容の復習を行う。(時間：プログラムの期間により異なる)
12回目	研修内容の振り返り1 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習：現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習：作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)

13回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
14回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:プレゼンの最終準備を行う。(2時間) 復習:自分や他の学生のプレゼンテーションを振り返り、研修での学びを再確認する。(2時間)
16回目	定期試験		授業外学修(60時間以上)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	各国の人口、面積、経済動向などのデータから始まり、日本と世界各国の状況を深く分析することでグローバル社会に必要である多様な観点を育てる。また、渡航先の観光地や食文化などもデータを収集し、分析をおこなう。
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。 * 留学ジャーナル、地球の歩き方シリーズ
履修条件	授業(遅刻・欠席数)や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思があること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、渡航先や研修内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	1)授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと判断される場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2)自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。 3)渡航前に、先輩や長崎短大の留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。

講義科目名称:海外文化事情Ⅱ(英語圏短期研修)	授業コード:
英文科目名称:Foreign Culture StudyⅡ	ナンバリング:GY302

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
牟田美信				①②③④⑦

授業概要	授業で学んでいる外国語を海外で試し、知識として得た異文化情報を実際に海外で直に感じてみる短期(約10日間)海外研修プログラム(オンライン留学も含む)。渡航前に、訪問する国についての文化、言語、観光地、マナー等を事前に学習する。 滞在中、自分たちで地元のスーパーなどで買物や観光を行い、現地の人と同じ生活体験を行う。可能な限り、現地の言語を使ってもらうために、現地での手続き等もできるだけ学生で行う。渡航先は、参加者の希望や人数で毎年変更する可能性がある。これまで、カナダ、オーストラリア、イギリス、アメリカ(ハワイ)、ニュージーランドへの研修を実施した。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	・海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	・姉妹校の学生との交流会(又は、ホームステイ)などを通して現地の文化を理解することができる。	レポート評価	30%
課題解決能力	・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。	プレゼンテーションの評価	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・レポート(70%)、最終プレゼンテーション(30%)の割合で総合評価を行う。 ・費用(交通費、滞在費、現地プログラム費、食費、等)等は、事前にオリエンテーションで詳細に説明する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間

1回目	オリエンテーション ・渡航先に関する説明 ・渡航の目的やプログラム概要について説明する。 ・既に参加したことのある先輩からの説明。 ・参加予定者からの質疑応答	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。(2時間)
2回目	渡航準備1 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
3回目	渡航準備2 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
4回目	渡航準備3 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
5回目	渡航準備4 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
6回目	渡航準備5 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
7回目 ～ 11回目	渡航先での活動	対面授業	予習: 渡航先のプログラムに従い予習を行う。(時間: プログラムの期間により異なる) 復習: プログラム参加後の研修内容の復習を行う。(時間: プログラムの期間により異なる)
12回目	研修内容の振り返り1 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習: 現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習: 作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)

13回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
14回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習:現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習:作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習:プレゼンの最終準備を行う。(2時間) 復習:自分や他の学生のプレゼンテーションを振り返り、研修での学びを再確認する。(2時間)
			授業外学修(60時間以上)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	各国の人口、面積、経済動向などのデータから始まり、日本と世界各国の状況を深く分析することでグローバル社会に必要である多様な観点を育てる。また、渡航先の観光地や食文化などもデータを収集し、分析をおこなう。
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。 * 留学ジャーナル、地球の歩き方シリーズ
履修条件	授業(遅刻・欠席数)や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思があること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、渡航先や研修内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	1)授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと判断される場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2)自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。 3)渡航前に、先輩や長崎短大の留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。

講義科目名称:海外文化事情Ⅲ(中期留学)	授業コード:
英文科目名称:Foreign Culture Study Ⅲ	ナンバリング:GY303

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q5Q	1年～2年	6単位	選択	実習
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
牟田美信				①②③④⑦

授業概要	海外に約3ヶ月間留学するプログラム(オンライン留学も含む)。但し、希望者が少数の場合、渡航できない国もある。 (英語圏)カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド (アジア圏)韓国、中国、台湾 現地での授業内容(例) * 留学する国や語学学校や大学により異なる。 1 新入生歓迎オリエンテーション 2 プレイスメントテスト 3 語学学習(月～金、週30時間程度) 4 セルフスタディ(スーパーバイザ指導のもと) 5 コンピュータやランゲージラボを使用した学習 6 定期的な授業外の課外活動(フィードトリップ、地域でのボランティア活動、等々) 7 学期末テスト(評価あり) 8 成績書及び修了証書授与

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力			
確かな専門的知識や技能	・海外渡航する場合に必要な情報収集方法、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先の国、都市、大学に関する情報を収集し、必要とされる知識を獲得することができる。 ・渡航先で活用できる、基本的な現地語をマスターすることができる。	レポート評価	40%
異文化知識・対応能力	・姉妹校の学生との交流会(又は、ホームステイ)などを通して現地の文化を理解することができる。	レポート評価	30%
課題解決能力	・帰国後に、渡航先の国と母国と比較した場合の違いなどをまとめ、発表をおこなうことができる。	プレゼンテーションの評価	30%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・レポート(70%)、最終プレゼンテーション(30%)の割合で総合評価を行う。 ・費用(交通費、滞在費、現地プログラム費、食費、等)等は、事前にオリエンテーションで詳細に説明する。 ・授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるために、Google Classroomも活用する。必要な場合、遠隔での授業を行う場合もある。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・渡航先に関する説明 ・渡航の目的やプログラム概要について説明する。 ・既に参加したことのある先輩からの説明。 ・参加予定者からの質疑応答	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。(2時間)
2回目	渡航準備1 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
3回目	渡航準備2 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
4回目	渡航準備3 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
5回目	渡航準備4 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
6回目	渡航準備5 ・現地の情報収集 ・移動手段、宿泊場所の確認と準備 ・現地活動内容の確認プレゼン等の準備	対面授業	予習: 渡航先の情報を収集する。(2時間) 復習: 説明を受けた研修内容を再確認して、疑問点等がないかを確認する。また、作成中のプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
7回目 ～ 11回目	渡航先での活動	対面授業	予習: 渡航先のプログラムに従い予習を行う。(時間: プログラムの期間により異なる) 復習: プログラム参加後の研修内容の復習を行う。(時間: プログラムの期間により異なる)
12回目	研修内容の振り返り1 ・研修を振り返りレポートの作成。	対面授業	予習: 現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間)

	・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。		復習：作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
13回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習：現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習：作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
14回目	研修内容の振り返り2 ・研修を振り返りレポートの作成。 ・レポートを元にPPTのプレゼンテーションを作成。	対面授業	予習：現地での研修内容の振り返りを行う。(2時間) 復習：作成中のレポートとプレゼンの見直し修正を行う。(2時間)
15回目	最終プレゼンテーション	対面授業	予習：プレゼンの最終準備を行う。(2時間) 復習：自分や他の学生のプレゼンテーションを振り返り、研修での学びを再確認する。(2時間)
			授業外学修(180時間以上)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	各国の人口、面積、経済動向などのデータから始まり、日本と世界各国の状況を深く分析することでグローバル社会に必要である多様な観点を育てる。また、渡航先の観光地や食文化などもデータを収集し、分析をおこなう。
教科書・参考書	特になし。一般の留学に関する本や雑誌を各自必ず読んでおくこと。 * 留学ジャーナル、地球の歩き方シリーズ
履修条件	授業(遅刻・欠席数)や大学生活一般に問題がなく、自ら留学したいという強い意思があること。
履修上の注意	毎年の世界情勢により、渡航先や研修内容が異なることがある。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	1) 授業への出席状況が悪く、短大での生活態度が留学にふさわしくないと判断される場合は、申込後も留学を辞退させることもある。 2) 自分の体調や留学に対する親の同意を必ず確認し申込むこと。また、留学先では、自己責任の部分がかなり高くなることを理解しておくこと。 3) 渡航前に、先輩や長崎短大の留学生から様々な情報を得て、有意義な研修になるよう、努めること。

講義科目名称: インターンシップ I	授業コード:
英文科目名称: Internship I	ナンバリング: GY304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田美信			③	

授業概要	将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中、参加者は毎日、インターネット上(google document)の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。 インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容(受入先評価)	30%
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。 【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容(受入先評価)	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、毎日のインターンシップジャーナル記入状況と内容で総合評価を行う。 ・インターンシップの就業日数で単位を算出する。＊授業中に説明。 ・毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込むこと。 ・(問題がない範囲で)写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。 ・学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 ～ 15回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を行う。	対面での活動だが、オンラインで 日誌確認	予習：やるべき業務内容を確認する。(2時間) 復習：実施した業務内容を振り返り、次の業務の準備を行う。2時間)
16回目	まとめ	対面での活動だが、オンラインで 日誌確認	オンラインジャーナルの最終確認とまとめ。 授業外学修(60時間以上)*就業日数により異なる。

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	インターンシップで必要となるデータ処理(社会で活用されるデータ)を実践でおこなう。
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	原則「ビジネスマナー」「ホテル業論」の授業を履修していること
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称: インターンシップⅡ	授業コード:
英文科目名称: Internship Ⅱ	ナンバリング: GY305

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田美信			③	

授業概要	将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中、参加者は毎日、インターネット上(google document)の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。 インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容(受入先評価)	30%
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。 【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容(受入先評価)	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、毎日のインターンシップジャーナル記入状況と内容で総合評価を行う。 ・インターンシップの就業日数で単位を算出する。＊授業中に説明。 ・毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込むこと。 ・(問題がない範囲で)写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。 ・学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 ～ 15回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を行う。	対面での活動だが、オンラインで 日誌確認	予習：やるべき業務内容を確認する。(2時間) 復習：実施した業務内容を振り返り、次の業務の準備を行う。2時間)
16回目	まとめ	対面での活動だが、オンラインで 日誌確認	オンラインジャーナルの最終確認とまとめ。 授業外学修(60時間以上)*就業日数により異なる。

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	インターンシップで必要となるデータ処理(社会で活用されるデータ)を実践でおこなう。
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	原則「ビジネスマナー」「ホテル業論」の授業を履修していること
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称: インターンシップⅢ	授業コード:
英文科目名称: Internship Ⅲ	ナンバリング: GY306

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田美信			③	

授業概要	将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中、参加者は毎日、インターネット上(google document)の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。 インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容(受入先評価)	30%
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。 【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容(受入先評価)	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、毎日のインターンシップジャーナル記入状況と内容で総合評価を行う。 ・インターンシップの就業日数で単位を算出する。＊授業中に説明。 ・毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込むこと。 ・(問題がない範囲で)写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。 ・学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 ～ 15回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を行う。	対面での活動だが、オンラインで 日誌確認	予習：やるべき業務内容を確認する。(2時間) 復習：実施した業務内容を振り返り、次の業務の準備を行う。2時間)
16回目	まとめ	対面での活動だが、オンラインで 日誌確認	オンラインジャーナルの最終確認とまとめ。 授業外学修(60時間以上)*就業日数により異なる。

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	インターンシップで必要となるデータ処理(社会で活用されるデータ)を実践でおこなう。
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	原則「ビジネスマナー」「ホテル業論」の授業を履修していること
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称: インターンシップⅣ	授業コード:
英文科目名称: Internship IV	ナンバリング: GY401

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田美信			③	

授業概要	将来、ホスピタリティビジネス(サービス業)に従事しようと考えている者が、実際のサービスの在り方を実践で学び、働くことの本質を体験から学ぶ。 「学外学修事前指導」でインターンシップ参加に必要な知識を得た後、インターンシップに参加することになる。 インターンシップ期間中、参加者は毎日、インターネット上(google document)の業務記録日誌「ギャップタームジャーナル」に業務内容や感想を記録し、教員がコメントを記入する。 インターンシップ終了後、「学外学修事後指導」において、職業体験の振り返りをおこなう。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	【自己変革】就業体験をする中で長所・短所、思考回路等、自分の性格や特性を深く知ることができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容(受入先評価)	30%
確かな専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	【主体性】与えられた役割に積極的に取り組むことができる。 【規律性・忍耐力】インターンシップ先の規律や自分に与えられた役割のルールを理解し、自ら立てた目標を再確認し、守ることができる。 【ストレスコントロール力】自分が負担・ストレスに思うことを認識することができる。	インターンシップジャーナルの記入状況と内容(受入先評価)	70%
キャリアデザイン力			
合計			100%

補足事項	
・本授業では、毎日のインターンシップジャーナル記入状況と内容で総合評価を行う。 ・インターンシップの就業日数で単位を算出する。＊授業中に説明。 ・毎日欠かさず、ギャップタームジャーナルに業務内容、生活状況、感想を書き込むこと。 ・(問題がない範囲で)写真や動画も記録し、ギャップタームのプレゼンテーション作成時に利用できるようにする。 ・学生の書く日誌に対しては、担当教員がコメントを書き支援等のフィードバックを行う。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目 ～ 15回目	インターンシップ先での勤務体制、就業規則等に従い、就業体験を行う。	対面での活動だが、オンラインで 日誌確認	予習：やるべき業務内容を確認する。(2時間) 復習：実施した業務内容を振り返り、次の業務の準備を行う。2時間)
16回目	まとめ	対面での活動だが、オンラインで 日誌確認	オンラインジャーナルの最終確認とまとめ。 授業外学修(60時間以上)*就業日数により異なる。

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	インターンシップで必要となるデータ処理(社会で活用されるデータ)を実践でおこなう。
教科書・参考書	授業中に指示をする。
履修条件	原則「ビジネスマナー」「ホテル業論」の授業を履修していること
履修上の注意	インターンシップに参加するという明確な意識を持ち、日頃の学習態度、服装等に注意を払うこと。 上記が守れない場合や学習態度等、インターンシップに不適切であると判断した場合は、参加を辞退してもらう。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) *その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	インターンシップに参加することで、自分の適性を知ることができ、働くことの自信に繋がります。 積極的に参加することを勧めます。

講義科目名称：実践 Awesome Sasebo! I	授業コード：
英文科目名称：	ナンバリング：GY307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1 年	2 単位	選択	実習
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 李 松浦 ロニー			②③⑦	

授業概要	「実践 Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。 この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。 1) 教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。 2) 社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。 3) 自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。 学びの実践例：地域祭り進行、JA 連携特産品 PR・体験、入学前 TA、図書館蔵書点検、オープンキャンパス企画運営 等

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる	グループワーク	60%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づいた内容について整理できる	課題	20%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながあ取り組み、その内容を自分の言葉で整理できる	課題	20%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			

- ・本授業では、課題（活動報告）40%、グループワーク40%の割合で評価する。
- ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASS を利用することもできる。
- ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom 登録の確認と活動報告（ジャーナル）書き 方等の確認、活用予定内容説明	対面授業	予習：GOOGLECLASS に提 示する活動内容を確認して、 関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しな がら整理し、次回活動を準備 する。（2時間）
2回目	地域祭り支援① 相浦公民館祭りについて調べる 活動支援が必要な内容について確認する 活動参加に必要な物を準備する	対面授業	予習：GOOGLECLASS に提 示する活動内容を確認して、 関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しな がら整理し、次回活動を準備 する。（2時間）
3回目	地域祭り支援② 相浦公民館祭りについて調べる 活動支援が必要な内容について確認する 活動参加に必要な物を準備する	対面授業	予習：GOOGLECLASS に提 示する活動内容を確認して、 関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しな がら整理し、次回活動を準備 する。（2時間）
4回目	地域祭り支援③ 相浦公民館祭りに参加する 地域住民と積極的に交流する 交流当日の様子を写真・動画で整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASS に提 示する活動内容を確認して、 関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しな がら整理し、次回活動を準備 する。（2時間）
5回目	地域祭り支援④ 相浦公民館祭りに参加する 地域住民と積極的に交流する 交流当日の様子を写真・動画で整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASS に提 示する活動内容を確認して、 関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しな がら整理し、次回活動を準備 する。（2時間）
6回目	地域祭り支援⑤ 相浦公民館祭りに参加参加内容をまとめる	対面授業	予習：GOOGLECLASS に提 示する活動内容を確認して、 関連情報を集める（2時間）

	GOOGLESLLIDEなどで整理する		復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
7回目	地域祭り支援⑥ 相浦公民館祭りに参加参加内容をまとめる GOOGLESLLIDEなどで整理する 感想を語り合って、次年度活動のため伝える内容を整理する	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
8回目	JA連携活動① JAながさき西海（旧針尾支店）打ち合わせ 活動参加に必要な内容について確認する 活動参加に必要な物を準備する （宿泊研修準備）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
9回目	JA連携活動② JAながさき西海（旧針尾支店）打ち合わせ 活動参加に必要な内容について確認する 活動参加に必要な物を準備する （宿泊研修準備）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
10回目	JA連携活動③ JAながさき西海（旧針尾支店）打ち合わせ 活動参加に必要な内容について確認する 活動参加に必要な物を準備する （宿泊研修準備）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
11回目	JA連携活動④ JAながさき西海（旧針尾支店）訪問 特産品PR方法について会議 みかん狩り体験 （宿泊研修実施）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）
12回目	JA連携活動⑤ JAながさき西海（旧針尾支店）訪問 特産品PR方法について会議 みかん狩り体験 （宿泊研修実施）	対面授業	予習：GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める（2時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2時間）

13 回目	JA 連携活動⑥ JA ながさき西海（旧針尾支店）訪問 特産品 PR 方法について会議 みかん狩り体験 （宿泊研修実施）	対面授業	予習：GOOGLECLASS に提示する活動内容を確認して、 関連情報を集める（2 時間） 復習：活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。（2 時間）
14 回目	JA 連携活動⑦ JA 連携活動の参加内容をまとめる 宿泊研修の参加内容をまとめる GOOGLESIDE などで整理する	対面授業	予習：チームで共有した情報を確認しておくこと(2 時間) 復習：どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかを Google classroom に提出する。交流会の準備(2 時間)
15 回目	JA 連携活動⑧・総まとめ JA 連携活動の参加内容をまとめる 宿泊研修の参加内容をまとめる GOOGLESIDE などで整理する 感想を語り合って、次年度活動のため伝える内容を整理する 授業アンケート回答	対面授業	予習：今までの活動内容を改めて整理する（4 時間） 復習：とくになし
			授業外学修時間 60 時間

科目（教職課程用）	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI 教育プログラムに関する事項	生成系 AI の回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PC を活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修条件	なし
履修上の注意	課題のフィードバックは授業内または GOOGLECLASS で行う。
オフィスアワー	水曜日 3 コマ目（研究室） *その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	

講義科目名称: 実践Awesome Sasebo I	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング: GY101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
2Q	1年	2単位	コース必修	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田、依藤、山本、松浦			②問題解決学習 ③体験学習 ⑦グループ・ワーク	

授業概要	「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1クォーターでの比較的自由的な時間を活用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。 留学生を対象とした本授業では、自己がもつ言語社会を背景に加えて、これまで学び、体験した知識を用いて、地域の様々な課題解決に挑戦しながら自己を振り返る機会となるように組み立てられている。 実践Awesome Sasebo! I では、1年生が主体となって、人、文化、地域社会を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶだけではなく、地域の小学校や高校へ赴き、異文化授業などを展開するための企画運営方法についても学ぶ。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	試行錯誤しながら自ら考え行動する。	授業態度	10%
専門的知識や技能	画像などを用い、デザインを工夫したプレゼンテーションが作成できる。 また、必要で関心のある事柄に対し、適切な日本語で伝えることができる。	課題・試験	40%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々との関わりを通して、自己の文化的ルールや偏見を認識し、維持・改善をしようと試みることができる。	課題・試験	10%
課題解決能力	確認や見直しを行い、事前に計画をたて自分の考察を交えてチームで解決することができる。	授業態度	30%
キャリアデザイン力	佐世保市の教育現場に関わる事で、自己認識をし、生活者としての自分に気が付くことができる。さらに自ら関わる意識を持つことができる。	授業態度	10%
合計			100%
補足事項			
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題・試験50%、授業参加態度50%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「3Qへ向けて」 3Qの交流授業に向けて、昨年の小学校交流	対面授業	予習: 交流授業に関する質問を 考えてくる(2時間)

	授業から学びを得る。 写真＆動画を見る		復習:自分が交流授業をする時のイメージを文字起こしする(2時間)
2回目	「活動準備」 チーム分け リーダー決め、チームメンバー決め アイスブレイク	対面授業	予習:交流授業に関する質問を考えてくる(2時間) 復習:自分が交流授業をする時のイメージを文字起こしする(2時間)
3回目	「活動準備」 役割決めをして各役割の活動を明確にする	対面授業	予習:交流授業に関する質問を考えてくる(2時間) 復習:自分が交流授業をする時のイメージを文字起こしする(2時間)
4回目	「活動準備」 小学校交流活動に必要な物、タイムスケジュールなど計画を具体的に立てる PPT等の作成に取り掛かる	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
5回目	「活動準備」 PPT・スクリプト・配布資料等の作成	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
6回目	「活動準備」 PPT・スクリプト・配布資料等の作成	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
7回目	「活動準備」 PPT・スクリプト・配布資料等の作成	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
8回目	「活動準備」 PPT・スクリプト・配布資料等の作成	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
9回目	「活動準備」 PPT・スクリプト・配布資料等の作成	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
10回目	「活動準備」 PPT・スクリプト・配布資料等の作成	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)

			間)
11回目	「試演」 実際に時間を計って、計画通りにしてみる	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
12回目	「試演」 感想を出し合い、修正があれば修正を行う	対面授業	予習:これまでの準備を参考に、すぐに活動が開始できるように準備しておく(2時間) 復習:資料の共有などをclassroomを通して実施する(2時間)
13回目	「修正」 実際に時間を計りながら修正を加える 感想を出し合いチームとして、良いものになるように互いの意見を共有する	対面授業	予習:自分の役割などを明確にしておく(2時間) 復習:構成を見直し、次までに修正が必要なものは見直す(2時間)
14回目	「修正」 実際に時間を計りながら修正を加える 感想を出し合いチームとして、良いものになるように互いの意見を共有する	対面授業	予習:自分の役割などを明確にしておく(2時間) 復習:構成を見直し、次までに修正が必要なものは見直す(2時間)
15回目	「発表」 作成物の発表(PPT、配布物、掲示物)を行う。 授業アンケートの実施	対面授業	予習:修正が加わった部分に関して、ひとりでする部分は事前 にしておく(2時間) 復習:互いの意見をまとめて提出 する(2時間)
16回目	まとめと振り返り	対面授業	予習:これまでの学修内容を振り返 っておく。(2時間) 復習:まとめと振り返りの内容を もとに、今後の目標を立てる。(2 時間)
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	
教科書・参考書	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』プレゼンテーション
履修条件	3Qの実践Awesome SaseboⅡと実践Awesome SaseboⅢを併せて履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること また、本授業はチーム活動が中心であるため、全体をみながらコミュニケーション

	を取ることが求められている。積極的な行動が望ましい。
オフィスアワー	月曜日3コマ目(13:00~14:00)研究室
備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称:実践Awesome Sasebo! II	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:GY308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
牟田 李 松浦 ロニー				②③⑦

授業概要	「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由的な時間を利用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。 この授業では、次の3項目を意識しながら様々な活動に参加してもらう。 1)教室で獲得した知識を社会的活動の中で実際に活用することで、現実社会で実際に活用できる知識・技能へと変化させること。 2)社会的活動を通して、将来の職業について考える機会を持つこと。 3)自らの社会的役割を意識し、市民として必要な資質や能力を高めること。 学びの実践例:地域祭り進行、JA連携特産品PR・体験、入学前TA、図書館蔵書点検、オープンキャンパス企画運営 等

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる	グループワーク	60%
専門的知識や技能			
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づいた内容について整理できる	課題	20%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながあ取り組み、その内容を自分の言葉で整理できる	課題	20%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
・本授業では、課題(活動報告)40%、グループワーク40%の割合で評価する。 ・質疑応答、課題の提出・確認は、GOOGLECLASSを利用することもできる。 ・15分以上の遅刻の場合、欠席とみなす。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と活動報告(ジャーナル)書き方等の確認、活用予定内容説明	対面授業	予習:GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しなが

			ら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
2回目	入学前TA活動① 入学前教育について調べる 入学前教育に参加している留学生の出身国について調べる 入学前教育活動参加に必要な物を準備する	対面授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
3回目	入学前TA活動② 入学前教育について調べる 入学前教育に参加している留学生の出身国について調べる 入学前教育活動参加に必要な物を準備する	対面授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
4回目	入学前TA活動③ 入学前教育教育にTAとして参加する 留学生と積極的にコミュニケーションする 日々の活動内容を文書で整理する	対面授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
5回目	入学前TA活動④ 入学前教育教育にTAとして参加する 留学生と積極的にコミュニケーションする 日々の活動内容を文書で整理する	対面授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
6回目	入学前TA活動⑤ 入学前教育教育にTAとして参加する 留学生と積極的にコミュニケーションする 日々の活動内容を文書で整理する	対面授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
7回目	入学前TA活動⑥ 入学前教育教育参加内容をまとめる GOOGLESIDEなどで整理する 感想を語り合っ、次年度活動のため伝える 内容を整理する	対面授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
8回目	入学前TA活動⑦ 入学前教育教育参加内容をまとめる GOOGLESIDEなどで整理する 感想を語り合っ、次年度活動のため伝える 内容を整理する	対面授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
9回目	図書館蔵書点検① 図書館蔵書点検オリエンテーションに参加する 活動参加に必要な物を準備する	対面授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
10回目	図書館蔵書点検②	対面授業	予習:GOOGLECLASSIに提示する活動内容を確認して、関連

	図書館蔵書点検に参加する 自ら必要な作業を探して実施する 日々の活動内容を文字で整理する		情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
11回目	図書館蔵書点検③ 図書館蔵書点検に参加する 自ら必要な作業を探して実施する 日々の活動内容を文字で整理する	対面授業	予習:GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
12回目	図書館蔵書点検④ 図書館蔵書点検に参加する 自ら必要な作業を探して実施する 日々の活動内容を文字で整理する	対面授業	予習:GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
13回目	図書館蔵書点検⑤ 図書館蔵書点検の参加内容をまとめる GOOGLESIDEなどで整理する 感想を語り合っ、次年度活動のため伝える 内容を整理する	対面授業	予習:GOOGLECLASSに提示する活動内容を確認して、関連情報を集める(2時間) 復習:活動内容を再確認しながら整理し、次回活動を準備する。(2時間)
14回目	オープンキャンパス参加① 春のオープンキャンパス日程・内容の確認 当日の活動内容確認・準備 春のオープンキャンパス活動参加	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
15回目	オープンキャンパス参加②・総まとめ 参加内容を文字で整理する GOOGLESIDEなどで整理する 感想を語り合っ、次年度活動のため伝える 内容を整理する 授業アンケート回答	対面授業	予習:今までの活動内容を改めて整理する(4時間) 復習:とくになし
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	授業中に指示する。
履修条件	なし
履修上の注意	課題のフィードバックは授業内またはGOOGLECLASSで行う。
オフィスアワー	水曜日3コマ目(研究室) * その他、授業の前後及び空きコマも可
備考・メッセージ	

講義科目名称:実践Awesome Sasebo! II	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:GY307

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				アクティブ・ラーニング の類型
牟田 依藤 山本美				②問題解決学習 ③体験学習 ⑦グループ・ワーク

授業概要	「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1クォーターでの比較的自由な時間を利用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。 留学生を対象とした本授業では、自己がもつ言語社会を背景に加えて、これまで学び、体験した知識を用いて、地域の様々な課題解決に挑戦しながら自己を振り返る機会となるように組み立てられている。 実践Awesome Sasebo! II では、1年生が主体となって、人、文化、地域社会を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶだけではなく、地域の小学校や高校へ赴き、異文化授業などを展開するための企画運営方法についても学ぶ。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で学校で想定できる事態に対して対処することができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることができる	課題	30%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づく	課題	10%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる	授業態度	50%
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学 of 視点を持つことができる	授業態度	5%
合計			100%

補足事項	
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間

1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする Google Classroomへの発表資料アップロードが完了しているか確認し、チームに分かれて調整を行う スクリプトの提出を行う	対面授業	予習: Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	小学校との交流授業準備① 各チームでの最終リハーサル、通し稽古を行う。あらかじめ予測されるトラブルに対して、解決策を検討する。	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	小学校との交流授業準備② 来校時のプレゼント準備など、受け入れた後の準備 最終チェックを行う 小学生の質問に対して、返答の準備を行う	対面授業	予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	小学校交流会のまとめ①記録 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、来年の活動のための引継ぎデータ、プレゼンを作成する	対面授業	予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
5回目	小学校交流会のまとめ②発表 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、これまで実行してきたものを発表する。フィードバックをおこない、修正が必要なもの、箇所に関して認識する	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	小学校活動の修正・感想 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、修正が必要なもの、箇所に関して修正を行う。感想レポートの作成。	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	東翔高校交流会の準備 国ごとにチームを編成する。 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
8回目	東翔高校交流会の準備 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
9回目	東翔高校交流会の準備 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle

			classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
10回目	東翔高校交流会の準備 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
11回目	東翔高校交流会の準備 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、全体の完成を目指す(2時間) 復習:構成を見直し、次までに各部分に必要なものを見直す(2時間)
12回目	東翔高校交流会の準備 小学校交流会を踏まえ、各チームでプレゼンテーションの構成を練る。スライドや配布資料の準備、原稿の作成を行う。	対面授業	予習:全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習:提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13回目	東翔高校交流会の準備 各チームでの最終リハーサル、通し稽古を行う。あらかじめ予測されるトラブルに対して、解決策を検討する。	対面授業	予習:配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14回目	高校交流会のまとめ①記録 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、来年の活動のための引継ぎデータ、プレゼンを作成する	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
15回目	高校交流会活動のまとめ②発表 それぞれのチームで、 ①引継ぎプレゼンチーム ②お礼状チーム に分かれ、これまで実行してきたものを発表する。フィードバックをおこない、修正が必要なものの、箇所に関して認識する	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	プレゼンテーションでは、各国のデータを正しく、わかりやすく説明することが求められます。この授業では、●データを読む・説明する・扱う、●データ・AI利活用における留意事項 についても取り扱います。
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	1・2Q学外学修事前指導を履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、

	しっかりと予習で語彙を調べてくること。
オフィスアワー	月曜日4コマ目(15:00～16:00)研究室
備考・メッセージ	遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称:実践Awesome Sasebo!Ⅲ	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:GY308

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
3Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				アクティブ・ラーニングの類型
牟田 依藤 山本美 松浦				②問題解決学習(③体験学習⑦グループ・ワーク

授業概要	「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Qに設定されている、クォーターでの比較的自由な時間を利用してこれまで得た知識を各々の定めたフィールドで実践を行うものである。 留学生を対象とした本授業では、自己がもつ言語社会を背景に加えて、これまで学び、体験した知識を用いて、地域の様々な課題解決に挑戦しながら自己を振り返る機会となるように組み立てられている。 実践Awesome Sasebo!Ⅲでは、1年生が主体となって、人、文化、地域社会を理解しながら具体的な解決方法解決・実践を学ぶだけではなく、地域の小学校や高校へ赴き、異文化授業などを実践的に行うことで学びを深める。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる。	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で学校で想定できる事態に対して対処することができる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることことができる。	課題	30%
異文化知識・対応能力	異なる文化を持つ人々と自発的に関わり始め、その文化的な違いを認識し、新たな視点に気づく。	課題	10%
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながら目標に粘り強く取り組むことができる。	授業態度	50%
キャリアデザイン力	長崎県や佐世保市のニーズを把握し、就職・進学の見点を持つことができる。	授業態度	5%
合計			100%

補足事項	
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題40%、授業参加態度60%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題に関しての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される ・遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間

1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする	対面授業	予習: Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
2回目	九文小学校交流会① 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー ゲームコーナー	対面授業	予習: 配布プリントを読んでおく。 未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習: 本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
3回目	九文小学校交流会② 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー ゲームコーナー	対面授業	予習: チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習: どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
4回目	九文小学校交流会のまとめと修正 交流会の成果と課題を明らかにし、相浦小学校交流会の実施に向けて各チームで改善を行う。	対面授業	予習: 全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習: 提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
5回目	相浦小学校交流会A-① 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習: これまでの活動を見直し、すぐに修正が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
6回目	相浦小学校交流会A-② 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
7回目	相浦小学校交流会B-① 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習: これまでの活動を見直し、すぐに修正が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
8回目	相浦小学校交流会B-② 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習: これまでの準備を見直し、すぐに交流が開始できるようにしておく(2時間) 復習: 構成を見直し、次に各部分に必要なものは見直す(2時間)
9回目	「相浦小学校交流会C-①	対面授業	予習: チームで共有した情報を

	小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験		確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
10回目	「相浦小学校交流会C-②」 小学校の児童に向けて「地域を知る」の授業を提供する。同時に、児童と交流することで児童のキャリア教育に貢献していることに気づく 国の紹介+言葉クイズ 学校ツアー 茶道体験	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。交流会の準備(2時間)
11回目	九文高校交流会① 高校生に向けて、母国の紹介を行い、客観的に母国への理解を深めるとともに、生徒の異文化理解学習に貢献していることに気づく 国の紹介プレゼンテーション 若者文化・ゲームの紹介 Q&Aコーナー	対面授業	予習:これまでの準備を見直して、全体の完成を目指す(2時間) 復習:構成を見直し、次までに各部分に必要なものを見直す(2時間)
12回目	九文高校交流会② 高校生に向けて、母国の紹介を行い、客観的に母国への理解を深めるとともに、生徒の異文化理解学習に貢献していることに気づく 国の紹介プレゼンテーション 若者文化・ゲームの紹介 Q&Aコーナー	対面授業	予習:全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習:提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13回目	九文高校交流会のまとめと修正 交流会の成果と課題を明らかにし、相浦小学校交流会の実施に向けて各チームで改善を行う。	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
14回目	東翔高校交流会① 高校生に向けて、母国の紹介を行い、客観的に母国への理解を深めるとともに、生徒の異文化理解学習に貢献していることに気づく 国の紹介プレゼンテーション 若者文化・ゲームの紹介 Q&Aコーナー	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
15回目	東翔高校交流会② 高校生に向けて、母国の紹介を行い、客観的に母国への理解を深めるとともに、生徒の異文化理解学習に貢献していることに気づく 国の紹介プレゼンテーション 若者文化・ゲームの紹介 Q&Aコーナー	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。(2時間)
			授業外学修時間 60時間

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし

数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	プレゼンテーションでは、各国のデータを正しく、わかりやすく説明することが求められます。この授業では、●データを読む・説明する・扱う、●データ・AI利活用における留意事項 についても取り扱います。
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	2Q学外学修事前指導、地域と人々を履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。
オフィスアワー	月曜日4コマ目(15:00～16:00)研究室
備考・メッセージ	遅刻は授業開始15分間とし、15分を過ぎた場合は欠席とみなす。また、授業参加時間が75分に満たない場合も同様に欠席とみなす。

講義科目名称: 学外学修事後指導(日)	授業コード:
英文科目名称: Follow-up Seminar for Gap Term	ナンバリング: GY402

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
5Q	2年	2単位	選択	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田、李			④⑦	

授業概要	授業概要: ギャップタームの振り返りとキャリアへの繋がり この授業では、ギャップタームでの体験を振り返り、次の学びやキャリアに活かすことを目的とします。以下の目標を達成するために、詳細な自己評価やプレゼンテーションスキルの向上に取り組みます。 - 自己評価と文章表現 ギャップターム中に体験したことを客観的に捉え、正しく文章で表現します。また、自分が設定した5つの目標に対して自己評価を行い、日誌に追加します。 (リンク: 日誌) - プレゼンテーション作成 Googleスライド(Googleフォト、Googleドライブ)を使用し、効果的なプレゼンテーションを作成するスキルを身につけます。 - 口頭プレゼンテーション 作成したスライドを使って、口頭で的確にプレゼンテーションを行います。ループリッック評価表をもとに評価されます。 - ギャップタームの振り返り ギャップタームでの経験を振り返り、以下の項目について整理します: - ポジティブな思い・経験(箇条書き) - ネガティブな思い・経験(箇条書き) 5W1H(仕事の日のスケジュールや休日の過ごし方など) - 学んだこと - 残された短大生活での目標設定 - 次年度参加する後輩へのアドバイス この授業を通して、ギャップタームの経験を深く掘り下げ、今後の学びやキャリア形成に繋がっていきます。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	・振り返りを第三者にも分かりやすくスライドを作成し、プレゼンテーションができる。 ・Google Slideを使うことができる。	・プレゼンテーション	50%
異文化知識・対応			

能力			
課題解決能力	・ギャップタームの経験を詳細に分析し、振り返り(体験の言語化)が正しく文章化できる。	・文書作成 ・授業や活動への参/態度	50%
キャリアデザイン力			
合計			100%
補足事項			
本授業は、文書作成・授業や活動への参加態度(50%)とプレゼンテーション(50%)を基に総合評価を行います。 授業に関する連絡、補足説明、課題提出・回収、フィードバックなど、学習効果を高めるためにGoogle Classroomを活用します。必要に応じて、遠隔授業を実施することがあります。 プレゼンテーションは、ルーブリック評価表を使用して評価します。 ルーブリック評価表 本授業では、遅刻3回を欠席1回とカウントします。			

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・授業の目的と内容説明 ・各個人にGOOGLE SLIDEを割当、教員と共有 ・GOOGLESIDEの作り方に関する動画を視聴し、スライド作成開始(タイトルと学籍番号を記入) ・ディプロマサブリの説明 → 第13回目に行う履歴書更新とのリンクを説明 ・Google documentの使い方を動画で確認	対面授業	予習: ギャップ中に書いた日誌を読み返し、体験の言語化の準備。(2時間) 復習: 授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)
2回目	ギャップタームの振り返り ・ギャップタームジャーナルの確認し、未完成部分の記入 ・インターンシップの開始/終了をgoogleformに登録。(時間があれば) ・昨年度slideの提示。 ・昨年度プレゼンの動画の提示。	対面授業	予習: 第1回目のキャリアステップの結果の振り返り(2時間) 復習: 授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)
3回目	・マインドマップの作り方を教えて、A3用紙を配布し、マインドマップで振り返りを書き出させる。 ギャップタームの振り返り(グループ単位で1人ずつ発表し、体験を語る) ・グループを提示	対面授業	予習: ギャップ中に書いた日誌を読み返し、体験の言語化の準備。(2時間) 復習: 授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)

	* 何度も人前で話すことにより、しっかりと自分の意見をまとめ、プレゼン用スライド作成の準備をおこなう。 * ネガティブな経験も、将来の自分にとってポジティブなものにするように。 (授業の流れ) 1) グループに別れる 2) 各自、以下の内容について箇条書きに「紙」に(マインドマップで)書き出す。 3) 書き終えたら、グループで、順繰りに発表。 4) 一通り、グループ発表が終わったら、各グループから一人選んでマイクで全員に体験の発表。(時間がある限り繰り返す)」 (グループ内で順繰りに発表) 1) IS/SLの基本情報 ・インターンシップ先/サービスラーニング/留学先の情報 ・期間 ・場所 ・仕事内容 2) 大変だったこと/失敗したこと/自分の考えが甘かったこと 3) 参加してよかったこと/学んだこと/気づいたこと/ストレスの対処法 4) 経験をこれからどう活かすか 5) 後輩がよりより経験をするためのアドバイス → Q&A(雑談タイム) ・休みどう過ごした? ・おいしいものあった? ・観光できた? ・ホームシックにならなかった? ・一人暮らし大変だった? ・持って行ったほうがよかったものは? ・外国人来た? 話せた? 何が有名?。。。。		
4回目	1) プレゼンの設計図を書く。 ・紙を配布し、プレゼンをどのような構成にするかを考える。 ・一人5分程度のプレゼンを作成 ・スライド5-10程度 ・1年生が感動するようなプレゼンを目標	対面授業	予習: ギャップ中に書いた日誌を読み返し、体験の言語化の準備。(2時間) 復習: 授業中に行なった振り返りに関して、再度、確認をしておくこと。(2時間)
5回目	(第2回目)「キャリアステップ」社会人基礎力テスト	対面授業	予習: スライド作成準備。(2時間)

	ギャップタームの振り返り (Google スライド(+動画)で作成) * 事後指導プレゼンテーション・ループ リック評価表を参照 ①ポジティブな思い・経験 ②ネガティブな思い・経験 ③5W1H(仕事の日のスケジュール、 休日の過ごし方なども含む) ④学んだ事 ⑤残された短大生活をどうするか(目 標など) ⑥次年度参加する後輩へ伝えたいこと /アドバイス		復習:授業中に行なったスライド 作成に関して、再度、確認をして おくこと。(2時間)
6回目	ギャップタームの振り返り (Google スライド(+動画)で作成) * 事後指導プレゼンテーション・ループ リック評価表を参照	対面授業	予習:スライド作成準備。(2時間) 復習:授業中に行なったスライド 作成に関して、再度、確認をして おくこと。(2時間)
7回目	ギャップタームの振り返り (Google スライド(+動画)で作成) * 事後指導プレゼンテーション・ループ リック評価表を参照	対面授業	予習:スライド作成準備。(2時間) 復習:授業中に行なったスライド 作成に関して、再度、確認をして おくこと。(2時間)
8回目	クラス内プレゼンテーション① ・ピアチェックを行い、加筆修正を加え る。 * 事後指導プレゼンテーション・ループ リック評価表を参照	対面授業	予習:作成したスライドでのプレゼ ン練習 (2時間) 復習:プレゼンの修正と練習(2時 間)
9回目	クラス内プレゼンテーション② ・ピアチェックを行い、加筆修正を加え る。 * 事後指導プレゼンテーション・ループ リック評価表を参照	対面授業	予習:作成したスライドでのプレゼ ン練習 (2時間) 復習:プレゼンの修正と練習(2時 間)
10回目	クラス内プレゼンテーション③ ・ピアチェックを行い、加筆修正を加え る。 * 事後指導プレゼンテーション・ループ リック評価表を参照 履歴書修正・追加 (1年次作成goole documetへ) ・ギャップターム日誌のリンクを追加 ・短大時代に頑張ったこと ・自己PR * 就職を念頭に準備	対面授業	予習:作成したスライドでのプレゼ ン練習 (2時間) 復習:プレゼンの修正と練習(2時 間)

11回目	Aグループ: プレゼン準備 Bグループ: 授業なし	対面授業。	予習: 英語テストの準備をしておく。(4時間) 復習: 特になし時間)
12回目	<u>Aグループ</u> <u>新1年生へプレゼンテーション</u>	対面授業	予習: 日本語テストの準備をしておく。(4時間) 復習: 特になし
13回目	Aグループ: 授業なし Bグループ: プレゼン準備	対面授業	予習: 1年時に作成した履歴書を見直しておく(2時間) 復習: 引き続き、就職を意識し、履歴書の内容を考えておく(2時間)
14回目	<u>Bグループ</u> <u>新1年生へプレゼンテーション</u>	対面授業	予習: 第1回目のキャリアステップの結果の振り返り(2時間) 復習: 最終発分析の整理(2時間)
15回目	<u>英語アチーブメントテスト(2回目)</u>	対面授業	予習: 第1回キャリアステップ社会人基礎力テストで分析した結果を見直しておく。(2時間) 復習: まとめとして、ジャーナルと履歴書を完成させる。(2時間)
16回目	<u>最終授業</u> 「キャリアステップ」社会人基礎力テスト結果の分析 ①インターンシップジャーナルヘデータを記入 ②「社会人基礎力トレーニングブック」に書き込み →提出(教員確認)→<u>(最終回)学生へ戻す。</u> (確認) <u>インターンシップジャーナル数字等を記入</u> (確認) 1年生からのプレゼンのコメントは真摯に受け止め、自分の成長につなげてください。なぜこんなコメントと思う人がいるかもしれませんが、うまく伝えることができなかった部分を反省し、次につなげてください。 自分の今回の経験のみで、〇〇はXXですとネガティブな意見を伝えるのは気をつけてください。人によって経験の受け方はかなり異なります。 ①グループ内(プレゼン)2分スピーチ→ローテーション ・自分の強み/弱み(キャリアステップより)を組み込んだ、自己PR		授業外学修(60時間)

	・現時点での進路 * 何系の就職、00への留学/編入とその目標 各メンバーの良いところを言い合う。一人1分 →褒めることを学ぶ ②「社会人基礎カトレーニングブック」 →学生へ戻す。		

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	ギャップタームでの経験は、これからの職業や進路選択な重要な時期になるので、振り返り(体験の言語化)をしっかりと、自分のキャリアにつなげて欲しい。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	体験したことを可能な限り言語化できるように、日頃から気づいたことを記録しておくこと。

講義科目名称:学外学修事後指導	授業コード:
英文科目名称:	ナンバリング:GY402

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
4Q	1年	2単位	選択	実習
担当教員				
牟田 チャウ				

授業概要	「実践Awesome Sasebo!」は国際コミュニケーションコースでの2年間の学びの中で1年次の3Q,4Qに設定されている短大での学びを、地域をフィールドとして実践する教科である。 留学生を対象とした本授業では、3Qで実施した小学校や高校での授業実習や、その他の地域での学びを総まとめするものである。1年生は来年度の学びに繋がるようなプレゼンテーションの知識をしっかりと学び、チーム全体を率いるようなリーダーシップ力を育成する

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
現代社会を生き抜く力	試行錯誤しながら、自ら考え行動することができる	授業態度	5%
専門的知識や技能	日本語で直接関連のある事柄の内容について主要な点を聞いたり読んだりして理解できる。 また、動画や画像を使用し、相手の立場を考慮したプレゼンテーション資料をつくることことができる	課題	40%
異文化知識・対応能力			
課題解決能力	自らやるべき事を見つけ、目標を設定し、周囲の人へ影響を与えながらチーム全体で目標に粘り強く取り組むことができる	授業態度 課題・作成物	30% 20%
キャリアデザイン力	活動を通して自己のパーソナリティと活動内容の得手不得手がわかる	授業態度	5%
合計			100%

補足事項	
・講義に関する質問は直接の他、Google classroomでも受け付け、web上あるいは以降の授業回で返答する。 ・本講義では課題60%、授業参加態度40%の割合で評価する ・本講義の発表作成物はGoogle classroomを通して提出をおこなう。また、提出されたレポートや課題についての教員からのフィードバックはGoogle classroomのコメント機能を使って返却される	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	「オリエンテーション」 講義の進め方、心構え、Google classroom登録の確認と課題の確認、提出方法、フィードバックの確認方法、教科書の確認をする 東翔高校との交流授業①振り返り チーム内で担当決め ①まとめ動画作成、②お礼状作成 ③インスタ投稿	対面授業	予習:Googleclassroomのクラスに登録する(2時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)

	チーム役割分担		
2回目	東翔高校との交流授業②振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担	対面授業	チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをClassroomに提出する(2時間)
3回目	東翔高校との交流授業③振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをClassroomに提出する(2時間)
4回目	東翔高校との交流授業④振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担	対面授業	予習:全体の体裁等を確認しておく。発表準備をしておく(2時間) 復習:提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
5回目	東翔高校との交流授業⑤振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担	対面授業	予習:これまでの準備を振り返り、チーム活動に必要な事柄を、Google classroomに提出する(2時間) 復習:構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめておく(2時間)
6回目	東翔高校との交流授業⑥振り返り ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 チーム役割分担式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:これまでの準備を振り返り、チーム活動に必要な事柄を、Google classroomに提出する(2時間) 復習:構成を見直し、次回までに必要な事柄をまとめておく(2時間)
7回目	東翔高校との交流授業 まとめ動画発表 ①まとめ動画作成 ②お礼状作成 ③インスタ投稿 広報の役割について学ぶ	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
8回目	学校のプロジェクト① ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
9回目	学校のプロジェクト② ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
10回目	学校のプロジェクト③ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を	対面授業	予習:チームで共有した情報を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢

	計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する		献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する(2時間)
11回目	学校のプロジェクト④ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:これまでの準備を見直し、全体の完成を目指す(2時間) 復習:構成を見直し、次までに各部分に修正が必要な部分に関して修正をする(2時間)
12回目	学校のプロジェクト⑤ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:全体の体裁等を確認しておく(2時間) 復習:提出した作成物を見直し、感想レポートをGoogle classroomに提出する。(2時間)
13回目	学校のプロジェクト⑥ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:配布プリントを読んでおく。未習語彙は調べておくこと。(2時間) 復習:本日の学びに関して復習し、出されている課題をGoogle classroomに提出する(2時間)
14回目	学校のプロジェクト⑦ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:もらった評価を確認しておくこと(2時間) 復習:どの部分で、チームに貢献し、何を学んだかをGoogle classroomに提出する。表彰式の準備(2時間)
15回目	学校のプロジェクト⑧ ・九十九島(パールシー)チーム 来年度の新1年生の後輩のために歓迎会を計画する ・卒業式飾りチーム お世話になった2年生の先輩のために卒業式会場の設置を計画し、飾りを作成する	対面授業	予習:事前配布のアンケートフォームに回答しておくこと(2時間) 復習:これまでの学習を学習ノートにまとめ、1年間の学習の振り返りをおこなう(2時間)

科目(教職課程用)	なし
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	なし
教科書・参考書	なし 随時配布プリントあり
履修条件	3Q実践Awesome Sasebo! IIを履修すること
履修上の注意	日本語で書かれた文語体で書かれた文章を読み、日本語で理解し、自分の知り得た知識を日本語で表現できるようになるため、毎週、最低でも1.5時間の予習が求められている。予習ができていなければ、授業内容の理解は難しいため、しっかりと予習で語彙を調べてくること。
オフィスアワー	火曜日1コマ目(9:30~10:30)研究室

備考・メッセージ	遅刻する際は、必ず15分前までにはクラスルームへ連絡すること

講義科目名称:卒業研究(日)	授業コード:
英文科目名称:Graduation Report	ナンバリング:BS304

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
7 th &8 th Q	2年	2単位	コース必修	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田 美信			④⑦	

授業概要	この科目は、国際コミュニケーションコースのキャップストーン科目(最終学修科目:2年間の学びの集大成)となるものです。2年間を通して学んだこと(学修成果)をまとめ、表現してもらいます。 ①研究レポートの作成 ・語学の学び ・学外学修体験からの学び ・Awesome Sasebo!授業からの学び ②研究レポートをもとに、口頭発表。

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力	「心豊かな人間力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。	学科ディプロマポリシーのルーブリック評価基準に準じる。	20%
確かな専門的知識や技能	「専門的知識や技能」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。		20%
異文化知識・対応能力	「異文化知識・対応能力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。		20%
課題解決能力	「課題解決能力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。		20%
キャリアデザイン力	「キャリアデザイン力」の観点で、2年間の学びと自らの取組を深く分析し、正確に記述することができる。		20%
合計			100%

補足事項
(研究レポート/プレゼンテーション) テーマ:「2年間の学びを振り返り、学修成果の可視化(言語化)」 作成物: ・研究レポート(Google documentで10枚程度) {研究レポート/スライドの構成} <u>タイトル</u> ・「長崎短期大学2年間:私の学修成果(学びと成長)」 学籍番号 氏名 <u>目次</u>

1.はじめに

- ・国際コミュニケーションコースで学びたいと思った初めの気持ち

2.言語の学び

- ・私の語学の学び方、達成したもの、これからの目標

3. 学外学修体験からの学び

- ・インターンシップ、サービ斯拉ーニング、3ヶ月留学

4. Awesome Sasebo!授業からの学び

- ・オープンキャンパス企画、学園祭企画、動画作成、地域での課題解決プロジェクト

5. その他の学びや体験

- ・海外留学(研修)、ボランティア、スピーチ大会、各種行事参加、アルバイト、趣味

まとめ

- ・国コミで学んで成長したいと思うところ。
- ・国コミで学んでよかったこと。
- ・卒業後の進路(予定)について、できるだけ具体的に。
- ・将来の目標について
- *「まとめ」の一部又は全てを学習した外国語で翻訳した場合、加点あり。

謝辞

- ・保護者を含めて、お世話になった人たちへの感謝の言葉

(フォント)

- ・ 日本語: MS明朝
- ・ 英数字: Times New Roman

(文字サイズ)

10.5ポイント (or 11ポイント)

- ・ 章: 18ポイント
- ・ 節: 14ポイント
- ・ 項: 12ポイント

(レポート提出と発表に関して)

- ・プレゼンテーション時まで、「研究レポート」を提出。
- ・「研究レポート」を使い、口頭で教員の前でプレゼン。同時に、録画します。
- ・各プレゼンで話すシナリオは、スライド下のスピーカーノートに書き込む。

(プレゼンテーション作成方法)

- ・Google Document 10枚程度 * 教員が割り当てるものを使用
- ・写真や動画(URL)も追加
- ・プレゼンの文字コメントは、日本語を使用

(プレゼンテーション発表)

- ・口頭での発表時間は1人5分

- ・発表者は、指定した日時に短大にてプレゼンを行う。発表者以外の学生は、直接聞きに来てよい。後日、googleclassroomで限定視聴できるようにする。
- ・全員のプレゼンを教員が録画する。

(主な評価項目)

- ①国際コミュニケーションコースのディプロマポリシーのルーブリック(達成度)
- ②口頭でのプレゼンテーション

(評価観点)

- * 短大で学んだことを表現できているか。

- ・研究レポートの構成と内容
- ・口頭プレゼンの表現力

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・効果的なプレゼン作成方法の説明 ・授業目標など授業の全体説明 ・google document作成 ・動画作成 ・前年度の研究レポートとプレゼン動画の確認と、プレゼンテーション視聴 ・データを収集、分析、整理時の注意点を説明 ・個人情報管理について注意喚起	対面授業	予習：google classroomに提示する授業概要を読み、全体構成を考えておく(2時間) 復習：ループリック評価、作成方法などを再度確認し、疑問点などを考える。(2時間)
2回目	研究レポート作成作業 ・全体構成の作成 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
3回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
4回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
5回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
6回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
7回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
8回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習：①に関して準準備を行う。(2時間) 復習：作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)

9回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:①に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
10回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入 ・中間評価(ピアレビュー)	対面授業	予習:過去の問題を振り返り試験準備をおこなう。(2時間) 復習:自己採点をし、間違ったところを確認する。(2時間)
11回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:過去の問題を振り返り試験準備をおこなう。(2時間) 復習:自己採点をし、間違ったところを確認する。(2時間)
12回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:②に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
13回目	研究レポート作成作業 ・スライドの構成(目次)に従って、文書作成作業。 ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:②に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
14回目	プレゼン口頭練習 ・プレゼンテーションリハーサル ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:②に関して準準備を行う。(2時間) 復習:作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
15回目	プレゼン口頭練習 ・プレゼンテーションリハーサル ・最後に「進捗表」への記入	対面授業	予習:最終確認(2時間) 復習:プレゼンの練習をおこなう。(2時間)
16回目	個別プレゼンテーション ・録画し、後日評価		授業外学修(60時間)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規則に定める科目区分または事項等	
数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する事項	生成系AIの回答の不完全性や著作権など懸念すべき事項を伝え、PCを活用する際に個人情報管理についても注意喚起を行う
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	2年間の総まとめとなります。学びを分析、卒業後につなげることができるように全力で取り組んでください。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可

備考・メッセージ	2年間の学びの集大成となる大切な科目です。 積極的に、教員にコンタクトを取り助言を求めること。 課題のフィードバックは授業内またはGoogle Classroomで行う。

講義科目名称:卒業研究(留)	授業コード:
英文科目名称: Graduation Report	ナンバリング: BS404

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	授業形態
8Q	2年	2単位	コース必修	講義
担当教員			アクティブ・ラーニングの類型	
牟田美信、依藤実里、山本美咲、松浦百恵				

授業概要	この科目は、国際コミュニケーションコースのキャップストーン科目(最終学修科目:2年間の学びの集大成)となるものです。2年間を通して学んだこと(学修成果)を以下の課題を通して、表現してもらいます。 <u>自分の出身地(地元)を日本語で紹介する研究ノート作成</u> 皆さんの地元の情報(地図、衣食住、言葉の説明、独特な慣習や文化など)を調べ、日本人が旅行したり、住んだりするときに使える「研究ノート」をgoogle documentで作成してもらいます。 ①「研究ノート」:自分のペースで作成。 ②「日本人の感想コメント」:最後に、研究ノートを日本人(クラスメート、知人)に見せ、感想(良い点、改善点)を聞き(録音)、ノートへの記入。 ③「最後のあいさつ」:作成に関しての自分の感想の記入。 1. もくじ:項目を書き出す 2. はじめに:このノートの特徴 3. 私の国情報:地図、人口、言葉、基本的な会話、気候、お祭り・イベント、その他 4. 私の地元情報: 5. 私の国の衣食住: *できるだけ、オリジナルの写真を利用する。 6. 私の国の代表的なお祭りやイベント 7. 日本人があなたのノートを読んだ感想:感想(良い点、改善点)を聞き(録音)、ノートへの記入 8. まとめ:この研究ノートを作成した自分の感想と日本人読者へ向けて一言

資質・能力	授業における到達目標	評価方法	評価比率
心豊かな人間力			
確かな専門的知識や技能	学んできた日本語能力を生かし、正しく情報を収集し、まとめ、文書化することができる。	・情報収集力 ・文書作成能力	50%
異文化知識・対応能力	身につけた異文化理解力を生かし、自国の風習や文化を正しく整理し、正しく日本語で表現できる。	・自国文化の論理的整理 ・自国文化の正しい日本語化	50%
課題解決能力			
キャリアデザイン力			

合計	100%
補足事項	
・ノート(google document)は教員側で準備し配布。 ・ノートは教員とシェアし、常に教員が進捗を確認できるようにする。 ・理解しやすいように写真や図表等は、自由に追加する。 (評価観点) ・本授業では、「情報収集・文書作成・自国文化の論理的整理」(50%)、「自国文化の正しい日本語化」(50%)の割合で、総合評価します。 ・短大で学んだことを生かし、正しく研究ノート(構成、内容等)を作成することができるかで、評価します。	

授業計画	授業の内容	実施形式	予習・復習の内容と時間
1回目	オリエンテーション ・研究ノートの作成の趣旨と作成方法について説明 1. もくじの確認 * A4ルーズリーフノートの配布	対面授業	予習: google classroomに提示する授業概要を読み、全体構成を考えておく(2時間) 復習: 評価、作成方法などを再度確認し、疑問点などを考える(2時間)
2回目	「研究ノート作成」 2. はじめに: ノートの特徴(目的や目標)について書き出す。	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
3回目	「研究ノート作成」 3. 自分の国情報: 地図、人口、言葉、基本的な会話、気候、お祭り・イベント、その他	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
4回目	「研究ノート作成」 3. 自分の国情報: 地図、人口、言葉、基本的な会話、気候、お祭り・イベント、その他	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
5回目	「研究ノート作成」 4. 自分の地元情報: 出身地の情報を書き込む。	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
6回目	「研究ノート作成」 4. 自分の地元情報: 出身地の情報を書き込む。	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)
7回目	「研究ノート作成」 5. 自分の国の衣食住: * できるだけ、地元から写真を送ってもらう。	対面授業	予習: 情報を収集する(2時間) 復習: 作業中の内容について再考し、次回の作業の準備をおこなう(2時間)

8回目	「研究ノート作成」 5. 自分の国の衣食住： * できるだけ、地元から写真を送って もらう。	対面授業	予習：情報を収集する(2時間) 復習：作業中の内容について再考 し、次回の作業の準備をおこなう(2 時間)
9回目	「研究ノート作成」 6. 私の国の代表的なお祭りやイベント	対面授業	予習：情報を収集する(2時間) 復習：作業中の内容について再考 し、次回の作業の準備をおこなう(2 時間)
10回目	「研究ノート作成」 6. 私の国の代表的なお祭りやイベント	対面授業	予習：情報を収集する(2時間) 復習：作業中の内容について再考 し、次回の作業の準備をおこなう(2 時間)
11回目	「研究ノート作成」 7. 日本人があなたのノートを読んだ感 想：感想(良い点、改善点)を聞き(録 音)、ノートへの記入	対面授業	予習：情報を収集する(2時間) 復習：作業中の内容について再考 し、次回の作業の準備をおこなう(2 時間)
12回目	「研究ノート作成」 7. 日本人があなたのノートを読んだ感 想：感想(良い点、改善点)を聞き(録 音)、ノートへの記入	対面授業	予習：情報を収集する(2時間) 復習：作業中の内容について再考 し、次回の作業の準備をおこなう(2 時間)
13回目	「研究ノート作成」 8. まとめ：この研究ノートを作成した自 分の感想と日本人読者へ向けて一言	対面授業	予習：情報を収集する(2時間) 復習：作業中の内容について再考 し、次回の作業の準備をおこなう(2 時間)
14回目	「研究ノート作成」 8. まとめ：この研究ノートを作成した自 分の感想と日本人読者へ向けて一言	対面授業	予習：情報を収集する(2時間) 復習：作業中の内容について再考 し、次回の作業の準備をおこなう(2 時間)
15回目	最後のまとめと最終確認 「研究ノートの提出」	対面授業	予習：提出前の校正と最終確認(4 時間)
16回目			授業外学修(60時間)

科目(教職課程用)	
教育職員免許法施行規 則に定める科目区分ま たは事項等	
教科書・参考書	特になし
履修条件	
履修上の注意	2年間の総まとめとなります。学びを分析、卒業後につなげることができるよ うに全力で取り組んでください。
オフィスアワー	木曜日(14:50-18:00) * その他、空きコマ(研究室ドアに掲示)も可
備考・メッセージ	2年間の学びの集大成となる大切な科目です。

	積極的に、教員にコンタクトを取り助言を求めること。